既存樹木調査データ（毎木調査・活力度調査（2023 年））の見方

1. 活力度評価結果の網掛けは、2019 年春季までの調査の活力度評価に対し、評価が変化したものを示しております。

2. 保存・移植・伐採の分類における「※」は、枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木を示しております。

3. 伐採理由については、風致地区内の樹木を対象に示しております。

4. 銀杏並木には伐採対象の樹木がないため、伐採理由欄は設けておりません。

5. 2024 年 9 月 9 日付の以下リリースの内容に従い、新ラグビー場及び聖徳記念絵画館前事業計画における保存・移植・伐採の分類変更を反映しております。その他の樹木については、東京都の環境影響評価書提出時から変更しておらず、移植可否の調査結果と異なる場合がございます。

「神宮外苑地区まちづくりにおける樹木の更なる保全と新たなみどりを創る取組みについて」
URL：https://www.jingugaienmachidukuri.jp/pdf/jingugaienmachidukuri_news_2024090901.pdf

保存樹木
移植樹木
伐採樹木
枯損等
移植検討樹木

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

N

軟式野球場東側エリア

軟式野球場西側エリア

銀杏並木東
Cエリア

銀杏並木
Bエリア

テニス場室内
コート・御台場西
エリア

テニス場北コート
エリア

伊藤忠ビル周り
エリア

秩父宮ラグビー場
Aエリア

建国記念文庫
エリア

第二球場
エリア

野球場三塁側
エリア

野球場一塁側
エリア

■樹木配置図（現況）

国立競技場

建国記念文庫

バッティングドーム

男女ロッカー室

総合球技場事務所

東京ヤクルトスワローズ Official Goods shop つば九郎店

明治神宮第二球場

N

建国記念文庫エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

明治神宮第二球場

人工芝

N

第二球場エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

第二球場エリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

神宮ゴルフクラブ

室内球技場

投球練習場

コブシ球場

野球場三塁側エリア

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

N

明治神宮野球場
クラブハウス

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

日本青年館

國學院高校

工事中

野球場一塁側エリア

N

保存樹木
移植樹木
伐採樹木
枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

国立競技場テニス場
国立秩父宮ラグビー場
管理事務所

人工芝

駐車場

タイル

野球場一塁側エリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

銀杏並木：Bエリア
テニス場北コートエリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

銀杏並木：Bエリア
テニス場室内コート・御台場西エリア

保存樹木
移植樹木
伐採樹木
枯損等
移植検討樹木

N

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

秩父宮ラグビー場：Aエリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

秩父宮ラグビー場

TEPIA
先端技術館

日本スポーツ振興センター

日本ラグビーフットボール協会

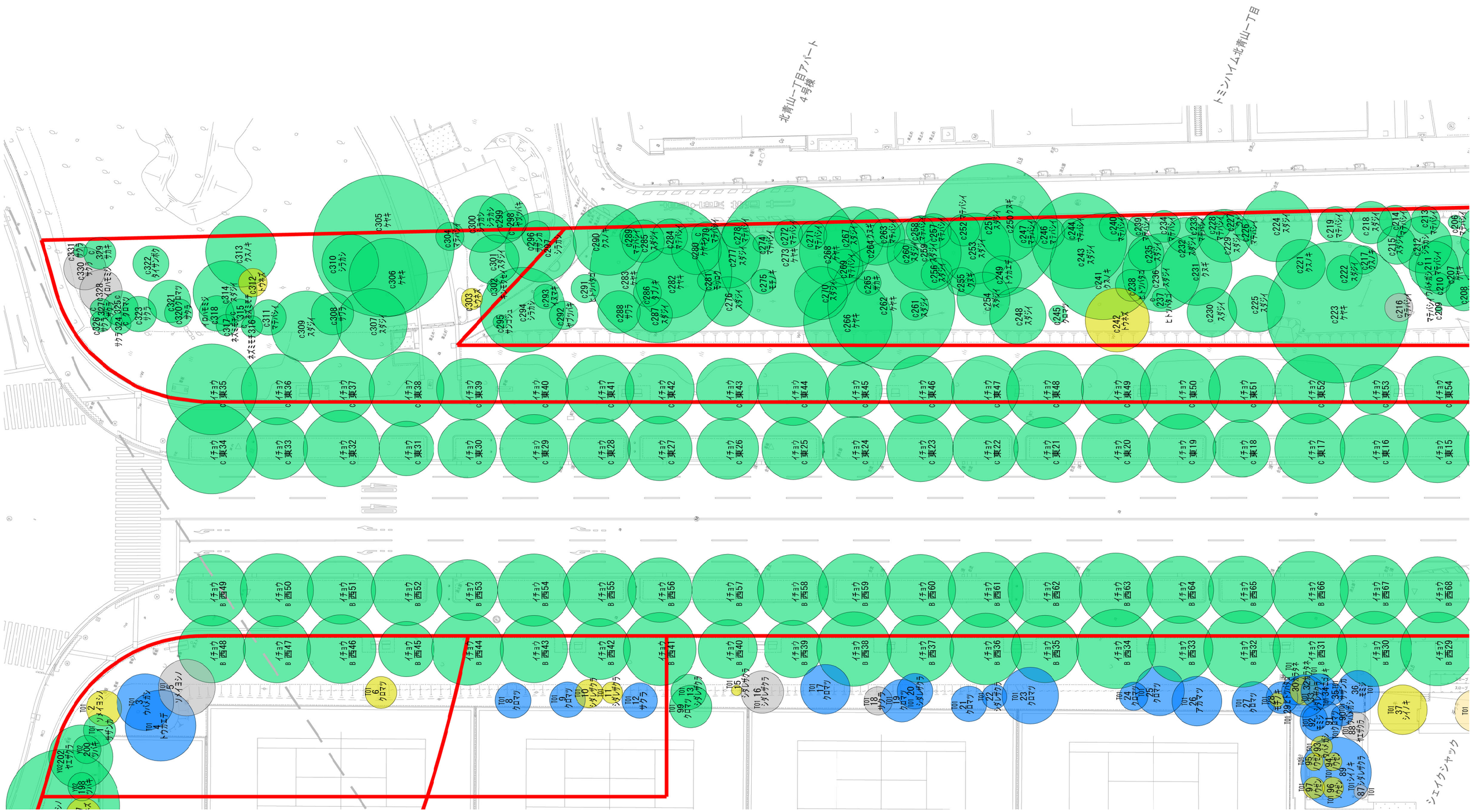
秩父宮ラグビー場：Aエリア
N
保存樹木
移植樹木
伐採樹木
枯損等
※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木
秩父宮ラグビー場
室内コート
クラブハウス

銀杏並木：Bエリア
銀杏並木東：Cエリア

N

保存樹木
移植樹木
伐採樹木
枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木



銀杏並木：Bエリア
銀杏並木東：Cエリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等
- 移植検討樹木

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

北青山一丁目アパート 2号棟

北青山一丁目アパート 1号棟

駐車場

シェイクシャック

ロイヤルガーデンカフェ青山

伊藤忠ビル周りエリア

保存樹木
移植樹木
伐採樹木
枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

N

国道246号　青山通り

伊藤忠ビル

伊藤忠ガーデン

ロイヤル
ガーデンカフェ青山

地下鉄外苑前
駅入口

軟式野球場西側エリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

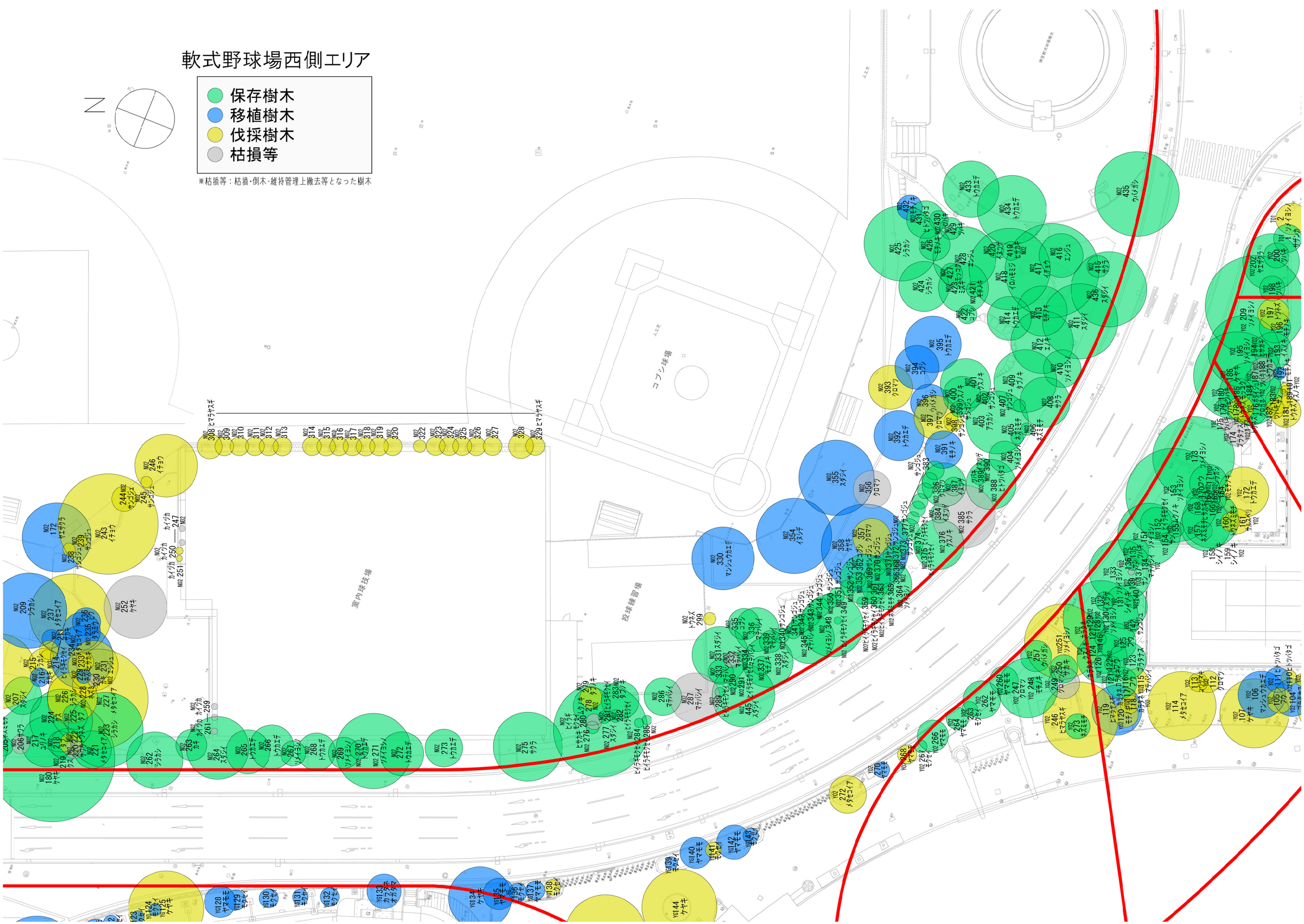
日の丸球場
桜球場
バッティングドーム
東京ヤクルトスワローズ Official Goods Shop つば九郎店
男女ロッカー室
総合球技場事務所
室内球技場

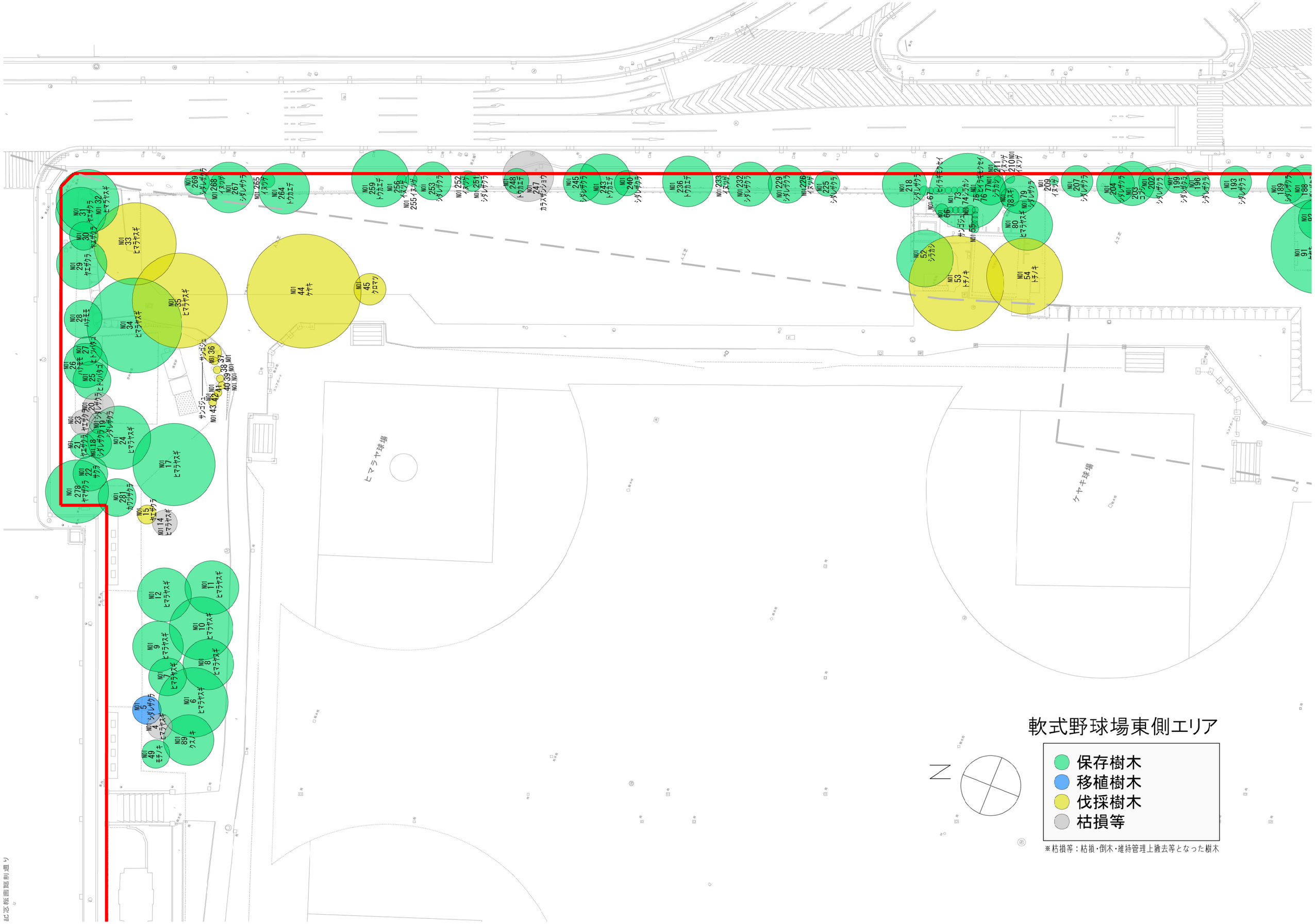
軟式野球場西側エリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損･倒木･維持管理上撤去等となった樹木




ヒマラヤ球場
ケヤキ球場
軟式野球場東側エリア
N
保存樹木
移植樹木
伐採樹木
枯損等
※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

記念植樹距離間通り

軟式野球場東側エリア

N

- 保存樹木
- 移植樹木
- 伐採樹木
- 枯損等

※枯損等：枯損・倒木・維持管理上撤去等となった樹木

ケヤキ球場

大銀杏球場

樹木調査診断

1．調査の目的
既存樹の活力度や傷害等、外観診断を行い、保存の適否や移植の可否について調査を行った。

2．調査方法
外観による樹勢・樹形の評価調査と問題となる欠損・腐朽の有無、程度、木槌による幹空洞部分診断、等を外観調査から行う。
樹勢判断には枝の伸長、大枝・幹の欠損、樹皮の代謝、胴吹き・ヒコバエ等を加味して判定する。
枝・大枝・幹の枯損・腐朽は影響がある場合は備考に記載する。(キノコも含める)。
活力度に関する評価項目は下記記載の項目を行った。

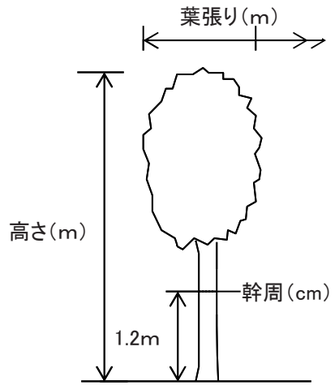
3．調査結果

調査結果を保存の適否と移植の可否、問題点と外観の特徴を記載する。

結果を下記の基準により、結果一覧にまとめた。

規格:高さ・目通り・葉張り

樹木調査診断の説明



幹周は地上1.2mの高さで計測した幹外周の長さ。
株立ち(1本の樹木で複数の幹がある場合)は地上1.2mの高さでそれぞれの幹外周を計測した。

活力度調査　樹勢・樹形・枝伸長量、大枝・幹の欠損・傷、梢端の枯損、枝葉の密度を1～4で評価(梢端の枯損に幹・大枝枯損も含める)

保存の必要性　活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味する。

移植　移植の可・難・不可について評価する。保存の必要性の高・中に限る。
保存低については移植は不可判定とする。

参考項目　根元構造物の有無は移植評価の参考、片枝樹形(相互被圧含む)項目は樹勢、樹形の参考として記載

備考　外観からの特徴や特筆すべき点を記載する。

活力度 ： 樹勢・樹形等

		1	2	3	4	
活力度測定項目	樹勢	旺盛な生育状態を示し被害が全く見られない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が極めて劣悪である	ほとんど枯死
		1	2	3	4	
	樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
	枝伸長量	正常	幾分少ないがそれほど目立たない	枝は短小となり細い	枝は極度に短小、しょうが状の節間がある	
	大枝・幹の欠損・傷	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり目立つ	著しく目立つ。傷からの腐朽も著しい	
	梢端の枯損	なし	少しあるがあまり目立たない	かなり多い	著しく多い	
	枝葉の密度	正常、枝及び葉の密度バランスがとれている	普通、1に比してやや劣る	やや疎	枯れ枝が多く葉の発生が少ない。密度が著しく疎	

活力度の評価は6項目の平均評点を算出記載した。

評価	A	B	C	D
評点	1.00～1.75	1.76～2.50	2.51～3.25	3.26～4.00
状態	両項、正常なもの	普通、正常に近い	悪化のかなり進んだもの	顕著に悪化の進んでいるもの

保存の必要性	高・中・低	活力度を主にしながら、樹種特性及び樹形等を総合的に加味し判断する。
移植の評価	可	移植をする際に活着する可能性が高く樹勢、樹形の維持または回復が望める樹木
	難	樹高や目通りが大きく物理的に移植が難しい樹木、または健全に活着することが望めない樹木
	不可	樹木の活力度が低い樹木や、根鉢の適切な確保が難しいなど、移植を試みても健全に活着することが望めない樹木

既存樹木調査結果一覧

エリア名				Aエリア：秩父宮ラグビー場															調査日				2023 年　5 月　25 日　～　2023 年　5月　25 日													伐採理由		
					規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目									
エリア	樹木番号		樹種名		樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	備　考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
A	1		ヒムロスギ		15.0	112	5.0	ー	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○				○		有	小	根元・幹に打診音異常H0.0～0.8mあり。 枯枝が散在する。街灯柱と近接。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.95m、側溝までの離隔距離1.35m。 下枝が高く、移植に向けた剪定には不適である。 隣木のヒマラヤスギをやや被圧している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	2		ヒマラヤスギ		18.0	141	6.0	ー	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B		○			○				有	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.95m、側溝までの離隔距離1.3m。植栽帯の幅は2.25m。 移植に伴う剪定において、高さH12mで断幹しても樹形を維持できる。		●		A			
A	3		サワラ		15.0	85	3.5	ー	3.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	1.0	2.80	C			○				○		有	大	幹に開口空洞 200×20×20/30（芯達）あり。 根元・幹に打診音異常（大） H0.0～2.0mあり。 枝葉量が少なく、樹形に乱れ（被圧樹形）あり。 下枝の枯損が多い。 幹折れの危険性あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
A	4		ヒマラヤスギ		18.0	154	6.0	ー	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.60	A		○			○				有	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 幹に打診音異常（小） H1.5～2.0mあり。 樹幹傾斜（小）あり。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.95m、側溝までの離隔距離1.3m。剪定、樹形維持が可能である。根鉢確保がかろうじて可能である。		●		A			
A	5		シャリンバイ		3.0	21	3.0	ー	3.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	大	枝が街灯柱に接触している。 街灯柱とマンホールに挟まれた位置にある。 樹形に乱れあり（被圧により裏側の枝が消失）。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	6		ヒマラヤスギ		18.0	151	7.0	ー	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.5	1.0	1.70	A			○				○		有	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 根元・幹に打診音異常（小） H0.0～2.0mあり。 幹芯からマンホールまでの離隔距離0.9m、側溝までの離隔距離1.1m、フェンスまでの離隔距離1.2m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	7		サワラ		15.5	111	3.5	ー	2.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.25	B			○				○		有	小	根元・幹に開口空洞（溝腐れ症状） 750×10×15/35、打音異常あり。幹折れの危険性あり。 支柱に接触している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
A	8		サワラ		15.0	99	4.0	ー	2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.35	B			○				○		有	小	根元・幹に開口空洞（溝腐れ症状） 150×5×15/30（芯達）あり。 根元・幹に打診音異常（大） H0.0～2.0mあり。 幹折れの危険性あり。 枯枝が散在する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
A	9		サワラ		15.5	100	5.0	ー	2.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.25	B			○				○		有	小	根元・幹に開口空洞（溝腐れ症状） 20×5×20/35（芯達）ほか、断続的に複数あり。 根元・幹に打診音異常（大） H0.0～2.0mあり。 幹折れの危険性あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
A	10		スダジイ		8.5	150	8.0	ー	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.20	B			○				○		有	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 大枝が強剪定されており、樹形に乱れあり。 街灯が樹冠内にある。支柱あり。 幹芯から擁壁までの離隔距離0.9m、マンホールまでの離隔距離1.05m。掘り取り作業領域の確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	11		サンゴジュ		3.0	52	3.5	ー	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.0	2.85	C			○				○		有	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 高さH3.0mにおいて断幹、枯れ下がりあり。 砂の盛土あり。	●			C			
A	12		サンゴジュ		4.0	2本立	3.5	57,42	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.0	2.85	C			○				○		有	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 幹（H1.5m）に開口空洞 10×10×10/20（芯達）あり。 高さH3.0mにおいて断幹、枯れ下がりあり。 砂の盛土あり。	●			C			
A	13		サンゴジュ		4.0	2本立	3.5	37,30	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.0	2.85	C			○				○		有	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 高さH3.0mにおいて断幹されている。 砂の盛土あり。	●			C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Aエリア：秩父宮ラグビー場	調査日	2023 年　5 月　25 日　～　2023 年　5月　25 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
A	14		サンゴジュ		3.5	2本立	3.0	49,48	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	2.5	2.5	1.0	2.95	C			○				○		有	小	幹上部において断幹あり。 砂の盛土あり。 双幹の一方が枯損している。 2本立の1本(C48)が枯死している。 樹形不良。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
A	15		コノテガシワ		6.0	2本立	2.0	24,16	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.45	B			○				○		有	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 根元がフェンスに接触しており、掘り取り作業が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
A	16		ゲッケイジュ		10.0	2本立	7.0	68,61	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A			○				○		有	小	幹分岐部に入り皮あり。 根元縁石乗り上げ。 すす病の発生あり。 根元がフェンスに接触しており、掘り取り作業が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	17		ムクゲ		3.5	42(芝付)	4.0	—	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B			○				○		有	大	樹形に乱れあり。 フェンス、構造物、隣接樹木と近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	18		ムクゲ		3.5	37(芝付)	4.0	—	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B			○				○		有	大	樹形に乱れあり。 フェンス、構造物と近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	19		コブシ		4.0	26	3.5	—	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.75	C			○				○		有	大	樹形に乱れあり。幹が屈曲している。 フェンスに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
A	20		ヒマラヤスギ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	D			
A	21		ヒマラヤスギ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	D			
A	22		ヒマラヤスギ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	D			
A	23		ヒマラヤスギ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	–	–	※	D			
A	24		ヒマラヤスギ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	D			
A	25		ヒマラヤスギ		4.0	173	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(台切り)。	–	–	※	D			
A	26		ヒマラヤスギ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	D			
A	27		ヒマラヤスギ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	D			
A	29		サザンカ		4.0	28	2.5	—	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	巻き根(中)あり。		●		B			
A	30		サザンカ		3.0	28	2.5	—	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		B			
A	32		サワラ		8.0	74	3.0	—	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	1.0	3.20	C											高さH8.0mにて断幹されている。 根元に開口空洞 30×1×5/25ほか、溝腐れ症状あり。 根元・幹に打診音異常 H0.0～2.0mあり。 隣木のムクノキ(樹木番号36)と接触している。 樹形に乱れあり(下枝が無い)。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
A	33		サワラ		2.5	73	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	-	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	D			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Aエリア：秩父宮ラグビー場	調査日	2023 年　5 月　25 日　～　2023 年　5 月　25 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	活力度 樹勢 (1～4評価)	活力度 大枝幹の欠損・傷 (1～4評価)	活力度 枝伸長量 (1～4評価)	活力度 梢端の枯損 (1～4評価)	活力度 枝葉の密度 (1～4評価)	活力度 葉形 (1～4評価)	活力度 葉の大きさ (1～4評価)	活力度 葉色 (1～4評価)	活力度 ネクロシス (1～4評価)	平均評点	評価結果 ABCD	保存の必要性 高 (該当に○)	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可 (該当に○)	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物 (有無)	参考項目 片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に●)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 ABCD	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
A	34	サワラ	―	97	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	-	-	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	C			
A	35	サワラ	10.0	75	3.5	―	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	3.5	3.5	3.0	1.0	2.70	C			○				○		有	中	根元・幹に開口空洞20×1×5/22ほか、断続的に溝腐れ症状あり。 幹に打診音異常(小) H1.5～2.0mあり。 幹芯から縁石までの離隔距離0.65m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
A	36	ムクノキ	8.0	55	5.0	―	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.00	B			○					○	有	大	フェンス囲い内に位置し、フェンスと接触・くい込みあり。 擁壁に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	37	ムクノキ	7.0	48	4.0	―	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.85	B			○					○	有	大	フェンス囲い内に位置し、フェンスと接触・くい込みあり。 擁壁に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	38	ムクノキ	9.0	60	6.0	―	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.80	B			○					○	有	大	フェンス囲い内に位置し、フェンスと接触・くい込み・押上げあり。 擁壁に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	39	サワラ	11.5	105	3.5	―	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	有	中	鋼棒貫入異常5cmあり。 樹幹傾斜(小)あり。 擁壁に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
A	40	ケヤキ	14.0	178	10.0	―	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.95	B		○			○				有	小	支柱のみ込みあり。 大枝分岐に入り皮あり。 幹芯から石積み擁壁までの離隔距離1.45m、コンクリート擁壁までの離隔距離2.1m。樹形維持が可能。根鉢確保がかろうじて可能である。		●		B			
A	41	マテバシイ	6.5	77	3.5	―	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	3.0	3.5	3.0	1.0	2.70	C			○				○		無	小	樹幹傾斜あり。枝葉量が少ない。樹形に乱れあり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。 斜面地に位置する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
A	42	マテバシイ	8.0	80	4.0	―	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	3.5	3.0	1.0	2.65	C			○				○		無	中	枝葉量が少ない。樹形に乱れあり。 巻き根(中)あり。 斜面地に位置する。 活力度が悪く、移植後に健全な状態への回復は難しい。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
A	43	トウカエデ	12.0	178	6.0	―	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○			○				有	小	支柱のみ込みあり。 根元に大きなコブあり。 斜面に位置する。 幹芯から擁壁までの離隔距離1.6m。樹勢・樹形の維持は可能。		●		C			
A	44	サクラ	7.0	2本立	7.0	105,85	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○						○	有	無	分電盤に近接、基礎に根が食い込んでいる。 擁壁に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
A	45	サクラ	6.0	99	7.0	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○						○	有	無	根元に打診音異常(小) H0.0～0.3mあり。 石積塀と縁石に近接している。	●			B			
A	46	サクラ	8.0	131	5.0	―	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B		○						○	有	中	大枝に今日剪定痕あり。 根元に打診音異常(小) H0.0～0.2mあり。 石積塀と縁石に近接し、縁石押し上げあり。	●			B			
A	47	サクラ	8.0	66	3.5	―	3.5	3.0	3.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	2.0	1.0	2.55	C		○						○	有	大	根株に腐朽あり。 隣木からの被圧(大)あり。 根張りがやや小さく、衰退傾向にある。 石積塀と縁石に近接している。	●			C			
A	48	サクラ	9.0	169 (H0.8m)	12.0	―	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.25	B		○						○	有	小	巻き根(大)あり。 大枝の相互接触あり。 胴吹き枝が多数あり。小枝の枯れあり。 石積塀と縁石に近接し、縁石押し上げあり。	●			B			
A	49	サクラ	9.0	93	7.0	―	2.5	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	中	巻き根(中)あり。 打診音異常あり。 樹幹傾斜あり。 石積塀と縁石に近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名					Aエリア:秩父宮ラグビー場															調査日				2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日													伐採理由	
					規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目									
エリア	樹木番号		樹種名		樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
A	50		サクラ		9.0	112	8.0	―	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.95	B		○					○		有	小	巻き根(大)あり。 石積塀と縁石に近接している。	●			B			
A	52		サクラ		4.5	57	5.0	―	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.95	B		○		○					有	小	ひこばえが多数あり。 大枝にキノコ(種不明)の発生あり。 枯枝 ϕ5, L=2.0mあり。 建物に近接している。 上記の状態はあるものの、移植に際しては支障なし。		●		B			
A	53		ウメ		4.0	36	3.5	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○					○		有	小	建物および樹木番号52サクラからの被圧(小)あり。 ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 根元に打診音異常 H0.0～0.2mがあること、枯枝があることから移植には適さない。		●		B			
A	56		カイヅカイブキ		4.5	74	3.0	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B			○					○	有	小	植栽帯(幅1.0m)内に列植されている。 単木で掘り取ると、相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	57		カイヅカイブキ		4.5	72	3.0	―	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.95	B			○					○	有	中	片側(建物側)の枝に枯枝が多数あり。 植栽帯(幅1.0m)内に列植されている。 単木で掘り取ると、相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	58		カイヅカイブキ		4.5	72	3.0	―	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.95	B			○				○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。樹幹傾斜あり。 片側(建物側)の枝に枯枝が多数あり。 植栽帯(幅1.0m)内に列植されている。 単木で掘り取ると相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	59		カイヅカイブキ		4.5	67	3.0	―	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.95	B			○				○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。樹幹傾斜あり。 片側(建物側)の枝に枯枝が多数あり。 植栽帯(幅1.0m)内に列植されている。 単木で掘り取ると相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	60		カイヅカイブキ		4.5	71	3.0	―	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.95	B			○				○		有	中	巻き根(小)あり。 片側(建物側)の枝に枯枝が多数あり。 植栽帯(幅1.0m)内に列植されている。 単木で掘り取ると相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	61		カイヅカイブキ		4.5	73	3.0	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B			○				○		有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 植栽帯(幅1.0m)内に列植されている。根鉢確保が困難である。 単木で掘り取ると相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	62		カイヅカイブキ		4.5	71	3.0	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B			○				○		有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 植栽帯(幅1.0m)内に列植されている。根鉢確保が困難である。 単木で掘り取ると相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	63		カイヅカイブキ		6.0	76	2.5	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B			○				○		有	中	樹幹傾斜あり。枯枝あり。 植栽帯(幅1.2m)内に列植されている。幹芯から縁石までの離隔距離0.5m。 単木で掘り取ると相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	64		カイヅカイブキ		6.0	82	2.5	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B			○				○		有	中	植栽帯(幅1.2m)内に列植されている。幹芯から縁石までの離隔距離0.5m。 単木で掘り取ると相互被圧による樹形の乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	65		カイヅカイブキ		4.5	34	1.0	―	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A		○		○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		A			
A	66		カイヅカイブキ		4.5	37	1.0	―	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A		○		○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		A			
A	67		カイヅカイブキ		4.5	38	1.0	―	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A		○		○					無	小	―		●		A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Aエリア:秩父宮ラグビー場	調査日	2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》					STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
A	68	カイヅカイブキ	4.5	30	1.0	ー	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A		○		○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		A			
A	69	カイヅカイブキ	6.0	76	3.0	ー	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	ー		●		A			
A	70	カイヅカイブキ	6.0	65 (H1.5m)	3.0	ー	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.95	B			○				○		無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 階段脇に位置し、片枝が強く剪定されており、樹形不良で移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 ※階段側は防音シートに覆われているため未確認 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
A	71	キンモクセイ	6.0	2本立	3.0	43,27 (H0.1m)	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.85	B		○		○					無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 片枝樹形である。		●		B			
A	72	サクラ	6.0	58	4.0	ー	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○				○		有	中	幹(H1.1m)に開口空洞 50×3×5/18あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
A	73	サクラ	7.0	46	5.0	ー	3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B			○				○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 幹(H1.0m)に開口空洞 70×1×5/15あり。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～0.4mあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
A	74	サクラ	8.0	90	8.0	ー	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○			○				有	小	剪定樹形である。幹芯から縁石までの離隔距離0.6m。樹形維持、根鉢確保が可能である。		●		A			
A	75	サクラ	8.0	62	5.0	ー	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○			○				有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 植栽帯(幅1.4m)内にある。樹形維持、根鉢確保が可能である。		●		A			
A	76	サクラ	8.5	74	5.0	ー	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○			○				有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 植栽帯(幅1.4m)内にある。樹形維持、根鉢確保が可能である。		●		A			
A	77	サクラ	8.5	80	6.0	ー	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○			○				有	中	巻き根(中)あり。 植栽帯(幅1.4m)内にある。幹芯から縁石までの離隔距離0.45m。樹形維持、根鉢確保が可能である。		●		A			
A	78	サクラ	8.5	66	6.0	ー	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○			○				有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 樹幹傾斜(小)あり。 隣木のカイヅカイブキと近接(1.5m)している。 植栽帯(幅1.4m)内にある。幹芯から縁石までの離隔距離0.35m。樹形維持、根鉢確保がかろうじて可能である。		●		A			
A	79	サクラ	9.5	128	8.0	ー	2.0	1.5	2.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A			○				○		有	小	縁石持ち上げあり。 街灯、隣木のカイヅカイブキと近接している。 植栽帯(幅1.4m)のL字部分に位置する。幹芯から縁石までの離隔距離0.4m。露出根大きい。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	80	カイヅカイブキ	6.5	60 (H1.7)	2.5	ー	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.20	B			○				○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 仮設フェンスに近接しているため、適正根鉢確保困難。 階段脇に位置し、片枝が強く剪定されており、樹形不良で移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 ※階段側は防音シートに覆われているため未確認 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
A	81	カイヅカイブキ	6.5	75	2.5	ー	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		A			
A	82	カイヅカイブキ	6.5	70	2.5	ー	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		A			
A	83	カイヅカイブキ	6.0	63	2.5	ー	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	ー		●		A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名				Aエリア：秩父宮ラグビー場																調査日				2023 年　5 月　25 日　～　2023 年　5 月　25 日												伐採理由		
エリア	樹木番号		樹種名		規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
					樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
A	84		カイヅカイブキ		6.0	60	2.5	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B			○				○		無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 樹幹傾斜（小）、根元の揺らぎ（小）あり。 片側の枝が枯れており、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
A	85		カイヅカイブキ		6.5	70	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。		●		A			
A	86		カイヅカイブキ		7.0	73	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 仮設フェンス内に位置する。		●		A			
A	87		カイヅカイブキ		7.0	72	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 仮設フェンス内に位置する。		●		A			
A	88		カイヅカイブキ		7.0	75	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	89		カイヅカイブキ		7.0	77	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	90		カイヅカイブキ		7.0	91	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	91		カイヅカイブキ		7.0	82	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	92		カイヅカイブキ		7.0	86	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	93		カイヅカイブキ		7.0	74	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	樹幹傾斜あり。 仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	94		カイヅカイブキ		7.0	78	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	95		カイヅカイブキ		7.0	85	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	96		カイヅカイブキ		7.0	94	2.5	―	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	小	西側の枝葉がない。 生垣の西端に位置する。 根元から西側1mに街灯あり。 仮設フェンスに近接する。		●		A			
A	97		シラカシ		7.0	47	3.0	―	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	小	若木である。		●		B			
A	98		シラカシ		6.5	50	2.0	―	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	大	若木である。 隣木シラカシと相互被圧あり。		●		B			
A	99		シラカシ		6.5	36	2.5	―	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	1.0	2.05	B		○		○					無	中	若木である。 隣木シラカシと相互被圧あり。 相互被圧はあるが、若い樹で萌芽力が有り、移植後の樹形回復が期待できる。			●	B			
A	100		シラカシ		4.0	23	2.0	―	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	3.0	1.0	2.30	B		○		○					無	中	若木である。 被圧樹形である。 相互被圧はあるが、若い樹で萌芽力が有り、移植後の樹形回復が期待できる。			●	B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日

エリア	樹木番号	樹種名	結実	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	南北	全体 樹形	樹勢	先端部(頂部)以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	先端部(頂部) 梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
																																		該当に●			ABCD
【西側銀杏並木】 Bエリア：銀杏並木																																					
B	西1	イチョウ	実	26.0	280	10.4	12.7	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.53	A	イチョウ並木の最南端に位置。西1～10・29～48明治神宮管理。 根元GLは歩道＋35cm。ロイヤルガーデンカフェのデッキに囲まれている。 本年の剪定後、不定芽から伸長した葉が小さく、葉色も薄い。	●			A
B	西2	イチョウ		31.0	282	10.4	11.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.63	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.64	A	2つのカフェの入口に位置。根元は緑色のシートに覆われている。 踏圧害あり。 枝先端部に葉の萎れあり。	●			A
B	西3	イチョウ		32.0	270	7.2	9.4	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.63	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.64	A	キハチガーデンデッキ内に位置。根元GLは歩道＋30cm。 根元は深植え状態。	●			A
B	西4	イチョウ	実	29.5	233	7.4	8.3	1.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.69	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.69	A	キハチガーデンデッキ内に位置。根元は深植え状態。 大枝 開口空洞(大) 複数あり。損傷被覆材が発達。 幹 開口空洞(西側)(未芯達)あり。 樹冠全体に葉の縮れあり。特に高さ約10～20mに目立つ。	●			B
B	西5	イチョウ	実	30.5	274	8.8	10.2	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.69	A	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.79	B	枝先端部に葉の萎れあり。	●			A
B	西6	イチョウ		33.5	310	9.1	9.1	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.69	A	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.79	B	枝先端部に葉の萎れあり。	●			A
B	西7	イチョウ	実	31.5	233	9.4	10.1	2.0	2.5	1.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.00	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.95	B	2.00	B	スダジイと相互被圧あり。 樹冠全体に葉の縮れあり。特に高さ約10～20mに目立つ。	●			A
B	西8	イチョウ	実	32.0	230	9.2	9.1	2.0	2.5	1.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.00	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.95	B	2.00	B	スダジイと相互被圧あり。 樹冠全体に葉の縮れあり。特に高さ約10～20mに目立つ。	●			A
B	西9	イチョウ	実	32.0	235	8.3	8.1	2.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.13	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.95	B	2.06	B	スダジイと相互被圧あり。剪定により葉量がやや少ない。 枯枝(北西側) H:4.5m φ15cm L:2.5m。要切除。 樹冠全体に葉の縮れあり。特に高さ約10～20mに目立つ。	●			A
B	西10	イチョウ	実	30.0	226	10.1	9.9	2.0	2.5	1.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.00	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.95	B	2.00	B	ラグビー場方面との角地に位置。西1～10・29～48明治神宮管理。 スダジイと相互被圧あり。 樹冠全体に葉の縮れあり。特に高さ約10～20mに目立つ。	●			A
B	西11	イチョウ	実	26.0	294	11.1	10.3	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.85	B	西11～28 港区管理 。植栽帯幅1.6m(内径)。 幹 開口空洞 H:1.3m 80×10×13/60cm(未芯達)。		移植検討		A
B	西12	イチョウ	実	26.0	238	9.8	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B			移植検討		A
B	西13	イチョウ		26.5	243	8.7	8.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西14	イチョウ	実	25.0	269	10.2	10.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A	駐車場側(南側) 下枝に葉の褐変あり。		移植検討		A
B	西15	イチョウ	実	25.0	270	7.4	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.90	B	樹冠の中部から上部に葉の褐変症状が複数見られる。 高さ15mより上部の葉に褐変が疎らに見られる。		移植検討		A
B	西16	イチョウ		26.0	250	10.8	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.90	B	高さ15mより上部の葉に褐変が疎らに見られる。		移植検討		A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日

エリア	樹木番号	樹種名	結実	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張り(m) 東西	規格 葉張り(m) 南北	全体 樹形	全体 樹勢	先端部(頂部)以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	先端部(頂部)以外の枝葉 梢端の枯損	先端部(頂部)以外の枝葉 枝の伸長量	先端部(頂部)以外の枝葉 枝葉の密度	先端部(頂部)以外の枝葉 緑量	先端部(頂部)以外の枝葉 葉色	先端部(頂部)以外の枝葉 葉の大きさ	先端部(頂部)以外の枝葉 葉形	先端部(頂部)以外の枝葉 平均評点	先端部(頂部)以外の枝葉 評価結果	先端部(頂部) 梢端の枯損	先端部(頂部) 枝の伸長量	先端部(頂部) 枝葉の密度	先端部(頂部) 緑量	先端部(頂部) 葉色	先端部(頂部) 葉の大きさ	先端部(頂部) 葉形	先端部(頂部) 褐変	先端部(頂部) 落葉	先端部(頂部) 平均評点	先端部(頂部) 評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存 (該当に●)	移植 (該当に●)	伐採 (該当に●)	2019年春季調査活力度評価 ABCD
B	西17	イチョウ		25.5	270	8.5	9.1	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.79	B	不定根誘導処置 幹 南側 H:0～6.0m、W:30cm。		移植検討		B
B	西18	イチョウ		25.5	256	9.7	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B			移植検討		A
B	西19	イチョウ		25.5	253	11.4	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西20	イチョウ		25.0	298	10.6	10.0	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.69	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.66	A	不定根誘導処置 幹 北側 H:0～5.0m、W:50cm。 樹勢･樹形良好。		移植検討		A
B	西21	イチョウ		24.5	250	9.1	7.8	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.79	B	不定根誘導処置 幹 北側 H:0～7.0m、W:45cm。		移植検討		B
B	西22	イチョウ	実	24.5	240	8.2	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.07	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	2.03	B	高さ10mより上部、特に20mより上部に黄葉が始まっている。		移植検討		A
B	西23	イチョウ		25.0	267	10.3	10.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A			移植検討		A
B	西24	イチョウ		25.0	228	8.1	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.07	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.90	B			移植検討		A
B	西25	イチョウ	実	26.0	219	10.0	8.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西26	イチョウ		25.5	213	8.5	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西27	イチョウ	実	26.0	203	9.4	9.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.77	B			移植検討		A
B	西28	イチョウ		25.0	270	10.8	10.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.79	B	西11～28 港区管理 。植栽帯幅1.6m(内径)。 幹 開口空洞H:0.5m 20×5×10/80cm(未芯達)、損傷被覆材発達。		移植検討		A
B	西29	イチョウ	実	31.5	270	10.6	10.1	3.0	3.5	1.5	3.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.69	C	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D	3.37	D	SHAKE SHACKテラス内に位置。枝の伸長が短く、葉が小さい。 多くの葉に縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理障害によるものと思われる。 高さ15mより上部が全て落葉。先端部の枯れかどうかは不明。 樹冠中央部まで全て落葉。残る葉は小さく、縮れ、褐変が多い。結実量少。	●			A
B	西30	イチョウ		30.5	266	10.2	10.9	2.5	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.32	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	3.0	2.5	2.0	1.0	2.28	B	2.35	B	SHAKE SHACKテラス内の角に位置。 枝の伸長が短く、葉が小さい。 大枝に胴吹きが多く、樹冠全体に葉の縮れあり。	●			A
B	西31	イチョウ	実	29.0	261	9.9	10.9	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.13	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.23	B	2.19	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。	●			A
B	西32	イチョウ		30.5	247	10.8	10.7	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.13	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.0	1.95	B	2.06	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名								Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）												調査日					2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日												
				規格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）													備考				
エリア	樹木番号	樹種名	結実	樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）東西	葉張り（m）南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果		保存（該当に●）	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 ABCD
B	西33	イチョウ		30.5	231	9.6	9.0	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	3.0	1.0	2.12	B	2.19	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。 一部の葉に縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理障害によるものと思われる。 西側、特に下枝に葉の黄変あり。 上部の葉は密度はあるものの、褐変症状が見られる。 下部に少し落葉が見られる。	●			A
B	西34	イチョウ		27.0	229	11.3	11.0	2.5	3.5	1.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	1.5	2.88	C	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	3.5	3.56	D	3.22	C	枝の伸長が短く、葉が小さい。 多くの葉に縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理障害によるものと思われる。 西側、葉の黄変多数、落葉あり、上部はほぼ褐変。東側の葉は緑色。 頂部はほぼ落葉。葉が小さい。 西側に落葉、葉の褐変多数。東側の葉に縮れあり。	●			A
B	西35	イチョウ	実	27.5	212	9.2	9.7	2.0	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.98	B	褐変症状は見られない。	●			A
B	西36	イチョウ		27.5	280	9.8	10.3	2.5	3.5	1.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.5	2.50	B	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D	3.27	D	枝の伸長が短く、葉が小さい。 樹冠全体に褐変症状あり。特に上部の葉に顕著に見られる。 生理障害によるものと思われる。 頂部約10m落葉。西側、下部にも落葉あり。 高さ約17mまで全て落葉。高さ10mより上部は葉が小さく、縮れ多数。	●			A
B	西37	イチョウ		27.0	248	8.9	10.0	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	2.03	B	東側、樹冠中央部1～2枝に葉の黄変あり。 樹冠全体の葉が小さく、大枝に胴吹きが多い。	●			A
B	西38	イチョウ		26.0	240	9.8	11.2	2.0	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	2.00	B	葉の黄変症状なし。 樹冠全体の葉が小さく、大枝に胴吹きが多い。	●			A
B	西39	イチョウ		27.0	211	8.2	8.0	2.0	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	2.00	B	葉の黄変症状なし。 樹冠全体の葉が小さく、大枝に胴吹きが多い。	●			A
B	西40	イチョウ	実	27.0	214	8.8	7.8	3.0	3.5	1.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.25	C	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D	3.61	D	枝の伸長が短く、葉が小さく、葉量が少ない。 ほぼ全葉に縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理障害によるものと思われる。 東側下部のみ緑の葉を残し。樹冠全体の葉が褐変。 並木内で最も樹勢が悪い。高さ10mより上部が全て落葉。結実多数。 残る葉は少なく、小さい。高さ5～8mに黄変、褐変が多い。	●			A
B	西41	イチョウ		29.5	262	9.8	10.8	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.0	2.23	B	2.24	B	西側樹冠中央部に葉の黄変・褐変症状が4～5枝程度あり。 高さ7mより上部全体の葉が小さく、縮れあり。	●			A
B	西42	イチョウ	実	27.0	250	8.9	8.3	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.0	2.12	B	2.19	B	葉の密度がやや疎、葉の萎れあり。 根元のヘデラにも葉の変色あり。	●			A
B	西43	イチョウ		28.5	259	9.4	9.5	2.5	3.5	1.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.25	C	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.45	D	3.32	D	樹冠中央部、南と西側に葉の褐変症状が多い。上部の葉は褐変が少ない。 全葉に縮れ、褐変あり。	●			A
B	西44	イチョウ	実	28.0	304	9.7	10.6	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.32	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.84	B	2.08	B	頂部に葉の縮れあり。	●			A
B	西45	イチョウ		27.5	241	8.2	7.4	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.32	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.84	B	2.08	B		●			A
B	西46	イチョウ	実	28.0	250	10.1	9.3	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.32	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.84	B	2.08	B	西側に褐変あり。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日

エリア	樹木番号	樹種名	結実	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張り(m) 東西	規格 葉張り(m) 南北	全体 樹形	全体 樹勢	先端部(頂部)以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	先端部(頂部) 梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 ABCD
																																		該当に●			
B	西47	イチョウ		27.0	269	9.4	9.6	2.5	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.78	B	1.87	B	幹の上部が屈曲。	●			A
B	西48	イチョウ	実	26.5	242	9.0	10.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.78	B	1.85	B	イチョウ並木の最北端に位置。西1～10･29～48明治神宮管理。	●			A
B	西49	イチョウ	実	25.0	255	9.7	10.4	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	イチョウ並木の最北端に位置。西49～78東京都管理。 幹 開口空洞H:0.9m 40×3×33/60cm(芯達)、損傷被覆材発達。	●			A
B	西50	イチョウ		27.5	248	9.4	11.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B		●			A
B	西51	イチョウ	実	25.0	182	9.3	9.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.95	B		●			B
B	西52	イチョウ		27.5	198	9.4	10.6	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.98	B	幹 開口空洞(大枝剪定痕) H:1.6m 15×13×10/60cm (未芯達)。	●			A
B	西53	イチョウ		26.5	194	8.5	8.6	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.98	B	幹 開口空洞 H:09m 80×17×10/50cm、損傷被覆材発達。 西側に隣り合う44より葉色が黄色。 黄葉が周囲のイチョウより早く、全葉が小さく、縮れあり。	●			A
B	西54	イチョウ		27.5	190	8.9	11.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.93	B		●			A
B	西55	イチョウ		29.0	206	10.5	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.93	B		●			A
B	西56	イチョウ	実	20.5	186	8.9	9.2	2.5	2.0	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.07	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	2.06	B	樹高がやや低く、幹の梢端が北側に屈曲。 大枝(車道側) 開口空洞 H:1.8m 120×17×3/15cm(未芯達)。	●			A
B	西57	イチョウ		28.5	252	10.1	10.1	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	2.00	B	大枝 開口空洞(車道側) H1.5m 30×20×30/40cm(芯達) 要切除。	●			A
B	西58	イチョウ		28.0	200	9.9	10.1	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.95	B	幹 開口空洞H:0.8m80×20×10/75cm(未芯達)、損傷被覆材発達。	●			A
B	西59	イチョウ	実	23.5	198	10.2	10.1	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.07	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.11	B	葉がやや小さく、葉色が薄い。 幹 開口空洞 H0.6m 100×10×7/45cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。 幹 開口空洞 H:1.5m 20×15×20 (大枝剪定痕)同高さに他2箇所。	●			A
B	西60	イチョウ		25.0	182	9.4	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.93	B		●			A
B	西61	イチョウ		24.0	184	9.6	11.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.93	B		●			A
B	西62	イチョウ	実	24.5	181	10.2	10.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.93	B		●			A
B	西63	イチョウ		27.0	202	9.5	11.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.93	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名								Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）												調査日					2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日												
				規格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）													備考				
エリア	樹木番号	樹種名	結実	樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）東西	葉張り（m）南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果		保存（該当に●）	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価（ABCD）
B	西64	イチョウ	実	29.0	226	10.1	8.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.82	B		●			A
B	西65	イチョウ		25.5	222	9.5	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.82	B		●			A
B	西66	イチョウ		28.5	225	10.4	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.90	B	下枝高がやや高い。	●			A
B	西67	イチョウ		26.5	187	9.7	9.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.90	B	下枝高がやや高い。	●			A
B	西68	イチョウ		28.5	221	8.7	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.56	A	1.72	A	ラグビー場方面に曲がる角地に位置。	●			A
B	西69	イチョウ		29.0	247	10.5	11.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.82	B	ラグビー場方面に曲がる角地に位置。	●			A
B	西70	イチョウ		28.5	213	10.5	11.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.56	A	1.58	A		●			A
B	西71	イチョウ	実	28.5	189	9.6	9.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	樹冠内中央部に葉の黄変症状あり。特に東側上部に黄変が多い。 結実が多い。実がついている枝は落葉している。	●			A
B	西72	イチョウ		28.0	214	9.1	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.56	A	1.72	A		●			A
B	西73	イチョウ		27.5	208	9.3	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.56	A	1.72	A	葉の黄葉が始まっている。	●			A
B	西74	イチョウ		28.5	232	9.7	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.69	A	葉の黄葉が始まっている。	●			A
B	西75	イチョウ		27.0	213	10.5	10.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.69	A	葉の黄葉が始まっている。	●			A
B	西76	イチョウ		27.0	248	10.0	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.69	A	葉の黄葉が始まっている。	●			A
B	西77	イチョウ		26.5	229	7.9	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.66	A	葉の黄葉が始まっている。	●			A
B	西78	イチョウ		26.0	261	10.4	12.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.50	A	イチョウ並木の最南端に位置。西49～78東京都管理。 剪定のモデル樹。植栽帯幅3.25m。 葉の黄葉が始まっている。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名				規　格				Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）		先端部(頂部)以外の枝葉										調査日	2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日									備　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
エリア	樹木番号	樹種名	結実	樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	葉張り(m) 南北	樹形	樹勢	大枝の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果		該当に●			ABCD
【東側銀杏並木】 Cエリア：銀杏並木東																																			
C	東1	イチョウ	実	27.5	237	10.3	10.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.50	A	イチョウ並木の最南端に位置。東1～34東京都管理。	●			A
C	東2	イチョウ		28.0	227	9.2	9.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.50	A		●			A
C	東3	イチョウ	実	29.5	267	10.4	10.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A		●			A
C	東4	イチョウ	実	29.0	242	9.8	10.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A		●			A
C	東5	イチョウ		29.0	248	10.0	9.5	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.64	A	大枝付根 開口空洞(車道側) H:1.3m 75×15×5/15(68)㎝。 幹 開口空洞(大枝付根) H:1.3m 20×10×15/50(230)㎝。 大枝付根の開口空洞が幹にも空洞が拡がっているため要切除。	●			A
C	東6	イチョウ	実	29.0	231	9.0	9.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東7	イチョウ	実	30.0	200	8.3	9.3	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.75	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.61	A	幹 開口空洞(大枝付根) H:2.0m 60×10×15/50(230)㎝。	●			A
C	東8	イチョウ		28.0	227	9.5	9.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東9	イチョウ	実	28.0	214	7.7	9.1	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.75	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.61	A	幹 開口空洞(大枝剪定痕) H:1.7m 30×15×15/60(230)㎝。 大枝付根 開口空洞(歩道側) H:1.5m 60×10×3/15(63)㎝。	●			A
C	東10	イチョウ	実	27.5	194	9.3	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東11	イチョウ		28.5	308	9.9	9.9	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.69	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.58	A	大枝付根　開口空洞 H:1.5m 50×30×15/40㎝(未芯達)。	●			A
C	東12	イチョウ	実	27.5	210	9.8	9.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東13	イチョウ	実	25.0	186	8.5	9.1	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.64	A	樹高がやや低く、幹の梢端が屈曲。	●			A
C	東14	イチョウ	実	28.0	224	10.0	10.5	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.75	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.61	A	大枝　開口空洞 H:2.0m 40×20×20/45cm(未芯達)。	●			A
C	東15	イチョウ	実	29.0	240	9.7	9.7	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.69	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.58	A	幹 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.9m 30×20㎝。	●			A
C	東16	イチョウ	実	29.0	229	9.3	9.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名								Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）												調査日					2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日													
エリア	樹木番号	樹種名	結実	規格				全体		先端部(頂部)以外の枝葉										先端部(頂部)													備考		該当に●			2019年春季調査活力度評価
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	葉張り(m) 南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果		保存	移植	伐採	ABCD
C	東17	イチョウ		29.0	217	9.6	10.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.66	A		●			A
C	東18	イチョウ		28.0	195	8.0	8.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東19	イチョウ	実	28.5	247	9.3	10.0	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.75	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.61	A	幹　開口空洞 H:0.9m 150×25×20/90cm(未芯達)。	●			A
C	東20	イチョウ	実	27.0	195	8.3	10.9	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.69	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.58	A	大枝付根　開口空洞 H:2.0m 20×15×20/50cm(未芯達)。	●			A
C	東21	イチョウ		26.0	184	8.7	8.9	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.78	B	1.85	B	幹 開口空洞 H:0.4m 35×8×15/70cm(未芯達)、損傷被覆材発達。 枝張りがやや小さい。	●			A
C	東22	イチョウ		28.0	217	9.1	9.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東23	イチョウ		28.0	190	8.2	10.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東24	イチョウ	実	27.0	183	9.0	8.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.69	A	樹冠下部の葉量がやや疎。	●			A
C	東25	イチョウ	実	27.5	211	8.8	8.8	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.72	A	幹 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.5m 35×20cm。	●			A
C	東26	イチョウ	実	27.5	206	8.6	8.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.56	A		●			A
C	東27	イチョウ		28.0	231	8.6	9.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.50	A		●			A
C	東28	イチョウ	実	29.0	203	8.5	8.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.66	A		●			A
C	東29	イチョウ	実	28.0	272	9.1	10.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A		●			A
C	東30	イチョウ	実	28.0	200	8.7	7.8	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A		●			A
C	東31	イチョウ	実	29.0	227	7.5	7.9	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.69	A	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.69	A	幹 開口空洞 H:0.3m 50×15×15/85cm(未芯達)、損傷被覆材発達。	●			A
C	東32	イチョウ		27.5	288	10.4	11.1	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.69	A	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.74	A	幹の梢端が北側に屈曲。 幹開口空洞（大枝剪定痕） H:1.4m 45×25×10/80cm(未芯達)。	●			A
C	東33	イチョウ		28.0	256	8.7	8.7	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.72	A	大枝付根腐朽(車道側) H:1.5m φ40cm 60×20cm。 大枝開口空洞(南東側) H:1.5m 30×15×5/30cm。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日

エリア	樹木番号	樹種名	結実	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張り(m) 東西	規格 葉張り(m) 南北	全体 樹形	全体 樹勢	先端部(頂部)以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	先端部(頂部)以外の枝葉 梢端の枯損	先端部(頂部)以外の枝葉 枝の伸長量	先端部(頂部)以外の枝葉 枝葉の密度	先端部(頂部)以外の枝葉 緑量	先端部(頂部)以外の枝葉 葉色	先端部(頂部)以外の枝葉 葉の大きさ	先端部(頂部)以外の枝葉 葉形	先端部(頂部)以外の枝葉 平均評点	先端部(頂部)以外の枝葉 評価結果	先端部(頂部) 梢端の枯損	先端部(頂部) 枝の伸長量	先端部(頂部) 枝葉の密度	先端部(頂部) 緑量	先端部(頂部) 葉色	先端部(頂部) 葉の大きさ	先端部(頂部) 葉形	先端部(頂部) 褐変	先端部(頂部) 落葉	先端部(頂部) 平均評点	先端部(頂部) 評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
																																		該当に●			ABCD
C	東34	イチョウ		26.0	335	11.4	14.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.63	A	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.56	A	1.58	A	イチョウ並木の最北端に位置。東1～34東京都管理。	●			A
C	東35	イチョウ		27.0	310	12.5	13.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A	イチョウ並木の最北端に位置。東35～68明治神宮管理。 梢端の0.5mのみ葉量が疎。 梢端部0.5mのみ落葉。	●			A
C	東36	イチョウ	実	28.0	225	9.7	10.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
C	東37	イチョウ		29.5	246	9.2	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A		●			A
C	東38	イチョウ		30.0	301	10.2	10.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.77	B		●			A
C	東39	イチョウ	実	31.0	263	8.5	8.9	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.87	B	幹 開口空洞 H:0.2m 40×10×35/125㎝(未芯達)、損傷被覆材発達。	●			A
C	東40	イチョウ	実	29.0	216	9.8	9.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
C	東41	イチョウ		29.0	253	9.7	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
C	東42	イチョウ		30.0	254	8.9	10.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
C	東43	イチョウ		30.5	263	8.5	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
C	東44	イチョウ		31.0	263	9.3	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
C	東45	イチョウ	実	29.0	229	8.2	7.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B	上部の着葉が疎ら。	●			A
C	東46	イチョウ	実	31.0	267	8.1	11.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.77	B		●			A
C	東47	イチョウ		29.5	258	9.4	9.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.77	B	高さ約10mより上部の樹冠全体に葉の萎れあり。	●			A
C	東48	イチョウ		28.0	280	10.5	11.3	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.77	B		●			A
C	東49	イチョウ	実	31.5	257	9.7	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B		●			A
C	東50	イチョウ	実	32.0	266	12.0	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名				Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）														調査日										2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日			備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				規　格				全体		先端部(頂部)以外の枝葉								先端部(頂部)														該当に●			ABCD
エリア	樹木番号	樹種名	結実	樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	葉張り(m) 南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果					
C	東51	イチョウ		31.0	234	9.8	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東52	イチョウ	実	33.0	234	9.2	10.4	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.98	B	大枝開口空洞(歩道側) H:1.6m 50×15×10/20cm(芯達)。 歩道上部に伸びる大枝の開口空洞が芯に達しているため要切除。	●			A
C	東53	イチョウ	実	28.5	199	7.3	6.7	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.98	B	幹の梢端が北側に屈曲。 幹 開口空洞 H:0.7m　140×20×15/80(未芯達)。	●			A
C	東54	イチョウ	実	31.5	237	8.2	10.4	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.98	B	大枝付根開口空洞(南側) H:1.6m 120×10×20/25cm(貫通)。 緑地内大枝開口空洞(貫通)は損傷被覆材の発達あり、要経過観察。 萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東55	イチョウ		30.5	233	9.0	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B		●			A
C	東56	イチョウ		31.5	237	7.8	8.7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.69	A	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東57	イチョウ		31.5	255	9.7	10.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東58	イチョウ		32.0	240	7.5	8.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東59	イチョウ		32.0	222	9.8	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B		●			A
C	東60	イチョウ	実	33.5	234	9.6	10.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B		●			A
C	東61	イチョウ	実	32.5	235	9.2	9.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B		●			A
C	東62	イチョウ		34.0	246	10.2	10.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B		●			A
C	東63	イチョウ		31.0	257	10.6	10.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東64	イチョウ		30.0	237	9.5	9.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B		●			A
C	東65	イチョウ		31.0	242	9.4	9.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.69	A	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東66	イチョウ	実	32.0	246	10.0	10.4	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.63	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.72	A	根元 開口空洞 40×10×20/120cm。 萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東67	イチョウ	実	29.0	208	10.1	8.9	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.77	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 10 月 23 日 ～ 10 月 24 日

エリア	樹木番号	樹種名	結実	規　格				全体		先端部(頂部)以外の枝葉										先端部(頂部)													備　　考				
				樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果		保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
						東西	南北																											該当に●			ABCD
C	東68	イチョウ	実	30.0	244	9.9	10.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.69	A	イチョウ並木の最南端に位置。東35～68明治神宮管理。 萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）											総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m） 東西	南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果				該当に●			ABCD
【西側銀杏並木】 Bエリア：銀杏並木																																				
B	西1	イチョウ	26.0	280	8.8	10.8	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	イチョウ並木の最南端に位置。西1～10・29～48明治神宮管理。根元GLは歩道＋35㎝。ロイヤルガーデンカフェのデッキに囲まれている。今年の剪定後に伸長した胴吹き枝の葉が小さく、葉色も薄い。	●			A
B	西2	イチョウ	30.5	284	9.9	10.1	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B	2つのカフェの入口に位置。根元は緑色のシートに覆われている。 踏圧害あり。 枝先端部に葉の萎れあり。	●			A
B	西3	イチョウ	31.5	270	6.5	8.6	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B	キハチガーデンデッキ内に位置。根元GLは歩道＋30㎝。 根元は深植え状態。	●			A
B	西4	イチョウ	29.5	233	6.8	7.4	2.0	2.5	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B	キハチガーデンデッキ内に位置。根元は深植え状態。 大枝 開口空洞(大) 複数あり。損傷被覆材が発達。 幹 開口空洞(西側)(未芯達)あり。	●			B
B	西5	イチョウ	30.0	274	8.6	10.3	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B	枝先端部に葉の萎れあり。	●			A
B	西6	イチョウ	33.0	309	9.1	9.0	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B	枝先端部に葉の萎れあり。	●			A
B	西7	イチョウ	31.0	233	9.0	9.8	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.03	B	スダジイと相互被圧あり。	●			A
B	西8	イチョウ	32.0	230	9.7	8.4	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.03	B	スダジイと相互被圧あり。	●			A
B	西9	イチョウ	32.0	237	7.7	7.5	2.0	2.5	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.07	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.08	B	スダジイと相互被圧あり。 枯枝(北西側) H:4.5m φ15cm L:2.5m。要切除 剪定により葉量がやや少ない。	●			A
B	西10	イチョウ	30.0	226	9.7	10.2	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.03	B	ラグビー場方面との角地に位置。西1～10・29～48明治神宮管理。 スダジイと相互被圧あり。	●			A
B	西11	イチョウ	26.0	290	11.1	9.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.85	B	西11～28 港区管理 。植栽帯幅1.6m(内径)。 幹 開口空洞 H:1.3m 80×10×13/60cm(未芯達)。		移植検討		A
B	西12	イチョウ	26.0	235	8.9	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.90	B			移植検討		A
B	西13	イチョウ	26.5	243	9.0	8.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.90	B			移植検討		A
B	西14	イチョウ	26.0	263	10.2	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.93	B	駐車場側(南側) 下枝に葉の褐変あり		移植検討		A
B	西15	イチョウ	25.5	268	8.6	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.90	B	樹冠の中部から上部に葉の褐変症状が複数見られる		移植検討		A
B	西16	イチョウ	25.5	249	10.0	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.82	B			移植検討		A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日													
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）										総合評点	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果							
					東西	南北																										該当に●			ABCD
B	西17	イチョウ	26.5	270	8.4	8.7	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.79	B	不定根誘導処置 幹 南側 H:0～6.0m、W:30cm。		移植検討		B
B	西18	イチョウ	25.5	255	9.6	11.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B			移植検討		A
B	西19	イチョウ	26.0	252	11.1	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西20	イチョウ	25.0	296	9.9	10.0	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.69	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.66	A	不定根誘導処置 幹 北側 H:0～5.0m、W:50cm。 樹勢･樹形良好。		移植検討		A
B	西21	イチョウ	24.5	249	8.9	7.8	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.79	B	不定根誘導処置 幹 北側 H:0～7.0m、W:45cm。		移植検討		B
B	西22	イチョウ	24.5	235	8.2	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.77	B			移植検討		A
B	西23	イチョウ	24.5	266	10.4	11.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.61	A			移植検討		A
B	西24	イチョウ	25.5	229	8.0	8.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西25	イチョウ	26.0	217	9.9	7.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西26	イチョウ	26.0	213	8.6	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西27	イチョウ	26.5	203	8.9	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A			移植検討		A
B	西28	イチョウ	26.0	272	11.3	10.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.77	B	西11～28 港区管理 。植栽帯幅1.6m(内径)。 幹 開口空洞 H:0.5m 20×5×10/80cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。		移植検討		A
B	西29	イチョウ	32.0	270	10.7	10.4	3.0	3.5	1.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.82	C	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D	3.43	D	SHAKE SHACKテラス内に位置。枝の伸長が短く、葉が小さい。 多くの葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。 高さ15mより上部が全て落葉。先端部の枯れかどうかは不明。	●			A
B	西30	イチョウ	30.0	267	10.5	10.4	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B	SHAKE SHACKテラス内の角に位置。 枝の伸長が短く、葉が小さい。	●			A
B	西31	イチョウ	29.0	263	9.7	10.9	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。	●			A
B	西32	イチョウ	30.5	251	11.0	10.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.94	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.11	B		●			A
B	西33	イチョウ	29.5	232	10.6	9.1	2.0	3.0	1.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.5	2.50	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	2.45	B	2.48	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。 一部の葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。 西側、特に下枝に葉の黄変あり。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）												調査日					2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日													
エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張り(m) 東西	規格 葉張り(m) 南北	全体 樹形	全体 樹勢	先端部（頂部）以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	先端部（頂部） 梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
																																	該当に●			ABCD
B	西34	イチョウ	27.0	229	11.7	9.8	2.5	3.5	1.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	1.5	2.88	C	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	4.0	3.5	3.50	D	3.19	C	枝の伸長が短く、葉が小さい。 多くの葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。 西側、葉の黄変多数、落葉あり、上部はほぼ褐変。東側の葉は緑色。	●			A
B	西35	イチョウ	27.5	213	11.8	9.0	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	2.16	B	褐変症状は見られない。	●			A
B	西36	イチョウ	27.5	276	9.9	10.4	2.5	3.5	1.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	2.5	1.5	2.82	C	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5	3.45	D	3.14	C	枝の伸長が短く、葉が小さい。 樹冠全体と特に上部の葉に褐変症状が顕著に見られる。 生理的障害によるものと思われる。 上部約10m落葉。西側、下部にも落葉あり。	●			A
B	西37	イチョウ	26.5	248	10.2	9.8	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.95	B	2.14	B	東側、樹冠中央部1～2枝に葉の黄変あり。	●			A
B	西38	イチョウ	26.0	240	10.5	10.6	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	2.03	B	葉の黄変症状なし。	●			A
B	西39	イチョウ	26.5	210	9.4	8.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	2.03	B	葉の黄変症状なし。	●			A
B	西40	イチョウ	27.0	216	9.7	7.9	3.0	3.5	1.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	3.13	C	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5	3.45	D	3.29	D	枝の伸長が短く、葉が小さく、葉量が少ない。 ほぼ全葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。 東側下部のみ緑の葉を残し、樹冠全体の葉が褐変。	●			A
B	西41	イチョウ	29.0	263	10.3	9.9	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.23	B	2.27	B	西側樹冠中央部に葉の黄変・褐変症状が4～5枝程度あり。	●			A
B	西42	イチョウ	27.0	251	9.4	8.3	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B	葉の密度がやや疎、葉の萎れあり。 根元のヘデラにも葉の変色あり。	●			A
B	西43	イチョウ	28.5	260	9.6	8.8	2.0	3.5	1.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.63	C	2.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.5	3.0	2.0	2.56	C	2.61	C	樹冠の中央部、南と西側に葉の褐変症状が多い。 上部の葉は緑が多い。	●			A
B	西44	イチョウ	27.5	304	9.8	10.1	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西45	イチョウ	27.5	243	8.3	7.7	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	2.14	B		●			A
B	西46	イチョウ	27.5	251	9.8	9.4	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	2.14	B		●			A
B	西47	イチョウ	27.0	267	9.3	9.3	2.5	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	2.16	B	幹の上部が屈曲。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日													
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）										総合評点	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果							
					東西	南北																										該当に●			ABCD
B	西48	イチョウ	26.0	243	10.0	10.2	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	2.11	B	イチョウ並木の最北端に位置。西1～10・29～48明治神宮管理。	●			A
B	西49	イチョウ	25.0	253	10.3	10.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	イチョウ並木の最北端に位置。西49～78東京都管理。 幹 開口空洞 H:0.9m　40×3×33/60cm(芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
B	西50	イチョウ	27.5	247	9.3	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西51	イチョウ	25.0	182	9.4	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	1.98	B		●			B
B	西52	イチョウ	27.5	198	9.6	10.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	2.00	B	幹 開口空洞(大枝剪定痕) H:1.6m 15×13×10/60cm (未芯達)	●			A
B	西53	イチョウ	26.5	193	8.4	9.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.88	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	2.00	B	幹 開口空洞 H:09m 80×17×10/50cm、損傷被覆材が発達。 西側に隣り合う44より葉色が黄色。	●			A
B	西54	イチョウ	27.0	186	8.9	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	1.98	B		●			A
B	西55	イチョウ	29.0	206	10.3	10.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	1.98	B		●			A
B	西56	イチョウ	20.0	187	8.2	9.4	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.98	B	樹高がやや低く、幹の梢端が北側に屈曲。 大枝(車道側) 開口空洞 H:1.8m 120×17×3/15cm(未芯達)	●			A
B	西57	イチョウ	28.5	247	8.9	9.8	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B	大枝 開口空洞(車道側) H1.5m 30×20×30/40cm(芯達) 要切除	●			A
B	西58	イチョウ	27.5	201	9.3	11.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B	幹 開口空洞 H:0.8m 80×20×10/75cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
B	西59	イチョウ	27.5	194	9.9	10.2	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B	葉がやや小さく、葉色が薄い。 幹 開口空洞 H0.6m 100×10×7/45cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。 幹 開口空洞 H:1.5m 20×15×20 (大枝剪定痕)同高さに他　2箇所	●			A
B	西60	イチョウ	25.0	182	8.4	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西61	イチョウ	23.5	183	9.7	10.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西62	イチョウ	24.5	181	10.1	10.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西63	イチョウ	27.0	202	9.3	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日												
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）										総合評価	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	大枝の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果						
					東西	南北																										該当に●			ABCD
B	西64	イチョウ	28.5	227	9.0	8.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B		●			A
B	西65	イチョウ	26.0	222	9.2	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B		●			A
B	西66	イチョウ	28.5	224	10.7	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	1.95	B		●			A
B	西67	イチョウ	27.0	188	9.1	8.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	2.03	B	下枝高がやや高い。	●			A
B	西68	イチョウ	29.0	220	9.2	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B	ラグビー場方面に曲がる角地に位置。	●			A
B	西69	イチョウ	28.5	247	10.9	11.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B	ラグビー場方面に曲がる角地に位置。	●			A
B	西70	イチョウ	28.0	211	10.0	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B		●			A
B	西71	イチョウ	29.0	188	9.0	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.95	B	樹冠内中央部に葉の黄変症状あり。特に東側上部に黄変が多い。	●			A
B	西72	イチョウ	28.0	214	8.9	10.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B		●			A
B	西73	イチョウ	28.0	207	9.1	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B		●			A
B	西74	イチョウ	28.0	233	10.0	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
B	西75	イチョウ	28.0	213	10.6	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.84	B	1.82	B		●			A
B	西76	イチョウ	27.0	248	11.0	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.67	A	1.74	A		●			A
B	西77	イチョウ	26.0	227	8.3	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.50	A	1.66	A		●			A
B	西78	イチョウ	26.0	260	10.6	12.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A	1.50	A	イチョウ並木の最南端に位置。西49～78東京都管理。 剪定のモデル樹。植栽帯幅3.25m。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	南北	全体 樹形	樹勢	先端部(頂部)以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	先端部(頂部) 梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
																																	該当に●			ABCD
【東側銀杏並木】 Cエリア：銀杏並木東																																				
C	東1	イチョウ	27.5	236	9.7	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B	イチョウ並木の最南端に位置。東1～34東京都管理。	●			A
C	東2	イチョウ	28.0	227	9.3	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東3	イチョウ	29.0	269	10.6	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
C	東4	イチョウ	29.0	233	10.0	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東5	イチョウ	29.0	249	9.6	9.5	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.85	B	大枝付根 開口空洞(車道側) H:1.3m 75×15×5/15(68)㎝ 幹 開口空洞(大枝付根) H:1.3m 20×10×15/50(230)㎝ 大枝付根の開口空洞が幹にも空洞が拡がっているため要切除	●			A
C	東6	イチョウ	28.0	229	9.3	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東7	イチョウ	28.0	200	9.1	9.6	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹 開口空洞(大枝付根) H:2.0m 60×10×15/50(230)㎝	●			A
C	東8	イチョウ	28.0	226	8.6	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東9	イチョウ	28.0	213	8.7	8.9	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹 開口空洞(大枝剪定痕) H:1.7m 30×15×15/60(230)㎝ 大枝付根 開口空洞(歩道側) H:1.5m 60×10×3/15(63)㎝	●			A
C	東10	イチョウ	27.5	195	9.6	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東11	イチョウ	28.0	304	10.2	9.9	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	大枝付根　開口空洞 H:1.5m 50×30×15/40㎝(未芯達)。	●			A
C	東12	イチョウ	27.5	206	9.2	9.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東13	イチョウ	25.0	186	8.9	9.2	3.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	樹高がやや低く、幹の梢端が屈曲。	●			A
C	東14	イチョウ	28.5	224	11.0	10.4	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	大枝　開口空洞 H:2.0m 40×20×20/45㎝(未芯達)。	●			A
C	東15	イチョウ	28.5	239	10.9	9.2	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.9m 30×20㎝。	●			A
C	東16	イチョウ	29.0	229	10.4	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）												調査日					2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日												
エリア	樹木番号	樹種名	規格				全体		先端部(頂部)以外の枝葉										先端部(頂部)											総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	葉張り(m) 南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果				該当に●			ABCD
C	東17	イチョウ	29.0	216	9.5	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.85	B		●			A
C	東18	イチョウ	28.0	195	9.0	8.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東19	イチョウ	28.0	247	8.7	9.9	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹　開口空洞 H:0.9m 150×25×20/90cm(未芯達)。	●			A
C	東20	イチョウ	26.0	195	8.6	11.4	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	大枝付根　開口空洞 H:2.0m 20×15×20/50cm(未芯達)。	●			A
C	東21	イチョウ	26.0	183	8.5	9.1	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 開口空洞 H:0.4m 35×8×15/70cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
C	東22	イチョウ	28.0	217	9.2	9.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東23	イチョウ	27.5	190	8.5	10.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東24	イチョウ	27.0	182	9.6	8.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東25	イチョウ	27.5	210	8.9	8.7	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.5m 35×20cm。	●			A
C	東26	イチョウ	27.5	205	9.7	8.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東27	イチョウ	28.0	230	9.1	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東28	イチョウ	28.5	203	8.7	9.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東29	イチョウ	28.0	271	9.3	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東30	イチョウ	28.0	199	8.9	7.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東31	イチョウ	29.0	227	8.8	8.6	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 開口空洞 H:0.3m 50×15×15/85cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
C	東32	イチョウ	27.5	288	10.0	11.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹の梢端が北側に屈曲。 幹開口空洞（大枝剪定痕） H:1.4m 45×25×10/80cm(未芯達)。	●			A
C	東33	イチョウ	28.0	252	6.9	9.2	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	大枝付根腐朽(車道側) H:1.5m φ40cm 60×20cm。 大枝開口空洞(南東側) H:1.5m 30×15×5/30cm。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日													
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）										総合評点	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	大枝の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果						該当に●	ABCD
					東西	南北																												
C	東34	イチョウ	25.5	333	12.0	13.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.79	B	イチョウ並木の最北端に位置。東1～34東京都管理。	●			A
C	東35	イチョウ	27.5	309	12.0	12.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.72	A	イチョウ並木の最北端に位置。東35～68明治神宮管理。 梢端の0.5mのみ葉量が疎。	●			A
C	東36	イチョウ	28.0	225	9.8	8.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
C	東37	イチョウ	29.0	246	8.8	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
C	東38	イチョウ	30.0	300	10.2	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
C	東39	イチョウ	30.0	263	9.3	9.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	幹 開口空洞 H:0.2m 40×10×35/125㎝(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
C	東40	イチョウ	29.0	216	9.2	8.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
C	東41	イチョウ	29.0	250	9.2	8.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東42	イチョウ	30.5	254	9.6	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東43	イチョウ	30.5	261	7.8	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東44	イチョウ	31.0	262	9.0	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東45	イチョウ	29.0	228	7.8	8.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東46	イチョウ	31.0	267	8.0	9.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東47	イチョウ	29.5	259	9.6	9.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B	葉の萎れあり。	●			A
C	東48	イチョウ	30.5	283	10.4	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東49	イチョウ	31.5	256	9.3	8.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東50	イチョウ	32.0	266	10.9	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）													調査日					2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日												
エリア	樹木番号	樹種名	規格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）												総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	葉張り(m) 南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果				該当に●			ABCD
C	東51	イチョウ	32.0	233	8.5	8.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東52	イチョウ	32.0	233	8.0	10.4	2.0	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.13	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.08	B	大枝開口空洞(歩道側) H:1.6m 50×15×10/20cm(芯達)。 歩道上部に伸びる大枝の開口空洞が芯に達しているため要切除	●			A
C	東53	イチョウ	28.5	200	7.1	7.1	2.5	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.07	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.08	B	幹の梢端が北側に屈曲。 幹 開口空洞 H:0.7m　140×20×15/80(未芯達)。	●			A
C	東54	イチョウ	31.5	237	8.2	9.8	2.0	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.13	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.08	B	大枝付根開口空洞(南側) H:1.6m 120×10×20/25cm(貫通)。 緑地内大枝開口空洞(貫通)は損傷被覆材の発達あり、要経過観察。 萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東55	イチョウ	30.0	232	8.6	8.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東56	イチョウ	31.0	237	8.0	8.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東57	イチョウ	31.5	254	9.5	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東58	イチョウ	31.5	238	7.5	8.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東59	イチョウ	32.0	224	9.9	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東60	イチョウ	33.5	233	9.8	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東61	イチョウ	32.5	233	9.6	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東62	イチョウ	34.0	246	10.3	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東63	イチョウ	31.0	253	10.1	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.57	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.85	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東64	イチョウ	30.0	238	8.6	9.6	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.03	B		●			A
C	東65	イチョウ	31.0	240	10.4	8.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東66	イチョウ	32.0	247	9.4	9.3	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	根元 開口空洞 40×10×20/120cm。 萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A
C	東67	イチョウ	29.0	207	9.2	8.7	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）											調査日											2023 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日		
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉									先端部（頂部）											総合評点	総合評価結果	備　　考
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	枝の大幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果			
					東西	南北																									
C	東68	イチョウ	30.0	243	9.3	9.7	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	萌芽枝が伸長して枝葉量が増加。 イチョウ並木の最南端に位置。東35～68明治神宮管理。

保存	移植	伐採
該当に●		
●		

2019年春季調査活力度評価
ABCD
A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高 (m)	規格 幹周 (cm)	葉張り(m) 東西	葉張り(m) 南北	全体 樹形	全体 樹勢	先端部(頂部)以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	先端部(頂部) 梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存 (該当に●)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 ABCD
【西側銀杏並木】 Bエリア：銀杏並木																																				
B	西1	イチョウ	26.0	280	8.8	10.8	2.0	2.5	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.07	B	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.95	B	2.03	B	イチョウ並木の最南端に位置。西1～10･29～48明治神宮管理。根元GLは歩道＋35cm。ロイヤルガーデンカフェのデッキに囲まれている。今年の剪定後に伸長した胴吹き枝の葉が小さく、葉色も薄い。	●			A
B	西2	イチョウ	30.5	284	9.9	10.1	2.0	2.5	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.07	B	2.5	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.12	B	2.11	B	2つのカフェの入口に位置。根元は緑色のシートに覆われている。踏圧害あり。	●			A
B	西3	イチョウ	31.5	270	6.5	8.6	2.0	2.5	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.07	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.19	B	キハチガーデンデッキ内に位置。根元GLは歩道＋30cm。根元は深植え状態。	●			A
B	西4	イチョウ	29.5	233	6.8	7.4	2.0	2.5	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.13	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.22	B	キハチガーデンデッキ内に位置。根元は深植え状態。大枝 開口空洞(大) 複数あり。損傷被覆材が発達。幹 開口空洞(西側)(未芯達)あり。	●			B
B	西5	イチョウ	30.0	274	8.6	10.3	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.16	B		●			A
B	西6	イチョウ	33.0	309	9.1	9.0	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.16	B		●			A
B	西7	イチョウ	31.0	233	9.0	9.8	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.16	B	スダジイと相互被圧あり。	●			A
B	西8	イチョウ	32.0	230	9.7	8.4	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.16	B	スダジイと相互被圧あり。	●			A
B	西9	イチョウ	32.0	237	7.7	7.5	2.0	2.5	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.13	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.22	B	スダジイと相互被圧あり。枯枝(北西側) H:4.5m φ15cm L:2.5m。要切除	●			A
B	西10	イチョウ	30.0	226	9.7	10.2	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.00	B	2.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.28	B	2.16	B	ラグビー場方面との角地に位置。西1～10･29～48明治神宮管理。スダジイと相互被圧あり。	●			A
B	西11	イチョウ	26.0	290	11.1	9.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.00	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.95	B	西11～28 港区管理 。植栽帯幅1.6m(内径)。幹 開口空洞 H:1.3m 80×10×13/60cm(未芯達)。		移植検討		A
B	西12	イチョウ	26.0	235	8.9	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B			移植検討		A
B	西13	イチョウ	26.5	243	9.0	8.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B			移植検討		A
B	西14	イチョウ	26.0	263	10.2	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B			移植検討		A
B	西15	イチョウ	25.5	268	8.6	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B			移植検討		A
B	西16	イチョウ	25.5	249	10.0	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B			移植検討		A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格				全体		先端部(頂部)以外の枝葉										先端部(頂部)											総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張り(m) 東西	葉張り(m) 南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果				該当に●			ABCD
B	西17	イチョウ	26.5	270	8.4	8.7	2.0	2.0	2.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.07	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.98	B	不定根誘導処置 幹 南側 H:0～6.0m、W:30cm。		移植検討		B
B	西18	イチョウ	25.5	255	9.6	11.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B			移植検討		A
B	西19	イチョウ	26.0	252	11.1	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B			移植検討		A
B	西20	イチョウ	25.0	296	9.9	10.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	不定根誘導処置 幹 北側 H:0～5.0m、W:50cm。		移植検討		A
B	西21	イチョウ	24.5	249	8.9	7.8	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	不定根誘導処置 幹 北側 H:0～7.0m、W:45cm。		移植検討		B
B	西22	イチョウ	24.5	235	8.2	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B			移植検討		A
B	西23	イチョウ	24.5	266	10.4	11.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B			移植検討		A
B	西24	イチョウ	25.5	229	8.0	8.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B			移植検討		A
B	西25	イチョウ	26.0	217	9.9	7.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B			移植検討		A
B	西26	イチョウ	26.0	213	8.6	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B			移植検討		A
B	西27	イチョウ	26.5	203	8.9	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B			移植検討		A
B	西28	イチョウ	26.0	272	11.3	10.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	西11～28 港区管理 。植栽帯幅1.6m(内径)。 幹 開口空洞 H:0.5m 20×5×10/80cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。		移植検討		A
B	西29	イチョウ	32.0	270	10.7	10.4	2.0	3.5	1.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.57	C	3.0	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	1.5	3.0	1.0	2.78	C	2.69	C	SHAKE SHACKテラス内に位置。枝の伸長が短く、葉が小さい。 多くの葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。	●			A
B	西30	イチョウ	30.0	267	10.5	10.4	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B	SHAKE SHACKテラス内の角に位置。 枝の伸長が短く、葉が小さい。	●			A
B	西31	イチョウ	29.0	263	9.7	10.9	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。	●			A
B	西32	イチョウ	30.5	251	11.0	10.0	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日													
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）											総合評点	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張り (m)		樹形	樹勢	大枝の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果							
					東西	南北																										該当に●			ABCD
B	西33	イチョウ	29.5	232	10.6	9.1	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.0	2.28	B	2.27	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。 一部の葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。	●			A
B	西34	イチョウ	27.0	229	11.7	9.8	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.0	2.28	B	2.27	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。 多くの葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。	●			A
B	西35	イチョウ	27.5	213	11.8	9.0	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西36	イチョウ	27.5	276	9.9	10.4	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	3.0	1.0	2.39	B	2.32	B	枝の伸長が短く、葉が小さい。 樹冠全体と特に上部の葉に褐変症状が顕著に見られる。 生理的障害によるものと思われる。	●			A
B	西37	イチョウ	26.5	248	10.2	9.8	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西38	イチョウ	26.0	240	10.5	10.6	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西39	イチョウ	26.5	210	9.4	8.0	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西40	イチョウ	27.0	216	9.7	7.9	2.0	3.5	1.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.57	C	3.0	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	1.5	3.0	1.0	2.78	C	2.69	C	枝の伸長が短く、葉が小さく、葉量が少ない。 ほぼ全葉に葉縁から扇状に萎凋、褐変症状あり。生理的障害によるものと思われる。	●			A
B	西41	イチョウ	29.0	263	10.3	9.9	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西42	イチョウ	27.0	251	9.4	8.3	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西43	イチョウ	28.5	260	9.6	8.8	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西44	イチョウ	27.5	304	9.8	10.1	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西45	イチョウ	27.5	243	8.3	7.7	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西46	イチョウ	27.5	251	9.8	9.4	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B		●			A
B	西47	イチョウ	27.0	267	9.3	9.3	2.5	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.24	B	幹の上部が屈曲。	●			A
B	西48	イチョウ	26.0	243	10.0	10.2	2.0	3.0	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.19	B	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	2.17	B	2.22	B	イチョウ並木の最北端に位置。西1～10・29～48明治神宮管理。	●			A
B	西49	イチョウ	25.0	253	10.3	10.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	イチョウ並木の最北端に位置。西49～78東京都管理。 幹 開口空洞 H:0.9m　40×3×33/60cm(芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日													
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）										総合評点	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果						該当に●	ABCD
					東西	南北																												
B	西50	イチョウ	27.5	247	9.3	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
B	西51	イチョウ	25.0	182	9.4	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			B
B	西52	イチョウ	27.5	198	9.6	10.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	幹 開口空洞(大枝剪定痕) H:1.6m 15×13×10/60cm (未芯達)	●			A
B	西53	イチョウ	26.5	193	8.4	9.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	幹 開口空洞 H:09m 80×17×10/50cm、損傷被覆材が発達。	●			A
B	西54	イチョウ	27.0	186	8.9	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西55	イチョウ	29.0	206	10.3	10.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西56	イチョウ	20.0	187	8.2	9.4	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.90	B	樹高がやや低く、幹の梢端が北側に屈曲。 大枝(車道側) 開口空洞 H:1.8m 120×17×3/15cm(未芯達)	●			A
B	西57	イチョウ	28.5	247	8.9	9.8	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B	大枝 開口空洞(車道側) H1.5m 30×20×30/40cm(芯達) 要切除	●			A
B	西58	イチョウ	27.5	201	9.3	11.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	幹 開口空洞 H:0.8m 80×20×10/75cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
B	西59	イチョウ	27.5	194	9.9	10.2	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.93	B	葉がやや小さく、葉色が薄い。 幹 開口空洞 H0.6m 100×10×7/45cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。 幹 開口空洞 H:1.5m 20×15×20 (大枝剪定痕)同高さに他　2箇所	●			A
B	西60	イチョウ	25.0	182	8.4	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西61	イチョウ	23.5	183	9.7	10.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西62	イチョウ	24.5	181	10.1	10.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西63	イチョウ	27.0	202	9.3	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西64	イチョウ	28.5	227	9.0	8.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西65	イチョウ	26.0	222	9.2	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西66	イチョウ	28.5	224	10.7	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）											総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m） 東西	葉張り（m） 南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果				該当に●			ABCD
B	西67	イチョウ	27.0	188	9.1	8.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西68	イチョウ	29.0	220	9.2	10.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.00	B	1.90	B	ラグビー場方面に曲がる角地に位置。	●			A
B	西69	イチョウ	28.5	247	10.9	11.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B	ラグビー場方面に曲がる角地に位置。	●			A
B	西70	イチョウ	28.0	211	10.0	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西71	イチョウ	29.0	188	9.0	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西72	イチョウ	28.0	214	8.9	10.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西73	イチョウ	28.0	207	9.1	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
B	西74	イチョウ	28.0	233	10.0	11.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西75	イチョウ	28.0	213	10.6	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西76	イチョウ	27.0	248	11.0	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西77	イチョウ	26.0	227	8.3	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
B	西78	イチョウ	26.0	260	10.6	12.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B	イチョウ並木の最南端に位置。西49～78東京都管理。 剪定のモデル樹。植栽帯幅3.25m。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）												調査日					2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日												
			規格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）																	
エリア	樹木番号	樹種名	樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m） 東西	葉張り（m） 南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果	総合評点	総合評価結果	備　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
																																	該当に●			ABCD
【東側銀杏並木】 Cエリア：銀杏並木東																																				
C	東1	イチョウ	27.5	236	9.7	10.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B	イチョウ並木の最南端に位置。東1～34東京都管理。	●			A
C	東2	イチョウ	28.0	227	9.3	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東3	イチョウ	29.0	269	10.6	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
C	東4	イチョウ	29.0	233	10.0	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東5	イチョウ	29.0	249	9.6	9.5	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.85	B	大枝付根 開口空洞(車道側) H:1.3m 75×15×5/15(68)cm 幹 開口空洞(大枝付根) H:1.3m 20×10×15/50(230)cm 大枝付根の開口空洞が幹にも空洞が拡がっているため要切除	●			A
C	東6	イチョウ	28.0	229	9.3	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東7	イチョウ	28.0	200	9.1	9.6	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹 開口空洞(大枝付根) H:2.0m 60×10×15/50(230)cm	●			A
C	東8	イチョウ	28.0	226	8.6	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東9	イチョウ	28.0	213	8.7	8.9	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹 開口空洞(大枝剪定痕) H:1.7m 30×15×15/60(230)cm 大枝付根 開口空洞(歩道側) H:1.5m 60×10×3/15(63)cm	●			A
C	東10	イチョウ	27.5	195	9.6	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東11	イチョウ	28.0	304	10.2	9.9	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	大枝付根　開口空洞 H:1.5m 50×30×15/40cm(未芯達)。	●			A
C	東12	イチョウ	27.5	206	9.2	9.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東13	イチョウ	25.0	186	8.9	9.2	3.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	樹高がやや低く、幹の梢端が屈曲。	●			A
C	東14	イチョウ	28.5	224	11.0	10.4	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	大枝　開口空洞 H:2.0m 40×20×20/45cm(未芯達)。	●			A
C	東15	イチョウ	28.5	239	10.9	9.2	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.9m 30×20cm。	●			A
C	東16	イチョウ	29.0	229	10.4	9.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日													
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）										総合評価	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果							
					東西	南北																										該当に●			ABCD
C	東17	イチョウ	29.0	216	9.5	10.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東18	イチョウ	28.0	195	9.0	8.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東19	イチョウ	28.0	247	8.7	9.9	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹　開口空洞 H:0.9m 150×25×20/90cm(未芯達)。	●			A
C	東20	イチョウ	26.0	195	8.6	11.4	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	大枝付根　開口空洞 H:2.0m 20×15×20/50cm(未芯達)。	●			A
C	東21	イチョウ	26.0	183	8.5	9.1	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 開口空洞 H:0.4m 35×8×15/70cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
C	東22	イチョウ	28.0	217	9.2	9.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東23	イチョウ	27.5	190	8.5	10.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東24	イチョウ	27.0	182	9.6	8.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東25	イチョウ	27.5	210	8.9	8.7	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 樹皮欠損(大枝剪定痕) H:1.5m 35×20cm。	●			A
C	東26	イチョウ	27.5	205	9.7	8.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東27	イチョウ	28.0	230	9.1	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東28	イチョウ	28.5	203	8.7	9.1	2.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B		●			A
C	東29	イチョウ	28.0	271	9.3	10.0	2.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B		●			A
C	東30	イチョウ	28.0	199	8.9	7.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.77	B		●			A
C	東31	イチョウ	29.0	227	8.8	8.6	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.79	B	幹 開口空洞 H:0.3m 50×15×15/85cm(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
C	東32	イチョウ	27.5	288	10.0	11.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	幹の梢端が北側に屈曲。 幹開口空洞（大枝剪定痕） H:1.4m 45×25×10/80cm(未芯達)。	●			A
C	東33	イチョウ	28.0	252	6.9	9.2	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.82	B	大枝付根腐朽(車道側) H:1.5m φ40cm 60×20cm。 大枝開口空洞(南東側) H:1.5m 30×15×5/30cm。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名							Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）										調査日					2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日																
エリア	樹木番号	樹種名	規　格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）												総合評点	総合評価結果	備　　考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）		樹形	樹勢	大枝の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果									
					東西	南北																												該当に●			ABCD
C	東34	イチョウ	25.5	333	12.0	13.1	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.73	A	1.72	A	イチョウ並木の最北端に位置。東1～34東京都管理。	●			A
C	東35	イチョウ	27.5	309	12.0	12.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B	イチョウ並木の最北端に位置。東35～68明治神宮管理。	●			A
C	東36	イチョウ	28.0	225	9.8	8.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東37	イチョウ	29.0	246	8.8	9.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東38	イチョウ	30.0	300	10.2	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.85	B		●			A
C	東39	イチョウ	30.0	263	9.3	9.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.82	B	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.89	B	1.87	B	幹 開口空洞 H:0.2m 40×10×35/125㎝(未芯達)、損傷被覆材が発達。	●			A
C	東40	イチョウ	29.0	216	9.2	8.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東41	イチョウ	29.0	250	9.2	8.7	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東42	イチョウ	30.5	254	9.6	10.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東43	イチョウ	30.5	261	7.8	9.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東44	イチョウ	31.0	262	9.0	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東45	イチョウ	29.0	228	7.8	8.4	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東46	イチョウ	31.0	267	8.0	9.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東47	イチョウ	29.5	259	9.6	9.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東48	イチョウ	30.5	283	10.4	10.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東49	イチョウ	31.5	256	9.3	8.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東50	イチョウ	32.0	266	10.9	9.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張り(m) 東西	規格 葉張り(m) 南北	全体 樹形	全体 樹勢	先端部(頂部)以外の枝葉 大枝幹の欠損・傷	先端部(頂部)以外の枝葉 梢端の枯損	先端部(頂部)以外の枝葉 枝の伸長量	先端部(頂部)以外の枝葉 枝葉の密度	先端部(頂部)以外の枝葉 緑量	先端部(頂部)以外の枝葉 葉色	先端部(頂部)以外の枝葉 葉の大きさ	先端部(頂部)以外の枝葉 葉形	先端部(頂部)以外の枝葉 平均評点	先端部(頂部)以外の枝葉 評価結果	先端部(頂部) 梢端の枯損	先端部(頂部) 枝の伸長量	先端部(頂部) 枝葉の密度	先端部(頂部) 緑量	先端部(頂部) 葉色	先端部(頂部) 葉の大きさ	先端部(頂部) 葉形	先端部(頂部) 褐変	先端部(頂部) 落葉	先端部(頂部) 平均評点	先端部(頂部) 評価結果	総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
																																	該当に●			ABCD
C	東51	イチョウ	32.0	233	8.5	8.2	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東52	イチョウ	32.0	233	8.0	10.4	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B	大枝開口空洞(歩道側) H:1.6m 50×15×10/20cm(芯達)。 歩道上部に伸びる大枝の開口空洞が芯に達しているため要切除	●			A
C	東53	イチョウ	28.5	200	7.1	7.1	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.88	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B	幹の梢端が北側に屈曲。 幹 開口空洞 H:0.7m　140×20×15/80(未芯達)。	●			A
C	東54	イチョウ	31.5	237	8.2	9.8	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	2.00	B	大枝付根開口空洞(南側) H:1.6m 120×10×20/25cm(貫通)。 緑地内大枝開口空洞(貫通)は損傷被覆材の発達あり、要経過観察。	●			A
C	東55	イチョウ	30.0	232	8.6	8.9	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東56	イチョウ	31.0	237	8.0	8.8	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.93	B		●			A
C	東57	イチョウ	31.5	254	9.5	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.00	B		●			A
C	東58	イチョウ	31.5	238	7.5	8.1	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.00	B		●			A
C	東59	イチョウ	32.0	224	9.9	9.3	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.00	B		●			A
C	東60	イチョウ	33.5	233	9.8	9.6	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.00	B		●			A
C	東61	イチョウ	32.5	233	9.6	9.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.11	B		●			A
C	東62	イチョウ	34.0	246	10.3	10.1	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.11	B		●			A
C	東63	イチョウ	31.0	253	10.1	10.1	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.11	B		●			A
C	東64	イチョウ	30.0	238	8.6	9.6	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.11	B		●			A
C	東65	イチョウ	31.0	240	10.4	8.9	2.0	2.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.94	B	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.11	B		●			A
C	東66	イチョウ	32.0	247	9.4	9.3	2.0	2.5	2.0	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	2.00	B	2.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.23	B	2.14	B	根元 開口空洞 40×10×20/120cm。	●			A
C	東67	イチョウ	29.0	207	9.2	8.7	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B		●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Bエリア：銀杏並木　Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木範囲）	調査日	2023 年 5 月 26 日 ～ 6 月 1 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格				全体		先端部（頂部）以外の枝葉										先端部（頂部）											総合評点	総合評価結果	備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張り（m）東西	葉張り（m）南北	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	平均評点	評価結果	梢端の枯損	枝の伸長量	枝葉の密度	緑量	葉色	葉の大きさ	葉形	褐変	落葉	平均評点	評価結果				該当に●			ABCD
C	東68	イチョウ	30.0	243	9.3	9.7	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.75	A	2.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	2.06	B	1.95	B	イチョウ並木の最南端に位置。東35～68明治神宮管理。	●			A

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存 (該当に●)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
C	69		マテバシイ		8.0	7本立	8.0	83,80,69,68,58,58,56	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.80	B		○					○		有	小	石垣の上に位置し、適正な根鉢確保困難。	●			B			
C	70		マテバシイ		8.5	155	8.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○					○	有	小	根元・幹に開口空洞が多数あり。 幹に打診音異常 H1.0～2.5mあり。 大枝に開口空洞30×18(80)×10/22あり。 枝にカミキリムシ脱出孔が、複数あり。 石垣の上に位置する。	●			B			
C	71		マテバシイ		7.0	3本立	8.0	65,60,45	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	大	根元に樹皮欠損・腐朽(大枝切除痕)あり。 幹(H2.5m)に開口空洞15×10(63)×15/25(芯達)あり。	●			B			
C	72		ヤマモモ		8.0	91	4.0	－	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A	○			○					有	小	―	●			B			
C	73		ヤマモモ		8.0	91	4.0	－	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A	○			○					有	小	―	●			B			
C	74		ヤマモモ		8.0	96	4.0	－	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A	○			○					有	小	―	●			B			
C	75		ヤマモモ		8.0	110	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B	○			○					有	小	―	●			B			
C	76		マテバシイ		3.2	153	2.5	－	4.0	3.5	4.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.5	1.0	2.80	C			○					○	有	小	幹に開口空洞・腐朽(大)、被害が進行している。	●			C			
C	77		マテバシイ		9.0	170	8.0	－	4.0	3.5	4.0	2.5	3.0	3.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.75	C			○					○	有	小	幹に開口空洞・腐朽(大)、高さH0.8～2.2mに打診音異常(大)あり。	●			B			
C	78		マテバシイ		4.5	65	3.5	－	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	大	露出根あり。 極めて樹形が乱れており、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	79		ハゼノキ		－	－	－	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	－	－	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	枯損している。	※	－	－	B			
C	80		ウバメガシ		5.0	8本立	5.0	54,47,33,32,30,30,28,25	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○		○					有	中	―	●			B			
C	81		モチノキ		4.0	5本立	4.0	53,38,37,20,17	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					有	中	―	●			B			
C	82		マテバシイ		6.0	65	2.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B			○				○		有	大	片枝で葉も少なく、回復不可。	●			B			
C	83		マテバシイ		6.5	82	5.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○				○		有	中	枝が極まばらで移植後の回復不可能。	●			B			
C	84		マテバシイ		7.0	80	6.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		有	大	枝が極まばらで移植後の回復不可能。	●			B			
C	85		ヤブツバキ		6.0	2本立	3.0	50,38	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	―	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	B	C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	86		モチノキ		9.0	2本立	3.0	83,25	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○		○					有	中	樹形、樹勢良好、移植可能。	●			B			
C	87		トウネズミモチ		7.0	53	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		有	中	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
C	88		トウネズミモチ		7.5	5本立	4.0	38,38,14,13,11	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		有	中	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
C	89		スダジイ		8.0	126	3.0	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○				○		有	大	幹(H1.2～2.0m)に打音異常あり。	●			B			
C	90		スダジイ		9.0	128	4.0	－	2.5	2.0	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○					○		有	中	幹に打音異常あり。 擬木柵に接触している。	●			B			
C	91		スダジイ		8.0	111	4.0	－	2.5	2.0	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○						○	有	中	擁壁際で移植のための適正根鉢確保が困難	●			B			
C	92		ケヤキ		18.0	285	11.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		有	小	擬木柵に近接している(幹芯から西に1m)。	●			B			
C	93		イスノキ		8.0	58	4.0	－	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A		○		○					無	小	―	●			B			
C	94		スダジイ		8.0	158	5.0	－	2.5	2.5	3.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	中	幹に打音異常あり。 擬木柵に近接している(幹芯から東に0.4m)。	●			B			
C	95		ケヤキ		18.0	235	11.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		無	小	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	96		イスノキ		9.0	83	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	小	―	●			B			
C	97		ケヤキ		18.0	234	14.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		有	小	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			A			
C	98		ネズミモチ		6.0	5本立	5.0	54,30,24,16,14	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○					○		無	小	根元・幹に腐朽が散在する。	●			B			
C	99		トウネズミモチ		8.0	92	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	無	小	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
C	100		ヒトツバタゴ		8.0	85	5.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					無	小	擬木柵に近接している(幹芯から2.4m)。	●			A			
C	101		ウバメガシ		8.0	2本立	4.5	110,40	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	中	―	●			B			
C	102		ヒサカキ		4.5	2本立	3.0	38,12	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	小	―	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア:銀杏並木東(銀杏並木以外の範囲)	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	103	イロハモミジ	6.0	63	4.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	小	擬木柵に近接している(幹芯から2.2m)。	●			A			
C	104	クヌギ	14.0	184	5.0	−	3.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	小	擬木柵に近接している(幹芯から1.5m)。 擬木柵があるままでは適正根鉢確保困難。	●			B			
C	105	ウバメガシ	6.5	61	2.0	−	2.5	2.5	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	無	小	根元・幹に樹皮欠損130×12(55)あり。 樹皮欠損がH0～1.2mまで連続。移植不可。	●			B			
C	106	ヒトツバタゴ	6.5	50	2.5	−	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B	○			○					無	大	―	●			B			
C	107	イロハモミジ	5.0	36	5.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					無	中	―	●			B			
C	108	マテバシイ	9.0	87	3.0	−	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B		○		○					無	中	―	●			B			
C	109	スダジイ	9.0	115	6.0	−	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○				○		有	中	根元・幹に打診音異常(大) H0.0～2.0mあり。 擬木柵の控え柱に接触している。擬木柵に近接している(幹芯から0.6m)。	●			B			
C	110	スダジイ	9.0	128	5.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○				○		有	小	幹に開口空洞(小)が複数ある。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～2.5mあり。 擬木柵に近接している(幹芯から0.5m)。	●			B			
C	111	クヌギ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	−	−	B			
C	112	イロハモミジ	7.5	83	4.0	−	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	2.00	B	○			○					無	中	―	●			A			
C	113	ヒトツバタゴ	9.0	65	5.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	中	―	●			A			
C	114	ヒトツバタゴ	7.0	55	4.0	−	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.00	B	○			○					無	中	―	●			B			
C	115	イロハモミジ	8.0	2本立	6.0	70,54	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.80	B	○			○					無	中	―	●			A			
C	116	モチノキ	6.0	42	3.5	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	小	雌木である。	●			B			
C	117	スダジイ	9.0	132	6.0	−	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.35	B			○				○		無	大	幹に開口空洞(小)が複数ある。 樹木番号118ケヤキからの被圧により、片枝樹形である。 道路側は大きく剪定されている。	●			B			
C	118	ケヤキ	18.0	251	15.0	−	1.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.5	1.5	2.5	2.0	1.0	1.90	B	○						○		無	小	樹形が良く、存在感があり、保存価値が高い。 大径木のため、移植時の根鉢の確保・樹形維持が難しい。	●			A			
C	119	ウバメガシ	5.5	2本立	3.5	57,44	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○		○					無	小	剪定痕が多数、腐朽あり。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　26 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	120		スダジイ		8.0	70	3.5	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○		○					無	小	－	●			B			
C	121		クヌギ		12.0	154	5.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B		○					○		無	大	下枝のない片枝樹形であり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 剪定痕が多数あり。	●			B			
C	122		スダジイ		12.0	232	10.0	－	3.0	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.35	B		○					○		無	中	片枝樹形である。 根元にツリバリサルノコシカケの子実体あり。 幹に腐朽あり。 根元・幹に打診音異常 H0.1～2.3mあり。 樹幹傾斜(小)(西側)あり。	●			B			
C	123		スダジイ		9.0	129	9.0	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B		○					○		無	中	片枝がなく、樹形不良で移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	124		マテバシイ		3.0	48	2.0	－	3.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.65	C			○					○	無	大	樹幹傾斜(小)あり。 上部が大きく剪定されている上、片枝となっており、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			C			
C	125		マテバシイ		10.0	128	5.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	中	片枝樹形である。 剪定痕が多数あり。 根元H0.0m～H1.2mに開口空洞あり。	●			B			
C	126		マテバシイ		4.5	75	4.0	－	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○					○		無	中	片枝樹形である。 根元H0.0m～H1.2mに開口空洞あり。 樹幹傾斜(小)あり。	●			B			
C	127		スダジイ		11.0	187	9.0	－	3.0	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.40	B		○					○		無	小	片枝樹形である。 幹・大枝に樹皮欠損(小)が複数ある。	●			B			
C	128		クスノキ		15.0	194	9.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B	○						○		無	小	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	129		ヒトツバタゴ		8.0	84	5.0	－	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	2.30	B	○			○					無	小	－	●			B			
C	130		ヒトツバタゴ		8.0	65	4.0	－	2.5	3.0	2.0	2.5	2.5	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.00	A	○			○					無	小	－	●			B			
C	131		ミズキ		10.0	86	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					無	小	－	●			B			
C	132		マテバシイ		9.0	3本立	5.0	85,59,50	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○					○		無	小	大枝付根に入皮あり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。	●			B			
C	133		マテバシイ		9.0	82	4.0	－	2.5	3.0	2.0	2.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.30	B		○					○		無	小	枝にてんぐ巣病の症状あり。	●			B			
C	134		ヒトツバタゴ		4.0	34	4.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	2.00	B	○			○					無	小	－	●			B			
C	135		イロハモミジ		6.0	83	6.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	小	－	●			A			
C	136		プラタナス		14.0	244	8.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B	○						○		無	小	剪定痕が多数あり。 大径木であり、保存価値がある。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	B	C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	137		クロマツ		17.0	130	3.5	–	3.5	3.0	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.40	B		○					○		無	無	下枝がなく、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 下枝が高すぎるため、移植に際しての剪定も難しい。	●			B			
C	138		シラカシ		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	–	–	B			
C	139		スダジイ		8.0	125	8.0	–	3.0	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.40	B		○					○		無	中	ひこばえが多い上、片側の枝がなく、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	140		ムクノキ		18.0	178	10.0	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	2.05	B	○						○		無	小	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	141		マテバシイ		8.5	95	6.0	–	3.0	2.5	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	小	剪定痕に腐朽があり、片枝樹形である。 移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	142		マテバシイ		5.0	63	4.0	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○					○		無	中	片枝がなく、樹形不良で移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	143		クヌギ		13.0	188	8.0	–	3.0	3.0	2.0	2.5	2.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	2.15	B		○					○		無	大	樹木番号144スダジイ等からの被圧により下枝が高い。 幹に樹木番号144スダジイの大枝がくい込んでいる。	●			B			
C	144		スダジイ		12.0	142	12.0	–	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○					○		無	小	移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	145		スダジイ		10.0	135	6.5	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	小	移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	146		マテバシイ		6.0	3本立	5.0	43,38,38	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	無	中	三本立ちの内、1本は断幹され、2本は枯損している。	●			B			
C	147		イロハモミジ		7.0	2本立	7.0	63,57	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.50	A	○			○					無	小	―	●			A			
C	148		ムクノキ		18.0	200	12.0	–	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	2.05	B	○						○		無	小	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	149		シラカシ		16.0	148	6.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B	○						○		無	中	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	150		マテバシイ		4.0	35	3.0	–	4.0	3.5	3.0	3.0	4.0	3.5	2.0	3.0	2.5	1.0	2.95	C			○					○	無	大	樹冠上部が失われ、樹形・樹勢は不良。	●			C			
C	151		クロガネモチ		5.0	44	3.5	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B		○		○					無	中	―	●			B			
C	152		ウメ		4.0	29	2.0	–	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.50	B			○	○					無	大	樹幹傾斜(小)あり。 傾斜しているが、ウメらしさあり。小さい木で移植可能。	●			C			
C	153		スダジイ		8.0	132	6.0	–	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.10	B		○					○		無	小	東側に樹幹傾斜（中）あり。大枝も東側のみで片枝樹形となっており、移植後の健全な状態への回復は困難。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》
					樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無	
C	154		スダジイ		15.0	143	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B	○						○		無	小	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。
C	155		スダジイ		13.0	235	7.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	小	擬木柵に近接している(幹芯から1.2m)。
C	156		スダジイ		13.0	169	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		無	小	擬木柵に近接している(幹芯から1.3m)。
C	157		マテバシイ		4.0	49	4.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.30	B		○		○					無	大	ー
C	158		プラタナス		18.0	299	12.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.5	1.5	1.0	2.00	B	○						○		無	小	樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。
C	159		イロハモミジ		8.0	88	8.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					無	中	幹(H1.0m)に開口空洞・腐朽 5×5(83)×18/25(芯達)あり。 樹勢に問題無し、移植可能。
C	160		スダジイ		9.5	115	6.0	－	2.5	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B		○					○		無	小	根元・幹に打診音異常 H0.0～2.5mあり。
C	161		サザンカ		8.0	43	2.0	－	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○		○					無	小	幹(H0.5m)に開口空洞・腐朽 20×5(43)×5/18あり。 樹勢に問題無し、移植可能。
C	162		クスノキ		12.0	146	7.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	小	ー
C	163		イロハモミジ		7.0	56	6.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					無	小	枯枝(H3.5m) φ8, L=1.2mあり。
C	164		スダジイ		10.0	158	10.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	中	樹木番号165クヌギと近接している。
C	165		クヌギ		12.0	168	7.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.00	B		○					○		無	小	樹木番号164スダジイと近接している。
C	166		ケヤキ		19.0	287	15.0	－	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.40	B	○						○		無	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 幹に打音異常(小)あり。 大枝に樹皮欠損(大)、剪定痕からの枯れ下がりあり。 枯枝(H15m) φ20, L=7mあり。 樹冠内を電線が通っている。
C	167		ヒトツバタゴ		8.0	53	6.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.15	B		○		○					無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。
C	168		マテバシイ		7.0	51	5.0	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 枝にてんぐ巣病の症状あり。
C	169		マテバシイ		6.5	57	4.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 揺らぎ(小)あり。 強い樹幹傾斜あり、枝葉が少なく片枝樹形である。移植後の健全な状態の維持は困難。
C	170		マテバシイ		4.5	58	4.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 揺らぎ(小)あり。 強い樹幹傾斜あり、枝葉が少なく片枝樹形である。移植後の健全な状態の維持は困難。

樹木番号	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
	該当に●			ABCD			
154	●			B			
155	●			B			
156	●			B			
157	●			B			
158	●			B			
159	●			A			
160	●			B			
161	●			B			
162	●			B			
163	●			A			
164	●			B			
165	●			B			
166	●			B			
167	●			B			
168	●			B			
169	●			B			
170	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　26 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高（m）	規格 幹周（cm）	規格 葉張（m）	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	活力度 平均評点	活力度 評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	171	マテバシイ	9.0	76	5.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.0	2.00	B		○		○					無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 幹に穿孔性害虫の穿孔痕(Φ2mm以下)が多数あり。(ピンク色の標識テープあり)	●			B			
C	172	スダジイ	12.0	154	7.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○		○					無	小	幹に打診音異常(小) H1.0～2.0mあり。 移植に問題無し。	●			B			
C	173	モチノキ	6.0	4本立	3.0	46,40,30,14	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	小	ひこばえが多数あり。	●			B			
C	174	イロハモミジ	8.0	95	6.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 隣木のモチノキとケヤキからの被圧あり。 フェンスに近接している。	●			A			
C	175	ケヤキ	24.0	246	12.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B	○						○		有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 枯枝(H15m) φ15, L=6mあり。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	176	サカキ	6.5	2本立	3.5	40,39	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.10	B	○			○					無	小	樹形良好。 幹の相互接触、幹と大枝の相互接触あり。 枝の電線接触あり。 葉に虫害あり。	●			B			
C	177	ケヤキ	25.0	237	16.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B	○						○		無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 根元・幹(H0～1.5m)に、肥大生長あり。 幹に、打音異常(小)あり。 隣木ケヤキ(175)からの被圧あり。	●			B			
C	178	クスノキ	9.0	77	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。	●			B			
C	179	マテバシイ	9.0	67	4.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	中	樹幹傾斜(小)(東側)あり。 ひこばえが多数あり。 隣木ケヤキによる被圧あり。	●			B			
C	180	マテバシイ	6.5	66	3.0	－	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.45	B			○				○		無	大	樹幹傾斜(小)(東側)あり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。 枯枝(小)あり。	●			B			
C	181	マテバシイ	7.5	72	3.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○					○		無	中	樹幹傾斜(小)(東側)あり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。 ひこばえが多数あり。 枯枝(小)あり。 樹木番号182ケヤキと近接している。	●			B			
C	182	ケヤキ	24.0	262	20.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 相互接触あり。 大枝(北H5m)に、樹皮欠損(大) 200×30あり。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			A			
C	183	イロハモミジ	8.0	58	9.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	小	樹形良好。	●			A			
C	184	トウカエデ	10.0	151	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○						○	無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 幹(南H0.5m)に開口空洞 80×10×13/30あり。 過去にぶつ切り剪定されている。	●			B			
C	185	トウネズミモチ	11.0	85	5.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	無	小	枯枝(小)あり。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　26 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	186	スダジイ	10.0	140	5.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.30	B		○					○		無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 樹幹傾斜(小)あり。 幹(H2m)に、開口空洞 20×10×21/56あり。 幹にアイカワタケのヒラフスベ型の子実体(残さ)あり。	●			B			
C	187	イロハモミジ	8.0	78	8.0	－	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B	○			○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 樹幹傾斜(小)あり。	●			A			
C	188	マテバシイ	6.0	52	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○		○					無	中	樹勢、樹形普通で移植可能。	●			B			
C	189	マテバシイ	8.0	76	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B		○					○		無	中	樹幹傾斜(小)あり。 大枝に枝欠損部からの腐朽あり。 ひこばえが多数あり。	●			B			
C	190	モッコク	6.0	67	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.20	B		○		○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 梢端の枯れ下がりあり。	●			B			
C	191	イロハモミジ	5.5	61	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○		○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 樹勢衰退傾向にある。 大枝に樹皮枯死(大)あり。 枯枝φ10, L=2mあり。	●			B			
C	192	イスノキ	7.0	3本立	5.0	43,33,29	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.80	B		○		○					無	小	樹形良好。 葉に虫こぶあり。	●			B			
C	193	ウバメガシ	6.0	59	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○		○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 枝数がやや少ない。	●			B			
C	194	ケヤキ	24.0	286	12.0	－	1.5	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A	○						○		無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 大枝に開口空洞20×20(巻き込み)、ほか複数あり。 樹形は大きく立派である。	●			A			
C	195	イロハモミジ	7.5	56	8.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○		○					無	小	剪定痕(小)あり。	●			A			
C	196	マテバシイ	5.0	67	4.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	中	強い樹幹傾斜あり、片枝樹形である。移植後の健全な状態の維持は困難。 大枝に入り皮あり。	●			B			
C	197	マテバシイ	6.0	63	3.5	－	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.40	B			○				○		無	大	樹幹傾斜(小)あり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。 葉がやや疎、梢端に枯れ下がりあり。	●			B			
C	198	マテバシイ	3.0	42	3.0	－	4.0	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.70	C			○					○	無	大	梢端部に小枝がなく、著しく樹形・樹勢が悪い。 幹に枯れ下がりあり。 ひこばえが多数あり。	●			C			
C	199	スダジイ	10.0	189	10.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B	○						○		無	小	巻き根(中)あり。 移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	200	クワ	3.5	2本立	4.0	43,23(H0.2m)	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	無	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 断幹され、断幹部に腐朽あり。 擬木柵に近接している。	●			B			
C	201	サザンカ	6.0	93(H0.3m)	4.5	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 幹に開口空洞(小)(巻き込み)、ほか多数あり。 根元・幹に打診音異常(大) H0.0～2.0mあり。	●			B			
C	202	ヒトツバタゴ	5.0	37	3.0	－	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B			○	○					無	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 片枝樹形である。 隣木サザンカからの被圧あり。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　26 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存 (該当に●)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
C	203		イスノキ		8.5	91	6.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	小	大枝分岐部に入り皮あり。	●			B			
C	204		サザンカ		6.0	43	4.0	－	2.5	2.5	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B		○					○		無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 根元に開口空洞 20×5×5/20（巻き込み）あり。	●			B			
C	205		マテバシイ		5.0	37	3.5	－	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.20	B		○		○					無	大	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 隣木スダジイからの被圧あり。	●			B			
C	206		マテバシイ		6.0	2本立	2.0	59,34	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.30	B		○					○		無	小	片枝樹形である。 主幹が、断幹されている。 幹（双幹）に、打診音異常H0.0～2.0m（大）あり。 枝に、てんぐ巣病の症状あり。	●			B			
C	207		ケヤキ		12.0	146	10.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.85	B	○						○		無	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 胴吹きが多数あり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	208		ヒトツバタゴ		8.0	52	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。	●			A			
C	209		マテバシイ		2.5	5	1.0	－	4.0	3.5	3.5	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	3.0	1.0	2.95	C			○					○	無	小	樹高が3m以下である。 枝の伸長が悪く、ひこばえのみの樹形である。	●			C			
C	210		ウバメガシ		6.0	28	3.0	－	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 幹に開口空洞（大） 60×5×3/10ほか全2箇所あり。 根元・幹に打診音異常（大） H0.0～1.0mあり。	●			B			
C	211		マテバシイ		6.0	3本立	7.0	42,39,35	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	1.0	2.15	B		○					○		無	中	枝にてんぐ巣病の症状あり。	●			B			
C	212		シラカシ		14.0	145	8.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○		○					無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 下枝がない。樹冠に偏りあり。 隣木ケヤキからの被圧あり。	●			B			
C	213		マテバシイ		7.5	74	4.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	中	樹幹傾斜（小）あり。 隣木シラカシからの被圧により、片枝樹形であり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	214		マテバシイ		5.5	54	4.5	－	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	片枝樹形である。 樹幹傾斜（小）あり。 根元・幹に、打診音異常（小） H0.0～1.0mあり。 隣木スダジイからの被圧（大）あり。	●			B			
C	215		スダジイ		6.5	118	5.5	－	3.5	3.5	4.0	2.5	4.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.75	C			○					○	無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 幹がH4.0mで断幹、枯れ下がりあり。 幹に開口空洞 400×20×20/40（芯達）あり。 根元・幹に打診音異常（大） H0.0～2.0mあり。	●			C			
C	216		マテバシイ		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去（ひこばえあり）。	※	－	－	C			
C	217		クスノキ		5.0	74	4.0	－	4.0	3.5	4.0	3.0	4.0	3.5	2.0	2.5	2.5	1.0	3.00	C			○					○	無	小	断幹されている。高さH3mから枯れ下がりあり。 根元に開口空洞 5×5×22/30（芯達）あり。 根元・幹に打音異常 H0.0～2.0mあり。 根元の揺らぎ（大）あり。 幹折れ、倒木の危険性あり。	●			C			
C	218		スダジイ		12.0	175	6.0	－	2.5	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B		○					○		無	小	幹H2.3m～3.4mにかけて開口空洞（大）（巻き込み）あり。 根元・幹に打診音異常 H0.0～1.0mあり。 大枝に開口空洞（大）あり。 幹折れの危険性あり。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名					Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）															調査日					2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　26 日													伐採理由	
					規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》							
エリア	樹木番号		樹種名		樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧		保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	219		マテバシイ		8.0	78	5.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○					○		無	中	隣木スダジイからの被圧により、片枝樹形であり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	221		クスノキ		12.5	89	7.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.10	B		○		○					無	中	隣木ケヤキからの被圧あり。	●			B			
C	222		スダジイ		13.0	124	5.0	－	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.40	B			○					○	無	中	幹に腐朽と打音異常（高さH1.2～2.0m）あり。 樹幹傾斜（大）（東側）あり。 枝張りが小さい。	●			B			
C	223		ケヤキ		22.0	470	20.0	－	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○						○		無	無	幹H0.45m～1.5mにかけて開口空洞（大）（芯達）あり。 大枝に樹皮欠損・腐朽あり。 存在感があり、保存が望ましい。移植の場合は樹形を大きく損なう可能性が高い。	●			A			
C	224		スダジイ		12.0	213	10.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○					○		無	小	大枝に樹皮欠損・腐朽あり。	●			B			
C	225		スダジイ		11.0	159	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.15	B		○					○		有	小	大枝・幹に開口空洞あり。 樹冠が傾き偏っている。 擬木柵に近接している。	●			B			
C	226		マテバシイ		7.0	48	3.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B		○					○		無	中	枝にてんぐ巣病の症状あり。葉量も少なく、移植後の回復は困難。	●			B			
C	227		ウメ		3.2	53	2.5	－	3.0	2.5	3.5	2.5	3.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.35	B			○					○	無	中	根元・幹に腐朽あり。 移植樹として不適であるが、現存のままなら問題ない。	●			B			
C	228		マテバシイ		4.0	46	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.15	B			○					○	無	大	片枝がなく、樹形不良で移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	229		スダジイ		14.0	201	7.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.20	B		○					○		無	小	樹形にやや乱れあり。 移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	230		スダジイ		11.0	173	7.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○					○		有	小	大枝H0.85m～2.05mにかけて開口空洞あり。 擬木柵に近接している。	●			B			
C	231		クヌギ		15.0	184	10.0	－	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B	○					○			無	中	樹形に存在感あり。	●			B			
C	232		スダジイ		12.0	169	5.0	－	3.5	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	1.5	2.65	C			○					○	無	大	樹形が崩れ、樹形・樹勢共にで移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
C	233		マテバシイ		4.5	50	2.5	－	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	2.5	1.5	2.75	C			○					○	無	中	樹冠頂部に枯損、樹形に崩れ・乱れあり。	●			B			
C	234		マテバシイ		6.5	56	4.5	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B			○					○	無	大	樹冠に傾き（東側、道路側）、偏りが大きく、移植後の健全な生育は困難。	●			B			
C	235		スダジイ		9.0	98	5.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.55	C		○					○		無	大	幹に曲がりあり。 樹冠に傾き（東側、道路側）、偏りあり。 幹（H2.5m）に開口空洞 8×7あり。	●			B			
C	236		スダジイ		14.0	148	11.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.90	B	○						○		無	小	枝張りと高さのある大木で存在感がある。 移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　26 日

エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	237		ヒトツバタゴ		4.0	32	2.8	–	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.15	B		○		○					有	中	樹幹傾斜(大)。 根元に開口空洞 10×8×4あり。 電柱に近接している。	●			B			
C	238		ヒトツバタゴ		8.0	31	4.5	–	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.05	B		○		○					無	大	ふところの枝葉がやや疎である。 樹高あり。	●			B			
C	239		マテバシイ		5.5	49	3.0	–	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.45	B			○					○	無	大	枝葉量が少なく、樹勢衰退傾向にある。 ひこばえが多数あり。	●			B			
C	240		マテバシイ		4.5	61	4.0	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B		○		○					無	大	樹冠に偏り(東側、道路側に枝葉)あり。 ひこばえが多数あり。	●			B			
C	241		クスノキ		18.0	344	15.0	–	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.65	A	○						○		無	無	樹形・樹勢は良く、存在感があり、保存が望ましい。 かなりの巨木のため移植は難しく、回復不能なほど大きく剪定されることになる。	●			A			
C	242		トウネズミモチ		8.0	3本立	9.0	66,53,35	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	有	中	株立ちが葉張り、樹形に乱れあり。 擬木柵に近接している。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
C	243		スダジイ		13.5	206	13.5	–	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B		○					○		無	中	枝葉量がやや疎だが、骨格をなす枝が四方へ伸長して、存在感のある大木である。 樹形はやや不良。 かなりの巨木のため移植は難しく、回復不能なほど大きく剪定されることになる。	●			B			
C	244		マテバシイ		4.5	59	3.0	–	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.35	B			○					○	有	大	樹冠に傾斜と偏りあり、樹形が崩れている。 幹(H2.3m)に開口空洞 25×13×10あり。 隣木スダジイ(樹木番号243)と、近接している。	●			B			
C	245		クロマツ		12.5	95	2.5	–	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.50	B			○					○	有	中	下枝が高く、枝張りも小さく、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 擬木柵に近接している。	●			B			
C	246		マテバシイ		8.5	74	4.5	–	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					無	大	隣木スダジイ(樹木番号243)からの被圧により、樹幹に傾き(東側)あり。	●			B			
C	247		マテバシイ		7.5	65	4.0	–	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B		○		○					無	中	樹冠に傾き(東側)、偏りあり。	●			B			
C	248		スダジイ		12.5	2本立	8.0	177,144	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○					○		有	無	高さH1.0からの双幹樹形、副幹は屈曲している。 擬木柵に近接している。 擬木柵があるままでは適正根鉢確保困難。	●			B			
C	249		トウカエデ		13.0	147	5.5	–	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.30	B		○		○					無	中	下枝が高く、枝葉量が少ない。 根元に樹皮欠損・腐朽あり。	●			B			
C	250		クヌギ		16.0	166	8.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		有	中	樹高の高い木である。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	251		スダジイ		11.0	173	19.0	–	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.30	B		○					○		有	大	大枝(東H1.6m)に剪定痕からの腐朽 20×20×30あり。 大枝(北H1.7m)に剪定痕からの腐朽 20×15×25あり。 樹幹傾斜(小)(東側)あり。 大枝への腐朽が多く、樹冠も傾斜しており、回復不能。	●			B			
C	252		マテバシイ		7.5	63	4.5	–	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.30	B			○					○	無	大	樹幹傾斜(大)(東側)あり。 隣木スダジイからの被圧により樹冠に傾き、偏りが大きく、移植後の健全な生育は困難。 ひこばえが多数あり。	●			B			
C	253		スダジイ		16.0	159	10.0	–	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B	○						○		無	中	高さH2.5mに大枝剪定痕からの腐朽、キノコ(種不明)の発生あり。 やや屈曲した樹形の大木である。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	254	スダジイ	9.5	163	7.5	－	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.95	B		○				○			無	小	大枝(南西側)に剪定痕からの腐朽 23×19あり。 ひこばえが多数あり。	●			B			
C	255	クヌギ	12.0	95	4.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.85	C			○				○		無	大	北西側に開口空洞(35×15×20)、空洞部のふくらみ(肥大生長)、打音異常あり。 下枝が高く、枝葉量が少ない。	●			B			
C	256	スダジイ	9.5	111	4.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B		○			○				無	大	枝葉量がやや疎。	●			B			
C	257	マテバシイ	6.5	64	5.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	無	大	樹幹傾斜(東側)あり。 ひこばえが多数あり。 樹幹の傾きが大きく、移植後の健全な状態の維持は困難。	●			B			
C	258	マテバシイ	5.5	60	4.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.45	B			○					○	無	大	樹幹傾斜(東側)あり。 ひこばえが多数あり。 樹幹の傾きが大きく、移植後の健全な状態の維持は困難。	●			B			
C	259	スダジイ	15.0	178	10.5	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B	○						○		無	大	極端な片枝樹形となっており、移植時の剪定からの健全な状態への回復・維持は困難。	●			B			
C	260	スダジイ	12.5	132	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○				○			無	大	胴吹きが多数あり。(剪定痕からの萌芽と思われる)	●			B			
C	261	スダジイ	6.0	122	4.0	－	3.5	3.0	3.5	3.0	3.5	3.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.70	C			○					○	有	大	樹幹傾斜(大)(西側)あり。 根元に、腐朽(大)あり。幹に、腐朽(大)あり。 幹(H1.0～2.5m)に、樹皮欠損・腐朽、シイサルノコシカケの発生あり。	●			C			
C	262	ケヤキ	23.0	326	18.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○						○		無	小	巨木であり、存在感がある。 かなりの巨木のため移植は難しく、回復不能なほど大きく剪定されることになる。	●			B			
C	263	マテバシイ	6.0	61	4.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	有	大	樹幹傾斜(大)(東側)あり。 ひこばえが多数あり。 樹幹の傾きが大きく、移植後の健全な状態の維持は困難。	●			B			
C	264	クヌギ	15.0	155	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		無	中	枝葉量にやや偏りあり(東側に多い)。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	265	サカキ	5.5	2本立	3.5	61,45	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0	1.35	A	○			○					無	中	枝葉量が多く、樹勢は良好。	●			B			
C	266	ケヤキ	20.0	161	12.5	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.40	A	○						○		有	小	やや細いが、上部で枝葉が茂り、良好な状態である。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	267	スダジイ	12.0	161	8.5	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B	○						○		無	中	樹幹傾斜(小)あり。 大枝が伸長し、存在感のある樹木である。 移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	268	ケヤキ	11.0	70	10.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○		○					無	大	下枝が高く、上部で枝葉が広がる盃形の樹形である。	●			B			
C	269	マテバシイ	5.0	42	5.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.35	B			○					○	無	大	下枝に枯れあり。樹形に大きな乱れあり。 ひこばえが多数あり。 移植後の健全な生育が困難。	●			B			
C	270	スダジイ	9.5	149	7.5	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○				○			無	中	樹形に乱れがあるが、枝葉が充実して回復に向かっている。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名: Cエリア:銀杏並木東(銀杏並木以外の範囲)　調査日: 2023 年 5 月 24 日 〜 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》					STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1〜4評価						1〜4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	271	マテバシイ	7.0	48	4.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.25	B		○					○		無	大	ひこばえ多数あり。 下枝がなく、隣木からの被圧(大)により樹形乱れが大きく、移植後の健全な状態の維持は困難。	●			B			
C	272	マテバシイ	6.0	69	4.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B		○					○		無	中	片枝がなく、樹形不良で移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 ひこばえ多数あり。	●			B			
C	273	ケヤキ	20.0	338	20.0	−	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.25	B	○						○		有	小	幹に樹皮欠損・腐朽あり。 打音異常あり。 枯枝φ10, L=3.0mあり。 電柱2本に近接している。	●			B			
C	274	マテバシイ	7.0	65	2.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.35	B		○					○		無	大	樹幹傾斜あり。 根元に打音異常(小)あり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。	●			B			
C	275	モチノキ	7.0	83	3.5	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.05	B		○					○		無	大	枝に剪定痕からの腐朽あり。 大枝に腐朽あり。 根元にこぶあり。	●			B			
C	276	スダジイ	10.0	204	7.0	−	2.5	3.0	3.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.45	B			○				○		無	中	根元・幹に打診音異常 H0.0〜2.0mあり。 西側に開口空洞(8×7×28)あり。 枝に剪定痕からの腐朽あり。	●			B			
C	277	スダジイ	9.0	178	9.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○					○		無	中	東側に樹皮欠損(20×13)あり。 大枝に剪定痕からの腐朽あり。	●			B			
C	278	マテバシイ	5.0	52	4.0	−	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					無	大	片枝樹形であり、樹幹傾斜(東側)あり。 被圧(大)あり。	●			B			
C	279	マテバシイ	7.0	58	4.0	−	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B		○		○					無	大	片枝樹形であり、樹冠傾斜(東側)あり。	●			B			
C	280	ケヤキ	9.0	50	7.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					無	大	被圧(大)あり。 枯枝(H4m) L=3.0mあり。	●			A			
C	281	モッコク	5.5	70	3.0	−	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.90	B		○		○					無	中	被圧あり。 下枝(西側)に胴枯症状(120×10)あり。	●			B			
C	282	ケヤキ	17.0	184	10.0	−	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○					○		無	大	隣木のケヤキからの被圧(東側)あり。 剪定痕が複数あり。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	283	ケヤキ	20.0	283	20.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B	○						○		無	小	存在感があり、保存価値が高い。 枯枝(H15m), L=6mあり、下枝の一部に胴枯症状あり。 枯れ枝やかなりの巨木のため移植は難しく、回復不能なほど大きく剪定されることになる。	●			A			
C	284	マテバシイ	9.0	96	5.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.05	B		○		○					無	大	片枝樹形であり、樹冠傾斜(東側)あり。	●			A			
C	285	スダジイ	9.0	177	6.0	−	3.0	2.0	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B		○					○		無	大	片枝樹形であり、樹冠傾斜(東側)あり。 幹H0.6m〜1.5mに腐朽あり。 幹に大枝剪定痕からの腐朽あり。	●			A			
C	286	タブノキ	9.0	53	4.0	−	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.60	A	○			○					無	中	被圧を受けるが、樹形は良い。 枝が架線に接触している。 良好移植可能。	●			A			
C	287	スダジイ	7.0	128	5.0	−	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B			○					○	無	中	断幹あり。 開口空洞16×10(148)×25/45(芯達)あり。 打音異常(大)あり。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　26 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高（m）	規格 幹周（cm）	規格 葉張（m）	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	288	サワラ	16.0	179	6.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○					○		無	中	隣木のケヤキによる被圧あり。 下側の大枝が枯枝剪定により少ない。	●			B			
C	289	マテバシイ	3.0	44	2.5	－	4.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	3.10	C			○					○	無	大	幹に胴枯症状あり。 樹冠上部が枯れており、樹形が崩壊している。 撤去の必要あり。	●			C			
C	290	クスノキ	15.0	165	10.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B	○						○		有	中	存在感があり、保存価値が高い。 照明灯に近接している。	●			B			
C	291	ヒトツバタゴ	3.0	53	4.0	－	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.00	B			○	○					無	中	樹幹傾斜(西側)があり、断幹されている。 枝が電線に接触している。	●			B			
C	292	ヤブツバキ	6.0	55	4.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○			○					無	小	樹形が良好である。	●			A			
C	293	イヌマキ	5.5	2本立	3.5	58,36	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.50	B		○					○		無	中	樹形が崩壊しはじめている。	●			B			
C	294	シラカシ	18.0	227	12.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.90	B	○						○		有	大	幹に胴枯症状があり、開口空洞がある。 存在感があり、保存価値が高い。 幹(H0～1.8m)にカシノナガキクイムシの防除策(メイカコート塗布、カシナガホイホイ設置など)が施されている。 アスファルト舗装、フェンスに近接している。	●			B			
C	295	サンゴジュ	4.0	3本立	2.0	35,29,25	3.5	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.80	C			○					○	有	大	幹の上部に枯損があり、片枝樹形となっている。 照明灯に近接している。 フェンスに近接している。	●			C			
C	296	サザンカ	4.0	2本立	4.0	39,23	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A		○		○					有	大	根元に石組の石が埋もれている。	●			A			
C	297	シラカシ	14.0	158	10.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B		○					○		有	中	下枝が無い。 根元に石が埋もれていることにより、移植に当たっての適正根鉢の確保は困難	●			B			
C	298	ヤブツバキ	4.0	2本立	4.0	36,19	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.55	A		○		○					無	大	片枝樹形である。 根元に樹皮欠損(22×8)あり。	●			A			
C	299	シラカシ	14.0	137	7.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○					○		無	大	樹幹傾斜(北側)あり。 根元にベッコウタケの子実体あり。 幹に開口空洞が、数か所あり。 建物に近接してる。	●			B			
C	300	シラカシ	14.0	142	8.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B		○					○		有	中	片枝樹形である。 閉塞痕に打音異常(小)あり。 建物に近接しており、適正根鉢の確保困難。	●			B			
C	301	スダジイ	9.0	126	7.0	－	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○					○		有	大	幹に剪定痕からの腐朽あり。 大枝付根に腐朽と打音異常(小)あり。 根元に石が埋もれている。	●			B			
C	302	キンモクセイ	4.5	36（H0.7m）	2.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.80	B		○		○					無	中	やや片枝樹形である。	●			A			
C	303	トウネズミモチ	4.5	148（芝付）	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B			○					○	無	中	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
C	304	マテバシイ	8.5	86（H0.6m）	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.30	B		○					○		有	中	構造物と電線に近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア：銀杏並木東（銀杏並木以外の範囲）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日

エリア	樹木番号	樹種名	規格 樹高（m）	規格 幹周（cm）	規格 葉張（m）	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	305	ケヤキ	20.0	330	20.0	－	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.00	B	○						○		無	小	大枝に剪定痕からの腐朽あり。 巻き根あり。 存在感があり、保存価値が高い。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	306	ケヤキ	18.0	203	11.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.15	B		○					○		無	中	片枝樹形であり、樹幹傾斜(西側)あり。 大枝に樹皮枯死あり。 大枝に剪定痕からの腐朽あり。	●			B			
C	307	スダジイ	13.0	216	10.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.30	B		○					○		無	中	片枝樹形である。 根元にツリバリサルノコシカケの子実体が多数あり。 幹と剪定痕に背着生キノコ(種不明)の発生あり。 H1.0m～1.5mに打音異常(中)あり。 根元・幹(H0～0.5m)にメイカコートの塗布あり。 大枝に剪定痕からの腐朽あり。	●			B			
C	308	サワラ	14.0	128	6.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.30	B			○					○	無	中	樹幹傾斜(大)(東側)あり。 開口空洞 40×6(152)×22/40(芯達)、打音異常(大)あり。 支柱設置、もしくは撤去検討の必要性あり。	●			B			
C	309	スダジイ	12.0	212	10.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B		○					○		有	中	大枝に剪定痕からの腐朽あり。 打音異常(大)あり。 枝が電線に接触している。 鉄柵に近接している。	●			B			
C	310	シラカシ	14.0	178	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○					○		無	中	片枝樹形である。 幹に樹皮欠損・腐朽(16×11)あり。 幹(H0～1.3m)にカシノナガキクイムシの防除策(メイカコート塗布、カシナガホイホイ設置など)が施されている。	●			B			
C	311	マテバシイ	6.0	85	5.0	－	3.0	2.5	4.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.50	B			○					○	無	中	断幹により、樹冠上部の樹形に乱れあり。 幹の上部から中部にかけて、胴枯症状と、腐朽あり。	●			B			
C	312	トウネズミモチ	6.0	2本立	4.0	26,25	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B			○					○	無	中	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	A	●		
C	313	クスノキ	15.0	124	10.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.10	B		○					○		無	中	幹に打音異常(小)あり。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
C	314	スダジイ	15.0	190	9.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.95	B		○					○		無	中	樹幹傾斜(小)(西側)あり。 下枝に樹皮欠損・腐朽あり。	●			B			
C	315	ネズミモチ	4.0	4本立	4.0	31,26,21,15	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.35	B			○					○	無	中	幹にコフキサルノコシカケの発生あり。 大枝に背着生キノコ(種不明)の発生あり。 移植不可。	●			B			
C	316	ネズミモチ	4.0	3本立	3.0	20,18,12	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.20	B		○		○					無	中	－	●			B			
C	317	ネズミモチ	4.5	44	3.0	－	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.20	B		○		○					無	中	巻き根あり。 露出根あり。	●			B			
C	318	イロハモミジ	5.0	42	5.0	－	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.60	A		○		○					無	中	根元に樹皮欠損・腐朽(大)あるが、移植には問題ない。 枝が電柱に接触している。	●			A			
C	320	サクラ	3.5	20	4.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	1.60	A	○			○					無	中	新植である。 ひこばえ多数あり。	●			A			
C	321	クロマツ	14.0	119	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○					○		無	無	樹形が崩壊している。 大枝に枝折れ痕あり。 移植に伴う剪定をしたら幹のみになり、移植後の回復が困難。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	Cエリア:銀杏並木東(銀杏並木以外の範囲)	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 26 日																																			伐採理由
エリア	樹木番号		樹種名		規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
									1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
C	322		タイサンボク		10.0	91	5.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.80	B		○		○					無	無	巻き根あり。	●			A			
C	323		サクラ		5.0	3本立	5.0	52,27,26	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○			○					無	無	支柱が腐朽しており撤去の必要性あり。	●			A			
C	324		サクラ		4.0	3本立	3.0	25,20,16	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○			○					無	小	新植である。 支柱撤去の必要あり。	●			A			
C	325		クロマツ		12.0	104	5.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.90	B		○					○		無	無	枝折れ痕に腐朽あり。 支柱撤去の必要あり。 移植に伴う剪定をしたら幹のみになり、移植後の回復が困難。	●			B			
C	326		サクラ		5.0	274	3.0	−	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	1.5	1.5	1.5	1.5	3.00	C			○					○	有	無	幹にカワウソタケの子実体が多数あり。 根元にコフキサルノコシカケの子実体あり。 H1.2m～1.5mに打音異常(大)と打音異常(中)あり。 ほぼ枯死状態で、ひこばえが成長している。 注:葉の活力度(1.5)対象はひこばえ	●			B			
C	327		サクラ		4.0	34	3.0	−	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.40	A	○			○					無	中	新植である。 支柱撤去の必要あり。	●			A			
C	328		イロハモミジ		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	−	−	B			
C	329		サカキ		5.5	61	4.5	−	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	1.5	1.5	1.5	1.5	3.00	C			○					○	無	小	ほぼ枯死状態で、ひこばえが成長している。	●			B			
C	330		サクラ		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	−	−	B			
C	331		サクラ		3.5	24	2.0	−	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.60	A	○			○					無	中	新植である。 支柱撤去の必要あり。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場三塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
Y01-001		トウカエデ	14.0	245	9.0	–	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○						○	有	小	根上り、露出根の肥大生長あり。 縁石(球場側)、土留め壁が根元付近にあり。 露出根が道路側の土留め壁側で切断されている。	●			A			
Y01-002		シイノキ	12.0	160	8.0	–	2.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.85	B		○					○		有	小	幹H1.4mに腐朽(中)あり。 打音異常あり。 縁石が根元付近にあり。	●			A			
Y01-004		ヤブツバキ	4.5	80	2.5	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.85	B			○				○		有	中	根元(道路側)に樹皮枯死45×40(113)あり。 大枝H2.3mに開口空洞(中)あり。 駐車場縁石までの離隔距離0.8m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-005		ケヤキ	19.0	274	9.0	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	2.00	B			○				○		有	無	大径木の為、移植方法についての検討が必要である。 縁石が根元付近にあり。 隣木(Y01-004ヤブツバキ)に近接、根鉢径が重複する(離隔距離0.5m)。幹芯から駐車場縁石までの離隔距離1.2m、道路までの離隔距離2.1m。移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-006		シイノキ	12.0	210	11.5	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.75	A			○				○		有	小	露出根が多数あり。 樹幹傾斜あり。 縁石が根元にあり。 幹芯から桝までの離隔距離0.8m、駐車場縁石までの離隔距離1.2m、道路までの離隔距離1.8m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-007		ヒトツバタゴ	10.0	3本立	7.0	90,68,38	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	中	樹木番号Y01-006シイノキからの被圧あり。 縁石が根元付近にあり。		●		A			
Y01-008		ヒトツバタゴ	11.0	82	6.0	–	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A	○				○				有	小	露出根が多数あり。 両脇の樹木からの被圧あり。 看板基礎が根元にあり。	●			A			
Y01-009		マテバシイ	10.0	2本立	7.0	101,97	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○					○		有	小	枝にてんぐ巣病の症状あり。 道路側へやや片枝樹形である。 大枝に樹皮欠損 10×7あり。 枯枝(北側H3m) φ10, L=0.6mあり。 土留め壁が根元にあり。	●			A			
Y01-010		ヒトツバタゴ	10.0	164	7.0	–	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○			○					無	小	露出根が多数あり。 幹H1.4mにスタブカット(切り残し枝)あり。 樹形が良く、保存価値は高い。	●			A			
Y01-011		マテバシイ	8.0	137	4.0	–	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.40	B			○					○	有	小	根元・幹H0.1m～4.0mに開口空洞(大)(芯達)あり。被害が進行中であり、幹折れの可能性あり。 枝にてんぐ巣病の症状が多数あり。 土留め壁が根元にあり。	●			B			
Y01-012		タイサンボク	12.0	107	6.0	–	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.00	A	○			○					無	小	記念樹の立看板あり。	●			A			
Y01-013		シイノキ	11.0	205	8.0	–	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.60	A			○				○		有	小	樹幹傾斜(道路側)あり。 穿孔性害虫の穿孔痕あり。 斜面に位置する。 土留め壁が根元にあり。	●			A			
Y01-015		マテバシイ	7.0	60	5.0	–	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	中	双幹の一方は切除されている。 根元に樹皮欠損30×3あり。 幹に腐朽(進行中)あり。 ひこばえ多数あり。 マンホールが根元にある。	●			B			
Y01-016		マテバシイ	7.0	73	6.0	–	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○	○					無	中	樹幹傾斜(道路側)あり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。 斜面に位置する。 土留め壁が根元にあるが、移植時の根鉢確保可能。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場三塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
Y01-017		マテバシイ	8.0	2本立	8.0	80,48	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A		○		○					無	中	双幹が広がる方向に伸長しており樹形が悪い。 ひこばえ多数あり。	●			B			
Y01-018		シイノキ	10.0	2本立	8.0	205,58	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.70	A		○					○		有	中	大枝H0.9m～1.8mに開口空洞(中)(芯達)あり。 露出根が多数あり。 土留め壁が根元にあり。	●			A			
Y01-019		ケヤキ	16.0	269	11.0	－	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.10	A	○						○		有	無	大枝H6.0mに腐朽(大)あり。 コンクリート基礎が根元にあり。 照明灯の柱に枝の接触あり。	●			B			
Y01-020		ケヤキ	14.0	213	8.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	無	幹芯から駐車場縁石までの離隔距離1.3m、道路までの離距離1.9m。強剪定後の萌芽樹である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-021		ヒトツバタゴ	8.0	85	6.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			無	中	樹木番号Y01-023シイノキからの被圧あり。 被圧による樹幹傾斜あり。 露出根が多数あり。 斜面に位置する。	●			A			
Y01-022		モチノキ	8.0	133	4.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.35	A		○		○					有	小	露出根が多数あり。 幹芯からコンクリートブロックまでの距離1.2m。	●			A			
Y01-023		シイノキ	8.0	165	6.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.75	A		○					○		有	中	幹(H4.5m)に樹皮欠損30×30あり。 断幹されており、頂部に腐朽あり。 樹木番号Y01-024シラカシからの被圧あり。 道路側へ片枝樹形である。 土留め壁が根元にあり。	●			A			
Y01-024		シラカシ	16.0	163	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B		○					○		有	小	枯枝(東側H10m) φ10, L=1.0m、(西側H10m) φ10, L=0.2mあり。 土留め壁が根元にあり。	●			B			
Y01-025		シイノキ	14.0	165	6.0	－	2.5	2.0	2.5	3.0	2.0	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.85	B		○					○		有	中	幹(H2.3m)に開口空洞90×10(165)、打診音異常(大) H1.5～3mあり。 大枝(H5m)に開口空洞・腐朽100×10あり。 樹幹傾斜あり。 土留め壁が根元にあり。	●			A			
Y01-026		シラカシ	9.0	55	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.80	B		○		○					無	中	－	●			B			
Y01-027		マテバシイ	8.0	64	4.0	－	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	中	枯枝(高さH3m) φ15, L=0.7mあり。 ひこばえ多数あり。	●			B			
Y01-028		マテバシイ	3.5	23	2.0	－	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○	○					無	中	枝にてんぐ巣病の症状あるが、移植時は処置(剪定)を行い移植可能。 ひこばえ多数あり。 斜面に位置する。	●			B			
Y01-030		ケヤキ	20.0	218	10.0	－	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.65	A	○						○		有	小	大枝に樹皮欠損・腐朽(中)が2箇所あり。 幹芯からコンクリートブロックまでの距離1.5m。 土留め壁が根元にあり。	●			A			
Y01-031		イチョウ	21.0	170	8.0	－	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.40	A	○						○		有	小	幹芯からコンクリート基礎までの距離1.0m。	●			A			
Y01-032		シイノキ	14.0	239	7.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.60	A		○					○		有	小	根元に開口空洞(小)、ミツバチの営巣あり。 幹芯から土留めまでの離隔距離1.0m。 斜面に位置する。	●			A			
Y01-033		シイノキ	7.0	81	4.0	－	2.5	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B		○		○					無	中	断幹されており、樹形が崩壊している。 斜面に位置する。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名		野球場三塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
Y01-034		ケヤキ	20.0	292	14.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B	○						○		有	小	根元・幹H0.0m～2.5mに樹皮欠損(中)が2箇所あり。 ぶつ切り剪定されている。 幹芯からコンクリート基礎までの距離2.2m。 斜面に位置する。	●			B			
Y01-035		イスノキ	8.0	62	4.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.65	A		○		○					無	小	斜面に位置する。	●			A			
Y01-036		マテバシイ	5.0	2本立	3.5	79,59	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	中	大枝H2.5mに開口空洞30×15(69)×8/20あり。 枝にてんぐ巣病の症状あり。 枯枝(東H2.5m) Φ10, L=1.2mあり。 樹勢は普通であり、根鉢の確保ができ移植は可能。	●			B			
Y01-037		ケヤキ	11.0	149	7.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B		○		○					有	中	幹H0.5mに開口空洞・腐朽15×5(150)×12/40、巻込み(良)あり。 幹芯から電柱までの距離1.7m。 開口空洞問題無く、移植可能。	●			B			
Y01-038		ユズリハ	4.0	24	3.0	−	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.20	A	○			○					有	無	若木である。 記念樹の立看板あり。 幹芯から土留め壁までの距離0.5m。		●		A			
Y01-041		シイノキ	8.0	195	6.0	−	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.90	B			○				○		有	小	根元・幹に開口空洞55×10(196)×15/50あり。 幹H2.5mに開口空洞20×5(150)×10/30あり。 根元・幹に打診音異常あり。幹にコフキタケの発生あり。 樹形に乱れあり(樹冠に道路側への大きな偏り)。 大枝に腐朽(中)あり。 万年塀が根元にあり。 斜面に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y01-042		ケヤキ	16.0	260	10.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離1.7m。 大枝に剪定痕が多数あり。 強剪定後の萌芽樹である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-043		シイノキ	11.0	207	8.0	−	2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.0	1.0	1.0	2.10	B			○				○		有	無	幹芯から土留めまでの離隔距離1.4m。 樹形に乱れあり不適(樹冠に道路側への大きな偏り、樹幹傾斜)。 幹H3mにコフキサルノコシカケあり。 幹H4.5mに開口空洞あり。 枯枝(西側歩道上H4.5m) Φ15, L=2m、ほか多数あり。要切除。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-044		シイノキ	11.0	253	6.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	根元・幹に打診音異常(大) H0.0～1.5mあり。 鋼棒貫入異常あり。 大枝に剪定痕からの腐朽20×20(北側H1m)、15×10(西側H1m)、20×20(南H1.4)あり。 根元から幹に腐朽が多く、軽減剪定が必要である。 土留め壁が根元にあり。 斜面に位置する。	●			B			
Y01-045		イヌツゲ	3.5	3本立	2.0	33,24,14	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.80	B		○		○					無	中	幹H1.5mに開口空洞(小)、巻込みあり。 3本立の主幹(C33)の高さH2mより上部が枯死している。	●			A			
Y01-047		シイノキ	8.0	96	6.0	−	3.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.85	B			○					○	有	大	根元に開口空洞40×10×20/35(芯達)、打音異常あり。 樹幹傾斜(道路側)、片枝樹形である。 土留め壁が根元にあり。	●			B			
Y01-048		シイノキ	11.0	172	10.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A		○					○		有	小	大枝に樹皮欠損(中)が多数あり。 幹芯からコンクリート基礎までの距離1.7m。	●			A			
Y01-049		シイノキ	8.0	170	7.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.85	B			○				○		有	無	大枝に樹皮欠損(小)が2箇所あり。 大枝が看板に接触している。 幹芯から看板基礎までの離隔距離0.9m、歩車道縁石までの離隔距離0.9m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-050		イチョウ	14.0	393	6.0	−	2.5	2.0	3.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○						○	有	無	幹H0.7m～1.8mに開口空洞120×50(390)×30/100ほか、3箇所、打音異常(大)あり。 縁石が根元にあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場三塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●：変更樹木			ABCD			
Y01-051		ケヤキ	20.0	267	10.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○					○		無	無	露出根あり。 幹芯からアスファルト舗装までの距離2.3m、マンホールまでの距離2.7m。	●			B			
Y01-052		シイノキ	11.0	135	6.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.75	A		○		○					無	小	根元・幹に打音異常H0.0m～0.8mあるが移植には問題ない程度。	●			A			
Y01-053		イチョウ	17.0	285	8.5	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○				○			有	無	幹H0.4m～1.6mに開口空洞(小)が3箇所、打診音異常(小)あり。 根鉢が大きいが、場内であれば移植はできる。 樹冠を構成する大枝の剪定状態についても良好である。	●			B			
Y01-054		カイヅカイブキ	3.0	28	0.8	－	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○				○		有	中	樹冠が小さい。 フェンスが近接している。 幹芯から万年塀までの距離0.6m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-055		カイヅカイブキ	3.0	19	0.9	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)は、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-056		カイヅカイブキ	3.0	23	0.9	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-057		カイヅカイブキ	3.0	26	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-058		カイヅカイブキ	3.0	24	0.9	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-059		カイヅカイブキ	3.0	23	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-060		カイヅカイブキ	3.0	20	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-061		カイヅカイブキ	3.0	23	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y01-062		カイヅカイブキ	3.0	23	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-063		カイヅカイブキ	3.0	25	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-064		カイヅカイブキ	3.0	23	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-065		カイヅカイブキ	3.0	27	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-066		カイヅカイブキ	3.0	24	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名			野球場三塁側														調査日					2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日												伐採理由		
樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
Y01-067		カイヅカイブキ	3.5	30	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-068		カイヅカイブキ	3.0	26	0.8	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-069		カイヅカイブキ	3.5	26	0.9	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-070		カイヅカイブキ	3.5	28	0.9	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-071		カイヅカイブキ	3.5	31	0.9	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○				○		有	無	幹芯から万年塀までの離隔距離0.6m。 樹形に乱れあり、樹形不良(万年塀側に枝葉なし、樹幹に傾き)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
Y01-072		ケヤキ	17.0	286	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	無	大枝H7mに開口空洞あり。 幹芯から万年塀までの離隔距離1.4m、土留めまでの離隔距離2.3m。 大きな柱に近接。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y01-083		ソロ	13.0	154	8.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	無	根元･幹H0.0m～3.0mに開口空洞、打診音異常あり。 幹芯から万年塀までの離隔距離0.8m、土留めまでの離隔距離2.2m。移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-001		シイノキ	13.0	243	11.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.00	B		○					○		有	小	根元・幹に打音異常(小) H0.0m～2.0mあり。 巻き根(大)あり。 腐朽枝φ30(西側)あり。小枝に枯れが散在する。 コンクリートブロックの植栽帯内に位置する。	●			B			
Y02-002		イスノキ	8.0	89	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 コンクリートブロックの植栽帯内に位置する。	●			B			
Y02-003		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	－	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	1.0	3.35	D			○				○		有	大	樹形・樹勢が悪く、上部に枯枝多数あり。 根元の揺らぎ(大)あり。 電源盤に近接している。 コンクリートブロックの植栽帯内に位置する。	●			D			
Y02-004		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	－	3.5	3.5	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.70	C			○				○		有	大	片枝樹形である。 コンクリートブロックの植栽帯内に位置する。	●			C			
Y02-006		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	－	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.45	B			○				○		有	中	巻き根あり。 片枝樹形である。 電源盤に近接している。 コンクリートブロックの植栽帯内に位置する。	●			B			
Y02-007		カイヅカイブキ	3.0	35	1.0	－	3.5	3.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.60	C			○				○		有	中	根元の揺らぎ(小)、巻き根(小)あり。 片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			C			
Y02-008		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	－	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	1.0	2.50	B			○				○		有	中	根元の揺らぎ(小)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 片側に枝がなく、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
Y02-009		カイヅカイブキ	3.0	31	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.60	C			○				○		有	中	片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			C			
Y02-010		カイヅカイブキ	3.0	33	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	電源盤と照明に近接している。 樹木番号Y02-11ケヤキに近接している。	●			B			
Y02-011		ケヤキ	15.0	255	18.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B	○						○		有	無	巻き根(大)あり。 大枝の相互接触、食い込みあり。 隣木のサンゴジュと接触している。 照明に近接している。	●			B			
Y02-013		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	根元の揺らぎ(小)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 片枝樹形である。 照明に近接している。 樹木番号Y02-11ケヤキに近接している。	●			B			
Y02-014		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.30	B		○					○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			B			
Y02-015		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	電源盤に近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高（m）	規格 幹周（cm）	規格 葉張（m）	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	活力度 平均評点	活力度 評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-016		カイヅカイブキ	3.0	33	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			B			
Y02-017		カイヅカイブキ	3.0	33	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			B			
Y02-018		カイヅカイブキ	3.0	33	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		無	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 片側に枝がなく、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
Y02-019		カイヅカイブキ	3.0	32	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	根元の揺らぎ（中）あり。 片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			B			
Y02-020		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	根元の揺らぎ（小）あり。ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			B			
Y02-021		カイヅカイブキ	3.0	37	1.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		有	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 片枝樹形である。 電源盤に近接している。	●			B			
Y02-022		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		有	中	樹木番号Y02-23ケヤキに近接しており、移植時の根鉢確保困難。	●			B			
Y02-023		ケヤキ	14.0	220	15.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B	○						○		有	小	断幹されており、切断部に腐朽あり。 ぶつ切り剪定されている。 高さH1.0mで、2分岐しており、入り皮状態にある。 幹に打音異常（小） H1.0～2.0mあり。	●			B			
Y02-024		ケヤキ	10.0	221	9.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○				○		有	無	ぶつ切り剪定されている。 剪定痕の腐朽、剪定痕からの枯損・枯枝が複数あり。 電源盤に近接している。 石積の植栽帯に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-028		カイヅカイブキ	3.0	44	2.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		無	無	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-029		カイヅカイブキ	3.0	43	2.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		無	無	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-030		カイヅカイブキ	3.0	39	2.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		無	無	石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-031		カイヅカイブキ	3.0	37	1.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		無	小	根元の揺らぎ（小）あり。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良（片枝樹形）。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-032		カイヅカイブキ	3.0	36	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		無	小	根元の揺らぎ(小)あり。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-033		カイヅカイブキ	2.9	31	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	中	樹高が3m以下である。 隣接するプラタナスからの被圧あり。 石積の植栽帯に位置し、電気のマンホールにも近接する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-034		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.50	B			○				○		有	中	石積の植栽帯に位置し、マンホールにも近接する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-035		カイヅカイブキ	3.0	38	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.50	B			○				○		無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-036		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.50	B			○				○		無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-037		カイヅカイブキ	2.9	32	0.9	－	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.05	C			○					○	無	大	樹高が3m以下である。 石積の植栽帯に位置する。 被圧により北側の枝しかなく樹形不良である。 活力度が悪く移植後の健全な生育が困難。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
Y02-038		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.50	B			○				○		無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
Y02-039		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	2.80	C			○				○		無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 樹木番号Y02-053シイノキからの被圧あり。 石積の植栽帯に位置する。 活力度が悪く、樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
Y02-040		カイヅカイブキ	3.0	31	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	2.80	C			○				○		無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 樹木番号Y02-054マテバシイからの被圧あり。 石積の植栽帯に位置する。 活力度が悪く、樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
Y02-041		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	2.80	C			○				○		無	大	根元の揺らぎ(小)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 樹木番号Y02-054マテバシイからの被圧あり。 石積の植栽帯に位置する。 活力度が悪く、樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
Y02-042		カイヅカイブキ	2.8	28	0.9	－	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	2.90	C			○					○	無	大	樹高が3m以下である。 被圧(大)あり樹形不良である。 石積の植栽帯に位置する。 活力度が悪く、樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 〜 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	B	C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1〜4評価						1〜4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-043		カイヅカイブキ	2.9	28	1.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	中	樹高が3m以下である。 樹木番号Y02-055シイノキからの被圧あり。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-044		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.80	C			○				○		無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 活力度が悪く、樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-045		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.80	C			○				○		無	中	根元の揺らぎ(小)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 活力度が悪く、樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-046		カイヅカイブキ	3.0	30	1.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.80	C			○				○		無	中	根元の揺らぎ(小)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 活力度が悪く、樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-047		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.30	B			○				○		無	中	根元の揺らぎ(小)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-048		カイヅカイブキ	3.0	35	1.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○				○		無	中	根元の揺らぎ(小)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-049		カイヅカイブキ	3.0	32	1.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.30	B			○				○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-050		カイヅカイブキ	3.0	39	1.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.30	B			○				○		有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 石積の植栽帯に位置する。 樹形に乱れあり、樹形不良(片枝樹形)。移植後の回復見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-051		プラタナス	15.0	187	9.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.90	B		○			○				有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 ぶつ切り剪定が多数あり。 幹(北側)H0.3mに大きな傷の巻き込みによる肥大あり。 斜面に位置する。		●		B			
Y02-052		プラタナス	14.0	124	7.0	−	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.95	B		○			○				有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 ぶつ切り剪定、幹に樹皮欠損が多数あり。 大枝付け根(南側)に開口空洞(小)あり。 変電設備のマンホールに近接している。		●		B			
Y02-053		シイノキ	11.0	172	10.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	中	根元・幹に打音異常(小) H0.0m〜2.5mあり。 幹(北側)H2.5mに開口空洞 12×5×30/45(芯達)、ハチの巣あり。 幹に背着生キノコあり。大枝にキノコあり。枯枝あり。 変電設備のマンホールに近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-054		マテバシイ	7.0	75	5.0	−	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	3.0	1.0	2.65	C			○				○		有	大	樹幹傾斜(北側)(中)あり。ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 枝に多芽症状あり。 樹木番号Y02-053シイノキ、Y02-062ケヤキからの被圧あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高 (m)	規格 幹周 (cm)	規格 葉張 (m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-055		シイノキ	7.5	61	4.0	－	3.0	3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	3.5	3.0	1.0	2.50	B			○				○		有	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 胴吹き枝が多数あり。 樹木番号Y02-057ケヤキ、Y02-062ケヤキからの被圧あり。 斜面に位置する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-056		マテバシイ	6.0	107	2.5	－	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.5	2.5	3.0	2.5	1.0	3.15	C			○				○		有	中	幹(西側)H1.0mに開口空洞 90×15(貫通)あり。 根元･幹に打音異常 H0.0m～2.5mあり。 主幹の枯れ下がりあり。幹折れの可能性あり。 ポンプ、配管、制御盤に近接している。 活力度が悪く移植後の健全な生育が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
Y02-057		ケヤキ	15.0	212	10.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○				○		有	小	幹分岐部に入り皮あり。 ぶつ切り剪定が多数あり。スタブカット(切り残し枝)の枯損あり。 貯水槽に近接し、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-058		マテバシイ	6.5	147	5.0	－	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.0	2.10	B			○				○		有	小	胴吹き枝が多数あり。 幹上部に電信柱のワイヤー支線が掛けられている。 貯水槽に近接し、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-061		ムクノキ	14.0	164	12.0	－	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.95	B			○				○		有	大	巻き根(中)あり。 片枝樹形である。 樹木番号Y02-062ケヤキからの被圧あり。 貯水槽に近接する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-062		ケヤキ	14.5	230	15.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.85	B		○				○			有	小	大枝(西側)に樹皮欠損(穿孔性虫害の食害痕)あり。打音異常(小) H1.5～2.0mあり。 深植え状態にある。 貯水槽に近接する。		●		B			
Y02-076		ヒトツバタゴ	5.0	69	4.0	－	1.0	1.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○					○		有	中	ぶつ切り剪定が複数あり。 斜面に位置する。 倉庫に近接している。	●			A			
Y02-086		マテバシイ	3.5	190	3.8	－	3.5	3.0	4.0	3.5	3.5	3.0	2.5	3.0	2.5	1.0	2.95	C			○					○	有	大	大枝･幹に腐朽(大)あり。 幹に打音異常(大) H0.5～1.5mあり。 大枝に開口空洞(大)あり。 テニスコートに近接している。	●			C			
Y02-087		マテバシイ	8.0	142	7.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	小	枝に多芽症状あり。 ひこばえが多数あり。 斜面に位置する。 テニスコート、フェンスに近接している。	●			B			
Y02-088		ユズリハ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	ー	ー	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	－	－	C			
Y02-089		サンゴジュ	4.0	2本立	1.5	33,15	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	1.0	3.25	C			○					○	無	大	斜面に位置する。 テニスコートに近接している。 活力度が悪く、移植後に健全な状態への回復は難しい。	●			C			
Y02-090		ユズリハ	5.5	80	3.0	－	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	2.5	1.0	2.65	C			○				○		有	大	幹に樹皮欠損30×10cm、H1.5～2.0mあり。 ぶつ切り剪定が多数あり。 上記状態は、移植後も健全な状態への回復は難しい。 斜面に位置する。	●			C			
Y02-091		サンゴジュ	3.0	21	1.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	1.0	3.25	C			○				○		有	大	テニスコートに近接している。 活力度が悪く、移植後に健全な状態への回復は難しい。	●			C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高（ｍ）	幹周（cm）	葉張（ｍ）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-092		ユズリハ	6.0	80	3.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.50	B			○				○		有	大	根元に開口空洞からの腐朽あり。 幹H1.5mに開口空洞あり。 根元・幹に打音異常(小) H0.0m～1.0mあり。 フェンスとテニスコートに近接している。	●			C			
Y02-093		ユズリハ	5.0	2本立	3.5	81,64	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.50	B			○				○		有	大	巻き根あり。 幹H0.5m～1.2mに樹皮枯死あり。 根元・幹に打音異常(中) H0.0～2.5mあり。 双幹の片側は枯死している。	●			B			
Y02-094		ユズリハ	5.0	2本立	4.0	80,65	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.0	2.25	B		○					○		有	大	大枝に腐朽、大枝付け根に入り皮あり。 巻き根あり。	●			B			
Y02-095		ツバキ	3. 5	2本立	1.8	17,15	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○				○		有	中	Y02-095,Y02-096,Y02-097は群植されており、単木では被圧(中)により枝葉量が少なく、樹勢・樹形不良である。 雨水桝が近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-096		ツバキ	3.5	3本立	2.5	25,18,17	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○				○		無	大	Y02-095,Y02-096,Y02-097は群植されており、単木では被圧により枝葉量が少なく、樹形不良である。 被圧密植で単木での移植後の樹形・樹勢回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-097		ツバキ	3.5	3本立	2.2	24,24,20	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○				○		無	大	Y02-095,Y02-096,Y02-097は群植されており、単木では被圧により枝葉量が少なく、樹形不良である。 被圧密植で単木での移植後の樹形・樹勢回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-098		ツバキ	3.5	4本立	2.5	26,25,17,13	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	大	ツバキが群植されている。		●		B			
Y02-099		ツバキ	3.5	2本立	2.5	18,13	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	大	ツバキが群植されている。		●		B			
Y02-100		ウバメガシ	4.0	34	2.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	無	大	周辺木と近接している。被圧・密植で枝葉少なく、移植後の樹形・樹勢回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-101		ウバメガシ	4.0	2本立	3.0	24,19	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○					○	無	大	幹が屈曲している。 周辺木と近接している。被圧・密植で枝葉少なく、移植後の樹形・樹勢回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-102		ウバメガシ	4.0	24	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○					○	無	大	周辺木と近接している。被圧・密植で枝葉少なく、移植後の樹形・樹勢回復は見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-103		ヒマラヤスギ	20.0	315	13.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	有	小	下枝にスタブカット(切り残し枝)が多数あり。 縁石の押し上げあり。 深植え状態にある。 駐車場の植桝内に位置する。狭小な植桝(0.6x0.6m)である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-104		プラタナス	15.0	211	6.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B		○			○				有	中	幹H4.0mに樹皮欠損 20×15が2箇所あり。 スタブカット(切り残し枝)に開口空洞が数か所あり。 ぶつ切り剪定されている。 深植え状態にある。 コンクリートブロックに囲まれた植栽帯内に位置する。 上記あるものの、移植を行うことはできる。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名		野球場一塁側																調査日						2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日												
樹木番号		樹種名	規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　　考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》					伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧		保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-105		フウ	5.0	63	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○		○				有	大	高さH2.1mの梢端切除部に開口空洞あるが、移植はできる状態となっている。 コンクリートブロックに囲まれた植栽帯内に位置するが根鉢確保可能。			●	B			
Y02-106		マンシュウカエデ	12.0	2本立	7.5	145,134	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○			○				有	中	幹H3mに開口空洞 20×12(巻き込み中)あり。 擁壁を壊わすことで根鉢確保が可能である。		●		B			
Y02-107		ケヤキ	20.0	211	11.0	－	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○				○		有	小	幹に打音異常(小) H1.0～2.5mあり。 深植え状態にある。 縁石の押し上げあり。 ブロックと舗装に近接する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-108		モッコク	3.5	3本立	3.0	36,35,35	2.5	2.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○				○		無	中	大枝に枝折れ痕、樹皮欠損が複数あり。移植樹として不適である。 根元は2本立ちである。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-109		ヒトツバタゴ	4.5	37	2.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.15	B			○				○		無	大	ぶつ切り剪定されている。 被圧による樹形に乱れがあり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-110		ヒトツバタゴ	4.5	29	2.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○				○		無	大	北側の大枝に枯枝あり。 ぶつ切り剪定されている。 樹形に乱れあり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-111		ヒトツバタゴ	6.0	60	4.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.15	B		○			○				無	中	幹H2mに樹皮欠損 10×8あり。 ぶつ切り剪定されている。		●		B			
Y02-112		クロマツ	16.0	101	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.20	B			○				○		無	小	下枝がかなり高い位置にある。 樹形に乱れあり(H10mまで下枝なし)、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-113		コウヤマキ	7.0	59	3.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	2.0	1.0	3.00	C			○					○	有	大	双幹の一方が断幹されている。 幹H2.5mに樹皮欠損150×10あり。 幹に打音異常(小) H0.5～1.0mあり。 幹に樹皮欠損多数あり。 幹全体におよぶ腐朽が大きく、下枝が高く、枝葉量が少ない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
Y02-114		メタセコイア	21.0	275	11.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A			○				○		有	小	過去にぶつ切り剪定されている。 舗装の押し上げあり。 舗装に囲まれる。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y02-115		マテバシイ	8.0	93	4.0	－	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.15	B			○				○		有	中	枯枝が数か所あり。 多芽症状あり。 深植え状態にある。 細い電柱に近接している。 樹形に乱れあり(樹幹傾斜)。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-116		フウ	15.0	161	5.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		有	大	幹H1.2mに断幹痕からの開口空洞 20×19(160)×10あり。 深植え状態にある。 LPガス警報器に近接している。	●			B			
Y02-117		カラタネオガタマ	4.0	2本立	2.0	20,16	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.10	B			○				○		無	小	梢端切除されており、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-118		カラタネオガタマ	4.0	2本立	3.0	21,13	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		無	中	梢端切除されており、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-119		ヒマラヤスギ	21.0	165	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B	○				○				有	無	深植え状態にある。 盛土あり。 隣木(Y02-120モチノキ)と根鉢が重複するするため、モチノキを移植しない場合は根鉢が確保できる。		●		B			
Y02-120		モチノキ	11.0	2本立	4.0	77,50	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		有	中	深植え状態にある。 盛土あり。 被圧による樹形に乱れ(樹幹傾斜)あり。隣木ヒマラヤスギと競合。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-121		カラタネオガタマ	3.0	2本立	2.0	19,16	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	中	枝葉少なく、移植後に健全な状態への回復が困難。	●			B			
Y02-122		フウ	5.0	120	2.5	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.70	C			○					○	無	大	断幹されている。幹H3mから上部が枯損している。 チャアナタケモドキの発生あり。 樹形が崩壊している。	●			B			
Y02-123		プラタナス	21.0	263	6.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○					○		無	中	ぶつ切り剪定されている。 深植え状態にある。 斜面に位置する。	●			B			
Y02-124		クスノキ	18.0	185	8.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		有	中	ぶつ切り剪定されている。 やや深植え状態にある。 根がフェンスに接触しており、移植時の根鉢確保困難。	●			B			
Y02-125		フウ	13.0	117	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○		○					無	中	深植え状態にある。 斜面に位置するが、萌芽力があり移植可。	●			B			
Y02-126		カラタネオガタマ	3.0	2本立	3.0	10,7	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	無	大	幹(双幹)に樹皮枯死(大)あり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
Y02-127		カラタネオガタマ	3.5	3本立	2.5	26,13,10	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	中	断幹されている。	●			B			
Y02-128		カラタネオガタマ	4.0	3本立	2.5	30,18,9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	梢端切除されている。 フェンスが近接している。	●			B			
Y02-129		カラタネオガタマ	4.0	23	2.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	中		●			B			
Y02-130		ソメイヨシノ	15.0	230	12.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		有	中	幹(南側)H1.0mに開口空洞 25×13×5あり。 幹に樹皮欠損・腐朽 22×10(230)あり。 幹に打音異常(小) H0.5～1.2mあり。 深植え状態にある。 フェンスが近接している。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-131		シイノキ	15.0	195	7.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	中	ひこばえが多数あり。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
Y02-132		イヌツゲ	4.5	2本立	3.0	26,16	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	中	枝抜け痕が数か所あり。	●			B			
Y02-133		ソメイヨシノ	15.0	255	10.0	–	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	中	幹(南側)H1.0mにコフキサルノコシカケの子実体あり。 根元・幹(南側)H0.0～1.4mに樹皮枯死・欠損 140×80(260)あり。 樹幹傾斜あるが、上部で持ち直している。 胴吹きが多数あり。 フェンスが接触している。	●			B			
Y02-134		マテバシイ	2.5	4本立	2.0	6,5,5,5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.85	B			○					○	無	中	樹高が3m以下である。 伐採後のひこばえ伸長状態である。	●			B			
Y02-135		ツバキ	4.5	57	4.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	ひこばえが多数あるが、移植は可能。	●			B			
Y02-136		サンゴジュ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	枯損している。	※	–	–	C			
Y02-137		サンゴジュ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	枯損している。	※	–	–	C			
Y02-139		サンゴジュ	3.2	22	1.0	–	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.95	C			○					○	無	大	断幹されている。 下枝が少ない。	●			C			
Y02-140		サンゴジュ	3.6	20	2.0	–	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.0	2.70	C			○					○	無	大	下枝がなく、樹形不良で移植後に健全な状態への回復が見込めない。	●			C			
Y02-142		サンゴジュ	3.6	22	2.0	–	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	無	大	断幹されている(樹形不良)。 葉の食害あり(サンゴジュハムシ)。	●			C			
Y02-146		サンゴジュ	3.2	18	1.8	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.60	C			○					○	有	大	フェンスが近接している。 活力度が悪く、移植後に健全な状態への回復は難しい。	●			C			
Y02-151		ソメイヨシノ	14.0	191	10.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	中	樹幹傾斜あり。 胴吹き枝の剪定痕が多数あり。 スタブカット(切り残し枝)、腐朽あり。 斜面に位置する。 コンクリートパイプが根元にあり。 テニスコートのフェンスが近接している。	●			B			
Y02-152		ヒイラギモクセイ	4.5	46	5.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○					○		有	大	ひこばえが、多数あり。 コンクリートパイプが、根元にあり。 テニスコートのフェンスが、近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-153		ソメイヨシノ	16.0	245	15.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		有	中	樹幹傾斜(小)(車道側)あり。 胴吹き枝が多数あり。 道とのフェンスが近接している。	●			B			
Y02-154		サンゴジュ	3.5	21	2.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.80	C			○					○	無	大	被圧により葉量が少ない。 葉の食害あり(サンゴジュハムシ)。	●			C			
Y02-155		ムクノキ	4.0	22	2.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		無	大	樹皮欠損10×10あり。 断幹されている。 実生の若木で下枝がなく回復の見込みがない。	●			A			
Y02-157		ネズミモチ	3.5	6本立	3.0	22,20,19,15,12,10	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		無	大	ぶつ切り剪定されており、移植後に健全な状態への回復が見込めない。	●			B			
Y02-158		シイノキ	10.0	168	8.0	－	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○					○		無	大	断幹されている。 根元・幹に打音異常(大) H0.0m～2.5mあり。 幹H1.4mの大枝剪定痕にコフキタケの発生あり。 スタブカット(切り残し枝)からの開口空洞が4箇所あり。 深植え状態にある。	●			B			
Y02-159		シイノキ	14.0	199	9.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B	○						○		無	中	移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
Y02-160		トウネズミモチ	5.0	40	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	無	大	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
Y02-161		サルスベリ	6.0	54	4.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○				○		無	大	穿孔性虫害あり。 樹形に乱れあり(樹幹傾斜)、幹に開口空洞あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-164		モチノキ	6.0	37	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	中	深植え状態にある。	●			B			
Y02-165		ヒサカキ	3.2	2本立	1.5	26,15	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○		○					無	大	移植可能	●			B			
Y02-166		ヒサカキ	3.5	19	2.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.0	1.95	B		○		○					無	大	移植可能	●			B			
Y02-167		ヒサカキ	3.5	21	2.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	大	移植可能	●			B			
Y02-168		ヒサカキ	3.5	30	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	大	移植可能	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考					伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-170		フウ	11.0	90	2.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		無	大	高さH5.0mで断幹されている。 深植え状態にある。	●			B			
Y02-171		シラカシ	8.0	120	6.0	–	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○				○		有	大	幹(北側)H2.0mに開口空洞 20×8×18/33(芯達)あり。 根元・幹に打音異常(中) H0.0m～2.5mあり。 トイレとのフェンスが近接している。	●			B			
Y02-172		トウカエデ	11.5	160	8.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○				○		有	中	根が階段にくい込んでいる。 縁石の押し上げあり。 トイレ脇の植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y02-173		ソメイヨシノ	13.0	273	13.0	–	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B	○						○		有	中	根元にベッコウタケの発生あり。 縁石の押し上げあり。 巻き根あり。 植桝内に位置する。	●			A			
Y02-174		プラタナス	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	※	–	–	C			
Y02-175		ツバキ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	枯損。	※	–	–	A			
Y02-176		クロガネモチ	14.0	135	5.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		有	中	片枝樹形である。 トイレに近接する。	●			B			
Y02-177		トウネズミモチ	3.0	19 (H0.5)	2.0	–	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.10	B			○					○	無	中	樹幹傾斜(中)あり。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
Y02-178		トウネズミモチ	5.5	2本立	4.0	45,42	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	無	中	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
Y02-179		ツバキ	3.0	3本立	2.0	22,16,11	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	フェンスが近接している。	●			B			
Y02-180		ネズミモチ	3.0	18	1.5	–	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	中	フェンスが近接している。	●			B			
Y02-181		トウネズミモチ	8.0	3本立	5.0	68,49,43	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.70	A			○					○	有	中	トイレに近接している。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	A	●		
Y02-182		ツバキ	5.0	64	3.0	–	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.85	B			○					○	有	小	幹に開口空洞(大)(H0.7m～1.8m, 深さ18cm)(芯達)あり。 建物に近接しており、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-183		サンゴジュ	6.5	80	4.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	2.20	B			○				○		有	中	ブロック塀に近接している。 樹形に乱れあり(樹幹傾斜、下枝が高い)。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-184		ボダイジュ	18.0	191	10.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.70	A	○						○		有	小	巻き根あり。 建物と樹木に近接している。	●			A			
Y02-185		モッコク	5.5	3本立	4.0	56,52,41	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.10	B		○					○		有	中	根元に開口空洞(中)あり。 フェンスが近接している。	●			B			
Y02-186		ケヤキ	20.0	217	14.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.5	1.5	1.0	1.85	B	○						○		有	小	幹H2.5mに開口空洞 深さ5cmあり。 幹に打音異常(小) H2.0m～2.5mあり。 フェンスが近接している。	●			B			
Y02-187		ツバキ	6.0	49	4.0	–	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	小	幹H1.5mに樹皮欠損(小)あり。	●			B			
Y02-188		トウカエデ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	枯死している。	※	–	–	B			
Y02-189		イスノキ	4.5	14	0.7		3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○				○		有	中	ブロック塀に近接している。 実生木と思われ、イスノキ3本Y02-189,Y02-190,Y02-191が密植し、単木では樹形に乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-190		イスノキ	4.5	16	1.5	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B			○				○		有	中	ブロック塀に近接している。 実生木と思われ、イスノキ3本Y02-189,Y02-190,Y02-191が密植し、単木では樹形に乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-191		イスノキ	5.0	16	1.5	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B			○				○		有	中	ブロック塀に近接している。 実生木と思われ、イスノキ3本Y02-189,Y02-190,Y02-191が密植し、単木では樹形に乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-192		モチノキ	4.5	49	2.0	–	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.30	B		○		○					有	中	大枝H1.2mに腐朽(中)あり。大枝H2.5mに腐朽(中)あり。 葉にタイワントガリキジラミの虫害あり。 ブロック塀に近接している。		●		B			
Y02-193		イスノキ	9.0	123	6.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.80	B	○			○					有	小	大枝H2.0mに腐朽(中)あり。 ブロック塀に近接している。	●			A			
Y02-194		ヒサカキ	5.0	28	2.0	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.60	C			○					○	無	中	根元・幹にベッコウタケの発生あり。 幹H1.0mに開口空洞(小)あり。幹H1.2mに開口空洞(小)あり。幹H2.5mに開口空洞(小)あり。 大枝に枯枝あり。	●			B			
Y02-195		ソメイヨシノ	11.0	24	11.5	–	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.45	B			○				○		有	中	根元・幹に打音異常(小) H0.0m～1.2mあり。 大枝にぶつ切り剪定痕からの腐朽(大)、腐朽(中)が複数あり。 フェンスが近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-196		モチノキ	7.0	85	5.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	小	ブロック塀に近接している。	●			B			
Y02-197		トウネズミモチ	8.0	2本立	5.0	90,42	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	有	中	大枝H1.2mに腐朽(中)あり。 ブロック塀に近接している。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	A	●		
Y02-198		ツバキ	4.0	2本立	4.0	60,35	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.75	A		○					○		有	小	幹H1.0m～1.5mに腐朽(小)が8箇所あり。 フェンスが近接している。	●			B			
Y02-200		ツバキ	5.0	75	4.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A		○		○					有	中	大枝付け根H1.2mに樹皮欠損(中)あり。 大枝H2.0mに樹皮欠損(中)あり。 フェンスが近接している。	●			B			
Y02-202		ヤエザクラ	8.0	2本立	9.0	122,81	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○					○		有	中	幹に打音異常0.5m～1.0mあり。 幹H1.0mに腐朽(中)あり。	●			B			
Y02-209		ソメイヨシノ	10.0	297	16.0	–	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.35	B	○						○		有	小	根元・幹に打診音異常(小) H0.0～1.6mあり。 大枝H3.0m～3.5mに亀裂あり。 大枝付け根H2.5mに剪定痕からの腐朽(大)あり。 フェンスが近接している。	●			B			
Y02-246		ヒマラヤスギ	18.0	255	12.0	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A			○				○		有	小	コンクリート基礎に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
Y02-247		クロマツ	15.0	157	9.5	–	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B	○						○		有	小	コンクリート基礎に近接している。 樹木番号Y02-248モチノキと根元が近接している。	●			A			
Y02-248		モチノキ	7.0	57	2.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○					○		有	小	葉にタイワントガリキジラミの虫害あり。 コンクリート壁に近接している。 樹木番号Y02-247クロマツと根元が近接している。	●			B			
Y02-249		クロマツ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	※	–	–	B			
Y02-250		サカキ	7.5	76	4.5	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	1.0	2.5	1.0	1.85	B		○					○		有	小	幹H1.0mに開口空洞(中) 深さ10cmあり。 フェンスが近接している。	●			B			
Y02-251		ソメイヨシノ	11.0	208	12.0	–	2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B			○					○	有	中	幹H0.5m～1.0mにベッコウタケの発生あり。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～1.3mあり。 スタブカット(切り残し枝)からの腐朽が多数あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
Y02-257		ウバメガシ	7.0	4本立	5.0	95,89,46,31	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.75	A		○					○		有	中	根元に開口空洞(芯達)あり。 スタブカット(切り残し枝)からの腐朽が多数あり。 コンクリート土留めに近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名		野球場一塁側																調査日					2023 年　5 月　22 日　～　2023 年　5月　24 日													
樹木番号		樹種名	規　格 樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備　　考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-260		ヤマモモ	6.5	89	4.5	-	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.75	A		○					○		有	小	大枝付け根H2.5mに開口空洞(中) 深さ8cmあり。 コンクリート土留めに近接している。	●			B			
Y02-262		ヤマモモ	6.5	111	6.0	-	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A		○					○		有	小	幹H1.5mに開口空洞(中) 深さ12cmあり。 コンクリート土留めに近接している。	●			B			
Y02-263		モクセイ	3.5	7本立	2.5	43,30,30,28,26,25,19	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.70	A		○					○		有	小	コンクリート土留めに近接している。	●			B			
Y02-264		ヤマモモ	5.5	114	3.5	-	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	小	幹H1.2mに開口空洞(中) 深さ10cmあり。 コンクリート土留めに近接している。	●			B			
Y02-266		ヤマモモ	6.5	94	5.0	-	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○					○		有	小	コンクリート土留めに近接している。	●			B			
Y02-267		モクセイ	3.5	3本立	2.0	44,26,20	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		有	小	コンクリート土留めに近接している。	●			B			
Y02-268		ヤマモモ	6.0	121	3.0	-	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.80	B			○				○		有	小	スタブカット(切り残し枝)が多数あり。 樹形に乱れ(左右のふところ枝の消失)あり。 コンクリート土留めに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-270		ヤマモモ	6.5	98	2.5	-	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○			○				有	無	大枝H1.0にぶつ切り剪定痕からの腐朽(中)あり。 コンクリート土留めに近接している。		●		B			
Y02-272		メタセコイア	11.0	241	6.0	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○				○		有	無	断幹されており、切断部φ40cmに腐朽あり。 コンクリート土留めに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-273		ネズミモチ	5.0	3本立	4.0	26,18,15	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	有	中	コンクリート土留めに、近接している。	●			B			
Y02-274		チャンチン	8.0	113	3.5	-	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B		○			○				有	無	大枝にぶつ切り剪定が多数あり、コンクリート土留めに近接しているが、移植はできる。 エリア内にて希少樹種である。		●		B			
Y02-275		ソロ	9.5	4本立	5.0	63,44,34,22	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○				○		有	中	根元に開口空洞(小)(芯達)、樹皮欠損・腐朽(小)あり。 大枝にぶつ切り剪定痕からの腐朽が多数あり。 隣木(Y02-0274チャンチン)からの被圧あり。 コンクリート土留めに近接している。 樹形に乱れあり(樹幹に傾き)。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
Y02-276		ソロ	9.5	4本立	5.5	71,60,59,32	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○			○				有	中	大枝にぶつ切り剪定痕からの腐朽が多数あり。 コンクリート土留めに近接している。 樹形は良好である。根鉢確保は可能である。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	野球場一塁側	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　考					伐採理由		
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
Y02-287		トウカエデ	12.0	190	5.0	−	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○			○				無	無	幹H0.3mに開口空洞(中) 深さ25cmあり。 大枝にぶつ切り剪定痕からの腐朽(中)あり。 建物に近接している。斜面地に立地する。 移植後の萌芽や樹形回復が期待できる(樹種特性)。		●		B			
Y02-288		シイノキ	9.0	187	8.0	−	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○				○		有	無	幹H0.5mに開口空洞(小) 深さ15cmあり。 シイサルノコシカケ様の子実体あり。 幹に打診音異常(小) H1.0～1.5mあり。 大枝に枯枝あり。 樹形・樹勢不良。 建物に近接している。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	第二球場	調査日	2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度											保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	根元構造物	片枝・被圧					STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
																						A	B	C									
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
YG-001		シイノキ	13.5	296	12.0	−	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.60	A	○						○		有	小	幹H1.0mに開口空洞(中)あり。 大枝H7.5mに樹皮欠損(大)あり。 土留めの縁石が根元にあり。 道路側に樹冠の偏りがあるが葉量は充実している。	●			A			
YG-002		シイノキ	13.5	143	6.0	−	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.00	B		○					○		有	中	幹に開口空洞(中) H1.5m～2.5m、打音異常あり。 土留めの縁石が根元にあり。 道路側に樹冠の偏り、被圧による樹形の乱れがあり。	●			A			
YG-003		シイノキ	13.5	212	8.0	−	2.0	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.70	A		○					○		有	小	幹H2.5mに開口空洞(中)、打音異常あり。 土留めの縁石が根元にあり。 道路側に樹冠の偏りあり。	●			A			
YG-004		モッコク	5.5	42	2.5	−	2.5	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.75	A		○		○					有	中	土留めの縁石が根元にあり。 周辺木からの被圧あり。	●			A			
YG-005		シイノキ	11.0	222	7.0	−	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.85	B		○					○		有	中	幹H1.8mに開口空洞(中)あり。 大枝H1.8mに開口空洞(中)が、数か所あり。 配電盤に近接する。 土留めの縁石が根元にあり。 道路側に樹冠の偏りあり。	●			A			
YG-006		シイノキ	12.5	296	13.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.80	B	○						○		有	中	幹H1.2mに開口空洞(中)(芯達)あり。 大枝H1.5mに開口空洞(中)あり。 土留めの縁石が根元にあり。 道路側に樹冠の偏りあり。	●			A			
YG-007		ヒトツバタゴ	6.0	38	4.0	−	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.85	B		○		○					無	中	樹冠の偏りあり。	●			B			
YG-008		ツバキ	3.0	3本立	2.0	31,35,21	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○		○					有	中	土留めの縁石が根元にあり。	●			B			
YG-009		シイノキ	9.0	186	8.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.70	A		○					○		有	無	土留めの縁石が根元にあり。 葉がやや小さい。	●			A			
YG-011		クスノキ	17.0	350	13.0	−	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.45	A	○						○		有	小	土留めの縁石が根元にあり。	●			A			
YG-013		シイノキ	10.0	179	7.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	2.20	B		○					○		有	小	根元H0.0mに開口空洞(大)(芯達)が複数あり。 枝に多芽症状あり。 葉が小さく、葉量がやや疎である。 枯枝あり。 土留めの縁石が根元にあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-014		サンゴジュ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	枯損している。	※	−	−	C			
YG-015		ツバキ	2.8	4本立	2.0	30,30,20,21	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	中	樹高が3m以下である。 隣接YG-091シイノキの下に存する。 シイノキ側の枝葉がやや少ないが、他は良好。根回し済み。		●		B			
YG-016		シイノキ	9.0	197	10.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.90	B		○					○		有	小	幹H2.0mに開口空洞(中)あり。 ふところ枝がなく幹に開口空洞、大枝に樹皮欠損が多い。 土留めの縁石が根元にあり。 葉量がやや疎である。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
YG-017		シイノキ	8.0	170	5.5	−	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○						○	有	中	根元に開口空洞(小)あり。 幹H1.8mに開口空洞(中)、子実体(種不明)あり。 根元･幹に打音異常 H0.0m～2.0mあり。 土留めの縁石が根元にあり。 梢端の葉が小さい。 傷が複数あり、キノコの広がりが見られる。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	第二球場	調査日	2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果
							1～4評価						1～4評価					ABCD
YG-019		ヒトツバタゴ	10.0	126	7.0	－	1.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A
YG-020		マテバシイ	7.5	2本立	7.0	92,81	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B
YG-021		マテバシイ	9.0	113	5.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B
YG-022		マテバシイ	9.5	112	6.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B
YG-024		マテバシイ	10.0	113	7.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.65	A
YG-025		マテバシイ	11.5	103	5.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.25	B
YG-026		マテバシイ	5.5	2本立	4.0	45,43	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B
YG-027		マテバシイ	3.2	14.9	2.5	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B
YG-028		マテバシイ	9.5	91	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B
YG-029		ネズミモチ	5.0	31	3.0	－	2.5	2.5	3.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.60	C
YG-030		サンゴジュ	3.2	33	2.0	－	4.0	4.0	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	3.75	D
YG-031		マテバシイ	10.0	142	5.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A
YG-032		マテバシイ	7.5	120	6.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A
YG-033		ヒトツバタゴ	4.5	33	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B
YG-034		マテバシイ	7.0	91	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B
YG-035		マテバシイ	2.7	3本立	2.0	23,17,15	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B

樹木番号	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
YG-019	○			○					有	中	幹H2.0mに樹皮欠損(中)あり。 土留めの緑石が根元にあり。 樹勢・樹形が良好である。		●		B			
YG-020		○		○					有	中	土留めの緑石が根元にあり。緑石あるが移植可能。 双幹の片側に樹冠の偏りあり。 胴吹きが多い。てんぐ巣症状の枝が散在する。		●		A			
YG-021			○				○		有	中	片枝樹形である。 コンクリート基礎が根元にあり。 樹冠に偏りあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-022			○				○		有	小	コンクリート基礎が根元にあり。 ひこばえが多く、下枝が高い。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-024	○				○				無	小	隣接樹木との距離が近いが移植できる。 移植樹として樹形維持も可能。		●		A			
YG-025			○				○		無	中	隣接樹木との距離が近いが適正根鉢の確保がぎりぎり可。 樹形の乱れがあり(下枝が高い)、枯枝有り、移植後の回復が難しい。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
YG-026			○				○		無	中	隣接樹木との距離が近く、根鉢の確保が困難である。 被圧による樹形の乱れがあり(樹幹に傾き、枝の分布に偏り)、移植後の回復が難しい。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-027			○				○		無	中	幹に枯死あり。 株立ちになっている。 隣接樹木との距離が近く、根鉢の確保が困難である。 樹形に乱れがあり(高さ1mで断幹)、移植後の回復が難しい。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-028		○			○				無	中	隣接樹木との距離が近い。 YG-027マテバシイの撤去により、根鉢確保が可能である。 樹形維持も可能。 隣木(YG-024マテバシイ)の被圧あり、剪定は不要。(根回し済み)		●		A			
YG-029			○					○	無	大	根元に開口空洞(大)あり。 葉に虫害あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-030			○					○	無	大	株の1本が割けたことによる樹皮欠損(大)あり。 根元に揺らぎあり。 樹冠に偏りあり。 樹勢が衰退し、枯死寸前の状態である。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
YG-031		○		○					無	中	根元にフラス、根元から幹(H0～0.8m)にキクイムシの穿孔痕あり。		●		A			
YG-032		○					○		有	無	コンクリート壁に近接する。 ひこばえが多数あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-033		○		○					有	大	樹冠に偏りあり。 コンクリート壁に近接する。		●		B			
YG-034		○					○		有	中	大枝H2.0mに腐朽(中)あり。 土留めの石積みが根元にあり。 樹形の乱れがあり(枝の分布に偏り)、移植後の回復が難しい。 てんぐ巣症状の枝が散在する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
YG-035		○		○					有	中	株立ち状態にある。 土留めの石積みが根元にある。 根回しを終えている。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名			第二球場															調査日				2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日														伐採理由		
樹木番号		樹種名	規 格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備 考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● 🔴：変更樹木			ABCD			
YG-036		マテバシイ	4.5	2本立	4.5	43,29	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		有	大	樹冠に偏りあり。 コンクリート壁に近接する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-037		シイノキ	11.0	236	12.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.40	B		○						○	有	無	幹H2.5mに開口空洞(中)あり。 大枝に腐朽が複数あり。 土留めの石積みが根元にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-038		サンゴジュ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	枯損している。	－	－	※	B			
YG-040		イヌツゲ	2.5	30	1.5	－	3.5	3.5	3.0	3.5	3.0	3.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.70	C			○					○	無	中	樹冠に偏りあり。上部枯れ下り対象外である。根回し済み、上部に枯下りがあり移植には適さないと判断される。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			🔴	B			●
YG-042		シイノキ	6.5	109	4.5	－	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.0	1.95	B		○			○				有	小	ブロック塀に近接するが根鉢確保は可能である。		●		A			
YG-045		ケヤキ	10.0	160	7.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	2.5	1.5	1.0	2.85	C			○				○		有	小	ブロック塀に近接する。 大枝剪定痕からの枯れ下がり、大枝の枯損と枯枝が多く、樹形・樹勢が不良である。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-046		サザンカ	3.3	2本立	3.0	44,21	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.65	A		○				○			無	中	樹勢・樹高ほぼ良好傾向にあり、あまり大き過ぎず、根元構造物撤去で移植はできる。		🔴		A			
YG-047		マテバシイ	8.5	88	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			有	中	樹形にやや乱れあるが、樹勢ほぼ良好傾向にあり、根元構造物撤去で移植可。球場解体に伴い日当たり良好で、樹勢・樹形回復と根鉢確保が可能となり移植はできる。		🔴		A			
YG-050		ツバキ	3.2	2本立	2.0	20,17	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○		○					有	中	概ね問題なし。		●		B			
YG-051		ケヤキ	11.0	184	10.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		有	中	ぶつ切り剪定痕からの腐朽あり。 ブロック塀に近接し、掘り取り作業領域の確保が困難である。 強剪定による萌芽樹である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-052		マテバシイ	6.5	57	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	大	隣木からの被圧あり。枝の分布に偏り(敷地境界側)あり。 てんぐ巣症状の枝が散在する。移植後に健全な状態の維持が困難。 ブロック塀に近接する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-053		シイノキ	8.0	91	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.75	A		○		○					有	中	コンクリート基礎に近接するが、移植時の根鉢確保可能。 てんぐ巣症状の枝が散在する。		●		A			
YG-054		シイノキ	4.5	55	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	大	幹に樹皮欠損・腐朽あり。移植後の回復が困難。 ブロック塀に近接する。 樹冠にやや偏りあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-057		ケヤキ	10.0	157	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○					○		有	中	大枝に剪定痕からの腐朽あり。 ブロック塀に近接する。 幹H3mで3分岐、内1本が枯損。剪定痕からの腐朽が多数あり。 強剪定後の萌芽樹である。 掘り取り作業領域の確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-058		マテバシイ	7.5	82	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		有	大	ブロック塀に近接する。 枝葉量は充実している。 樹形に極端な乱れがあり(隣木からの被圧、樹冠に偏り)、移植に伴う剪定後の回復が見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	第二球場	調査日	2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	活力度 平均評点	活力度 評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
YG-059		シイノキ	6.5	81	2.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					有	中	ブロック塀に近接する。 枝葉量は充実している。		●		A			
YG-060		サンゴジュ	4.0	4本立	2.0	41,21,33,39	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	2.5	2.5	2.0	3.10	C			○					○	有	大	大枝に樹皮欠損・腐朽あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-061		ケヤキ	11.5	170	7.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○				○			有	中	幹芯からブロック塀までの離隔距離1.25m。 萌芽樹であるが根元構造物解体で移植はできる。		●		B			
YG-062		マテバシイ	8.5	94	3.5	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		有	中	大枝に剪定痕からの腐朽(中)が複数あり。 樹形に乱れと傾斜(隣木からの被圧、樹冠に偏り)がある。ブロック塀と樹木に近接する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-064		シイノキ	10.0	125	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.80	B		○			○				有	小	樹形は良好である。 ブロック塀に近接するが根鉢はかろうじて確保可能である。		●		A			
YG-066		マテバシイ	8.0	73	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			有	小	幹芯からブロック塀までの離隔距離1.0m。根元構造物撤去で根鉢確保可能。樹勢ほぼ良好傾向にある。球場解体で日照量増加し樹勢・樹形も回復傾向にあるため移植はできる。		●		A			
YG-068		シイノキ	4.5	53	2.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.30	B			○					○	有	大	幹に大枝剪定痕・腐朽(H1.1m)、開口空洞、樹皮欠損、断幹痕あり。 樹形崩壊傾向にあり、移植後に健全な状態への回復見込めない。 ブロック塀に近接する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-070		ケヤキ	11.0	147	8.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○					○		有	小	大枝に剪定痕からの腐朽が多数あり。移植後の回復は難しく不適。 ブロック塀に近接する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-071		サンゴジュ	4.0	4本立	2.5	41,39,31,27	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	2.0	3.60	D		○					○		有	大	ブロック塀に近接する。 隣接樹木との距離が近い。 虫害(サンゴジュハムシ)あり、葉量が疎である。 規格や活力度などから樹形・生育不良。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-072		マテバシイ	6.5	62	3.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.75	C		○		○					有	中	ブロック塀に近接する。移植可。 てんぐ巣症状あり。 枝の伸長量が少なく、枝葉量がやや疎である。		●		B			
YG-074		ケヤキ	12.5	156	6.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○					○		有	小	ブロック塀に近接し、掘り取り作業領域の確保が困難である。 大枝に剪定痕からの腐朽ある上、樹形に乱れがあり(強剪定後の萌芽樹形)、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-075		マテバシイ	6.5	77	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○					○		有	大	ブロック塀に近接する。 樹形に乱れがあり(隣木被圧による扇型の扁平樹形) 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
YG-076		ヒマラヤスギ	25.5	239	10.0	－	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○							○	有	小	ブロック塀に近接し、根回し、堀取り作業が困難である。 上部や大枝剪定で本来の樹形が損なわれている。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-077		カラタネオガタマ	4.5	6本立	3.0	23,22,21,2 1,19,18	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A		○		○					有	中	ブロック塀に近接する。 葉量が疎である。		●		A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	第二球場	調査日	2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に● ●:変更樹木)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
YG-078		マテバシイ	9.0	97	4.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	中	ブロック塀に近接する。 枝の伸長量が少なく、てんぐ巣症状あり。樹幹傾斜もあり、移植樹としては適さない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
YG-079		ヒマラヤスギ	25.5	232	7.5	－	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○						○		有	小	ブロック塀に近接し、根回し、堀取り作業が困難である。 大枝剪定で本来の樹形が損なわれている。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-081		ヒトツバタゴ	4.0	48	2.5	－	3.0	3.0	3.5	3.0	3.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.60	C			○			○			有	大	幹芯からブロック塀までの離隔距離0.4m。 被圧で樹形・樹勢やや悪いが、根元構造物撤去で根鉢確保でき移植はできる。移植地で被圧も解消されれば樹勢回復も期待できる。		●		B			
YG-082		モクセイ	3.2	3本立	1.5	24,21,9	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.00	B		○				○			有	大	幹芯からフェンス基礎までの離隔距離0.4m。 根元構造物撤去で根鉢確保でき移植はできる。		●		B			
YG-083		マテバシイ	7.5	79	5.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○					○		有	小	樹形に乱れ(片枝樹形)あり、ブロック塀に近接し、根回し、掘り取り作業が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-084		モクセイ	3.5	3本立	1.8	19,19,14	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○		○					有	大	ブロック塀に近接する。移植可。		●		B			
YG-085		ヒマラヤスギ	25.5	237	8.0	－	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○						○		有	小	ブロック塀に近接し、根回し、堀取り作業が困難である。 大枝剪定で本来の樹形が損なわれている。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-087		モクセイ	3.0	3本立	2.0	18,17,16	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○		○					有	大	根元・幹に樹皮欠損(小) H0.0m～1.5mが多数あり。 ブロック塀に近接する。移植可。		●		B			
YG-088		マテバシイ	9.0	93	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.25	B		○					○		有	中	枝にコブ症状、てんぐ巣症状あり。 枯枝(東側)あり。 樹形に乱れがあり、残置であれば問題無いが、移植の場合は移植後の健全な状態への回復が難しい。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-089		モクセイ	3.6	4本立	1.5	25,23,14,14	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.25	B		○		○					有	大	根元・幹に樹皮欠損(小) H0.0m～1.2mが多数あり。 ブロック塀に近接する。移植可。		●		B			
YG-091		ヒマラヤスギ	22.5	225	8.0	－	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.50	A	○						○		有	小	ブロック塀と歩道縁石に近接し、根回し、堀取り作業が困難である。 大枝剪定で本来の樹形が損なわれている。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-093		シイノキ	9.0	125	5.5	－	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.60	A		○			○				有	小	幹に、開口空洞(枝抜け痕)(小)あり。 やや被圧があるが、樹形は良い。		●		A			
YG-094		マテバシイ	6.5	70	4.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.75	A		○		○					無	小	樹冠に偏りあり。 てんぐ巣症状あり。		●		A			
YG-096		ヒマラヤスギ	27.0	262	10.0	－	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○						○		有	小	ブロック塀に近接し、根回し、堀取り作業が困難である。 大枝剪定で本来の樹形が損なわれている。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
YG-098		トウネズミモチ	6.0	4本立	4.5	30,27,23,18	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.70	A			○					○	有	中	コンクリート基礎に近接する。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適である。			●	B	●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名	第二球場	調査日	2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
YG-100		シイノキ	10.0	104	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	2.10	B		○					○		無	大	深植え状態にある。 樹形に乱れがあり(被圧による扇型の扁平樹形)、移植樹として不適である。 樹冠頂部に枯枝が多数あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
YG-101		シイノキ	11.0	213	8.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	2.0	1.0	1.0	1.60	A	○				○				有	中	大枝に樹皮欠損･腐朽が複数あり。 ブロック塀に近接する。 樹形は良好で維持可能。根鉢確保もかろうじて可能である。		●		A			
YG-102		サンゴジュ	4.0	3本立	3.0	35,33,27	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B		○		○					無	中	ブロック塀に近接する。		●		B			
YG-103		モッコク	5.7	37	3.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A		○		○					無	中	概ね問題なし。		●		A			
YG-105		ウバメガシ	8.0	4本立	7.0	106,99,81,30	2.0	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	1.0	1.70	A		○			○				有	小	歩道手すりに近接する。 4つの株がそれぞれ独立している。 胴吹き多数、樹形に乱れあり(被圧による扇型の扁平樹形)。 移植に伴う樹形維持と再生は可能である。		●		B			
YG-107		シイノキ	7.5	2本立	6.0	113,97	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	1.0	1.0	2.00	B		○					○		有	中	コンクリート基礎に近接する。 大枝に開口空洞あり。 樹形に乱れ(枝の分布に偏り)、樹幹傾斜。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
YG-108		コブシ	10.0	2本立	7.5	96,86	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○				○			有	小	樹形にやや乱れあるが、個性的な形の花木であり移植難樹木であるが、枝葉が伸長し、樹勢･樹形が回復傾向にあり、移植はできる。(経年により樹勢良化)		●		B			
YG-110		モクセイ	3.3	3本立	2.0	59,40,35	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	小	経年により樹形･樹勢も良化し移植対象と判断。		●		B			
YG-111		ヤマモモ	7.0	115	4.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○			○				有	無	コンクリート基礎に近接する。 幹に開口空洞あり。 移植後の樹形維持が可能である。		●		B			
YG-114		モクセイ	3.0	5本立	2.0	44,37,34,32,32	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	無	コンクリート基礎に近接する。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-115		ヤマモモ	6.5	83	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B		○		○					有	無	コンクリート基礎に近接する。		●		B			
YG-116		モクセイ	3.4	5本立	2.0	45,40,35,31,20	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○		○					有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-118		ケヤキ	12.5	220	13.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B		○				○			有	無	解体工事の進捗で萌芽が良好で自然樹形に回復しつつあるため移植対象と判断。		●		B			
YG-120		モクセイ	3.5	90 芝付	2.5	－	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○		○					有	小	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-121		ヤマモモ	7.0	100	4.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○		○					有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 全体的にヤマモモのこぶ病あり。		●		B			
YG-122		モクセイ	3.5	85 芝付	2.5	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	小	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-123		モクセイ	3.0	5本立	2.0	40,38,34,30,14	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	小	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	第二球場	調査日	2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に●、●:変更樹木)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
YG-124		モクセイ	3.3	5本立	2.0	40,40,34,34,17	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○				○			有	小	経年により樹形・樹勢も良化し移植対象と判断。		●(赤)		B			
YG-125		ケヤキ	16.5	300	12.0	－	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○					○		有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 根元に開口空洞(中)深さ40cm以上あり。 幹に開口空洞(大)H1.0深さ15cm、(中)H0.8深さ20cmあり。 幹H1.2mにコフキサルノコシカケ様の子実体あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-128		ヤマモモ	7.5	122	5.0	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	無	根元H0.2mに開口空洞(小) 深さ12cmあり。 根元付近にコンクリート土留め板あり。		●		B			
YG-129		モクセイ	3.0	95 芝付	3.2	－	1.5	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○		○					有	小	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-130		モクセイ	3.5	95 芝付	3.0	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-131		モクセイ	3.5	118 芝付	2.5	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-132		モクセイ	3.5	118 芝付	3.0	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。		●		B			
YG-133		カラタネオガタマ	5.0	6本立	5.5	45,40,37,36,36,24	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○			○				有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。擁壁に近接する。 前回調査より樹勢が衰退傾向にあり、枝の伸長も鈍い。ひこばえ多数あり。		●		B			
YG-134		ケヤキ	11.5	236	10.0	－	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.10	B		○				○			有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹形に乱れ(強剪定後の萌芽樹形)あり。 剪定痕が目立つが、樹高低く、移植難であるものの移植はできる。		●		A			
YG-135		ヤマモモ	6.5	95	5.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○			○				有	中	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹冠に偏りあり。 移植後の樹形維持が可能である。		●		B			
YG-136		モクセイ	3.5	120 芝付	3.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○			○				有	無	根元付近にコンクリート土留め板、看板基礎あり。 基礎とれば移植はできる。		●		B			
YG-137		ヤマモモ	6.5	130	3.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○			○				有	無	大枝付け根H1.5mに開口空洞(中) 深さ15cmあり。 根元に樹皮欠損(中)あり。 根元付近にコンクリート土留め板あり。 移植後の樹形維持が可能である。		●		B			
YG-138		モクセイ	4.0	101 芝付	2.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		有	無	根元付近にコンクリート土留め板、看板基礎あり、移植時の根鉢確保困難。 看板の裏に立地し、樹形に乱れあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-139		モクセイ	3.5	111 芝付	2.0	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○			○				有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢・樹形は良好である。		●		B			
YG-140		ヤマモモ	7.0	128	5.0	－	2.0	1.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○			○				有	無	幹H3.0mに開口空洞(中) 深さ5cm(巻き込み良好)あり。 大枝H2.5mに樹皮欠損・腐朽あり。 根元付近にコンクリート土留め板あり。 移植後の樹形維持が可能である。		●		B			
YG-141		モクセイ	3.5	100 芝付	2.5	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○			○				有	小	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹勢は良好である。			●	B			
YG-142		ヤマモモ	5.5	105	5.5	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○			○				有	無	根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹形は良好である。		●		B			
YG-143		モクセイ	4.0	93 芝付	2.5	－	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○			○				有	無	根元付近にコンクリート土留め板、電灯基礎あり。 樹勢・樹形は良好である。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	第二球場	調査日	2023 年 4 月 10 日 ～ 2023 年 4 月 11 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●：変更樹木			ABCD			
YG-144		ケヤキ	14.5	239	12.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B	○						○		有	無	大枝にぶつ切り剪定痕からの腐朽が複数あり。 根元付近に植栽帯縁石、電灯基礎あり。 強剪定、萌芽樹でケヤキらしさがない。 掘り取り作業領域の確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-145		ケヤキ	12.5	267	13.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B	○						○		有	小	大枝H5.0mに開口空洞(中)あり。 大枝に亀裂が複数あり。 根元付近に電灯基礎(2か所)、植栽帯縁石あり。 樹形に乱れがあり(強剪定後の萌芽樹形)、ケヤキらしさに欠ける。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
YG-146		ケヤキ	12.5	246	14.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○						○	有	小	根元・幹に樹皮欠損・腐朽(大)あり。 高さH0.5mにコフキサルノコシカケの子実体あり。 根元・幹に打音異常あり。 根元付近にコンクリート土留め板あり。 樹形に乱れがあり(強剪定後の萌芽樹形)、ケヤキらしさに欠ける。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
YG-147		ケヤキ	15.0	293	7.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		有	無	大枝にぶつ切り剪定痕からの腐朽が複数あり。 幹に樹皮欠損(中) H1.5m～2.5mあり。 根元付近にコンクリート土留め板あり。建物に近接している。 樹形に乱れがあり。大枝(南側)に衰退枝あり。 樹形に乱れがあり(強剪定後の萌芽樹形)、ケヤキらしさに欠ける。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》					STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-001		サザンカ	5.0	3本立	4.5	42,39,28	1.5	2.0	1.0	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.30	A		○						○	有	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 ブロック塀に近接している（西側）。	●			A			
T01-002		ソメイヨシノ	7.0	246	5.0	−	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.70	C			○				○		有	中	幹の片側全面に樹皮枯死あり、コフキタケ様の発生あり。 根元・幹に打診音異常（大） H0.0～2.0mあり。 幹・大枝の腐朽が進行中、撤去の検討が必要。 石の柵が0.3m（東側）の距離にあり、近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-003		ウバメガシ	8.5	3本立	8.0	102,84,66	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.40	A	○			○					無	小	隣木トウカエデによる被圧あり。樹冠に偏りあり。		●		A			
T01-004		トウカエデ	14.0	260	10.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.5	1.0	1.70	A	○					○			有	無	ネットフェンスが0.9m（西側）にある。 移植に向けた剪定に耐え（樹種特性）、移植には適している。		●		A			
T01-005		ソメイヨシノ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	ー	ー	安全配慮、倒木回避のため撤去。	−	※	−	B			
T01-006		クロマツ	10.5	105	4.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.35	B			○				○		有	無	南側にスタブカット（切り残し枝）が数か所あり。 擬木柵が1.1m（東側）の距離にある。 下枝が高く移植に向けた剪定に適していない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-008		クロマツ	12.0	97	5.0	−	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.80	B		○		○					有	無	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 ネットフェンスが0.7m（西側）の距離にある。		●		B			
T01-009		クロマツ	15.0	145	5.0	−	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.70	A	○			○					有	無	ネットフェンスが1.1m（西側）の距離にある。		●		A			
T01-010		シダレザクラ	7.0	79	4.0	−	2.5	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	大	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 幹H3.0mに腐朽（大） 60×20、巻込み（弱）あり。幹折れの危険あり。 石の柵が1.3m（東側）にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-011		シダレザクラ	6.0	80	3.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	1.5	2.0	2.0	1.0	2.40	B			○					○	有	無	大枝H3.0m（南側）に折損痕の腐朽、大枝・幹の腐朽（大）あり。 石の柵が1.2m（東側）にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-012		サクラ	7.0	96	5.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					有	小	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 根元・幹に打診音異常（小） H0.0～1.0mあり。 幹が屈曲、樹幹傾斜あるが、樹形の維持は可能。 大枝 H2.3mに剪定痕からの腐朽、巻込み（弱）あり。 ネットフェンスが0.8m（西側）の距離にあるが根鉢確保可能。		●		A			
T01-013		シダレザクラ	5.0	83	5.0	−	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B	○			○					有	中	ルートカラー（地際の根張り）が見えない。 根元・幹に打診音異常（小） H0.0～2.0mあり。 擬木柵が0.9m（東側）の距離にある。	●			A			
T01-015		シダレザクラ	5.5	97	1.5	−	4.0	3.5	4.0	3.5	3.5	3.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.85	C			○					○	有	小	断幹されている。断幹痕からの枯れ下がり、腐朽（大）あり。 ルートカラー（地際の根張り）が見えない。根元の揺らぎ（中）あり。 根元（北側）にコフキタケの発生あり。 幹H1.4mに腐朽 22/30cmあり。幹（南東）全面にキノコ発生あり。 根元・幹に打診音異常（大） H0.0～2.0mあり。 大枝H2.5mに剪定痕からの腐朽 15×15あり。 大枝付け根（東側）に腐朽、キノコがL150cmにかけてあり。 撤去の検討が必要。 擬木柵が1.0m（東側）の距離にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考				2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採		STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-016		シダレザクラ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	幹折れにより、安全配慮のため伐採済み	–	※	–	B			
T01-017		クロマツ	13.0	187	7.0	–	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○			○					有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 擬木柵が0.9m(東側)の距離にある。		●		A			
T01-018		サクラ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去(切株)。	–	–	※	C			
T01-019		クロマツ	9.0	101	6.0	–	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.15	B		○		○					有	小	樹幹傾斜(テニスコート側)あり。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～0.5m(小)あり。 ネットフェンスが0.8m(西側)の距離にある。		●		B			
T01-020		シダレザクラ	6.0	90	5.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.85	B		○		○					有	中	根元・幹にカワウソタケ H0.0～0.7mあり。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～1.0mあり。 大枝にスタブカット(切り残し枝)φ20, 0.5m、枯損あり。 枯枝(北側)φ5, L2.0mあり 擬木柵が1.1m(東側)の距離にある。		●		B			
T01-021		クロマツ	11.0	207	5.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B	○				○				有	無	スタブカット(切り残し枝)が数か所あり。 葉量がやや疎である。 ネットフェンス、テニスコート基礎に接触(西側)している。 根鉢確保がかろうじて可能、樹形維持可能。		●		B			
T01-022		シダレザクラ	5.5	71	3.5	–	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○		○					無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 断幹されており(枯れ下がり)、樹形に乱れがある。		●		B			
T01-023		クロマツ	15.0	180	8.0	–	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.60	A	○			○					無	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		A			
T01-024		クロマツ	10.0	128	4.0	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B		○		○					無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		B			
T01-025		クロマツ	15.5	190	7.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.90	B	○					○			有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 擬木柵が1.1m(東側)の距離にある。 幹芯から電柱までの離隔距離1.1m。樹高高く場内移植ならば移植できる。剪定不可。		●		A			
T01-026		アカマツ	9.5	141	7.0	–	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.10	B		○		○					有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 H2.3m(西側)に大枝のスタブカット(切り残し枝) φ20×L40cmあり。 樹幹傾斜(大)(北側)あり。 ネットフェンスが0.9m(西側)の距離にある。		●		B			
T01-027		クロマツ	12.0	117	6.0	–	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 東側に枝が少ない。 スタブカット(切り残し枝)による枯損枝が数か所あり。 ネットフェンスが1.0m(西側)の距離にある。		●		B			
T01-028		モチノキ	3.5	22	2.0	–	2.5	2.5	1.0	2.5	1.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.15	B			○					○	無	大	樹木番号T01-029ヒトツバタゴに近接(0.2m)する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-029		ヒトツバタゴ	10.0	113	4.5	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 大枝付け根に入り皮あり。		●		A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-030		カラタネオガタマ	5.5	61	4.0	－	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○		○					有	大	擬木柵が0.9m(東側)の距離にある。		●		A			
T01-032		カラタネオガタマ	6.0	2本立	4.0	35,20	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○						○	有	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 幹の相互接触あり。 樹木番号T01-033シダレザクラに近接する為、移植不可。 擬木柵が0.9m(東側)の距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
T01-033		シダレザクラ	10.0	127	6.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.65	A	○			○					有	中	根元・幹に打診音異常(小) H0.0～0.5mあり。 H4.5mの位置でクロマツ(西側)とケーブリングされている。 フェンスが1m(西側)の距離にある。		●		A			
T01-034		エゴノキ	6.0	31	5.0	－	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.5	2.0	1.0	1.80	B		○		○					有	大	擬木柵が0.9m(東側)の距離にある。		●		B			
T01-035		サザンカ	4.5	25	3.0	－	2.0	2.0	1.5	2.5	1.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.80	B		○		○					無	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。		●		B			
T01-036		モミジ	6.0	4本立	6.0	42,35,16,13	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.65	A		○		○					有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 擬木柵が1.1m(東側、南側)の距離にある。		●		A			
T01-037		シイノキ	9.5	214	7.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.15	B	○							○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～2.0mあり。 大枝に剪定痕からの腐朽(大)が数か所あり。 植栽桝は八角形(内幅1.3m)である。 H6.0mの位置でクロマツ(北側)とケーブリングされている。 樹形が刈り込み剪定された状態にある。 SHAKE SHACKの店外フロアが幹H1.2mの位置にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-038		イチョウ	9.0	4本立	6.0	206,184,161,124	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.30	B	○							○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 株立ちの1本(C184cm) 幹4本がH7.0mで切断され、萌芽した状態にある。 植栽桝は八角形(内幅1.3m)である。 SHAKE SHACKの店外フロアが幹H1.0mの位置にある。		移植検討		B			
T01-039		ハナミズキ	6.5	45	3.0	－	2.5	2.5	4.0	2.5	3.0	2.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.35	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 根元・幹(東側)に開口空洞・腐朽(大) 200×10×8/16(芯達)あり。幹 H1.5m(西側)に腐朽 20×8×5あり。 小枝の枯れが多数あり。 幹折れの危険性あり、撤去の検討が必要。 縁石が1.0m(建物寄り)の距離に近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-040		ハナミズキ	5.5	29	2.5	－	3.0	3.0	4.0	2.5	3.0	3.0	1.5	2.0	2.0	1.0	2.50	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。根元にくびれあり。 根元に揺らぎ(小)あり。 根元・幹に樹皮枯死・腐朽 280×5×5/8(芯達)、溝腐れ症状(大)あり。 小枝の枯れが多数あり。 縁石が1.0m(建物寄り)の距離に近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-041		ハナミズキ	5.5	44	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.85	B			○				○		有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 幹芯から電灯までの離隔距離0.45m、側溝までの離隔距離0.5m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-042		ハナミズキ	5.5	37	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.85	B		○		○					有	中	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 隣木クロマツの被圧あり。 U型側溝と縁石が0.7m(西側)の距離にある。		●		B			
T01-043		ヒトツバタゴ	12.0	4本立	7.0	133,130,118,67	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B	○				○				有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 4本立ちの内 1本(C118)が、1.7m(φ30cm)にて断幹、枯損している。 幹分岐部に入り皮(大)、腐朽あり。 幹2本(C133, C67)に打診音異常(小) H08～2.0mあり。 幹(南側)に開口空洞 35×11×12、巻込み(良)あり。 擁壁が1.0mの距離にある。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-044		サンゴジュ	4.0	29	1.5	－	3.5	3.5	2.5	3.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.75	C			○					○	有	大	ブロック塀に近接する。 隣接するカイヅカイブキから被圧(大)。 物置の屋根に接触している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
T01-045		カイヅカイブキ	5.0	40	1.5	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 裏側の枝が全てなし。 ブロック擁壁内に列植されている。 目隠し用の目的である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-046		カイヅカイブキ	5.5	38	1.5	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 裏側の枝が全てなし。 ブロック擁壁内に列植されている。 目隠し用の目的である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-047		カイヅカイブキ	5.5	40	1.5	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 裏側の枝が全てなし。 ブロック擁壁内に列植されている。 目隠し用の目的である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-048		カイヅカイブキ	5.5	40	1.5	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 裏側の枝が全てなし。 ブロック擁壁内に列植されている。 目隠し用の目的である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-049		カイヅカイブキ	5.0	46	1.5	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 裏側の枝が全てなし。 ブロック擁壁内に列植されている。 目隠し用の目的である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-050		カイヅカイブキ	6.0	55	1.5	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	無	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 裏側の枝が全てなし。 ブロック擁壁内に列植されている。 目隠し用の目的である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-055		シイノキ	8.5	195	6.0	－	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.80	B	○							○	有	無	巻き根(大)あり。 幹とブロック塀が接触している。 塀に接して生育している為、移植不可である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-056		トウカエデ	11.5	189	8.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○				○				有	無	擁壁(H2.5m)が1.5mの距離にある。 砂置場とボール倉庫の間に位置する。 施設撤去で根鉢確保は可能である。樹形良好、維持可能。		●		A			
T01-057		ヒマラヤスギ	13.0	158	6.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B	○				○				有	無	径1.2mの縁石に囲まれた植栽帯に位置する。 周囲がコンクリート舗装されている。 建物が1.5mの距離にある。 適度な剪定が行われており、移植に適している。周辺の舗装を剥いで根鉢を確保することで移植ができる。		●		B			
T01-058		トウカエデ	14.0	188	7.0	－	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○					○		有	小	H2.0m(南側)に開口空洞 20×20、巻込み(良)あり。 H0.5m(西側)にコフキサルノコシカケ(大)の発生あり。 露出根(中)あり。隣木ケヤキの被圧(小)あり。 縁石が0.8mの距離にある。小屋より1.3mの距離にある。 樹勢はやや良で回復傾向にあるが、キノコあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
T01-059		ケヤキ	15.0	163	7.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B			○				○		有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 コンクリート土間が0.6m(南側)の距離にあり、近接している。 樹形に乱れあり、下枝も高い。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-060		ケヤキ	14.0	165	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○					○		有	無	階段が0.7m(北側)の距離にあり、近接している。 強剪定後の萌芽状態にあり、樹形の維持が難しい。 幹芯から階段までの離隔距離0.7m、受電盤までの離隔距離1.0m、フェンスに接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名		テニス場北コート	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度											保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-061		ケヤキ	18.0	246	8.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○					○		有	無	H3.0m(南側)にスタブカット(大)(切り残し枝) L35cm、腐朽あり。 建物が2.2m(東側)の距離にある。 根元(北側)にベッコウタケ(幼菌)の発生あり。 幹芯から照明盤基礎までの離隔距離0.7m、給水タンクまでの離隔距離1.2m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-062		ウバメガシ	5.5	60	4.0	−	2.5	3.0	3.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.60	C			○					○	有	無	H0.0～2.3m(西側)に溝腐れ(大) 幅25cm、打音異常あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
T01-063		ケヤキ	18.0	183	10.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		有	小	強剪定後の萌芽が伸長して、樹形が回復傾向にある。 ポンプ室が1.5m(東側)の距離にある。 幹芯から空調機基礎までの離隔距離0.9m、ポンプ室までの離隔距離1.7m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
T01-065		クロマツ	11.0	2本立	7.0	108,88	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.05	B			○					○	無	中	根元(南側)に腐朽、打音異常、巻込み(弱)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-066		サンゴジュ	3.6	38	2.8	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	3.0	2.5	2.85	C			○					○	無	小	樹形・樹勢ともに不良である。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
T01-067		モミジ	5.0	106	5.5	−	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.85	B		○		○					有	大	ブロック塀が0.6m(北側)の距離にある。移植に際して塀を壊すことで適正根鉢確保可能。 ヒトツバタゴを被圧(大)している。		●		B			
T01-069		シャラノキ	4.0	2本立	2.5	30,28	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○		○					無	無			●		A			
T01-070		モクセイ	3.5	7本立	2.5	26,23,20,18,18,15,14	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.10	B			○					○	有	無	裏側の枝が無い列植の刈り込み樹形で、単木では移植樹として適さない。構造物隣接。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-071		モクセイ	3.5	3本立	1.5	26,25,22	3.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.0	1.5	1.5	2.45	B			○					○	有	無	裏側の枝が無い列植の刈り込み樹形で、単木では移植樹として適さず、構造物隣接。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-077		ケヤキ	15.0	306	12.0	−	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.65	A	○					○			無	無	建物が0.6mの距離にあり、やや片根の変形根鉢となるが、移植のための根鉢確保可能。			●	A			
T01-079		モクセイ	3.0	7本立	1.5	23,19,7,14,11,11,10	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.00	B		○		○					無	無	列植された刈り込み樹形である。			●	B			
T01-080		モクセイ	3.0	5本立	1.5	23,17,15,15,13	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.05	B		○		○					無	無	列植された刈り込み樹形である。			●	B			
T01-081		モクセイ	3.3	5本立	1.5	41,38,17,13,11	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.00	B		○		○					無	無	列植された刈り込み樹形である。			●	B			
T01-082		モクセイ	3.1	5本立	1.8	30,26,24,22,20	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B		○		○					無	無	列植された刈り込み樹形である。			●	B			
T01-083		モクセイ	3.1	5本立	2.0	34,32,29,23,20	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B		○		○					無	無	列植された刈り込み樹形である。			●	B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-084		ヒトツバタゴ	3.5	3本立	3.0	17,15,11	1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.35	A	○			○					有	無	樹勢は良好。 記念樹である。 縁石に囲まれた植栽帯 1.2m×1.6m内に位置する。		●		A			
T01-085		トウカエデ	12.0	258	8.0	–	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.00	A	○							○	有	無	建物が1.0mの距離にある。 デッキ(H1.15m)に囲まれている。 地山から1.15m下にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
T01-086		トウカエデ	12.0	178	6.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.0	1.80	B	○				○				有	無	デッキ(H1.15m)に囲まれている。幹芯から歩道(デッキ外)までの離隔距離1.7m。 樹形の維持は可能。デッキを壊すことで根鉢確保が可能だが、根鉢が大きく場内移植。 ※根元周囲長は目通りからの推測値、土壌硬度は計測不可(根元はデッキ下にある)		●		B			
T01-087		シダレザクラ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	枯死している。	–	–	※	C			
T01-088		ヤエザクラ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	枯死している(切株なし)。	–	–	※	C			
T01-089		シイノキ	13.0	245	10.0	–	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.70	A	○					○			有	無	大木であるが、傷が少なく、移植に向けた剪定での樹形維持は可能である。 幹芯からパーゴラ基礎までの離隔距離0.7m。根鉢が大きく場内移植。		●		B			
T01-090		ウバメガシ	7.5	84	3.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.15	B		○		○					無	小	樹勢は良好。 中枝に腐朽あり。切除の必要あり。		●		B			
T01-091		クロマツ	14.5	143	6.0	–	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○						○	無	小	下枝が非常に高く(下枝高 H9.0m)、移植に伴う剪定をすると幹状となり、移植後の回復が困難。		●		B			
T01-092		モミジ	6.0	4本立	3.5	39,28,25,17	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○			○				無	小	幹芯から隣木(T01-091クロマツ)までの離隔距離1.1mだが、根鉢確保は可能であり、移植はできる。		●		A			
T01-093		ウバメガシ	7.5	106	3.0	–	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.50	B			○					○	無	大	隣木のシイを被圧している。 双幹の南側が枯死し断幹されている。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-094		ノウゼンカヅラ	3.5	19	2.5	–	3.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B			○					○	無	大	パーゴラの隅に位置する。 ツル植物であり、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T01-095		ノウゼンカヅラ	3.2	12	2.5	–	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	1.5	2.0	2.0	1.0	2.35	B			○					○	有	大	パーゴラの基礎に接触している。 ウバメガシを被圧(大)している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-096		ノウゼンカヅラ	3.3	20	3.0	–	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	有	大	パーゴラの基礎に接触している。 シイノキからの被圧(大)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-097		ノウゼンカヅラ	3.5	2本立	3.0	17,10	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	有	大	パーゴラの基礎に接触している。 シイノキからの被圧(大)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-099		クロマツ	14.0	182	6.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B		○				○			有	無	テニスコート内に位置する。 フェンスに接触しているが、移植のための根鉢確保可能。	●			B			
T01-100		ケヤキ	7.0	131	6.5	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○						○	有	小	ブロック塀と擁壁の際にあり、移植は困難である。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高 (m)	規格 幹周 (cm)	規格 葉張 (m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-101		クロマツ	11.0	116	4.0	–	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○						○	有	小	小屋際に位置し、周囲が舗装されているため、移植は困難である。	●			B			
T01-102		メタセコイア	18.5	254	8.0	–	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○							○	有	無	小屋と擁壁の間にあり、移植は困難である。	●			A			
T01-103		カイヅカイブキ	3.7	48	1.2	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-104		カイヅカイブキ	3.8	54	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-106		カイヅカイブキ	3.7	51	1.2	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-108		カイヅカイブキ	3.8	53	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-110		カイヅカイブキ	3.8	54	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-111		カイヅカイブキ	3.8	58	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-112		カイヅカイブキ	3.8	50	1.8	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-113		カイヅカイブキ	3.5	51	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-114		カイヅカイブキ	4.0	55	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-115		カイヅカイブキ	3.5	56	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-116		カイヅカイブキ	3.5	55	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-117		カイヅカイブキ	3.5	59	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-118		カイヅカイブキ	3.5	63	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-119		カイヅカイブキ	3.5	51	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》					STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-120		カイヅカイブキ	3.8	58	1.8	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-121		カイヅカイブキ	3.8	50	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-122		カイヅカイブキ	3.8	57	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-123		カイヅカイブキ	3.8	54	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-124		カイヅカイブキ	3.8	49	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-125		カイヅカイブキ	3.8	53	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-126		カイヅカイブキ	3.8	52	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-127		カイヅカイブキ	3.8	51	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-128		カイヅカイブキ	3.8	54	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-129		カイヅカイブキ	3.8	53	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-130		カイヅカイブキ	3.8	52	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-131		カイヅカイブキ	3.8	54	1.8	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-132		カイヅカイブキ	3.8	55	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-133		カイヅカイブキ	3.8	55	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-134		カイヅカイブキ	3.8	54	1.8	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-135		カイヅカイブキ	3.8	50	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年　5 月　24 日　～　2023 年　5月　24 日

樹木番号		樹種名	規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　考					伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-136		カイヅカイブキ	3.5	53	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-137		カイヅカイブキ	3.8	56	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-138		カイヅカイブキ	3.8	47	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-139		カイヅカイブキ	3.8	50	1.8	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-140		カイヅカイブキ	3.8	43	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-141		カイヅカイブキ	3.8	43	1.2	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-142		カイヅカイブキ	3.8	42	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-143		カイヅカイブキ	3.8	39	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-144		カイヅカイブキ	3.8	41	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-145		カイヅカイブキ	3.8	40	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-146		カイヅカイブキ	3.8	41	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-147		カイヅカイブキ	3.8	45	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-148		カイヅカイブキ	3.8	41	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-149		カイヅカイブキ	3.8	39	1.8	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-150		カイヅカイブキ	3.8	42	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-151		カイヅカイブキ	3.8	40	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場北コート	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T01-152		カイヅカイブキ	3.8	38	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-153		カイヅカイブキ	3.8	39	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-154		カイヅカイブキ	3.8	38	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-155		カイヅカイブキ	3.8	39	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-156		カイヅカイブキ	3.8	40	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-157		カイヅカイブキ	3.8	42	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-158		カイヅカイブキ	3.8	42	1.8	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-159		カイヅカイブキ	3.8	39	1.8	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-160		カイヅカイブキ	3.8	41	1.5	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-161		カイヅカイブキ	3.2	35	1.0	–	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-162		カイヅカイブキ	3.2	30	1.0	–	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.50	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-163		カイヅカイブキ	3.1	30	1.0	–	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.45	B			○					○	有	無	刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-164		カイヅカイブキ	2.8	25	1.0	–	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.45	B			○					○	有	中	樹高が3m以下である。 刈り込み剪定されている。下枝が高く樹冠が小さい。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に、列植されている。 西側に塀があり、伸長できない状態にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-165		カイヅカイブキ	2.7	19	1.0	–	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.45	B			○					○	有	中	樹高が3m以下である。 刈り込み剪定されている。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 南側に倉庫があり、伸長できない状態にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T01-167		カイヅカイブキ	2.9	30	1.0	–	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.35	B			○					○	有	中	樹高が3m以下である。 刈り込み剪定されている。下枝が高く樹冠が小さい。 ブロック塀の脇、縁石と70cmの間に列植されている。 南側に倉庫があり、伸長できない状態にある。片枝樹形である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場室内コート・御台場西（T02-126以降）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考					伐採理由		
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T02-001		ヒメシャラ	4.0	17	2.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○					○	有	中	マンホールと建物が0.3mの距離にあり、近接している。 建物の陰に位置している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-002		ヒメシャラ	5.5	2本立	3.0	21,19	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	有	小	建物の陰に位置している。 マンホールと擁壁が約0.3mの距離にあり、近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-003		ヒメシャラ	5.5	2本立	2.0	26,9	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	建物の陰に位置している。 建物が0.4mの距離にあり、近接している。		●		B			
T02-004		ヒメシャラ	5.5	4本立	2.0	22,21,14,14	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					有	中	建物の陰に位置している。 建物が0.4mの距離にあり、近接している。		●		B			
T02-005		ヒメシャラ	5.0	3本立	2.0	21,13,11	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	中	建物の陰に位置している。 建物が0.4mの距離にあり、近接している。		●		B			
T02-066		カイヅカイブキ	4.5	43	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-067		カイヅカイブキ	4.5	40	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-068		カイヅカイブキ	4.5	38	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-069		カイヅカイブキ	4.5	38	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-070		カイヅカイブキ	4.5	35	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-071		カイヅカイブキ	4.5	41	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-072		カイヅカイブキ	4.5	45	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-073		カイヅカイブキ	4.5	44	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-074		カイヅカイブキ	4.5	36	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-075		カイヅカイブキ	4.5	40	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場室内コート・御台場西（T02-126以降）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T02-076		カイヅカイブキ	4.5	42	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-077		カイヅカイブキ	4.5	46	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-078		カイヅカイブキ	4.5	44	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-079		カイヅカイブキ	4.5	42	1.5	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.30	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-080		カイヅカイブキ	4.5	42	1.5	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.30	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-081		カイヅカイブキ	4.5	48	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-083		カイヅカイブキ	4.5	57	1.5	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.30	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 駐車場脇のU字溝が1.3mの距離にある。建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-084		カイヅカイブキ	4.5	55	1.5	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.30	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 駐車場脇のU字溝が1.3mの距離にある。建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-085		カイヅカイブキ	4.5	57	1.5	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.30	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 駐車場脇のU字溝が1.3mの距離にある。建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-086		カイヅカイブキ	4.5	51	1.5	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.30	B			○					○	有	無	刈り込み樹形であり、裏側(西側)の枝が無い状態にある。 縁石が0.8mの距離にある。駐車場から0.9mの距離にある。 駐車場脇のU字溝が1.3mの距離にある。建物の脇に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-089		サクラ	8.0	89	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.80	B		○						○	有	中	マンホールと設備機器に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-090		モクセイ	2.9	29	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B			○					○	有	中	コンクリート舗装が0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-091		モクセイ	2.7	4本立	3.0	19,19,18,17	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から1mの距離にある。 H2.5程度で剪定、樹形不良移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-092		モクセイ	2.6	3本立	2.0	25,20,18	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から1mの距離にある。 H2.5程度で剪定、樹形不良移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-093		モクセイ	2.6	4本立	2.0	13,12,12,9	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から1mの距離にある。 H2.5程度で剪定、樹形不良移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
T02-094		モクセイ	2.7	3本立	3.0	18,14,14	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から1mの距離にある。 H2.5程度で剪定、樹形不良移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場室内コート・御台場西（T02-126以降）	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T02-095		モクセイ	2.6	4本立	2.0	36,15,10,10	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から1mの距離にある。 H2.5程度で剪定、樹形不良移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-096		モクセイ	2.6	5本立	1.5	22,16,13,13,8	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から1mの距離にある。 H2.5程度で剪定、樹形不良移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-100		モクセイ	2.5	4本立	1.0	16,16,16,9	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-101		モクセイ	2.5	3本立	2.3	18,17,9	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-102		モクセイ	2.6	3本立	1.7	14,13,12	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-103		モクセイ	2.5	4本立	1.7	18,15,12,11	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-104		モクセイ	2.5	3本立	1.5	16,12,10	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	擁壁から0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-106		ヒトツバタゴ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	B			
T02-107		トウネズミモチ	6.0	2本立	5.0	63,46	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	大	ぶつ切り剪定されている。 ベッコウタケ様の発生あり。 シイノキからの被圧(大)あり。 擬木柵が0.6mの距離にある。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
T02-109		シイノキ	13.0	2本立	10.0	241,65	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B	○							○	有	無	根元(東側)に開口空洞(大) 25×5×12 巻込み(良)あり。 根元にキノコ(種不明)の発生あり。 大枝(南側)にスタブカット(切り残し枝)・腐朽 φ18×L40 巻込み(弱)あり。 縁石が1.0mの距離にある。柵が1.4mの距離にあり、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-110		シイノキ	11.0	219	10.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○				○			有	無	根元(東側)に開口空洞があるが、移植に問題はない。 高さH2.5m(西側)に剪定痕からの腐朽 18×18あり。 擬木柵に近接している。 枝張りが大きいが場内移植ならば移植できる。		●		B			
T02-111		シイノキ	10.0	190	8.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	有	小	大枝下部(南側)に溝腐れ L300cmにわたりあり。上部のスタブカット(切り残し枝)に背着生キノコあり。 傷などの被害が多く、移植後の樹勢維持が困難。フェンスが近接。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T02-112		モチノキ	4.5	2本立	3.0	47,35	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	大	幹に樹皮欠損・腐朽(中)あり。 縁石に近接しており、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
T02-113		シイノキ	8.0	173	4.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	小	擬木柵に近接している。 根元・幹に樹皮枯死、打診音異常(大)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T02-114		モミジ	5.0	2本立	4.0	71,29	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○			○				無	小	樹幹傾斜あり。 樹木番号T02-115ヒトツバタゴに近接している。 樹形の維持は可能である。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	テニス場室内コート・御台場西(T02-126以降)	調査日	2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T02-115		ヒトツバタゴ	7.0	100	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○		○					有	小	梢端部が剪定されて、萌芽状態にある。 スタブカット(切り残し枝)が数か所あり。 フェンスが1.5mの距離にある。根鉢確保可能。		●		B			
T02-116		カイヅカイブキ	4.0	47	1.5	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	有	小	縁石が1.3mの距離にある。裏枝が日照不足で枯れており、移植後の回復不可能。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T02-117		カイヅカイブキ	4.0	44	1.5	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	有	小	縁石が1.3mの距離にある。裏枝が日照不足で枯れており、移植後の回復不可能。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T02-118		ヒトツバタゴ	4.5	49	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	大	ぶつ切り剪定されている。 傾斜木であり、幹が曲がっている。 根元の揺らぎ(小)あり。 フェンスが1.3mの距離にある。 被圧と曲がりがあり、移植後の健全な状態への回復が見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
T02-119		シイノキ	9.0	204	12.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○			○			有	無	幹に開口空洞、打診音異常 H1.0～2.0m(大)があるが、移植に問題はない。 フェンスが1.3mの距離、電柱が1.5mの距離にある。 枝張りが大きいが場内移植ならば移植できる。		●		B			
T02-122		ネズミモチ	8.0	48	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	大	マンホールが0.3mの距離に、コンクリート基礎が1.1mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-123		ネズミモチ	8.0	39	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	大	コンクリート基礎が1.1mの距離にある。下枝高く、122,123,124の根鉢近接で移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-124		ネズミモチ	8.0	59	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	大	コンクリート基礎が1.1mの距離にある。下枝高く、122,123,124の根鉢近接で移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
T02-125		ヒメシャラ	6.0	31	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	小	コンクリート園路から1.0mの距離にある。 イチョウ(東側)と建物による被圧あり。		●		B			
T02-126		イチョウ	16.0	2本立	15.0	282,210	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○							○	有	無	双幹の南側の幹H2.2mに開口空洞 10×5×7あり。また、その下部に打音異常あり。 大枝(北側)H3.0mにスタブカット(枯損)(切り残し枝)φ12cm,L=35cmあり。また、その下部に打音異常あり。 擁壁に北・東・西側を囲まれている(距離1.3m～1.5m)。	●			A			
T02-127		ネズミモチ	4.0	2本立	3.0	46,27	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	大	ぶつ切り剪定されている。 擁壁に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
T02-128		ネズミモチ	4.0	37	2.0	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.45	B			○					○	有	大	ぶつ切り剪定されている。 根元(北側)H0.0m～0.3mに腐朽 30×10あり。 擁壁に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
T02-129		トウネズミモチ	4.0	3本立	3.0	22,21,14	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.55	C			○					○	有	大	ぶつ切り剪定されている。 フェンスが1.5mの距離にある。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
T02-130		トウネズミモチ	4.0	41	3.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	大	高さH1.5mで断幹されている。 擁壁が1.5mの距離にある。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	C	●		
T02-131		ネズミモチ	5.0	2本立	4.0	57,39	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	高さH3.0mで断幹されている。 根元に入り皮 L60cmあり。 フェンスが1.0mの距離に、マンホールが1.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名：テニス場室内コート・御台場西（T02-126以降）　調査日：2023 年 5 月 24 日 ～ 2023 年 5 月 24 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD			
T02-133		マテバシイ	8.0	135	7.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○					○	有	小	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。巻き根(中)あり。 枝にてんぐ巣の症状あり。 擁壁が2.2mの距離にある。石垣の上に位置する。	●			B			
T02-134		マテバシイ	9.0	141	9.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.20	B			○					○	有	小	幹(南側)H3.0mに開口空洞 13×13 巻込みあり。 ひこばえが多数あり。 擁壁が2.5mの距離にある。 石垣の上に位置する。	●			B			
T02-135		マテバシイ	5.0	160	4.0	－	4.0	3.5	4.0	3.0	4.0	3.0	2.5	2.5	2.0	1.5	3.00	C			○					○	有	中	根元にコフキタケの発生あり。 根元・幹に打診音異常(大) H0.0～2.0mあり。 露出根が多数あり。巻き根(中)あり。ひこばえが多数あり。 石積みから1.8mの距離にある。石垣の上に位置する。 大枝に剪定痕・腐朽、剪定こぶが多数、てんぐ巣症状あり。 大枝の枯損が多数あり、緊急切除の必要あり。	●			B			
T02-136		ヤマモモ	7.0	100	6.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B	○			○					有	小	コンクリート基礎(φ120cm)が0.6mの距離にある。 石垣の上に位置する。	●			B			
T02-137		ヤマモモ	7.0	103	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B	○			○					有	小	目立った傷は見当たらない。	●			B			
T02-138		ヤマモモ	7.0	89	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B	○						○		無	小	幹H2.5mに開口空洞・腐朽 40×40×10 巻込み(弱)あり。 幹に打診音異常(大) H2.0mあり。 幹折れの可能性あり。	●			B			
T02-139		ヤマモモ	7.0	107	5.0	－	2.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.35	B	○			○					無	小	葉量がやや疎である。	●			B			
T02-140		マテバシイ	8.0	2本立	10.0	100,88	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	2.15	B			○					○	有	小	幹3本の内、1本は高さH0.3mにて断幹されている。 幹分岐部に入り皮あり。 露出根が多数あり。ひこばえが多数あり。 石積みから2.7mの距離にある。 樹幹傾斜(大)あり、移植後の健全な状態の維持は困難。	●			C			
T02-141		マテバシイ	3.5	2本立	4.0	178,20	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	2.05	B			○					○	無	小	幹3本共に高さH3.0m程度で断幹されている。 ルートカラー(地際の根張り)が見えない。ひこばえが多数あり。 主幹(C178cm)が枯死しており、細い副幹とひこばえの樹形である。	●			C			
T02-142		マテバシイ	8.0	2本立	6.0	111,95	3.0	2.0	3.5	3.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	2.55	C			○					○	有	小	3本立の内、西側の1本が枯損し、H1.7mで断幹φ40cmされている。 樹幹傾斜(大)あり。巻き根(中)あり。幹分岐部に入り皮あり。 ひこばえが多数あり。 石積みから1.7mの距離にあり、移植時の根鉢確保困難。	●			C			
T02-143		アラカシ	3.5	5本立	2.0	15,13,10,8,8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	2.05	B			○					○	有	大	ルートカラー(地際の根張り)が見えない。 隣接するマテバシイに接触している。 高さH1.8mで梢端切除されている。 石積みから1.8mの距離にある。	●			C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-001		ヤエザクラ	7.5	85	6.0	－	3.0	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.25	B			○					○	有	中	幹に打音異常 H0.0m～1.2mあり。 開口空洞 15×18×40/40(貫通)あり。 根元の穴に前回調査ではベッコウタケの子実体が確認されたが今回は消失。 樹幹傾斜あり。 枯枝(西側H4.5), φ10, L=2.0mあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-002		ヤエザクラ	10.0	134	9.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			有	無	幹芯から歩道縁石までの離隔距離1m。 樹勢普通であるが、剪定による移植後の樹形維持可。フェンス等構造物撤去により、移植はできる。 根回し時の歩道使用が必要。		●		A			
KE-003		ヤエザクラ	10.5	2本立	10.0	155,91	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○				○			有	無	幹芯から歩道縁石までの離隔距離1.1m。 樹勢普通であるが移植後の樹形維持可。フェンス等構造物撤去により、移植はできる。 根回し時の歩道使用が必要。		●		B			
KE-004		ヤエザクラ	10.0	2本立	8.0	108,75	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○				○		有	無	幹H1.2mに開口空洞 10×10×15あり。 高さH1.2mに入り皮あり。 ぶつ切り剪定痕からの腐朽(中)あり。 幹芯から歩道縁石までの離隔距離1.1m。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-005		ヤエザクラ	4.5	90	3.5	－	3.5	3.5	3.5	2.5	3.0	3.5	2.0	2.0	1.5	1.0	2.60	C			○					○	有	中	幹に打音異常 H0.5m～1.5mあり。 大枝(南側下部)に腐朽(大)あり。 樹冠上部の枯死、樹形・樹勢は不良である。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-006		トウネズミモチ	3.3	2本立	2.0	39,28	2.5	2.5	3.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	大	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
KE-007		シイノキ	8.5	184	9.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B			○				○		有	無	幹に打音異常 H0.5m～1.2mあり。 枝の分布に偏り(道路側)あり。腐朽、損傷も多い。 移植後の樹形・樹勢の維持が困難。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.6m。フェンスは撤去可能。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-008		シイノキ	8.5	161	9.0	－	2.5	2.0	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○				○		無	無	根元・幹に打診音異常(小) H0.0～2.0mあり。 根元にカンゾウタケの発生あり。 大枝(南側)に腐朽(大)あり。大枝に剪定痕からの腐朽あり。 大枝(H5.3m)に腐朽枝φ20, L=0.8mあり。 樹冠に偏り(道路側)あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-009		シイノキ	7.0	56	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					有	大	幹(H2.5m)に開口空洞 18×13×5/25あり。		●		B			
KE-010		ケヤキ	21.0	2本立	18.5	266,169	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.85	B	○					○			無	無	根元に入り皮、巻き根が多数あり(切断処置済)。 樹皮にコルク質の異常が、多数あり。 大枝(西側)H2.0mに腐朽(中)あり。 移植時に細い株は切断。上部剪定では樹形不良。		●		A			
KE-011		シイノキ	7.5	78	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.80	B		○		○					無	大	大枝(西側)に腐朽(小)あり。		●		B			
KE-012		シイノキ	7.5	71	5.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.80	B		○		○					無	大	幹(H2.0m)に開口空洞20×10×12/30あり。 移植に際しては問題ない状態である。		●		B			
KE-013		シイノキ	7.0	115	6.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○					○	有	大	樹冠傾斜あり。 根元(南H0.2m)に開口空洞 30×6×10あり。 幹(南H0.6m)に開口空洞 15×5×4あり。 幹(南H1.4m)に開口空洞 23×7×25(芯達)あり。 幹(南H2.5m)に開口空洞 25×8×25(芯達)あり。 幹(北H1.0m)に開口空洞 8×3×25/35(芯達)あり。 根元・幹に打診音異常(大) H0.0～2.5mあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名			建国記念文庫														調査日		2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日															伐採理由		
樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-014		トウカエデ	15.0	127	6.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○			○				無	大	根元に敷き藁の養生あり。 被圧樹形(現状剪定の必要なし)。上部剪定でも樹勢、枝葉回復力高い種である。		●		B			
KE-015		シイノキ	7.0	138	8.0	−	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	大	根元・幹に打音異常 H0.0m～2.0mあり。 幹(南H0.9m)に開口空洞 25×6×25/33(芯達)あり。 幹(北H1.0m)に開口空洞25×13×12/45あり。 幹(東H1.4m)に開口空洞7×10×25/40(芯達)あり。 大枝に剪定痕からの腐朽(中)が3箇所あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-016		シラカシ	19.0	171	9.0	−	2.0	2.5	3.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B		○				○			無	無	幹(西側)H1.5mに開口空洞 100×3×30/48(芯達)あり。 幹に打診音異常H0.5～2.0mあり。 上記あるが、移植はできる程度である。		●		B			
KE-017		ケヤキ	18.5	136	12.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○				○			無		被圧による枝枯れ(小)あり。 根元に敷き藁の養生あり。 上部剪定で樹形の維持が困難。		●		A			
KE-018		フウ	21.0	200	8.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			無	無	剪定こぶが多数あり。 上部剪定で樹形の維持がやや難。		●		A			
KE-019		フウ	22.0	185	8.0	−	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○				○			有	無	被圧により、片枝樹形である。 移植に向けた剪定で適正樹形の維持がやや困難(12mまで下枝なし)。太い露出根(北側)あり。 幹芯から歩道縁石までの距離1.55m(北側)、1.9m(東側)。		●		A			
KE-020		シイノキ	12.5	120	7.5	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○			○				無	無	大枝に剪定痕からの腐朽(中)が多数あり。 幹(南H1.4m)に開口空洞3×3×12/40あり。 根元・幹に打音異常 H0.0m～1.5mあり。 移植剪定後の樹形維持が可能。		●		B			
KE-021		トウカエデ	16.0	137	6.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○			○				無	無	露出根に樹皮欠損・腐朽あり。 幹(北H2.1m)に開口空洞20×15×12/45あり。 ぶつ切り剪定されている。 上記あるが、移植はできる程度である。	●			B			
KE-022		クヌギ	20.0	224	11.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○				○			無	無	ぶつ切り剪定されている。 幹に肥大部あり、打診音異常H0.5～1.5mあり。 上記あるが、移植はできる程度である。		●		B			
KE-023		クロマツ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	枯死している。	−	−	※	B			
KE-024		シイノキ	7.5	110	8.0	−	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	無	中	高さH5.0mにて断幹されている。 幹H1.0mに開口空洞 7×5×32/35(芯達)あり。 幹に打音異常 H0.0m～2.0mあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-025		ケヤキ	18.0	215	20.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B	○					○			有	無	高さH3.0mにて断幹されている。 深植え状態にある。 枯枝(H8m) φ10, L=5.0mあり。 上部剪定で適正樹形の維持が困難(H3.0mで断幹され、そこから伸長した双幹状の樹形)。 幹芯から柵までの離隔距離0.5m。		●		B			
KE-026		クスノキ	13.5	103	7.0	−	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.5	1.0	2.25	B		○			○				無	無	下枝が高い。 枯枝(西H7m) φ6, L=1.2mあり。被圧による下枝の枯れ多数あり。 クスは萌芽力高く樹形回復力ある。		●		B			
KE-027		シイノキ	10.5	209	12.0	−	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.25	B			○				○		無	有	幹(南H1.2m)に開口空洞 6×6×40/80(芯達)あり。 幹(南H0.4m)に開口空洞 20×20×25あり。 大枝の下部に腐朽が数か所あり。 移植に向けた剪定で適正樹形の維持が困難(樹幹傾斜および枝の分布に極端な偏り(道路側)あり)。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	B	C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-028		サンゴジュ	3.0	2本立	2.5	23,19	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○		○					無	大	–		●		B			
KE-031		クスノキ	15.5	246	10.0	–	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○				○			有	無	根元がフェンスにくい込んでいる。 フェンス撤去により根鉢確保が可能。 クスは萌芽力あり。 樹木番号KE-033ケヤキによる被圧により片枝樹形である。		●		B			
KE-032		クロマツ	11.5	97	6.0	–	3.0	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○				○		無	無	樹木番号KE-032ケヤキによる被圧により片枝樹形である。 下枝高く、道路側へ大きく傾斜しており、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-033		ケヤキ	20.0	227	20.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			無	無	樹冠が大きく、立派である。 上部剪定で樹形の維持が困難、ケヤキらしさがなくなる。		●		B			
KE-034		ケヤキ	13.0	190	15.0	–	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.15	B			○					○	無	大	大枝に開口空洞 400×25あり。 深植え状態にある。 周辺木からの被圧(大)あり。 枯枝(北H5.0m) φ20、L=3.5mあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-035		シラカシ	17.5	186	15.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B	○					○			無	無	幹(H1.5m)に閉塞痕あり。 大枝分岐部(H2.2m)に入り皮あり。 上部剪定でも樹形の維持が可能。		●		B			
KE-036		シイノキ	14.5	207	13.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○				○			無	無	大枝(南側)に腐朽(大)、打音異常(大)あり。 幹に打音異常(小) H1.0m～2.5mあり。 枯枝(南H9m) φ12, L=7.0mあり。		●		B			
KE-037		ヤエザクラ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	枯死している。	–	–	※	B			
KE-038		トウカエデ	17.0	160	10.5	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○			○				無	無	過去にぶつ切り剪定されている。 枯枝(南H7.5m) φ10, L=10.5mあり。 ほか、被圧による下枝の枯れ多数あり。 上部剪定を行っても樹形の維持が可能。萌芽力が高い。		●		B			
KE-039		ヤエザクラ	7.5	126	8.0	–	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B			○				○		無	無	樹幹傾斜あり。樹形に乱れあり。 幹H0.5mに開口空洞 1×1×15あり。 断幹痕(H3.0m) 40×40あり。 枯枝(東5.5m) φ15, L=1.0mあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-040		イヌグス	10.0	78	7.5	–	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.35	A		○		○					無	小	–		●		B			
KE-041		ヒトツバタゴ	12.0	198	10.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○			○				無	無	大枝に剪定痕からの腐朽が数か所あり。 大枝(南側)に腐朽あり。 移植剪定後の樹形維持が可能。		●		B			
KE-042		ヒトツバタゴ	7.0	48	5.0	–	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○		○					無	大	大枝に剪定痕からの腐朽が数か所あり。 深植え状態にある。		●		B			
KE-043		ヤマザクラ	10.0	94	6.0	–	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.35	B			○					○	無	大	ひこばえ、胴吹き枝が多数あり。 下枝が高い。 枯枝(南H6.5m) φ20, L=6.0mあり。 移植後に健全な状態への回復が見込めない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-044		トウカエデ	18.0	172	8.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		有	中	フェンスが近接している。 過去に大枝のぶつ切り剪定されている。 ヘデラの登ハンあり。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
KE-045		シラカシ	14.0	133	7.5	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	大	幹H2.0mに開口空洞 8×8×15あり。 根元がフェンスにくい込んでいる。フェンスが近接している。 ヘデラの登ハンあり。	●			B			
KE-046		シイノキ	11.0	164	9.0	−	2.5	2.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○				○		無	無	根元H0.1mに開口空洞 80×15(68)×25/45(芯達)あり。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～1.8mあり。 大枝付け根に開口空洞 10×10×15あり。 幹に開口空洞(小)が多数あり。 大枝(北西H1.7m)に腐朽あり。 ひこばえが多数あり。 根元の障害が大きい。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
KE-047		シイノキ	12.0	191	11.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○					○	無	大	根元・幹(北側)に開口空洞(大) 170×15×40/50(芯達)あり。 幹内部の空洞が幹上方へ1.0m続いている。 根元にカンゾウタケの発生あり。	●			B			
KE-048		シイノキ	15.5	191	10.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○			○				無	無	幹(北側)H0.7mに開口空洞(小) 5×2×15/60あり。 大枝付け根H3.0mにキノコの発生(種不明)あり。 移植に伴う上部剪定後も樹形の維持が可能。		●		B			
KE-049		ケヤキ	21.0	256	20.0	−	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	無	小	幹H0.6mに開口空洞(大) 230×50×20/70あり。 根元(東側)にキノコの発生(種不明)あり。 鋼棒貫入異常35/110cm以上あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
KE-050		クヌギ	18.0	172	7.0	−	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B			○					○	無	小	中央部・下部に大枝がない。 剪定痕の巻込み良好。 枯枝(南西H7.5m) φ30, L=5.0m、枯枝(北H9.0m) φ25, L=3.0mあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
KE-051		シラカシ	14.5	133	10.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A	○				○				無	無	被圧により枝数がやや少ない。 移植後の樹形維持が可能。比較的細い幹。	●			B			
KE-052		シラカシ	14.5	101	6.0	−	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	無	中	片枝樹形である。 幹H0.3mに開口空洞(大) 400×10×20/30(芯達)あり。 ※カシナガ対策で幹の目通り周囲長は測定不可	●			B			
KE-053		サクラ	6.0	26	4.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○		○					無	大	周辺木からの被圧あり。	●			B			
KE-054		シイノキ	16.0	245	10.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○					○	有	大	北側に樹皮欠損(大) 230×15あり。 根元・幹に打診音異常H0.0～2.0mあり。 前回調査において、高さH0.4mにアイカワタケ(ヒラフスベ型)の子実体がみられたが、今回は消失していた。 フェンスが1.0m(北側)の距離にある。	●			B			
KE-055		ツバキ	6.0	46	4.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	無	中	根元・幹(北側)に開口空洞(大) 147×7×9/15(芯達)あり。	●			A			
KE-056		ケヤキ	22.0	285	18.0	−	1.5	2.0	3.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	無	小	幹H0.8mに開口空洞(大) 120×11×70/70(南北に貫通開口)あり。幹内部の空洞が幹上方へ2.0m続いている。	●			B			
KE-057		ムクノキ	21.0	195	12.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		無	中	根上り(中)あり。 巻き根(大)あり。 樹高・葉張が大きく、移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			A			
KE-058		ケヤキ	20.5	192	10.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		有	中	樹幹傾斜(小)(北側)あり、片枝樹形である。 移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 フェンスが1.0m(北側)の距離にある。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-059		シイノキ	11.0	133	9.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○			○				無	無	幹(北H1.4m)に開口空洞(小) 14×5×15/40あり。 幹に打音異常(中) H0.5m～2.0mあり。 木柵が1.1m(南側)の距離にある。 移植後の樹形維持が可能。	●			B			
KE-060		ケヤキ	22.0	276	20.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B			○					○	無	小	幹(東側)に開口空洞・腐朽(大) 200×15×40/70(芯達)あり。 空洞内部にコフキサルノコシカケの子実体あり。 巻き根(大)あり。	●			B			
KE-061		コブシ	3.0	62	4.0	－	3.5	3.5	4.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.5	2.0	1.0	2.70	C			○					○	無	中	断幹痕(H4.0m)からの腐朽が進行している。 根元・幹に打診音異常(大) H0.0～1.5mあり。 枯枝(H2.3m) φ10, L=3.0mあり。	●			B			
KE-062		ケヤキ	19.0	203	15.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○					○		無	中	被圧により片枝樹形であり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 巻き根(中)あり。	●			B			
KE-063		ネズミモチ	4.5	2本立	4.5	34,32	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	小	－	●			B			
KE-065		クスノキ	19.0	204	9.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	中	被圧により片枝樹形であり、移植後に健全な状態への回復の見込みがない。 巻き根(中)あり。	●			B			
KE-066		ヤエザクラ	11.0	2本立	7.0	114,80	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	大	樹幹傾斜(中)(北側)あり。 フェンスが1.0m(北側)の距離にあり、適正根鉢の確保困難。	●			B			
KE-067		コブシ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	枯死している。	※	－	－	B			
KE-068		シダレザクラ	6.0	64	6.0	－	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B			○					○	有	小	根上り(中)あり。 枯枝(北H6.5m) φ8m, L=1.2mあり。 舗装が1.0m(東側)の距離にあり、根鉢確保困難。	●			B			
KE-069		シダレザクラ	1.8	46(H=1.1m)	0.9	－	4.0	4.0	4.0	3.5	4.0	3.5	2.0	2.0	2.0	1.5	3.05	C			○					○	無	無	樹高が3m以下である。 H2.5mで断幹、H1.1mまで枯死。1.1mからの枝葉が伸長。 幹の南側が根元まで腐朽・欠損。幅20cm。 打診音異常H0.0～1.1m。	●			B			
KE-070		シダレザクラ	3.0	61	1.2	－	4.0	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	1.5	3.0	2.0	1.0	2.75	C			○					○	無	小	断幹痕(H2.2m)からの腐朽(大)が進行している。 根元・幹に打音異常(大) H0.0～2.0mあり。 幹(H1.5m)に開口空洞12×8×12/22(芯達)あり。 樹形が崩壊している。	●			B			
KE-071		ヒトツバタゴ	4.0	25	4.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○		○					無	小	下枝がない。	●			B			
KE-072		ケヤキ	21.0	345	23.0	－	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A	○							○	有	小	樹木番号KE-073ケヤキに近接しており、根鉢確保困難。 根上り(大)、巻き根(中)あり。	●			A			
KE-073		ケヤキ	21.0	154	17.0	－	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○							○	有	中	樹木番号KE-072ケヤキに近接しており、根鉢確保困難。 巻き根(中)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			A			
KE-074		ヤエザクラ	9.0	131	8.0	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	小	樹木番号KE-075ヤエザクラに近接しており、移植不可である。 大枝に剪定痕からの開口空洞29×26×15/35、打診音異常(小)H1.2～1.8mあり。 枯枝(H4.5m) φ22, L=1.0m、背着生キノコあり。 フェンスが0.3m(南側)の距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に●) ●:変更樹木	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
KE-075		ヤエザクラ	6.5	112	5.0	–	3.0	2.5	3.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B			○					○	有	小	樹木番号KE−074ヤエザクラに近接しており、根鉢確保困難。 大枝(西側)に、剪定痕からの腐朽 30×30あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			B			
KE-076		ヤエザクラ	10.0	140	5.5	–	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	小	大枝に剪定痕からの腐朽 20×20あり。 フェンスが1.3m(南側)の距離にある。	●			B			
KE-077		ヤエザクラ	5.0	2本立	6.5	120,103	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.0	2.0	2.35	B			○					○	有	中	樹幹傾斜(大)(北側)あり。 双幹の両方とも断幹されている。 根元(北側)に虫害(コスカシバ穿孔痕)あり。	●			B			
KE-078		ヤエザクラ	4.0	52	4.0	–	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		有	大	樹幹傾斜(大)(北側)あり。 揺らぎ(小)あり。 幹(東側)に剪定痕あり。	●			B			
KE-079		ヤエザクラ	8.5	130	7.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	有	大	樹幹傾斜(大)(北側)あり。 根元にベッコウタケ様の発生あり。 根元(北側)に打診音異常 H0.0～0.3mあり。 大枝(北H3.4m)にスタブカット(切り残し枝)φ25, L=1.5mあり。 根元がフェンスにくい込んでいる。	●			B			
KE-080		ヤエザクラ	7.5	84	6.0	–	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.15	B			○					○	有	大	樹幹傾斜(大)(北側)あり。 幹(東H1.5m)に開口空洞 25×15×15/30(芯達)あり。 幹に打診音異常(小) H1.5～2.5mあり。 大枝(北H3.5m)にスタブカット(切り残し枝)φ20, L=0.7mあり。 フェンスが1.0m(北側)の距離にある。	●			B			
KE-081		ヤエザクラ	10.0	131	7.0	–	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	大	樹幹傾斜(大)(北側)あり。 根上り(大)あり。 縁石に乗り上げあり。	●			B			
KE-082		シダレザクラ	10.0	81	4.0	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	3.0	2.0	1.0	2.55	C			○					○	有	大	樹幹傾斜(北側)(小)あり。 枯枝(北H9m) φ10, L=1.5mあり。 フェンスが0.3m(南側)の距離にある。	●			B			
KE-083		ヤエザクラ	3.5	77	6.0	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	―	―	枯死している。	–	–	※	B			
KE-084		シラカシ	11.0	144	7.5	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B	○				○				有	無	樹幹傾斜(小)(西側)あり。 幹芯から歩道縁石までの離隔距離1.15m。根鉢確保、樹形維持が可能。		●		B			
KE-085		ヒトツバタゴ	6.0	2本立	5.0	35,20	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B	○				○				有	中	幹芯からフェンス(北側)までの離隔距離0.85m、自動販売機基礎(東側)までの離距離0.9m。根鉢径が一部変形するが根鉢確保が可能。大きくはない。		●		A			
KE-087		フウ	13.5	162	7.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○				○				有	無	盛土されている。 枕木舗装が根元にあり。 幹芯から枕木階段(北側)までの離隔距離0.6m。樹形維持、根鉢確保が可能。(土壌汚染エリア)。 土壌汚染調査の結果、移植不可。			●	A		● 土壌汚染	
KE-088		ウバメガシ	7.5	6本立	6.5	117,87,85,62,61,59	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○				○			無	無	根元に樹皮欠損(中) 30×30あり。 枝の伸長が北側で少ない。 萌芽力旺盛。		●		B			
KE-089		シラカシ	12.0	139	8.0	–	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○				○		有	無	大枝に枝折れによる樹皮欠損 20×20、巻込み(良)あり。 根元に穿孔性害虫の穿孔痕あり。 根元、園路の枕木との接触あり。 幹に屈曲あり、移植対象樹として適さない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
KE-090		ヒトツバタゴ	4.5	2本立	5.5	53,35	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○			○					無	小	枝の伸長が東側で多い。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-093		フウ	15.0	151	8.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○			○				有	無	枯枝(北H2m) φ15, L=1.0mあり。枯枝(西H8m) φ12, L=2.0mあり。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.8m。根鉢確保、適正樹形が可能。(土壌汚染エリア)。 土壌汚染調査の結果、移植不可。			●	B		● 土壌 汚染	
KE-094		ヒトツバタゴ	6.0	77	5.5	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.85	B			○					○	有	大	樹幹傾斜(道路側)あり。 根元(北側)に開口空洞 15×30×15/45あり。 根元・幹に打音異常 H0.0m～1.0mあり。 フェンスが近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
KE-095		ヒトツバタゴ	4.0	2本立	4.0	50,48	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○					○	無	大	枯枝(北東H1.5m) φ12, L=1.5mあり。 枝抜け痕が数か所あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
KE-096		ヒトツバタゴ	9.0	81	6.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.0	2.15	B		○			○				有	無	樹幹傾斜(道路側)あり。 巻き根あり。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.8m。根鉢確保が可能。傾いているが移植樹として適している。	●			B			
KE-097		ヒトツバタゴ	7.5	70	4.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.35	B			○			○			有	大	下枝が高い。 深植え状態にある。 フェンスが、近接している。被圧で樹勢・樹形やや悪いが、移植で回復の可能性あり。フェンス等構造物撤去により、移植はできる。		●		B			
KE-098		シイノキ	9.5	215	13.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B	○						○		無	無	根元(北東H0.1m)にカンゾウタケの発生あり。 幹に大枝剪定痕からの腐朽が多数あり。 幹の肥大成長部分にアイカワタケ(ヒラフスベ型)の子実体あり。 根元・幹に打診音異常(小) H0.0～2.0mあり。 腐朽枝(南H3.5m) φ20, L=2.5mあり。 幹芯からフェンスまでの離隔距離1.6m。 葉張り有り、大枝切断で樹形、樹勢維持困難。腐朽、空洞も多い。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-099		ヒトツバタゴ	10.5	2本立	6.0	83,33	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	大	高さH1.1mで幹が2分岐している。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-100		ヒトツバタゴ	10.5	137	6.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	1.5	3.0	2.0	1.0	2.50	B			○					○	有	小	巻き根あり。 深植え状態にある。 枯枝(北H3.5m) φ10, L=2.0mあり。樹冠全体に小枝の枯れあり。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-102		ヒトツバタゴ	4.0	49	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○					○		有	大	深植え状態にある。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-103		ヒトツバタゴ	7.5	84	6.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	1.5	3.0	2.0	1.0	2.50	B			○				○		有	大	フェンスが近接している。	●			B			
KE-104		ヒトツバタゴ	4.0	25	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○						○	有	大	深植え状態にある。 樹木番号KE-115ケヤキからの被圧(大)あり。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-105		マテバシイ	7.0	144	7.0	－	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	有	大	大枝がぶつ切り剪定されている。 幹(西側)に大枝剪定痕からの腐朽あり。 根元・幹に打音異常(大) H0.0m～2.5mあり。 幹に樹皮枯死が多数あり。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-107		ヤエザクラ	10.5	211	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B			○					○	有	大	樹幹傾斜あり。 幹H1.2mに開口空洞 25×20×35/55(芯達)あり。 根元・幹に打音異常 H0.0m～2.0mあり。 巻き根あり。 樹木番号KE-108ヤエザクラと競合している。 フェンスが近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	活力度 樹勢 (1～4評価)	活力度 大枝幹の欠損・傷 (1～4評価)	活力度 枝伸長量 (1～4評価)	活力度 梢端の枯損 (1～4評価)	活力度 枝葉の密度 (1～4評価)	活力度 葉形 (1～4評価)	活力度 葉の大きさ (1～4評価)	活力度 葉色 (1～4評価)	活力度 ネクロシス (1～4評価)	活力度 平均評点	活力度 評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	保存の必要性 中 (該当に○)	保存の必要性 低 (該当に○)	移植 可 (該当に○)	移植 難 A (該当に○)	移植 難 B (該当に○)	移植 難 C (該当に○)	移植 不可 (該当に○)	参考項目 根元構造物 (有無)	参考項目 片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に● ●:変更樹木)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
KE-108		ヤエザクラ	10.5	165	10.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.95	B		○					○		有	大	大枝がぶつ切り剪定されている。 巻き根あり。 根上りあり。 樹木番号KE-107ヤエザクラと競合している。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-109		ヤエザクラ	10.5	127	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B			○					○	有	大	根元がフェンスにくい込んでいる。 樹幹傾斜あり。 根元・幹(東側)に打音異常(小) H0.0m～2.0mあり。 大枝(東側)に打音異常(大)あり。	●			B			
KE-110		ヤエザクラ	7.5	2本立	7.0	155,69	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	2.40	B			○					○	有	大	高さH1.1mで幹が2分岐している。 根元(西側)にベッコウタケの子実体が多数あり。 鋼棒貫入異常 35/60cm(芯達)あり。 根元・幹に打音異常(小) H0.0m～2.0mあり。 巻き根あり。 大枝がぶつ切り剪定されている。 枯枝(北西H7m) φ15, L=1.5mあり。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-111		ヒトツバタゴ	3.5	23	3.5	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○		○					有	中	深植え状態にある。 片枝樹形である。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-112		ケヤキ	20.0	228	12.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.85	B		○					○		無	小	大枝に縦の亀裂あり。 大枝に照明が巻き付き設置されている。 樹皮の脱落が多い。	●			B			
KE-113		ヤエザクラ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	枯死している。	※	－	－	C			
KE-114		ヒトツバタゴ	3.0	23	4.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B		○		○					無	大	幹(H0.3m)に開口空洞 3×2×2/12(閉塞傾向)あり。	●			B			
KE-115		ケヤキ	19.0	246	20.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B	○						○		有	小	巻き根(大)あり。 大枝がぶつ切り剪定されている。 枯枝(東H13m) φ10 L=4.5mあり。 フェンスが近接している。	●			B			
KE-116		ヤエザクラ	3.0	56	3.0	－	3.5	3.0	3.5	2.5	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.45	B			○					○	無	大	断幹されている。 幹に開口空洞 15×10×12/18(芯達)あり。	●			C			
KE-117		ヤエザクラ	18.0	120	9.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B			○					○	無	大	根元(西側)にキノコの発生(種不明)あり。 根元に根頭がんしゅ病様のこぶあり。	●			B			
KE-119		ヒトツバタゴ	4.5	28	5.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○		○					無	大	枝に枝こぶ症状(増生病)が多数あり。 深植え状態にある。	●			B			
KE-120		ヒトツバタゴ	8.0	2本立	6.0	58,12	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○		○					無	大	枝に枝こぶ症状(増生病)が多数あり。 深植え状態にある。	●			B			
KE-121		ヒトツバタゴ	8.0	66	4.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.40	B			○					○	無	中	大枝にスタブカット(切り残し枝)が多数あり。 枝葉量が少ない。 移植後の健全な生育・樹形の維持は困難。	●			B			
KE-122		ヤエザクラ	7.5	105	1.5	－	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.65	C			○					○	無	中	双幹の一方が切除されている。 下枝が高い。 枯枝(H6m) φ30, L=4.0mあり。	●			B			
KE-123		ヒトツバタゴ	5.0	35	4.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					無	中	深植え状態にある。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-124		コブシ	11.5	114	5.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○					○	無	小	大枝がぶつ切り剪定されている。 幹(南西H1.4m)に開口空洞 8×8×15あり。 前回調査より梢端部の枯れ枝が増えている。 園路脇に位置する。	●			B			
KE-125		ヒトツバタゴ	4.0	28	4.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○		○					無	中	樹幹傾斜あり。	●			B			
KE-126		ヤエザクラ	8.0	2本立	6.5	126,122	3.0	3.0	3.5	2.5	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.35	B			○					○	有	小	断幹されている。 大枝(東側)に打音異常(中)あり。 盛土あり。 大枝に照明が巻き付き設置されている。 フェンスが近接している。 園路脇に位置する。	●			B			
KE-128		ヒトツバタゴ	7.0	54	5.5	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○		○					有	小	幹に打音異常 H0.0m～2.0mあり。 深植え状態にある。 園路脇に位置する。	●			B			
KE-129		ヤエザクラ	11.0	130	8.0	−	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.35	B			○					○	有	小	樹幹傾斜あり。 大枝がぶつ切り剪定されている。 胴吹き枝が多数あり。 園路脇に位置する。 移植後に健全な状態への回復が困難。	●			B			
KE-130		ヒトツバタゴ	12.0	119	6.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.40	B			○					○	無	中	根元に開口空洞 10×8×25/40(芯達)あり。 胴吹き枝が多数あり。	●			B			
KE-131		クロマツ	17.0	197	9.5	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○				○			無	無	下枝が高い。上部剪定では適正樹形が困難(12mまで下枝なし)。	●			B			
KE-133		シイノキ	11.5	229	8.5	−	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○				○		有	小	樹幹傾斜(小)あり。 幹(北側)H1.1mに、開口空洞 8×8×25あり。 幹(南側)H1.1mに、開口空洞 8×8×20あり。 フェンスが近接している。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
KE-134		ヒトツバタゴ	8.0	42	4.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○		○					無	中	揺らぎ(小)あり。 深植え状態にある。 樹勢が回復傾向にある。 園路脇に位置する。	●			B			
KE-135		トウカエデ	14.0	155	6.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○			○				無	中	大枝に開口空洞 25×10あり。 大枝がぶつ切り剪定されている。 大枝に照明が巻き付き設置されている。 隣木(シラカシ、クロマツ)からの被圧あり、剪定は不要。移植後の樹形回復が可能。	●			B			
KE-136		シラカシ	15.0	172	12.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B	○				○				無	無	幹にカシノアカカイガラムシの吸汁害による影響と思われる樹肌の荒れあり。 移植後の樹形維持が可能。		●		B			
KE-137		ヒトツバタゴ	7.5	31	3.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○		○					無	大	幹に剪定痕が数か所あり。		●		B			
KE-138		ヒトツバタゴ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	枯死している。	−	−	※	B			
KE-139		ヒトツバタゴ	7.5	40	3.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B		○		○					無	大	被圧による枝枯れ、腐朽あり。		●		B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	活力度 平均評点	活力度 評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-140		エノキ	16.0	169	10.0	−	2.5	3.0	2.5	2.5	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.25	B		○				○			無	中	小枝の枯れあり。 下枝が高く、上部剪定後の樹形維持が困難。		●		B			
KE-141		ケヤキ	20.0	183	16.5	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○				○			無	無	露出根に腐朽あり。 上部剪定後の樹形維持が困難。		●		A			
KE-142		シイノキ	2.8	110 (H=1.1m)	2.0	−	3.5	3.5	4.0	3.5	4.0	3.0	2.0	2.0	1.5	1.0	2.80	C			○					○	無	無	樹高が3m以下である。 H1.1mで断幹。内部が1.1mから根元まで空洞が連続する。空洞直径28cm。外径35cm。H1.0mから萌芽枝が伸びる。 打診音音異常H0.0～1.1m。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
KE-143		ヒトツバタゴ	7.0	32	4.5	−	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○		○					無	大	被圧による枝枯れ(中)あり。		●		B			
KE-144		シイノキ	10.5	111	9.5	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○			○				無	小	枝抜け痕からの腐朽あり。 大枝の伸長(東側)あり、剪定の必要あり。 全景写真の樹高は9m。あまり大きくなく樹形維持が可能。		●		B			
KE-145		ユーカリノキ	14.0	141	4.0	−	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.35	B		○						○	無	小	断幹痕あり。 ユーカリノキの大木は移植困難である(樹種特性)。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-146		ヒトツバタゴ	8.0	112	8.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.95	B		○			○				無	小	露出根に切断痕と腐朽あり。 被圧による枝枯れが多数あり。 隣木(KE-144シイノキ)からの被圧あり。 全景写真の樹高は8m。あまり大きくなく樹形維持が可能。	●			B			
KE-147		ヒトツバタゴ	7.0	39	5.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○		○					無	大	被圧による枝枯れ(中)あり。		●		B			
KE-148		ヒトツバタゴ	6.5	31	4.0	−	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○		○					無	大	—		●		B			
KE-149		サクラ	8.5	2本立	5.5	148,116	3.0	3.0	3.5	3.0	3.5	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.50	B			○				○		無	無	枝にぶつ切り剪定痕からの腐朽(小)が数か所あり。 大枝(東側)に打音異常あり。 双幹部分が入り皮である。 大枝の枯れ下がり(大)あり。樹形不良。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
KE-150		フウ	13.5	166	7.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○			○				有	無	過去にぶつ切り剪定されている。 被圧による片枝樹形である。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.6m、フェンスは撤去可。根鉢確保、樹形維持が可能。	●			B			
KE-151		フウ	20.0	215	8.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○				○				無	無	過去にぶつ切り剪定されている。 上部剪定後の樹形維持可能。		●		A			
KE-152		ヒトツバタゴ	9.0	58	4.0	−	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○		○					無	大	—		●		B			
KE-153		ヒトツバタゴ	3.5	26	4.5	−	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○		○					無	大	—		●		B			
KE-155		ヤエザクラ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	枯死している。	−	−	※	C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	建国記念文庫	調査日	2023 年 5 月 22 日 ～ 2023 年 5 月 24 日 ・ 10 月 26 日				伐採理由

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
KE-156		モミジ	7.0	61	7.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○			○				有	中	幹H0.7mに、開口空洞 13×15×15(芯達)あるが巻込み発達。前回調査からの経年により、幹の開口部の巻き込みもしっかりとしており、移植はできる。		●		B			
KE-157		シラカシ	15.0	163	7.5	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○			○			有	中	枝の分布に極端な偏りあり。 幹芯からフェンスまでの離隔距離0.6m。樹勢普通であり、フェンス撤去と剪定により樹形回復可能。フェンス等構造物撤去により、移植はできる。		●		B			
KE-158		エノキ	12.0	167	13.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○				○			無	中	幹H2.0m付近に打音異常(小)あり。 隣木(KE−157シラカシ、KE−159シイノキ)からの被圧あり。上部剪定後の樹形維持が困難。片側の枝が少い。		●		A			
KE-159		シイノキ	12.5	195	13.5	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○				○		無	中	下側の大枝に腐朽(大)あり。 露出根に腐朽(大)が多数あり。 大枝に電線とライトが設置されている。 隣木(KE−158エノキ)を被圧、剪定の必要あり。葉張り大きく、大枝剪定で樹形、樹勢維持が困難。腐朽空洞も多い。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
KE-161		ヒトツバタゴ	3.3	29	4.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.90	B		○		○					無	大	盛土(小)あり。 幹(北H1m)に樹皮欠損16×6あり。	●			B			
KE-162		トウネズミモチ	9.0	5本立	6.0	34,32,29,27,26	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	無	中	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り												調査日	2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日																				
エリア	樹木番号		樹種名	規　格				活力度										保存の必要性			移植					参考項目		備　考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	根元構造物	片枝・被圧								
																						A	B	C												
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	1		クスノキ	11.0	143	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	中	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	2		クスノキ	12.0	146	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○				○		有	中	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	3		クスノキ	11.0	136	4.0	－	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○				○		有	中	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	4		クスノキ	12.0	175	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	中	幹(南側)に打診音異常(小) H1.4～1.6mあり。 樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A
IT	5		クスノキ	13.0	189	5.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		有	中	樹幹傾斜(小)(エントランス側)あり。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 幹芯から建物までの離隔距離2.3m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A
IT	6		クスノキ	12.0	162	3.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○				○		有	中	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)。枝葉(西側)が、ビル風の影響により少ない。やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.4m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と、作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	7		クスノキ	11.0	151	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	中	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.4m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	8		クスノキ	11.0	162	4.5	－	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	2.0	1.0	2.45	B			○				○		有	中	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.4m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	9		クスノキ	11.0	150	4.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	3.0	2.0	1.0	2.30	B			○				○		有	中	幹(南側)に打診音異常 H1.7～2.0mあり。 樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.4m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り														調査日		2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日														
エリア	樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧					
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	10		クスノキ	12.0	177	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	中	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離2.4m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	11		クスノキ	12.0	192	5.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	小	樹形に乱れあり(建物側の枝がない)、やや衰退傾向にある。 ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 幹芯から建物までの離隔距離3.5m、建物からツリーサークル縁までの離隔距離2.2m。 適正根鉢径と、作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	12		クスノキ	13.0	155	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	13		クスノキ	13.0	148	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	14		クスノキ	13.0	153	5.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	15		クスノキ	14.0	160	5.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	16		クスノキ	14.0	179	4.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.25	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	17		クスノキ	14.0	178	3.5	－	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.0	3.0	2.0	1.0	2.50	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 建物からツリーサークル縁までの離隔距離1.2m。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	18		クスノキ	14.0	178	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 ツリーサークルに根の食い込みあり。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	19		クスノキ	14.0	177	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	3.0	2.0	1.0	2.30	B			○				○		有	中	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	20		クスノキ	14.0	186	4.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○				○		有	小	ツリーサークル(直径2.5m)内に位置する。 ツリーサークルに根の押上げあり。 適正根鉢径と作業エリアの確保が困難である。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	21		マテバシイ	6.0	63	2.0	－	4.0	4.0	4.0	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.5	1.0	3.00	C			○					○	有	小	幹(東側)に開口空洞・腐朽 H0.5m～2.5mあり。腐朽が進行中、高さH1.1mにおいて東西方向に貫通あり。 径1.5mの植桝内に位置する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	22		マテバシイ	7.0	64	2.5	－	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○					○	有	小	幹(東側)H2.0mに亀裂(横方向に長さ20cm)、腐朽あり。 幹に打診音異常 H1.9～2.2mあり。 枝葉が東側にない。 径1.5mの植桝内に位置する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り												調査日	2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日															保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
エリア	樹木番号		樹種名	規　格				活力度										保存の必要性			移植					参考項目		備　考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》					
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難			不可	根元構造物	片枝・被圧						
																						A	B	C										
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	23		マテバシイ	7.0	63	2.5	－	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B			○					○	有	小	径1.5mの植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	24		マテバシイ	7.0	2本立	2.5	58,48	3.0	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	小	径1.5mの植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	25		マテバシイ	7.0	3本立	2.5	58,24,21	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	有	無	根元に開口空洞 10×5(43)×8/17あり。 径1.5mの植桝内に位置する。根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	26		マテバシイ	6.0	89	2.5	－	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	有	無	幹(南側)H0.8mに開口空洞・腐朽 80×8(86)×7/19、腐朽進行中、打診音異常あり。 径1.5mの植桝内に位置する。根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	27		ヒメシャラ	4.0	3本立	4.5	42,40,35	2.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○	○					有	無	幹H1.2mに開口空洞 16×9(40)×8/11、腐朽進行中あり。 幹H1.7mに開口空洞 13×8(35)×6/13、腐朽進行中あり。 腐朽枝あり。 1.8m×1.8mの植桝内に位置する。 腐朽の進行は遅く、キノコも見られないため、移植後の維持可能。			●	B
IT	28		ヒメシャラ	3.5	3本立	1.8	44,26,21	3.5	3.5	4.0	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	小	3本立の主幹が高さH1.8mで断幹されている。 根元・幹(H0～1.8m)に樹皮枯死180×20(43)あり。 1.8m×1.8mの植桝内に位置する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	29		ヒメシャラ	5.0	38	2.5	－	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	有	無	樹幹傾斜(東側)(小)あり。 径1.5mの植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	30		マテバシイ	6.5	70	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.45	A		○						○	有	中	骨格をなす枝が西側に伸長していない。 径1.5mの植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	31		マテバシイ	6.0	2本立	4.0	56,39	3.0	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B			○					○	有	小	枝葉が西側にない。 径1.5mの植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	32		マテバシイ	7.0	72	4.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.80	B			○					○	有	中	高さH3.5mに亀裂(縦方向に長さ30cm)あり。 枝葉が西側にない。 径1.5mの植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	33		マテバシイ	7.0	96	5.0	－	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.65	A		○						○	有	中	径1.5mの植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	34		ホソバタイサンボク	6.0	56	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	有	中	露出根あり。 擁壁が北側0.5m、南側0.9mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	35		トウネズミモチ	8.0	115	3.5	－	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B			○					○	有	小	露出根あり。 枝葉が北側にあまり伸長していない。 幅1．4m（南北間）の狭植込地に位置する。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名	伊藤忠ビル周り	調査日	2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5 月 25 日

エリア	樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》				
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	36		シラカシ	9.0	96	4.0	－	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A		○			○				有	無	露出根が見られるが移植には問題なし。 枝葉が北側にあまり伸長していない。 幹芯から擁壁までの離隔距離1.0m。			●	B
IT	37		スダジイ	6.5	5本立	5.0	65,53,50,49,45	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B			○					○	有	無	露出根が多数あり。移植後の活着が困難である。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	38		モチノキ	5.0	40	2.5	－	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○						○	有	無	露出根が多数あり。移植後の活着が困難である。 擁壁が北側0.9mの距離にあり、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	39		シラカシ	8.0	92	3.5	－	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.0	1.60	A			○					○	有	無	根根元(東側)に開口空洞10×8(130)×15/40(巻き込み良好)あり。 露出根が多数あり。移植後の活着が困難である。 マンホールが西側0.7mの距離、擁壁が北側1.3mの距離にあり、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	40		キンモクセイ	4.0	4本立	2.5	35,35,25,23	2.5	1.5	3.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A			○					○	有	小	枝葉が北側にない。 露出根あり。 擁壁が北側0.6mの距離にある。マンホールが東側0.8mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	41		キンモクセイ	4.0	2本立	1.8	30,22	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A			○					○	有	小	露出根あり。 擁壁が北側0.6mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	42		マテバシイ	7.0	78	3.0	－	3.5	2.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.5	1.0	2.50	B			○					○	有	無	露出根が多数あり。移植後の活着が困難である。 擁壁が北側1.4mの距離にある。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため、移植不適。			●	C
IT	43		ノムラモミジ	5.0	55	3.0	－	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A		○						○	無	中	露出根あり。 巻き根あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	44		マテバシイ	7.0	75	3.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	有	無	露出根あり。 ひこばえあり。 擁壁が北側0.8mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	45		ノムラモミジ	5.0	50	3.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○		○					無	中	露出根あり。 巻き根あり。 枝葉が北側にあまり伸長していない。			●	B
IT	46		マテバシイ	7.0	73	2.0	－	3.0	2.5	3.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	有	小	露出根あり。 擁壁が北側0.7mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	47		ヒイラギモクセイ	4.0	3本立	2.8	35,33,26	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○					○	無	中	露出根が多数あり。移植後の活着が困難である。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	48		イロハモミジ	5.0	65	3.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A			○					○	有	小	根元に傷(横方向に幅25cm)、閉塞しつつある。 幹(西H0.5m)に開口空洞 2×2、閉塞しつつある。 擁壁が南側0.8m、西側0.6mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名	伊藤忠ビル周り	調査日	2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日

エリア	樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	49		モチノキ	5.0	42	2.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.95	B			○					○	有	中	露出根あり。 マンホールが0.3mの距離にある。 擁壁が0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	50		ヒイラギモクセイ	3.5	4本立	2.0	33,39,19,18	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.35	B			○					○	有	中	マンホールが0.4mの距離にある。 擁壁が0.5mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	51		マテバシイ	6.0	68	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	有	小	露出根が多数あり。移植後の活着が困難である。 擁壁が0.4mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	52		キンモクセイ	3.0	2本立	2.0	16,14	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○					○	有	中	擁壁が0.4mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	53		キンモクセイ	3.0	3本立	3.0	25,20,12	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○					○	有	無	擁壁が0.4mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	54		エゴノキ	4.0	37	1.5	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.00	B			○					○	無	無	揺らぎ(中)あり。 根元に開口空洞・腐朽 20×40×30あり。 露出根あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	55		キンモクセイ	3.5	3本立	2.0	29,25,19	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.10	B			○					○	有	小	露出根あり。 擁壁が0.6mの距離にある。散水栓に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	56		エゴノキ	3.0	2本立	1.5	24,20	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.40	B			○					○	無	中	根元に樹皮欠損(小)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	57		マテバシイ	6.0	70	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.35	B			○					○	有	無	マンホールが0.7mの距離にある。 擁壁が1.1mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C
IT	58		トウネズミモチ	6.0	4本立	3.0	49,49,48,26	2.5	2.5	4.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.35	B			○					○	有	小	株の1つ(西側)に腐朽、枯損あり。 設備用のH鋼に接触している。 露出根あり。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B
IT	59		トウネズミモチ	4.0	2本立	1.5	29,16	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.55	C			○					○	有	大	露出根あり。 マンホールが0.2mの距離にある。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	C
IT	60		ケヤキ	8.0	128	5.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.30	B			○					○	有	無	露出根が多数あり。移植後の活着が困難である。 擁壁が東側0.8m、南側1.0mの距離にあり、根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	61		モッコク	4.5	48	2.5	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.30	B			○					○	有	無	建造物が北側0.6mの距離にある。 照明のセンサーに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	62		モチノキ	4.5	52	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	小	露出根あり。 建造物が北側0.7mの距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り												調査日				2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日														
エリア	樹木番号		樹種名	規 格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備 考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧					
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	63		シラカシ	6.0	75	3.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.80	B		○			○				有	無	擁壁が北側0.7mの距離にある。 幅1.8mの植栽帯内に位置する。 幹芯から擁壁までの離隔距離0.8m、1.0m。樹形良好、根鉢はかろうじて確保が可能である。			●	B
IT	64		シラカシ	7.5	84	4.0	－	2.5	2.5	3.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.30	B			○					○	有	中	樹冠上部に隣接するユーカリからの被圧あり。 幹に樹皮欠損・腐朽(大)あり。 打診音異常(小)あり。 大枝剪定痕に腐朽あり。 露出根あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	65		シラカシ	5.0	64	3.0	－	4.0	3.0	4.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.65	C			○					○	無	小	高さH4.0mで断幹されており、枯れ下っている。 鋼棒貫入異常(芯達)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	66		スダジイ	3.0	98	2.0	－	4.0	3.0	4.0	3.0	4.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.95	C			○					○	無	中	幹(東側)に樹皮欠損(周囲長比1/2以上)、打診音異常あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	68		ユーカリ	7.0	65	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B			○				○		有	中	大枝H5.0m以上にぶつ切り剪定が散在する。 下枝が高く、移植に向けた剪定に適さず、移植には不向きである。 幹芯から擁壁までの離隔距離0.7m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	69		ユーカリ	11.0	100	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B			○				○		有	無	樹幹傾斜(北側)あり。 壁が北側に近接している。 下枝が高く、移植に向けた剪定に適さず、移植には不向きである。 幹芯から擁壁までの離隔距離0.9m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	70		マテバシイ	6.5	61	2.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B		○		○					無	中	樹幹傾斜(南側)あり。 打診音異常(小)あり。 大枝付け根H2.0m(北側上部)に、腐朽あり。 露出根あり。			●	B
IT	71		マテバシイ	6.0	68	3.0	－	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B		○		○					無	中	樹幹傾斜(南側)あり。 露出根あり。			●	B
IT	72		マテバシイ	5.5	54	3.0	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B		○		○					無	中	高さH4m(北側と南東側)に大枝剪定痕からの腐朽あり。			●	B
IT	73		シラカシ	7.5	74	2.5	－	2.0	2.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					無	小	大枝H1.0m(南側)に樹皮欠損あり。 高さH5.0mに大枝剪定痕からの腐朽あり。			●	B
IT	74		マテバシイ	5.0	44	2.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.35	B			○					○	無	中	高さH1.5mに剪定痕からの腐朽、打診音異常(大)あり。 隣接するシラカシ(東側)、マテバシイ(西側)からの被圧(大)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	75		マテバシイ	7.0	79	4.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					無	小	幹下部に打音異常(小)あり。 巻き根(小)あり。			●	B
IT	76		サルスベリ	3.0	28	1.2	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.90	B			○					○	無	中	根元の揺らぎ(小)あり。 枝葉が少なく、衰退傾向にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため、移植不適。			●	B
IT	77		マテバシイ	5.5	57	2.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.26	B			○					○	無	中	幹(北側)に開口空洞 H2.0～3.0m、背着生キノコ(種不明)あり。 枯枝 φ5, L=2mあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り																調査日			2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5 月 25 日												
エリア	樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧					
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	78		マテバシイ	6.5	68	2.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B		○		○					無	小	梢端部にこぶが数か所あり。 露出根あり。			●	B
IT	79		マテバシイ	5.5	3本立	2.0	42,31,26	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○		○					無	中	株の2本が枯損、切除されている。 幹に樹皮欠損(支柱接触痕)あり。 打診音異常あり。 下枝がない(下枝高H3.0m)。樹皮欠損や打音異常は致命的ではなく、移植後の樹形維持は可能。			●	B
IT	80		ヤマモモ	5.0	50	4.0	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.05	B		○		○					無	大	根元(北側)に開口空洞 10×10×10、打診音異常あり。 根元の揺らぎ(中)あり。打音異常や揺らぎは致命的ではなく移植後の樹形維持可能。			●	B
IT	81		クスノキ	12.0	149	5.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B	○					○			有	中	根元(西側)に打診音異常あるが、移植に際しては問題ない程度。 幹芯から擁壁までの離隔距離1.2m。樹形の維持、根鉢の確保が可能である。			●	B
IT	82		ヤマモモ	4.0	53	3.0	－	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.35	B			○					○	無	大	上部(北側)に腐朽(大)、開口空洞が数か所、打診音異常あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	83		クスノキ	11.0	122	3.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B			○				○		有	中	隣木(No81クスノキ)からの被圧あり。 下枝が高く、移植に向けた剪定に適さず、移植には不向きである。 幹芯から擁壁までの離隔距離1.2m。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため、移植不適。			●	B
IT	84		マテバシイ	6.5	89	3.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.30	B			○					○	無	大	高さH2.0mに入り皮あり。 高さH2.0mから根元に亀裂あり。 西側に開口空洞あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	85		マテバシイ	6.0	3本立	4.0	47,39,35	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B			○					○	無	中	株の1本が枯損、切除されている。 打診音異常あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	86		マテバシイ	7.0	73	3.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B			○					○	無	中	樹幹傾斜(南側)あり。 打診音異常あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	87		ノムラモミジ	4.0	45	4.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			無	中	剪定痕に腐朽あり。			●	B
IT	88		シラカシ	6.5	73	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B		○		○					無	中	高さH2.5m(北西側)に開口空洞あり。 打診音異常(小)あり。			●	B
IT	89		イロハモミジ	4.0	67	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			無	中	大枝(西側)に打診音異常あり。			●	B
IT	90		シラカシ	6.0	58	2.0	－	3.0	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.45	B			○					○	無	中	幹(北側)の上部と下部に溝腐れ症状あり。 鋼棒貫入異常(芯達)あり。 打診音異常あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	91		クスノキ	8.5	3本立	4.0	91,59,34	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B		○			○				有	無	打診音異常(小)あり。 大枝(北側)が構造物に近接している。 幹芯から擁壁までの離隔距離0.7m、1.0m。樹形の維持が可能である。			●	B
IT	92		シラカシ	6.5	57	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B			○					○	無	中	東側に開口空洞あり。 打診音異常(小)あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り														調査日		2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5 月 25 日														
エリア	樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	93		マテバシイ	6.5	48	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.50	B			○					○	無	小	打診音異常あり。 剪定痕からの腐朽が数か所あり。 露出根あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	94		マテバシイ	6.0	51	2.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.45	B			○					○	無	小	打診音異常あり。 枝上部(東側)に剪定痕からの腐朽あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	95		マテバシイ	6.0	5本立	3.0	42,38,34,32,26	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.25	B			○					○	有	中	株(西側)に開口空洞あり。 構造物に北側と南側が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	96		マテバシイ	7.0	2本立	3.5	55,46	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B		○		○					無	小	2株双方に開口空洞あり。 打診音異常(大)あり。 大枝H4.0m(東側)にこぶあり。打音異常があるが、致命的とは判断しにくく移植後の樹形維持可能。			●	B
IT	97		サザンカ	3.5	31	1.8	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	無	中	隣接するマテバシイ(東側)からの被圧あり。 壁に近接し片枝樹形であり、枝葉も少なく、移植後の回復は困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため、移植不適。			●	B
IT	98		サザンカ	3.2	27	1.8	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	無	中	隣接するマテバシイ(西側)からの被圧あり。 壁に近接し片枝樹形であり、枝葉も少なく、移植後の回復は困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため、移植不適。			●	B
IT	99		マテバシイ	6.0	60	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	2.10	B		○		○					無	中	数か所にこぶ症状、てんぐ巣病の症状あり。 てんぐ巣病あるが、致命的ではなく移植後の樹形維持可能。			●	B
IT	100		マテバシイ	5.5	68	3.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	小	高さH4.0m(北東側)に開口空洞、高さH3.0m(北東側)に開口空洞100×10cm、高さH2.0m(北東側)に開口空洞20×13cmあり。 打診音異常あり。			●	B
IT	101		サザンカ	3.2	25	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	無	大	断幹されている。 隣接するマテバシイ(東側)からの被圧(大)あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	102		サザンカ	3.2	19	1.0	－	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.65	C			○					○	無	小	樹幹傾斜(南側)あり。 枝葉量が少なく樹形にやや乱れ、樹勢が衰退傾向にある。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	103		サザンカ	3.3	26	1.8	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B		○		○					無	小	隣接するシラカシ(西側)からの被圧(大)あり。 樹形が回復傾向にある。			●	B
IT	104		シラカシ	8.5	93	3.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B		○		○					無	小	古葉に食害痕があるが、新葉は良好である。			●	B
IT	105		シラカシ	5.0	85	2.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.40	B			○					○	無	無	下枝(北西側)にこぶが数か所あり。 高さH1.5mに入り皮あり。 樹勢が衰退傾向にある。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	106		モッコク	3.3	3本立	2.3	31,21,18	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.25	B		○		○					無	小	葉がやや小さい。 移植可能である。			●	B
IT	107		シラカシ	6.0	78	2.5	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.30	B		○		○					無	無	葉が小さく、樹勢がやや不良だが、回復傾向にあり、移植可能である。			●	B
IT	108		サザンカ	3.2	27	1.5	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.15	B		○		○					無	中	近接するシラカシ(東側)からの被圧(大)あり。 下枝(東H0.5m)に腐朽あり。 刈込樹形である。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り														調査日		2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5 月 25 日														
エリア	樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧					
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	109		スダジイ	4.0	36	2.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					無	小	樹幹傾斜(北側)あり。 根元に樹皮欠損あり。			●	B
IT	110		サザンカ	3.3	33	1.5	－	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					無	小	樹形良好である。			●	B
IT	111		スダジイ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	C
IT	112		シラカシ	3.5	2本立	1.5	59,21	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	1.5	3.00	C			○					○	無	無	断幹されており、断幹部からの腐朽(大)、打診音異常あり。 樹勢が著しく衰退している。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	113		キンモクセイ	3.5	61(芝付)	2.3	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.70	A		○		○					無	無	樹形良好である。			●	B
IT	114		モチノキ	4.5	61	2.0	－	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.35	B		○		○					無	無	カイガラムシが多数寄生し、葉が小さく、すす病が多発している。 消毒や施肥で移植後の樹勢回復が可能。			●	B
IT	115		モチノキ	4.5	45	1.5	－	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.55	C		○		○					無	無	カイガラムシが多数寄生し、葉が小さく、すす病が多発している。 消毒や施肥で移植後の樹勢回復が可能。			●	B
IT	116		キンモクセイ	3.3	55(芝付)	2.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.10	B		○		○					無	無	刈込樹形である。			●	B
IT	117		シラカシ	5.0	62	3.5	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B			○					○	無	無	樹形不良傾向であり、移植後の回復が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	118		ヒイラギモクセイ	4.0	4本立	2.5	30,28,23,12	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.70	A		○		○					無	小	刈込樹形である。 枝葉量が多く、良好な状態である。			●	B
IT	119		シラカシ	5.0	65	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.40	B			○					○	無	無	枝葉量が少なく、樹勢不良傾向にある。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	120		ヒイラギモクセイ	4.0	3本立	2.5	30,23,13	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B		○		○					無	中	刈込樹形である。 概ね良好な状態である。			●	B
IT	121		タイサンボク	5.0	52	2.5	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B		○		○					無	小	露出根あり。露出根に腐朽あり。 樹勢がやや衰退している。			●	B
IT	122		ヒイラギモクセイ	3.5	4本立	2.0	32,19,19,17	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.55	A		○		○					無	中	露出根あり。 刈込樹形であり、樹形良好である。			●	B
IT	123		ヤマモモ	2.9	59	2.0	－	3.5	3.0	4.0	3.5	4.0	3.5	2.5	2.5	2.5	1.5	3.05	C			○					○	無	大	樹高が3m以下である。 主幹がH1.4mで断幹され、内部が1.4mから根元まで空洞化している。 根元に開口空洞65×10×25/25(75)(貫通)。 大枝1本のみの樹形で生育している。倒伏の恐れあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	124		クスノキ	8.0	4本立	6.0	73,62,52,38	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	1.5	2.50	B			○				○		有	無	枝葉量が少なく、樹形の乱れ、樹勢が衰退している。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り														調査日		2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5月 25 日													保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
エリア	樹木番号		樹種名	規 格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備 考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》				
				樹高（ｍ）	幹周（cm）	葉張（ｍ）	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧					
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	125		マテバシイ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	–	–	※	C
IT	126		ヤブツバキ	2.8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	枯損している。	–	–	※	C
IT	127		ヤブツバキ	3.5	2本立	1.2	21,19	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	2.30	B			○					○	有	小	隣木のクスノキ(樹冠上部)からの被圧あり。 ビル風の影響あり。 樹勢が衰退傾向にあり、移植後の回復は難しい。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため、移植不適。			●	B
IT	128		ヤブツバキ	3.3	26	1.0	–	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	2.30	B			○					○	有	小	ビル風の影響あり。 樹勢が衰退傾向にあり、移植後の回復は難しい。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため、移植不適。			●	B
IT	129		ヤマモモ	4.0	2本立	3.5	100,66	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.75	C			○					○	有	無	2本立の片方に開口空洞あり。 葉が小さく樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	130		ヤマモモ	4.0	2本立	2.5	85,59	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.80	C			○					○	有	無	2本立の片方の幹分岐部に、開口空洞あり。 葉が小さく、樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	131		ヤマモモ	5.5	102	2.5	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.75	C			○					○	有	無	葉が小さく、樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	132		ヤマモモ	5.0	95	3.5	–	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.65	C			○					○	有	無	葉が小さく、樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	133		ヤマモモ	5.0	88	3.0	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.75	C			○					○	有	無	根元･幹に腐朽(大)あり。 葉が小さく、樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	134		ヤマモモ	6.0	83	3.0	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.70	C			○				○		有	無	葉が小さく、樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	135		ヤマモモ	3.5	90	2.5	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.70	C			○					○	有	無	葉が小さく、樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	136		ヤマモモ	6.0	2本立	3.0	94,51	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.65	C			○				○		有	無	高さH1.8mに開口空洞あり。 葉が小さく、樹勢が衰退している。（常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。） 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り														調査日		2023 年 5 月 25 日 ～ 2023 年 5 月 25 日															
エリア	樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立数	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	137		ヤマモモ	6.0	110	2.5	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.70	C			○				○		有	無	高さH1.6mとH1.5mに開口空洞あり。 葉が小さく、樹勢が衰退している。(常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。) 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	138		ヤマモモ	4.5	97	3.0	－	2.5	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.60	C			○					○	有	小	高さH1.6mに腐朽あり。 葉が小さく、樹勢が衰退している。(常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。) 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B
IT	139		ヤマモモ	6.0	102	3.5	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.70	C			○				○		有	無	大枝(北側)に開口空洞あり。 葉が小さく、樹勢が衰退している。(常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。) 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	140		ヤマモモ	6.0	4本立	3.0	95,37,35,16	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.70	C			○				○		有	無	葉が小さく、樹勢が衰退している。(常時ビル風を受け、狭い人工地盤上にある。) 地下出入口脇の擁壁(高さH0.6～1.2m)上に設置された植栽桝(1.5×1.5m)内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B
IT	141		ヒメシャラ	8.5	3本立	4.0	40,39,28	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○		○					有	小	樹冠上部が1階部分のネットに接触し、損傷あるが、樹勢は悪くなく、移植可能である。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。			●	B
IT	142		ヒメシャラ	8.5	3本立	3.5	37,34,20	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B		○		○					有	小	片枝の上部に枯損(小)あり。 樹冠上部が1階部分のネットに接触し、損傷あるが、樹勢は悪くなく、移植可能である。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。			●	B
IT	143		ヒメシャラ	7.5	44	3.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	2.95	C			○					○	有	小	片枝樹形である。 樹冠上部が1階部分のネットに接触し、損傷ある。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C
IT	144		ヒメシャラ	8.5	3本立	5.0	36,32,28	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.30	B		○		○					有	小	幹肌が黒く、頂部の枝葉がやや疎である。 樹冠上部が、1階部分のネットに接触し損傷あるが、樹勢は悪くなく、移植可能である。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。			●	B
IT	145		ヒメシャラ	8.5	3本立	4.0	38,37,36	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	2.20	B		○		○					有	小	樹冠上部が1階部分のネットに接触し損傷あるが、樹勢は悪くなく、移植可能である。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。			●	B
IT	146		ヒメシャラ	9.0	4本立	6.0	43,37,37,22	1.5	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.75	A	○			○					有	小	中庭のヒメシャラの中では樹勢･樹形が最も良好である。 樹冠上部が1階部分のネットに接触し損傷あるが、樹勢は悪くなく、移植可能である。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。			●	B
IT	147		ヒメシャラ	4.5	3本立	2.5	17,17,15	2.0	2.5	1.5	2.5	1.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.95	B		○		○					有	小	植替えがされており、ネット下の高さで管理されている。 やや繊細な樹木だが、移植可能である。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。			●	A

既存樹木調査結果一覧

エリア名				伊藤忠ビル周り																調査日				2023 年　5 月　25 日　～　2023 年　5月　25 日										
エリア	樹木番号		樹種名	規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　　考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価
				樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立数	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧					
								1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●			ABCD
IT	148		ヒメシャラ	4.5	19	2.5	−	2.0	2.5	1.5	2.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.90	B		○		○					有	小	植替えがされており、ネット下の高さで管理されている。 やや繊細な樹木だが移植可能である。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が、幹芯から1.7mの距離にある。			●	B
IT	149		ヒメシャラ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	ー	ー	安全配慮、倒木回避のため撤去。	−	−	※	B
IT	150		ヒメシャラ	9.0	2本立	4.0	38,37	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.95	B		○		○					有	小	ネットの上部で枝葉を伸長しており、下枝が高く、ネット接触の影響は小さい。 地下の植栽帯に位置する。擁壁が幹芯から1.7mの距離にある。			●	B

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 〜 2023 年 9月 11日				伐採理由

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
							1〜4評価						1〜4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-001		シダレザクラ	8.5	204	10.0	−	1.5	1.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○						○		有	小	幹H2.2mに樹皮枯死・欠損 40×40(160)あり。 樹木番号N02-002ヤエザクラとの相互被圧(小)あり。 根元の東側0.3mと北側1mに縁石あり。 高さH1.1mに枯枝φ15, L=1.1mあり。	●			A			
N02-002		ヤエザクラ	8.0	156	10.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○					○	有	小	幹H0.9mに開口空洞・腐朽20×15(155)×7/50あり。 打診音異常(小)H0.5〜1.3mあり。 樹冠傾斜(北側)あり。片枝樹形。 樹木番号N02-001シダレザクラとの相互被圧(小)あり。 根元の南側0.8mにフェンスあり。	●			B			
N02-003		ヤエザクラ	9.0	180	12.0	−	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A			○					○	有	大	幹H1.8mに開口空洞・腐朽10×15(190)×10/65あり。 打診音異常(小)H0.5〜1.2mあり。 樹木番号N02-013ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 樹形の偏り(北側)、幹の傾斜あり。 根元の北側0.65mに縁石、舗装あり。	●			B			
N02-004		スダジイ	9.0	266	10.0	−	1.5	1.5	3.0	1.0	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○					○		有	小	幹H0.7mに開口空洞・腐朽25×20(300)×70/110(芯達)あり。 大枝に樹皮枯死・欠損・腐朽(大)あり。落枝の恐れ、要切除。 根元の東側1.5mにフェンスあり。	●			A			
N02-008		モミジ	7.0	107	6.0	−	3.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.80	B			○					○	無	大	樹木番号N02-010シラカシからの被圧(中)、004スダジイからの被圧(大)あり。 樹形が南側に偏っており、移植樹として適さない。	●			A			
N02-009		モミジ	8.0	3本立	6.0	42,44,76	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.60	A		○		○					無	大	樹木番号N02-013ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 樹形が南側に偏っている。 大枝付け根に入り皮あり。 枯枝あり。	●			A			
N02-010		シラカシ	11.5	222	12.0	−	2.0	1.5	3.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0	1.70	A		○					○		有	中	幹H1.7mに開口空洞 110×30(210)×31/65あり。 根元に開口空洞・腐朽 60×10(248)×50/80(芯達)あり。 根元・幹に打音異常(大) H1.6〜2.5mあり。 幹に背着生キノコあり。 樹木番号N02-013ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 根元の南側0.3mに縁石、舗装あり。	●			B			
N02-011		シダレザクラ	10.0	110	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	主幹および樹冠がほぼ枯損状態にある。	※	−	−	B			
N02-012		ヒマラヤスギ	21.0	225	10.0	−	2.0	1.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○						○	無	大	樹木番号N02-013ヒマラヤスギとの相互被圧(大)あり。 梢の曲がり、伸長あり。 移植後の健全な状態への回復の見込みがない。	●			A			
N02-013		ヒマラヤスギ	24.0	282	11.0	−	2.0	1.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.35	A	○							○	有	大	樹木番号N02-012ヒマラヤスギとの相互被圧(大)あり。 フェンスが近接しており、このままでは根鉢確保困難(北側0.7m) 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な生育確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-014		クスノキ	15.0	305	10.0	−	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.35	A	○							○	有	大	樹木番号N02-012, 013ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 被圧により南側の枝が少ない。 フェンスに近接しており、このままでは根鉢確保困難(北側1.0m)	●			A			
N02-015		ヒマラヤスギ	24.0	353	18.0	−	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.40	A	○							○	有	中	樹木番号N02-012ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 狭い単独桝に位置し、根鉢確保困難 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-016		シラカシ	10.0	273	12.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	有	無	根元・幹に開口空洞 115×15(295)×50/70(芯達)あり。 大枝に樹皮欠損が多数あり。 植栽桝に位置する。ツリーサークルあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-017		カンヒザクラ	4.5	85	3.5	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.40	B			○					○	有	大	樹木番号N02-018カンヒザクラとの相互被圧(大)あり。 樹木番号N02-014クスノキ、N02-019ユーカリからの被圧(大)あり。 早期落葉、枯れ下がりあり。 フェンスに近接している。(南側0.1m)	●			B			
N02-018		カンヒザクラ	4.0	83	5.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.35	B			○					○	有	大	樹木番号N02-017カンヒザクラとの相互被圧(大)あり。樹木番号N02-019ユーカリ、032ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 樹形が北側に偏っている。 フェンスが近接している。(南側0.3m) 枯枝が多数あり。	●			B			
N02-019		ユーカリ	18.5	231	7.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.30	B			○					○	有	大	根元に樹皮欠損 25×10あり。 大枝がぶつ切り剪定されている。 樹木番号N02-032ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 南側の枝数が少ない。 フェンスに枝が接触している。 ユーカリの大木は移植困難である(樹種特性)。	●			B			
N02-020		カンヒザクラ	7.0	112	8.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B		○					○		有	中	樹木番号N02-019ユーカリ、032ヒマラヤスギ、033ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 樹形が北側に偏っている。 フェンスに近接している。(南側0.4m)	●			B			
N02-030		ツバキ	4.5	75	3.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.35	A		○		○					無	大	幹に樹皮欠損(小)が4～5箇所あり。 樹木番号N02-019ユーカリ、032ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。	●			A			
N02-031		ツバキ	4.5	2本立	3.0	42,43	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.30	A	○			○					無	大	樹木番号N02-032ヒマラヤスギ、033ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。	●			A			
N02-032		ヒマラヤスギ	20.0	279	12.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A	○						○		有	中	樹木番号N02-033ヒマラヤスギとの相互被圧(中)あり。 建物に近接している。 根元に縁石の飲み込みあり。 幹芯から建物までの離隔距離1.1m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-033		ヒマラヤスギ	24.0	295	9.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○						○		有	中	樹木番号N02-032ヒマラヤスギとの相互被圧(中)あり。 建物に近接している。 幹芯から建物までの離隔距離2.6m。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-034		ヒサカキ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	D			
N02-035		ツバキ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	枯損している。	※	－	－	C			
N02-036		イスノキ	5.0	58	3.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○				○			有	大	樹木番号N02-038ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 フェンスに近接している。(東側0.6m)	●			A			
N02-037		モッコク	4.5	3本立	4.0	61,40,30	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					無	大	幹に樹皮欠損 20×7あり。 樹木番号N02-036イスノキ、038ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 樹形が北側に偏っている。	●			A			
N02-038		ヒマラヤスギ	22.0	3本立	16.0	430,133,74	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○						○		有	中	ぶつ切り剪定が多数あり。 樹木番号N02-033ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 建物に近接している。(南側5m) 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》					伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧		保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-047		カンヒザクラ	4.0	39	5.0	－	3.5	2.5	3.5	2.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.25	B			○					○	有	大	断幹されている。 樹木番号N02-038ヒマラヤスギ、050ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 フェンスに近接している。(北側0.6m) 枯枝あり。	●			B			
N02-048		シダレザクラ	9.0	117	4.0	－	3.5	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.35	B			○					○	有	大	根元に開口空洞・腐朽15×20(130)×9/30、子実体あり。 樹木番号N02-038ヒマラヤスギ、050ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 樹形が、北側に偏っている。 フェンスに近接している。(北側0.2m) 梢端枯れあり(進行中)。	●			B			
N02-050		ヒマラヤスギ	21.0	250	10.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○						○		無	中	樹木番号N02-059ヤエザクラとの相互被圧あり。 樹木番号N02-038ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 樹木番号N02-070ヒマラヤスギからの被圧(小)あり。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。	●			A			
N02-059		ヤエザクラ	11.0	131	5.0	－	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B			○					○	無	大	樹木番号N02-050ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 ツバキの生垣に近接している。 片枝樹形、衰退傾向にある。 枯枝(大)あり。	●			B			
N02-066		トウネズミモチ	6.0	67 (芝付)	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A			○					○	無	中	樹木番号N02-070ヒマラヤスギ、059ヤエザクラからの被圧(中)あり。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
N02-069		サクラ	12.0	277	9.0	－	2.5	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B			○					○	有	中	根元にベッコウタケの子実体あり。幹に背着生キノコあり。 幹に開口空洞・腐朽28×5(277)×26/80あり。 根上り巻き根あり。 胴吹き多数。ぶつ切り剪定されている。大枝に腐朽(大)あり。 樹木番号N02-070ヒマラヤスギからの、被圧(中)あり。樹形が、北側にやや偏っている。 フェンスに近接している。(東側1.5m)	●			B			
N02-070		ヒマラヤスギ	23.0	269	12.0	－	2.0	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○						○		有	小	ぶつ切り剪定、スタブカット(切り残し枝)が多数あり。 樹木番号N02-050ヒマラヤスギ、081ヒマラヤスギからの被圧(小)あり。 建物に近接している。(東側3.5m) 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。	●			A			
N02-081		ヒマラヤスギ	23.0	305	12.0	－	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○					○		無	中	樹木番号N02-098ヒマラヤスギとの相互被圧(中)あり。 樹木番号N02-099ヒマラヤスギからの被圧(小)あり。 下枝が高い。ぶつ切り剪定が多数あり。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。	●			A			
N02-082		ヤエザクラ	13.0	140	6.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.95	B			○					○	無	大	樹木番号N02-083クスノキに近接しており、被圧(大)あり。 樹冠に偏り(北側)あり。 下枝高い傾斜木で移植後の適正な生育が見込めない。	●			B			
N02-083		クスノキ	15.0	238	12.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○						○		無	中	樹木番号N02-080ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 樹木番号N02-082ヤエザクラに近接しており、適正根鉢確保困難。	●			A			
N02-085		ヤエザクラ	11.0	255	8.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○					○		有	中	ぶつ切り剪定が多数あり。 樹木番号N02-083クスノキからの被圧(中)あり。 フェンスに近接している。(北側0.3m)	●			B			
N02-086		シダレザクラ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	－	－	B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-088		サクラ	10.0	193	5.0	－	3.0	2.0	2.5	2.5	3.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.15	B			○					○	無	中	ぶつ切り剪定が多数、腐朽・枯れ下がりあり。 樹木番号N02-083クスノキからの被圧(中)あり。 早期落葉あり。	●			B			
N02-089		トウネズミモチ	5.0	46(芝付)	3.0	－	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A			○					○	無	無	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	A	●		
N02-095		ヒサカキ	3.5	34	2.0	－	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	3.0	1.0	2.25	B			○					○	有	小	葉に吸汁痕があり、葉色が薄い。 樹木番号N02-096ヒサカキ、097ソメイヨシノからの被圧(小)あり。 樹形が西側に傾斜している。 フェンスに近接している。(西側0.7m)	●			B			
N02-096		ヒサカキ	3.5	46	2.0	－	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○		○					無	小	樹木番号N02-097ソメイヨシノからの被圧(小)あり。	●			B			
N02-097		ソメイヨシノ	10.0	240	10.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○					○	無	小	幹0.7mに開口空洞空洞 20×25×10/65あり。 根元にベッコウタケの子実体あり。 近接するヒマラヤスギからの被圧(小)あり。 ぶつ切り剪定されている。大枝に腐朽(大)あり。	●			B			
N02-098		ヒマラヤスギ	22.0	235	10.0	－	2.0	1.5	1.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A	○						○		無	小	樹木番号N02-081ヒマラヤスギ、099ヒマラヤスギとの相互被圧(小)あり。 枝数がやや少ない。下部の大枝が少ない。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。	●			A			
N02-099		ヒマラヤスギ	24.0	328	14.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○					○		無	小	樹木番号N02-098ヒマラヤスギとの相互被圧(小)あり。 樹木番号N02-107ヒマラヤスギからの被圧(小)あり。 樹勢が回復傾向にある。 枯枝φ20, L=3.5m (H13m)あり。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-100		エノキ	6.5	39	4.0	－	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○		○					無	中	幹の肥大成長が少なく、細く伸長している。 周辺木との相互被圧(中)あり。	●			A			
N02-102		ソメイヨシノ	11.0	213	10.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B			○					○	無	中	幹にコフキタケの子実体あり。 幹H1.1mに大枝剪定痕からの樹皮欠損・腐朽 80×20(213)あり。 打診音異常(小)H0.6～0.8mあり。 樹木番号N02-106ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 フェンスが近接している。 早期落葉あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N02-103		ツバキ	4.0	50	2.0	－	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○		○					無	無	フェンスに近接している。(西側1.1m) 根鉢確保可。	●			A			
N02-106		ヒマラヤスギ	20.0	293	14.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○					○			無	小	樹木番号N02-111ケヤキからの被圧(小)あり。	●			A			
N02-107		ヒマラヤスギ	25.0	298	12.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○					○			無	小	スタブカット(切り残し枝)が下部に多数あり。 樹木番号N02-108ケヤキからの被圧(小)あり。		●		A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● 🔴:変更樹木			ABCD			
N02-108		ケヤキ	20.0	166	5.0	−	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	無	大	胴吹き枝が多数あり。 樹木番号N02-106ヒマラヤスギ、109ケヤキからの被圧(大)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-109		ケヤキ	18.0	293	5.0	−	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.05	B			○					○	無	中	断幹されている。 幹に打音異常(小) H1.0m～2.0mあり。 幹に開口空洞 21×13(223)×5/65あり。 樹木番号N02-106ヒマラヤスギからの被圧(中)あり。 大枝剪定痕からの樹皮欠損(中)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-111		ケヤキ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	高さH5.0mで断幹され、枯損している。	−	−	※	A			
N02-114		トウネズミモチ	5.0	57	5.0	−	3.0	1.5	2.5	1.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A			○					○	無	小	樹冠上部に剪定による徒長枝が見られる。 樹木番号N02-106ヒマラヤスギからの被圧(大)あり。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	A	●		
N02-118		ソメイヨシノ	7.0	43	5.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					無	無	早期落葉あり。 若木で移植可能。	●			A			
N02-119		ソメイヨシノ	7.0	50	5.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					無	無	早期落葉あり。 若木で移植可能。	●			A			
N02-121		ケヤキ	20.0	286	18.0	−	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○						○		無	無	幹H0.8mに閉塞痕あり。	●			A			
N02-122		トウネズミモチ	8.0	102	5.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A			○					○	無	小	樹木番号N02-124クスノキからの被圧(小)あり。 3本立ちの幹分岐部がゆ合、入り皮状態にある。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	A	●		
N02-123		ソメイヨシノ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	高さH3.3mで断幹され、枯損している。	−	−	※	C			
N02-124		クスノキ	18.0	210	6.0	−	3.0	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B			○			○			有	無	下枝が高く、樹冠に偏り(南側が疎)あり。 仮設事務所に近接している。(西側0.8m) 中央部の枝葉が少ない。		🔴		A			
N02-126		コブシ	9.0	70	2.5	−	2.5	2.0	3.0	3.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○					○		無	無	南側の枝葉が少なく、片枝樹形である。 樹冠頂部、早期落葉あり。樹勢が衰退傾向にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			🔴	A			●
N02-127		チョウセンマツ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	−	−	※	B			
N02-128		ツバキ	4.0	50(芝付)	2.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B		○		○					有	小	樹木番号N02-130サンゴジュからの被圧(小)あり。 根元の東側0.6mに縁石と舗装あるが、根鉢確保可。		🔴		A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-130		サンゴジュ	5.0	3本立	2.5	38,35,33	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	1.5	2.0	1.0	2.40	B			○					○	無	大	樹木番号N02-131クスノキからの被圧(大)あり。 幹分岐部に入り皮状態あり。 5本立の2本が枯損している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-131		クスノキ	17.0	258	10.0	－	2.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.55	A	○							○	無	小	樹木番号N02-132ソメイヨシノと近接し根鉢確保困難、相互被圧(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-132		ソメイヨシノ	10.0	185	5.0	－	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.95	D			○					○	無	大	根元にベッコウタケの子実体あり。 周辺木との相互被圧(大)あり。 片枝樹形(東側)、葉が数枚ある程度でほぼ枯死状態。伐採検討の必要あり。 バルブ配管に近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-133		チョウセンマツ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	B			
N02-136		トウネズミモチ	5.0	2本立	2.5	33,27	3.5	2.0	3.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	有	大	バルブ配管に近接している。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
N02-137		サンゴジュ	4.0	17	1.0	－	4.0	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	3.0	2.0	2.0	1.0	3.00	C			○					○	無	大	枝枯れが多く、枝葉が少なく、樹形が崩壊している。 隣接するユリノキに近接している。 伐採も検討したい。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
N02-138		ユリノキ	6.5	32	2.5	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	3.0	1.5	2.5	2.0	1.0	2.10	B		○		○					無	大	片枝樹形であるが移植後の回復の見込みあり。		●		B			
N02-139		タブノキ	7.0	45	4.0	－	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.65	A		○		○					無	中	樹木番号N02-140ソメイヨシノからの被圧(中)あり。		●		A			
N02-140		ソメイヨシノ	12.0	279	6.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	2.0	2.0	3.10	C			○					○	有	中	幹H1.2mに開口空洞・腐朽20×20(270)×50/75(芯達)あり。 打音異常(中) H0.6～1.6mあり。 幹に樹皮枯死・欠損 20×20あり。 キノコの菌糸膜あり、伐採検討の必要あり。 樹木番号N02-141ソメイヨシノからの被圧(中)あり。 早期落葉あり。 根元の南側0.7に縁石と舗装あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-141		ソメイヨシノ	18.0	2本立	16.0	190,165	2.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	1.0	2.45	B			○					○	無	無	早期落葉あり。 衰退傾向にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-142		サクラ	7.5	49	5.5	－	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○		○					無	中	樹木番号N02-140ソメイヨシノからの被圧あり。 早期落葉あり。	●			A			
N02-150		ヤエザクラ	8.0	125	8.0	－	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.65	A		○					○		有	小	車道側がぶつ切り剪定されている。 樹木番号N02-153ケヤキからの被圧あり。 フェンスに近接しており、このままでは根鉢確保困難。(西側0.7m)	●			A			
N02-152		カンキツ	5.0	48	4.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○					○		有	中	樹木番号N02-153ケヤキからの被圧あり。 フェンスに近接している。(西側0.7m)	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に●、●:変更樹木)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
N02-153		ケヤキ	20.0	220	10.0	－	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○					○		有	無	根元・幹に打音異常(小) H0.0～1.3mあり。 大枝付け根に開口空洞 25×10×25/70あり。また空洞が根元まで続いている。 フェンスに近接している。(西側0.2m)	●			A			
N02-154		イヌツゲ	4.5	2本立	4.0	44,41	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A			○					○	無	中	樹木番号N02-153ケヤキに近接しているため、根鉢確保困難。	●			A			
N02-155		ユリノキ	10.0	84	8.0	－	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A			○					○	有	中	樹木番号N02-153ケヤキからの被圧あり。 フェンスに近接している。(西側0.7m) 移植に際しての根鉢確保困難	●			A			
N02-156		ケヤキ	21.0	254	12.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○						○		有	無	大枝剪定痕からの腐朽があるが巻込みあり。 フェンスに近接している。(西側1.0m)	●			A			
N02-157		チョウセンマツ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	B			
N02-158		カクレミノ	3.0	57(芝付)	3.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.95	C			○					○	無	小	根元・幹に打音異常(大) H0～2.0mあり。 2本立ちの一方が枯死。 骨格となる大枝3本の内、2本が枯損している。 枯死寸前、葉量が少ない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N02-159		フウ	13.0	120	8.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A			○					○	有	中	幹H1.6mに開口空洞 5×5(120)×16/40あり。 根元、アスファルトの押し上げ(小)あり。 根元の3方向に舗装あり。	●			B			
N02-160		コブシ	12.0	114	7.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○					○	有	無	樹木番号N02-140ソメイヨシノからの被圧あり。 片枝樹形である。 露出根あり。 縁石の押し上げ(大)あり。 植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-161		ソメイヨシノ	9.0	2本立	8.0	234,215	3.0	3.5	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.70	C			○					○	有	無	根元にベッコウタケあり。 幹H1.8mに開口空洞・腐朽 30×30×38/62(芯達)あり。 樹形に乱れあり(幹に屈曲、梢端枯れ)。 早期落葉あり。衰退傾向にある。 アスファルトの押し上げ(大)あり。 植桝内に位置する。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-162		サンゴジュ	3.5	3本立	2.5	63,40,30	3.0	3.5	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.40	B			○					○	有	大	幹が2本枯れている。 隣接するユリノキからの被圧(大)あり。 5本立ちの内、2本が枯死。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-163		ユリノキ	20.0	285	10.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○					○			有	無	打診音異常(小) H1.5～2.0mあり。 デッキに近接している。		●		A			
N02-164		ユリノキ	20.0	354	12.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○						○		有	無	露出根あり。巻き根(大)あり。 幹に大枝折損痕あり。 縁石とアスファルト舗装の押し上げ(大)あり。 植栽桝(2.7×2.7m)に位置する。 建物に近接している。(西側3.2m) 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高（m）	規格 幹周（cm）	規格 葉張（m）	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に〇			該当に〇					有無	大中小無		該当に● ●：変更樹木			ABCD			
N02-165		ユリノキ	16.0	205	8.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.45	A		〇					〇		有	無	アスファルト舗装の押し上げ(大)あり。 建物(西側1.1m)、フェンス(南側0.3m)に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-166		ユリノキ	15.0	372	9.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.40	A		〇					〇		有	無	建物(北側0.8m)、ブロック塀(南側0.8m)に近接している。 根元にナラタケモドキ様の子実体あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-168		イヌビワ	3.0	5本立	3.7	25,18,18,17,13	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		〇		〇					無	小	樹木番号N02-169サンゴジュからの被圧あり。		●		A			
N02-169		サンゴジュ	3.5	3本立	3.6	53,45,43	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.55	C			〇					〇	有	無	4本立ちの内、1本が枯死している。 幹の2本に樹皮枯死・欠損・腐朽(大)あり。 大枝に枯枝が 2本 φ10cm,L=1.2mあり。 葉に食害痕が多数あり。 フェンスと倉庫に近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-171		エノキ	12.0	296	12.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	〇					〇			有	無	フェンスに近接している。(西側1.2m) 排水桝あるが、根鉢確保可能。		●		A			
N02-172		ヤエザクラ	9.0	210	11.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		〇				〇			有	無	幹・大枝分岐部H0.8mに開口空洞・腐朽20×20(210)×14/44あり。 フェンスに近接している。(西側0.7m) 根鉢確保可能、移植はできる。		●		A			
N02-173		ケヤキ	15.0	190	12.0	－	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A			〇					〇	有	小	露出根あり。 トイレと舗装に近接している。 縁石の押し上げ(大)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-174		サンゴジュ	5.0	4本立	3.5	40,38,30,15	2.5	2.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.40	B			〇					〇	無	中	幹の1本に打音異常(大) H0.5～0.7mあり。 幹の1本に樹皮枯死(中)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-175		ソメイヨシノ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	B			
N02-176		ソメイヨシノ	9.0	158	5.0	－	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.85	C			〇					〇	無	中	根元にコフキタケの子実体あり。 打診音異常(中)H1.5～2.0mあり。 大枝に剪定痕からの樹皮枯死・欠損・腐朽(大)、チャアナタケモドキの子実体あり。 大枝ぶつ切り剪定、片枝樹形である。早期落葉あり。 大枝落枝の恐れあり。伐採検討の必要あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-177		フウ	16.0	155	8.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		〇					〇		有	無	根元が舗装に接触している。	●			A			
N02-178		フウ	16.0	172	8.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		〇					〇		有	無	舗装と門扉に近接している。(西側0.3m)	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-179		フウ	15.0	169	6.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○				○				有	無	フェンスに近接している(東側0.5m)が、移植のための根鉢確保可能。	●			A			
N02-180		ケヤキ	24.0	272	20.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○					○		有	大	大枝が西側に伸長し、片枝樹形である。 周辺木からの被圧(大)あり。 根元がフェンスに接触している。	●			A			
N02-181		サカキ	4.5	35	2.7	－	1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.45	A		○		○					無	無	葉に吸汁痕、食害あり。	●			A			
N02-182		フウ	18.0	130	6.0	－	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○		○					無	小	樹木番号N02-192フウからの被圧あり。	●			A			
N02-183		ユリノキ	18.0	230	9.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			有	中	大枝剪定痕からの腐朽あり。 樹勢が回復傾向にある。 樹木番号N02-201ユリノキからの被圧(中)あり。 建物と水道タンクが近接しているが、根鉢確保可能。		●		B			
N02-184		ツバキ	3.5	13	0.8	－	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.70	A			○					○	有	小	隣木の被圧あり。 片枝樹形である。 フェンスに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-185		ツバキ	3.5	18	1.2	－	2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.55	A			○					○	有	小	隣木の被圧あり。 フェンスに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-186		ツバキ	3.5	21	1.8	－	2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.55	A			○					○	有	小	隣木の被圧あり。 フェンスに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-187		ツバキ	2.6	14	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.90	B			○					○	有	小	隣木の被圧あり。 フェンスに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-188		ツバキ	3.0	15	1.3	－	2.5	1.5	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.55	A			○					○	有	小	隣木の被圧あり。 片枝樹形である。 フェンスに近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-189		ツバキ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	D			
N02-192		フウ	18.0	160	7.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					無	小	樹木番号N02-200フウからの被圧あり。	●			A			
N02-193		ツバキ	3.5	2本立	2.0	27,19	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.15	A		○		○					有	小	隣木からの被圧あり。 枝に南京錠のくい込みあり。 フェンス基礎に近接している。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-194		ネズミモチ	3.5	3本立	2.0	22,15,14	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	4.0	2.0	3.0	1.0	1.0	2.75	C			○					○	無	中	大枝に枝折れあり。 枝葉が少ない。 隣木からの被圧あり。	●			C			
N02-195		ツバキ	4.0	36 (芝付)	3.0	－	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○			○					無	小	隣木からの被圧あり。	●			A			
N02-196		ツバキ	3.0	4本立	2.0	30,30,15, 14	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○			○					有	中	隣木からの被圧あり。 フェンス基礎に近接している。	●			A			
N02-197		ツバキ	3.4	45	3.0	－	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A	○			○					有	小	隣木からの被圧あり。 樹形が西側に偏っている。 フェンスに近接している。	●			A			
N02-198		ヤマグワ	5.0	99 (芝付)	3.0	－	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.20	A		○		○					無	小	周辺木との競合あり。	●			A			
N02-199		ヤマグワ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	※	－	A			
N02-200		フウ	18.0	148	8.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○		○					有	小	倉庫に近接している。(西側0.5m)	●			A			
N02-201		ユリノキ	18.0	191	9.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○				○			有	中	建物(東側1.6m)と水道タンク(西側0.9m)に近接している。		●		A			
N02-202		コブシ	16.0	180	8.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○					○		無	無	幹に打診音異常(大) H0.5m～1.0mあり。 幹につる植物の登ハンあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-203		サワラ	18.0	110	3.5	－	3.0	2.5	2.5	3.0	2.0	3.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.15	B			○					○	無	無	幹に打診音異常(中) H1.5m～2.0mあり。 中央部・下部に大枝がない。 幹につる植物の登ハンあり。 下枝が高い。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-204		サクラ	8.0	225	8.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.5	3.0	2.5	1.0	2.60	C			○					○	有	小	大枝がぶつ切り剪定され、樹形が崩れている。 大枝に樹皮欠損あり。 早期落葉あり。 フェンスに近接している。(西側1.0m)	●			B			
N02-205		ネズミモチ	4.5	60	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○		○					有	小	プレハブ倉庫(東側1.0m)とフェンス(西側1.5m)に近接している。	●			A			
N02-206		サワラ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	－	－	B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-207		スダジイ	11.0	222	6.0	−	2.5	2.0	3.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	有	大	幹H1.9mに開口空洞・腐朽 20×10×31/60(芯達)あり。 打診音異常(大)H0.4～2.2mあり。 幹・大枝に解雇空洞が多数あり。 大枝の枝折れ痕に腐朽(大)あり。 プレハブ倉庫、フェンス(西側1.3m)に近接している。	●			A			
N02-208		ソメイヨシノ	12.0	240	12.0	−	2.5	2.5	3.0	2.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	有	小	幹に開口空洞 5×5×5/60あり。 大枝に樹皮枯死・欠損・腐朽(大)あり。 大枝剪定痕からの腐朽が3箇所あり。 プレハブ倉庫に近接している(0.3m)。 早期落葉あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-209		シラカシ	17.0	270	12.0	−	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.0	1.40	A		○				○			有	中	樹木番号N02-237メタセコイアからの被圧あり。 プレハブ倉庫、貯蔵所ブロック塀(南側1.8m)に近接している。 カシナガホイホイの設置あり。		●		A			
N02-210		ナツミカン	5.0	80	5.0	−	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.05	A	○			○					有	小	建物に近接している。(北側1.3m)		●		A			
N02-211		サカキ	5.0	2本立	3.0	25,14	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.35	A		○		○					有	中	樹木番号N02-213ヒイラギモクセイからの被圧あり。 貯蔵所ブロック塀に近接している。(北側1.1m)		●		A			
N02-213		ヒイラギモクセイ	3.5	27	3.0	−	2.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.25	A			○					○	有	大	樹木番号N02-215シラカシからの被圧あり。 プレハブ倉庫に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-214		ヒイラギモクセイ	3.0	17	2.0	−	3.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.5	1.0	1.70	A			○					○	有	大	樹形が西側に傾斜している。 樹木番号N02-215シラカシからの被圧あり。 プレハブ倉庫に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-215		シラカシ	15.0	100	5.0	−	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.30	A		○						○	有	中	幹H2.1mに開口空洞15×7(100)×20/32(芯達)あり。 打音異常(大) H1.5m～2.0mあり。 樹木番号N02-226シラカシからの被圧あり。 プレハブ倉庫に近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-216		サカキ	7.0	45	3.0	−	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.35	A		○			○				有	小	樹木番号N02-226シラカシからの被圧あり。 フェンスとプレハブ倉庫に近接している。		●		A			
N02-217		ユリノキ	22.0	186	8.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A		○					○		有	大	巻き根あり(切除不可)。 打診音異常(小)H1.5～2.3mあり。 樹木番号N02-180ケヤキ、224クスノキからの被圧あり。 フェンスに近接している。(西側1.7m)	●			B			
N02-218		タブノキ	8.0	48	4.0	−	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A			○					○	無	大	樹幹が西側に傾斜しており、片枝樹形であり、移植木として適さない。 周辺木からの被圧あり。	●			A			
N02-219		クスノキ	10.0	54	5.0	−	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B			○					○	無	大	下部の大枝が少なく、枯れ枝が見られる。 周辺木からの被圧あり。 移植に伴う剪定からの健全な状態への回復が困難。	●			B			
N02-220		サワラ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	−	−	C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-221		メタセコイア	30.0	211	6.0	−	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○					○		有	中	下部の大枝が少ない。 周辺木からの被圧あり。樹木番号N02-223シラカシからの被圧による片枝樹形。 フェンスに近接している。(西側0.5m)	●			A			
N02-222		トウネズミモチ	6.0	3本立	3.5	38,36,18	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.55	A			○					○	無	大	周辺木からの被圧あり。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	A	●		
N02-223		シラカシ	11.0	154	12.0	−	2.0	1.5	3.0	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.60	A			○					○	有	大	根元に背着生キノコの残さあり。 根元に開口空洞・腐朽30×16(160)×26/62あり。 幹H1.8mに開口空洞・腐朽9×8(155)×17/48あり。 打診音異常(中)H1.2～1.8mあり。 周辺木からの被圧あり。 縁石(西側0.7m)、照明に近接している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N02-224		クスノキ	20.0	186	10.0	−	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	無	大	樹幹傾斜(北東側)あり。 枝が北東側に伸長しており、片枝樹形である。 周辺木からの被圧あり。 樹形に乱れあり、下枝が高く、枝葉が北側に偏り、移植に伴う剪定により移植後の健全な状態への回復が困難。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N02-225		タブノキ	7.0	36	4.0	−	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.30	A	○				○				無	大	樹形は良好。 周辺木からの被圧あり。	●			A			
N02-226		シラカシ	16.0	142	8.0	−	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.65	A			○					○	無	大	根元に開口空洞8×8(165)×40/53(芯達)あり。 幹に開口空洞(中)が、2箇所(H2.3m, H3.5m)あり。 打診音異常(小)H0～0.6mあり。 大枝に樹皮枯死・欠損(大)あり。 周辺木からの被圧あり。 キクイムシのフラスあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-227		メタセコイア	31.0	287	16.0	−	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○					○		有	中	下部の大枝が少ない。 周辺木からの被圧(中)あり。 舗装に近接している。(南側0.8m) 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-228		ネズミモチ	6.0	6本立	4.0	41,16,14,13,12,12	3.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A			○					○	無	大	樹幹傾斜(南側)(大)あり。 隣接の太い幹と一体化しており移植不可。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-229		ネズミモチ	3.5	24	2.3	—	2.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A		○		○					無	大	頂端部に切除あり。 被圧あるが、回復可能、小さい木で移植可能。		●		A			
N02-230		カキ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	−	−	※	C			
N02-231		エンジュ	9.5	120	8.0	−	2.5	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	有	中	幹H0.9m(南側)に樹皮欠損(中) 80×13(120)、巻き込みあり。 幹H0.9m(北側)に樹皮枯死(中) 69×12(120)、巻き込みあり。 片枝樹形である。 縁石に近接している。(南側0.9m) 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-233		ヒサカキ	3.0	2本立	3.0	21,15	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	有	大	メタセコイアに近接している。 被圧による樹冠傾斜(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-234		メタセコイア	28.0	260	10.0	–	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B	○					○			無	中	下部の大枝が少ない。 シラカシからの被圧あり。		●		A			
N02-235		タラヨウ	12.0	3本立	6.0	116,35,22	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.45	A		○			○				無	中	北側の大枝が少ない。 シラカシからの被圧あり。		●		A			
N02-236		ビワ	5.5	36	4.5	–	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○		○					無	中	タラヨウの被圧により、やや南側に傾斜している。 樹勢良好、移植可能。		●(赤)		A			
N02-237		メタセコイア	27.0	235	13.0	–	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A			○					○	有	中	被圧による片枝樹形である。 根元に縁石とアスファルトの押し上げ(中)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-238		サンゴジュ	4.0	2本立	2.0	40,22	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.75	C			○					○	無	無	樹皮欠損が多数あり。 枯枝が多く、樹形崩壊傾向にある。 3本立ちの内1本が枯死。 伐採検討の必要あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-239		サンゴジュ	4.0	2本立	1.8	45,38	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D			○					○	無	無	葉に食害痕が多数あり。 3本立ちの内1本が枯死。 伐採検討の必要あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N02-243		イチョウ	16.0	340	16.0	–	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.40	A		○						○	有	無	幹H0.2mに樹皮欠損100×60(340)あり。 大枝剪定痕に腐朽 φ35cm、φ30cm、φ20cmあり。 大枝に打音異常(中) H1.2m～2.0mが2箇所あり。 縁石押し上げ(小)、アスファルト押し上げ(小)あり。(南側) 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-244		サンゴジュ	4.0	70	4.0	–	3.5	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.75	C			○					○	無	無	幹が2本枯死している。 葉に食害痕が多数あり。 枯れ枝が多数あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
N02-245		サンゴジュ	3.0	2本立	1.8	24,22	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.00	D			○					○	無	無	樹皮欠損が多数あり。 枯枝が多く、樹形崩壊傾向にある。 伐採検討の必要あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
N02-246		イチョウ	15.0	288	10.0	–	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○					○		有	無	根元に施設灯の柱あり。 フェンス(東側0.4m)、縁石(西側0.6m)に近接している。 建物が2.5m(南側)の距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-247		カイヅカイブキ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	–	–	※	C			
N02-249		カイヅカイブキ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	–	–	※	C			
N02-250		カイヅカイブキ	6.0	39	1.2	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.0	2.70	C			○					○	有	大	下枝なく、片枝樹形である。 樹幹傾斜(大)あり。 建物が0.7m(南側)の距離にあり、近接している。 建物からの被圧あり。 植桝内にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	活力度 平均評点	活力度 評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-251		カイヅカイブキ	5.5	34	1.0	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.0	2.70	C			○					○	有	大	下枝なく、片枝樹形である。 建物が0.7m(南側)の距離にあり、近接している。 建物からの被圧あり。 植桝内にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	C		●	
N02-252		ケヤキ	–	–	–	—	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	–	–	※	A			
N02-259		カイヅカイブキ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	–	–	C			
N02-260		カイヅカイブキ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	–	–	C			
N02-261		カイヅカイブキ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	–	–	C			
N02-262		シラカシ	12.0	192	9.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B	○						○		有	中	スダジイからの被圧あり。 フェンス(東側0.5m)、看板(西側0.5m)に近接している。	●			A			
N02-263		カキ	10.5	80	5.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○		○					無	大	断幹痕あり。 西側の枝が少ない。 スダジイからの被圧あり。	●			B			
N02-264		スダジイ	9.5	272	10.0	–	2.0	2.0	3.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	有	小	幹に打音異常(中) H0.5m～1.5mあり。 幹H1.1mに開口空洞・腐朽25×20(270)×33/80あり。 フェンスが0.6m(西側)の距離にある。	●			B			
N02-265		トウカエデ	14.0	139	7.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	中	片枝樹形である。 フェンスが0.3m(西側)の距離にる。 建物が2.0m(東側)の距離にある。	●			B			
N02-266		トウカエデ	16.0	210	7.0	–	2.5	2.5	3.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	小	幹に開口空洞(小)が、2箇所(H1.5m, H1.8m)あり。 フェンスが0.7m(西側)の距離にある。 建物が1.6m(東側)の距離にある。	●			B			
N02-267		ソメイヨシノ	6.0	140	4.0	–	4.0	3.0	4.0	3.0	3.0	3.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.75	C			○					○	有	小	根元にコフキタケあり。 大枝折損痕からの腐朽、枯損あり。 打診音異常(大)H0.3～1.8mあり。 幹がフェンスに寄りかかっている。 建物が2.5m(東側)の距離にある。 倒木の恐れあり、伐採検討の必要あり。	●			B			
N02-268		トウカエデ	16.0	191	6.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A			○					○	有	小	幹H1.5mに開口空洞 11×6×30/60(芯達)あり。 フェンスが0.4m(西側)の距離にある。 建物が2.2m(東側)の距離にある。	●			A			
N02-269		ソメイヨシノ	10.0	161	5.0	–	3.0	2.5	3.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.50	B			○					○	有	小	根元に開口空洞・腐朽20×10(161)×12/42あり。 樹幹傾斜(西側)あり。 フェンスが接触(西側)している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-270		トウカエデ	6.5	39	3.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		無	中	頂端部が切除されている。 サクラ類からの被圧あり。	●			A			
N02-271		ソメイヨシノ	16.0	262	12.0	–	2.5	3.0	3.5	3.0	3.0	3.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.55	C			○					○	有	小	大枝が西側に多数伸長し、樹冠に偏りあり。 幹のフェンス寄りかかりが進行し、フェンスに歪みが生じている。 根上りあり。根返りの可能性あり。 建物が、2.2m(東側)の距離にある。	●			B			
N02-272		トウカエデ	16.0	151	7.0	–	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○					○		有	小	大枝が西側に多数伸長している。 フェンスが接触(西側)している。	●			B			
N02-273		トウカエデ	16.0	217	6.0	–	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.65	A		○					○		有	無	幹H2.1mに開口空洞15×5(210)×30/70あり。 大枝が西側に多数伸長している。下枝が少ない。 フェンスが0.8m(西側)の距離にある。 建物が1.8m(東側)の距離にある。	●			A			
N02-275		サクラ	10.5	269	11.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○					○	有	大	大枝が西側に多数伸長している。 胴吹き枝が多い。根上り(大)あり。 枯枝(カワラタケ発生)あり。 フェンスに接触している。建物が1.7m(東側)の距離にある。	●			B			
N02-276		ヒサカキ	3.5	3本立	2.0	26,18,10	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○		○					無	大	スダジイからの被圧あり。 フェンスが2.0m(西側)の距離にある。	●			B			
N02-277		スダジイ	11.0	204	15.0	–	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		有	中	片枝樹形(西側)である。 幹に樹皮欠損(小)、巻込み(良)、4か所あり。 大枝に腐朽が複数あり。 フェンスが0.7m(西側)の距離にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N02-278		ムクノキ	7.0	2本立	6.0	51,23	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B			○					○	無	大	根元で断幹あり。 樹幹傾斜(小)(北側)あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N02-279		タブノキ	7.0	3本立	3.5	26,16,15	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B			○					○	有	大	根元で断幹あり。 塀に接触(東側)、建物に寄りかかりあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-280		ヒイラギモクセイ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	枯死している。	–	※	–	B			
N02-281		ヒイラギモクセイ	3.0	2本立	2.0	33,27	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.50	B		○		○					無	大	周辺木からの被圧あり。 存在感あり、樹形回復可能、移植可。	●			A			
N02-282		ヒイラギモクセイ	3.0	22	2.0	–	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.50	B			○					○	無	大	周辺木からの被圧あり。 樹形が崩れ、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。	●			A			
N02-283		タブノキ	19.0	270	6.0	–	2.0	2.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.60	A		○					○		有	中	幹H1.4mに樹皮欠損40×40(270)あり。 塀が0.5m(東側)の距離にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側														調査日						2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日											伐採理由		
樹木番号		樹種名	規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●：変更樹木			ABCD			
N02-284		ヒイラギモクセイ	2.0	2本立	1.5	19,10	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					有	大	幹分岐に癒合と入り皮あり。 梢端部に枝枯あり。 フェンスが0.4m(西側)の距離にある。	●			A			
N02-285		ヒイラギモクセイ	2.5	24	1.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					有	大	フェンスが0.4m(西側)の距離にある。	●			A			
N02-286		マテバシイ	9.0	93	6.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○					○		有	中	枝(東側)が建物に接触している。 塀が0.1m(東側)の距離にある。	●			A			
N02-287		マテバシイ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	－	－	B			
N02-289		ヒイラギモクセイ	2.7	2本立	1.5	16,14	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					有	大	周辺木からの被圧あり。 フェンスが0.5m(西側)の距離にある。	●			A			
N02-290		ヒイラギモクセイ	2.5	18	1.5	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					有	大	周辺木からの被圧あり。 フェンスが0.5m(西側)の距離にある。	●			B			
N02-291		ヒイラギモクセイ	2.3	18	1.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A			○					○	有	大	2本立の1本は枯死している。 周辺木からの被圧あり。 フェンスが0.5m(西側)の距離にある。	●			A			
N02-299		トウネズミモチ	3.0	41	2.0	－	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	1.0	3.10	C			○					○	有	中	2本立の1本が枯死している。 主幹上部で断幹されている。 塀が0.4m(北側)の距離にある。 環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
N02-308		ヒマラヤスギ	9.0	162	4.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-309		ヒマラヤスギ	9.0	129	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-310		ヒマラヤスギ	9.0	146	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。 縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-311		ヒマラヤスギ	9.0	110	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場西側																調査日				2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日												伐採理由	
樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考 《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧								
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●：変更樹木			ABCD			
N02-312		ヒマラヤスギ	9.0	110	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-313		ヒマラヤスギ	9.0	127	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-314		ヒマラヤスギ	9.0	126	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-315		ヒマラヤスギ	9.0	110	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-316		ヒマラヤスギ	9.0	112	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-317		ヒマラヤスギ	9.0	100	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-318		ヒマラヤスギ	9.0	120	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-319		ヒマラヤスギ	9.0	112	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が、切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。 縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-320		ヒマラヤスギ	9.0	127	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-322		ヒマラヤスギ	9.0	130	2.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-323		ヒマラヤスギ	9.0	105	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-324		ヒマラヤスギ	9.0	120	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が、0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-325		ヒマラヤスギ	9.0	110	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-326		ヒマラヤスギ	9.0	123	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による、片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.5m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-327		ヒマラヤスギ	9.0	136	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.8m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-328		ヒマラヤスギ	9.0	130	4.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.7m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-329		ヒマラヤスギ	9.0	147	3.0	－	3.5	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.80	B			○					○	有	小	頂端部が切断されている。 刈り込み剪定による片枝樹形(西側の中央部・下部の枝がない)であり、内部の小枝に枯れ枝が目立つ。 建物が0.6m(西側)の距離にある。室外機に近接している(0.3m)。 植桝内にある。縁石の押し上げ(小)あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N02-330		マンシュウカエデ	11.0	250	10.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○					○			有	無	幹H0.6mに開口空洞(小) 22×4×8/53あり。 大枝付け根が入り皮L=0.4mである。 舗装の押し上げ(小)あり。		●		A			
N02-331		スダジイ	12.0	190	9.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.5	1.0	1.0	1.65	A		○					○		無	小	根元に樹皮欠損(小) 30×10あり。 高さH3.0mに大枝剪定痕からの腐朽φ10cmあり。 塀が2.0m(北側)の距離にある。	●			A			
N02-332		マテバシイ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	枯死している。	※	－	－	B			
N02-333		マテバシイ	6.5	46	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	1.5	2.10	B			○					○	無	大	スダジイからの被圧あり。 片枝樹形である。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-334		マテバシイ	5.0	3本立	2.0	13,15,17	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	1.0	2.05	B			○					○	無	大	樹幹傾斜(南側)あり。 中央部に枝が少なく、片枝樹形である。 スダジイからの被圧あり。樹形が悪く回復不可。	●			B			
N02-335		コブシ	11.0	115	5.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○					○		無	中	幹に子実体種類不明あり。 片枝樹形である。 マテバシイからの被圧あり。 幹につる植物の登ハンあり。 盛土あり。	●			A			
N02-336		マテバシイ	8.0	77	7.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.75	A		○		○					無	中	樹幹傾斜(小)(東側)あり。 樹勢・樹形良好、移植可。	●			A			
N02-337		モチノキ	7.0	3本立	3.0	13,20,21	1.5	1.5	1.5	1.0	1.5	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.35	A	○			○					無	大	スダジイからの被圧あり。	●			A			
N02-338		スダジイ	12.0	220	8.0	－	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A	○						○		有	中	樹幹がやや西側に偏っている。 フェンスが1.8m(西側)の距離にある。	●			A			
N02-339		マテバシイ	7.0	31	3.5	－	2.5	2.5	1.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	2.0	1.0	1.95	B			○					○	無	大	樹幹傾斜(東側)あり。 スダジイからの被圧あり。 細い木で被圧大、曲がり、下枝少、回復不可。	●			B			
N02-340		サンゴジュ	4.0	3本立	2.5	23,28,35	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.80	C			○					○	無	中	かつて4本立ちだったが、1本が折損したため、3本立ちとなっている。 葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、樹形が崩壊している。 枯れ枝が多数あり。	●			C			
N02-341		サンゴジュ	3.0	28	2.5	－	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.80	C			○					○	無	中	葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、樹形が崩壊している。 枯れ枝が多数あり。	●			C			
N02-342		サンゴジュ	4.0	48	3.0	－	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.80	C			○					○	無	中	葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、樹形が崩壊している。 枯れ枝が多数あり。	●			C			
N02-343		サンゴジュ	4.0	2本立	3.0	37,56	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.5	2.75	C			○					○	無	中	葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が、多数あり。	●			C			
N02-344		サンゴジュ	4.0	47	3.0	－	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.80	C			○					○	無	中	葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が多数あり。	●			C			
N02-345		マテバシイ	8.0	7本立	8.0	29,38,43,65,66,68,77	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.75	A	○						○		有	中	樹幹がやや西側に偏っている。 フェンスが1.3m(西側)の距離にある。	●			A			
N02-348		ソメイヨシノ	12.0	2本立	10.0	180,209	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B	○						○		有	小	幹H0.4mに剪定痕からの腐朽(大) 40×30あり。 胴吹き枝が多数あり。 フェンスが1.0m(西側)の距離にある。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-349		ヒイラギモクセイ	2.2	38	1.2	–	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○					○	無	小	縮小剪定されている。 移植後の健全な生育が困難。	●			B			
N02-350		サンゴジュ	4.0	49	2.5	–	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.65	C			○					○	無	中	葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が多数あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-351		サンゴジュ	4.0	3本立	2.5	31,31,39	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.65	C			○					○	無	中	3本立ちのうち1本C=31cmが枯死している。 葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が多数あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-352		サンゴジュ	4.0	3本立	2.5	40,40,46	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.65	C			○					○	無	中	葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が多数あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-353		サンゴジュ	4.0	45	2.5	–	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.65	C			○					○	無	中	葉に食害痕が多数あり。 中央部・下部に枝がほとんどなく、片枝樹形である。 枯れ枝が多数あり。	●			C			
N02-354		イヌシデ	12.0	173	12.0	–	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A		○			○				有	無	舗装の押し上げ(小)あり。 円形(Φ2.0m)のアスファルト舗装に囲まれた植栽地にあり、根元は人工芝マットで覆われている。 幹芯からバックネットまでの離隔距離2.4m。		●		A			
N02-355		スダジイ	9.0	242	12.0	–	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B	○					○			有	無	舗装の押し上げ(小)あり。 根上り、舗装の押し上げ(小)あり。円形(Φ2.5m)のアスファルト舗装に囲まれた植栽地にあり、根元は人工芝マットで覆われている。		●		B			
N02-356		クロマツ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	–	–	※	B			
N02-357		クロマツ	15.0	137	6.0	–	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.75	C			○					○	無	大	隣接木からの被圧により、樹形が崩壊している。 幹にヘデラの登ハンがあり。 樹形が崩れ、活力度も悪く、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
N02-358		ケヤキ	20.0	220	14.0	–	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	1.50	A	○				○				無	小	幹にヘデラの登ハンがあり。 ケヤキらしい自然樹形であり、移植の価値の高い樹木である。		●		B			
N02-359		ヒイラギモクセイ	2.4	2本立	1.8	38,29	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○		○					無	小	縮小剪定されている。	●			B			
N02-360		ヒイラギモクセイ	2.4	35	1.2	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○		○					無	中	縮小剪定されている。	●			B			
N02-361		ヒイラギモクセイ	2.6	43	1.2	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○		○					無	中	縮小剪定されている。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名：軟式野球場西側　調査日：2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●　●:変更樹木			ABCD			
N02-362		コブシ	15.0	123	8.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○						○		無	小	移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態の維持が困難。	●			A			
N02-363		ヒイラギモクセイ	2.3	15	1.5	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	3.0	2.0	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○					○	無	大	縮小剪定されている。 移植後の健全な生育が困難。	●			B			
N02-364		ソメイヨシノ	12.0	2本立	8.0	178,220	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.35	B			○					○	有	小	幹にスタブカット(切り残し枝)・腐朽が 2箇所 φ30cm,L=0.4m (H1.0m)、φ30cm,L=2.0m (H3.5m)あり。 大枝が西側に伸長している。 樹幹傾斜あり、根元にベッコウタケあり。根の支持強度低下の恐れあり。軽減剪定とブレーシング設置を推奨する。 フェンスが0.6m(西側)の距離にある。	●			B			
N02-365		ネズミモチ	2.8	4本立	1.8	23,22,19,10	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	中	縮小剪定されている。 移植後の健全な生育が困難。	●			B			
N02-366		ヒイラギモクセイ	2.3	2本立	1.0	15,12	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.0	2.20	B			○					○	有	中	縮小剪定されている。 移植後の健全な生育が困難。	●			B			
N02-368		ヒイラギモクセイ	2.8	3本立	1.8	30,18,13	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B			○					○	無	中	隣木および低木からの被圧により下枝が少ない。 移植後も回復の見込みがない。	●			B			
N02-369		サンゴジュ	3.2	20	0.8	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	2本立の1本が枯死している。 西側からの被圧により片枝樹形である。	●			C			
N02-370		サンゴジュ	5.0	2本立	3.0	32,43	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	西側からの被圧により片枝樹形である。 片枝であり、活力度も悪く、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。	●			C			
N02-371		サンゴジュ	5.0	44	2.5	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	西側からの被圧により片枝樹形である。 片枝であり、活力度も悪く、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。	●			C			
N02-372		サンゴジュ	5.0	2本立	3.0	33,46	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	西側からの被圧により片枝樹形である。 片枝であり、活力度も悪く、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-373		サンゴジュ	5.0	3本立	2.5	28,42,49	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	西側からの被圧により片枝樹形である。 片枝であり、活力度も悪く、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-374		ヒイラギモクセイ	2.5	27	1.5	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	無	中	隣木および低木からの被圧により下枝が少なく、回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N02-375		ヒイラギモクセイ	2.5	35	1.3	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	無	小	隣木の被圧により片枝樹形である。 片枝であり、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日 〜 2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1〜4評価						1〜4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-376		クスノキ	10.0	176	8.0		2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	有	中	樹幹傾斜(中)あり。 東側からのサクラ類の被圧により片枝樹形である。 根元に芯達の開口空洞あり、樹幹傾斜もみられることからブレーシング設置を推奨する。 フェンスが0.2m(西側)の距離にある。 幹にヘデラの登ハンあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N02-377		サンゴジュ	5.0	4本立	3.5	40,42,52,53	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	株立の1本が枯死している。 枯れ枝が多く、樹形が崩壊している。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-378		サンゴジュ	5.0	44	2.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	中央部・下部にほとんど枝がない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-379		サンゴジュ	5.0	2本立	2.5	58,63	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	中央部・下部にほとんど枝がない。 幹にヘデラの登ハンあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-380		サンゴジュ	5.0	2本立	2.5	57,63	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	中央部・下部にほとんど枝がない。 幹にヘデラの登ハンあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-381		サンゴジュ	5.0	3本立	2.5	47,49,50	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	中央部・下部にほとんど枝がない。 幹にヘデラの登ハンあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-382		サンゴジュ	5.0	2本立	2.5	41,57	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	中央部・下部にほとんど枝がない。 幹にヘデラの登ハンあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-383		サンゴジュ	5.0	74	3.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	中	中央部・下部にほとんど枝がない。 幹にヘデラの登ハンあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N02-384		イヌツゲ	3.5	2本立	3.0	20,22	3.0	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	2.05	B			○					○	無	中	中央部・下部にほとんど枝がない。 樹形のみだれ大きく回復不可。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N02-385		サクラ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	2本立ちの内1本が根元から折損し、もう1本は安全配慮、倒木回避のため伐採されている。	※	−	−	B			
N02-386		クロマツ	16.0	204	7.0	−	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	無	無	スタブカット(切り残し枝)が多数あり。 樹形に乱れあり(下枝が高く、ふところ枝が少ない)。 幹にヘデラの登ハンあり。 樹形乱れあり、移植後も健全な状態への回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N02-387		イヌツゲ	5.5	4本立	3.0	19,22,23,32	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B			○					○	無	中	根元に樹皮欠損あり。 ツバキからの被圧により片枝樹形である。 下枝が無い。 回復の見込みがない。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》					STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-388		ヒトツバタゴ	10.0	111	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A			○					○	有	小	樹幹傾斜(大)(西側)であり、移植樹として適さない。 枝にこぶが多数あり。 フェンスに接触(西側)しており、このままでは根鉢確保困難。 幹にヘデラの登ハンあり。	●			B			
N02-389		ツバキ	3.5	49	2.5	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○					○	無	中	幹H0.4mに開口空洞 22×4×8/15(芯達)あり。 周辺木からの被圧により樹冠に偏りあり。	●			A			
N02-390		イヌツゲ	3.0	2本立	2.0	20,24	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.35	B			○					○	無	中	周辺木からの被圧により片枝樹形である。 被圧、樹形極不良、下枝無く、回復不可。	●			B			
N02-391		モチノキ	7.0	104	6.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.55	A	○			○					無	小	幹にヘデラの登ハンあり。		●		A			
N02-392		トウカエデ	14.0	242	8.0	－	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○					○					幹にヘデラの登ハンあり。		●		A			
N02-393		クロマツ	15.0	169	7.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	有	無	樹幹傾斜(小)(東側)あり。 樹形に乱れあり、枝葉量が少ない、下枝が高く移植に伴う剪定で移植後の健全な生育が見込めない。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N02-394		コブシ	12.0	145	7.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.85	B		○			○				無	中	西側からの被圧により、樹冠傾斜(小)あり。 幹にヘデラの登ハンあり。 太い立派な樹、ゴボウ根の種類だが移植可。		●		A			
N02-395		トウカエデ	14.0	217	9.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.50	A	○				○				無	小	幹にヘデラの登ハンあり。		●		A			
N02-396		ウバメガシ	9.0	4本立	6.0	61,70,80,81	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.80	B	○				○				無	無	周辺木からの被圧により樹冠に偏りあり。 カシナガ対策シートあり。		●		A			
N02-397		クロマツ	16.0	157	7.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.90	B			○					○	無	無	樹形に乱れあり(下枝が高く、枝葉量が少ない)。 枝折れ痕が複数あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N02-398		サンゴジュ	5.0	3本立	3.0	22,34,42	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.80	C			○					○	無	大	葉に食害痕あり。 幹にヘデラの登ハンあり。 活力度悪く、移植後の適正な生育が見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
N02-399		サンゴジュ	5.0	3本立	2.5	18,24,38	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.80	C			○					○	無	大	葉に食害痕あり。 幹にヘデラの登ハンあり。 3本立ちのうち1本C=18cmが枯死している。	●			C			
N02-400		クスノキ	15.0	107	6.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.05	B			○					○	無	大	クスノキに近接している為、移植不可である。 被圧（大）による樹形の偏りあり。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年 9月 4日 ～ 2023 年 9月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-401		クスノキ	15.0	153	8.0	−	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.90	B			○					○	無	中	クスノキに近接している為、移植不可である。 被圧(大)による樹形の偏りあり。	●			A			
N02-402		サンゴジュ	4.5	50	2.0	−	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.95	C			○					○	無	大	下枝に枯れあり。 片枝樹形(東側)である。 被圧(大)による上部の枯損あり。	●			C			
N02-403		アラカシ	12.0	3本立	10.0	32.128.115	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A		○					○		無	中	樹液の滲出あり。 背着性の子実体は見当たらない。 樹高・葉張りが大きく、移植に伴う剪定等により移植後の健全な生育が困難。	●			A			
N02-404		ソメイヨシノ	4.0	2本立	5.0	159,161	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	1.0	3.10	C			○					○	有	中	根元にコフキサルノコシカケの子実体あり。 根元・幹に打診音異常(大)あり。 コフキタケあり、骨格大枝は剪定され、樹形は崩壊している。 回復の見込みがなく、撤去・更新の検討が必要である。	●			B			
N02-405		ネズミモチ	2.3	6本立	2.0	22,28,12,12,9,7	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○		○					有	小	樹高が3m以下。 フェンスが1.2m(西側)の距離にある。 移植可能。	●			B			
N02-406		ネズミモチ	3.5	3本立	2.0	14,16,32	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.00	B		○		○					有	小	フェンスが0.4m(西側)の距離にある。 移植可能。	●			A			
N02-407		サンゴジュ	3.5	27	2.0	−	3.0	3.5	3.0	3.5	3.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.95	C			○					○	無	中	葉に食害痕あり。葉量が少ない。 下枝に枯れあり。 移植後の回復が難しい。	●			C			
N02-408		サクラ	12.0	160	8.0	−	2.5	2.0	2.0	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B			○					○	有	中	樹幹傾斜(小)(西側)あり。 ぶつ切り剪定されている。 胴吹き枝が多数あり。 枝がフェンスに接触している。 フェンスが0.7m(南西側)の距離にある。	●			B			
N02-409		タブノキ	15.0	263	10.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		無	小	幹にコフキサルノコシカケあり。	●			A			
N02-410		ソメイヨシノ	8.5	88	6.0	−	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.10	B			○					○	有	大	樹幹傾斜(大)(南西側)あり。 枝がフェンスに接触している。 フェンスが0.6m(南西側)の距離にある。	●			B			
N02-411		スダジイ	13.0	224	12.0	−	2.5	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.30	B			○					○	有	中	幹に樹皮欠損(中)、大枝に剪定痕(中)あり。 スタブカット(切り残し枝)・腐朽が多数あり、移植樹として適さない。 フェンスが0.7m(南西側)の距離にある。	●			A			
N02-412		エノキ	12.0	158	10.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B			○					○	無	大	被圧による幹の曲がりあり。 下枝がなく、移植に伴う剪定により移植後の健全な生育が困難。	●			B			
N02-413		クロガネモチ	16.0	3本立	8.0	54,124,134	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.45	A	○					○			無	小	盛り土20cmあり。 幹にヘデラの登ハンあり。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規　格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備　考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高（m）	幹周（cm）	葉張（m）	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に●（●:変更樹木）			ABCD			
N02-414		トウカエデ	15.0	157	7.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	無	中	西側からの被圧により片枝樹形である。 下枝がなく、移植に伴う剪定により移植後の健全な生育が困難。 盛土30cmあり。	●			B			
N02-415		サクラ	4.0	32	3.5	－	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B		○		○					無	中	樹幹傾斜(中)(東側)あり。 周辺木からの被圧により片枝樹形である。	●			B			
N02-416		エンジュ	8.0	89	7.0	－	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	中	樹幹傾斜(大)(東側)あり。 イチョウからの被圧により片枝樹形である。 根元に樹皮欠損(中) 30×20あり。 根元に不自然な凹み・奇形あり。 フェンスが0.8m(東側)の距離にあり。	●			B			
N02-417		イチョウ	20.0	310	15.0	－	1.0	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.25	A	○					○			無	小	幹H1.6mに樹皮欠損(中)、子実体あり。 幹にヘデラの登ハンあり。 盛土あり。	●			A			
N02-418		イロハモミジ	10.0	2本立	13.0	101,102	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○				○				無	小	下枝に枯枝大あり。 盛土あり。	●			A			
N02-419		ヒサカキ	3.5	2本立	3.0	20,26	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	小	フェンスが1.0m(東側)の距離にあり。	●			A			
N02-420		イヌツゲ	2.6	7本立	2.5	16,12,12,12,7,7,6	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.60	C			○					○	無	無	ひこばえが複数伸長している。 活力度が悪く、移植後の健全な生育が困難。	●			C			
N02-421		モチノキ	6.5	62	2.5	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○					○	無	小	大枝・幹に樹皮欠損(小)が数か所あり。 樹形にやや乱れあり。 樹木番号N02-423ミズキに近接しており、適正根鉢確保困難。	●			A			
N02-422		コブシ	4.0	140	3.0	－	3.5	3.5	3.5	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.95	C			○					○	無	無	幹に断幹痕あり、幹の広い範囲に腐朽みられる。 幹に打音異常(大) H1.0m～1.5mあり。	●			B			
N02-423		ミズキ	15.0	106	8.0	－	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A		○			○				無	小	下枝が少ない。 樹木番号N02-421モチノキに近接している。	●			A			
N02-424		シラカシ	10.0	135	8.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	無	小	幹H2.5mに開口空洞(大) 120×20あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N02-425		シラカシ	11.5	202	12.0	－	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○				○				有	小	被圧による樹冠の偏りあり。	●			A			
N02-426		モチノキ	7.0	3本立	5.0	33,55,97	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○			○				無	中	大枝に樹皮欠損(小)あり。 シラカシの被圧により東側の枝数が少ない。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場西側	調査日	2023 年　9月　4日　～　2023 年　9月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N02-427		モッコク	4.5	58	3.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○		○					無	中	枝葉がやや少ない。 深植え15cm。	●			B			
N02-428		エンジュ	15.0	241	10.0	－	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.70	A	○				○				無	小	幹にヘデラの登ハンあり。 被圧により下枝がやや少ない。	●			A			
N02-429		ツバキ	5.5	5本立	3.5	22,24,34,33,38	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	中	幹H0.4mに樹皮欠損(中) あり。 フェンスが1.2m(東側)の距離にあり。	●			A			
N02-430		サザンカ	6.0	6本立	3.0	23,24,18,27,19,29	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○			○					無	中	フェンスが1.2m(東側)の距離にあり。	●			A			
N02-431		ヒトツバタゴ	8.0	77	6.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○		○					無	大	樹幹傾斜(中)(東側)あり。 下枝がない。	●			A			
N02-432		モチノキ	7.0	2本立	4.0	76,84	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A		○			○				無	小	幹分岐部に入り皮L=0.4mあり。 北側からの被圧によりやや片枝樹形である。		●		A			
N02-433		トウカエデ	14.0	241	9.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○					○			有	無	幹に大枝剪定痕、巻込み(良)、あり。 根上り(大)あり。露出根(大)が多数あり。露出根の縁石乗り上げ、近接する石製ベンチとの接触あり。 縁石と舗装の押し出し(大)、押し上げ(大)あり。 植桝内にある。	●			A			
N02-434		トウカエデ	14.0	254	11.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○					○			有	無	幹に大枝剪定痕、巻込み(良)、あり。 根上り(大)あり。露出根(大)が多数あり。露出根の縁石乗り上げあり。 縁石と舗装の押し出し(大)、押し上げ(大)あり。 植桝内にある。	●			A			
N02-435		ウバメガシ	12.0	378	13.5	－	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.40	A			○					○	有	無	幹に樹皮欠損(小)、巻込み(良)、あり。 盛土あり。 舗装に近接している。 大枝分岐部の入り皮に腐朽、背着性の子実体あり。	●			A			
N02-436		スダジイ	10.0	349	12.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.55	A			○					○	有	中	大枝付け根H1.6mに樹皮欠損(中)あり。 北側からの被圧によりやや枝の伸長が弱い。 根上り(大)、縁石乗り上げ(大)あり。 フェンスが0.2m(北側)の距離にあり。 根元にカシナガ対策シートあり。	●			A			
N02-445		スダジイ	12.0	204	10.0	－	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○						○		有	中	道路側に大枝剪定痕からの腐朽、巻込み無しが3箇所、H2.2mにφ15cm、H2.4mにφ17cm、H2.8mにφ15cmあり。 根上りあり。縁石の押し出し(小)あり。 フェンスが0.5m(北側)の距離にある。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規 格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備 考					伐採理由		
			樹高 (m)	幹周 (cm)	葉張 (m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-004		ヒマラヤスギ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	−	−	※	B			
N01-005		シダレザクラ	6.0	121	4.5	−	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.5	1.0	2.35	B		○		○					有	中	隣接するヒマラヤスギの被圧(中)あり。 剪定による樹皮欠損・腐朽あり。 根元にフェンスあり。 根元(西側)にコフキサルノコシカケの子実体あり。 コフキタケあるが、樹勢良好、移植可能。		●		B			
N01-006		ヒマラヤスギ	28.0	296	11.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		無	中	隣接するヒマラヤスギの被圧(中)あり。片枝状態にある。 大枝剪定痕複数あり、下枝に枯れ枝あり。 移植後に健全な状態となることが見込めない。	●			−			
N01-007		ヒマラヤスギ	24.0	155	6.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○					○		無	大	被圧により下枝が少ない。 隣接するヒマラヤスギの被圧(大)あり。片枝状態にある。 下枝が少なく、片枝状態であり、移植後の健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
N01-008		ヒマラヤスギ	18.0	203	8.0	−	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	隣接するヒマラヤスギの被圧(大)あり。片枝状態にある。 大枝・幹に梢端切除あり。 幹の頂部において断幹されている。 移植後の健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
N01-009		ヒマラヤスギ	24.0	271	8.0	−	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.0	1.65	A	○						○		有	中	被圧により下枝が少ない。 根元付近にフェンスあり。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な生育が困難。	●			A			
N01-010		ヒマラヤスギ	18.0	249	10.0	−	3.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	無	中	樹形に乱れあり(H12mまで下枝なし)、大枝の強剪定痕あり。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な生育が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●(赤)			B			
N01-011		ヒマラヤスギ	17.0	198	8.5	−	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○			○				無	小	幹に開口空洞の閉塞痕あり。	●(赤)			C			
N01-012		ヒマラヤスギ	25.0	207	8.5	−	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B		○				○			無	中	隣木の被圧があるが、概ね良好な樹形である。	●(赤)			B			
N01-014		ヒマラヤスギ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	−	−	※	C			
N01-015		ヤエザクラ	4.5	111	3.0	−	3.5	3.5	4.0	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.85	C			○					○	有	中	根元に巻き根あり。 隣接するヒマラヤスギによる被圧(中)あり。 根元にフェンスあり。 活力度が悪く、移植後の健全な生育が見込めない。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	C			●
N01-017		ヒマラヤスギ	22.0	314	13.0	−	2.0	1.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A			○					○	無	無	骨格となる大枝が伸長し、移植でなく単木として残す場合には良い樹形である。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な生育が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●(赤)			A			
N01-018		シダレザクラ	5.5	102	4.5	−	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.55	C			○					○	無	大	隣接するヒマラヤスギによる被圧(大)あり。 幹につる植物(2種類)が登ハンし、被圧(大)あり。 梢端衰退による枯枝あり。	●			B			
N01-019		シダレザクラ	8.0	98	3.5	−	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5	3.0	2.5	2.5	2.0	1.0	2.80	C			○					○	有	大	隣接するヒマラヤスギによる被圧(大)あり。 仮設鋼板フェンスあり。 隣接樹木の被圧が大きく、活力度も悪く、移植後の健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
N01-020		シダレザクラ	4.0	88	3.0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	枯死している。	※	−	−	C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-021		ヤエザクラ	4.0	56	4.0	−	3.5	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.80	C			○					○	有	中	根元にフェンスあり。 樹形に偏りあり、活力度も悪く、移植後の健全な状態への回復の見込みがない。	●			C			
N01-022		サクラ	5.0	53	5.5	−	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.0	1.75	A	○			○					無	中	隣接するヒマラヤスギと道路側サクラによるによる被圧(中)あり。	●			A			
N01-023		ヤエザクラ	3.0	70	4.0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	―	―	枯死している。	※	−	−	C			
N01-024		ヒマラヤスギ	20.0	249	10.0	−	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B			○					○	有	無	幹H1.2m～8.0mに樹皮欠損・腐朽(大)あり。 仮設鋼板フェンスに近接する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N01-025		ヒトツバタゴ	9.5	106	6.0	−	2.5	2.0	1.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.85	B		○					○		有	小	幹に樹幹傾斜があるが、上部で持ち直し。 仮設鋼板フェンスに近接し、このままでは根鉢の確保困難。	●			A			
N01-026		ハナモモ	5.5	3本立	7.0	36,39,57	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○		○					有	中	根元に入り皮あり。 小枝にコスカシバの食害痕あり。 深植え状態にある。 根元にフェンスあり。 道路側下枝に枯枝大あり。	●			A			
N01-027		ヒトツバタゴ	7.0	51	4.5	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					有	中	深植え状態にある。 根元にフェンスあり。 被圧(中)あり。	●			B			
N01-028		ハナモモ	4.5	2本立	6.0	42,49	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	1.5	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○		○					有	中	盛土が30cm以上あり。 大枝にフェンスくい込みあり。 下枝枯れあり。	●			B			
N01-029		ヤエザクラ	8.0	2本立	8.0	106,141	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.95	B		○					○		有	中	要確認:盛土が30cm以上あり。 幹H0.6mに入り皮あり。 大枝に剪定による樹皮欠損・腐朽(中)あり。縁石、フェンス間に位置し、現状では適正根鉢の確保困難。	●			A			
N01-030		ヤエザクラ	5.0	47	4.5	−	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.90	C			○					○	有	大	幹に打音異常 H1.5m～2.0mあり。 幹にコスカシバ食害痕(小)あり。 被圧による枝枯れあり。 盛土が30cm以上あり。 揺らぎ(中)あり	●			C			
N01-031		ヤエザクラ	6.5	105	8.0	−	3.5	3.0	3.5	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.70	C			○					○	有	大	大枝に腐朽、打音異常あり。 幹H1.2mに開口空洞、フェンスくい込みあり。 盛土が30cm以上あり。 道路側に傾斜あり。 下枝枯れにより、2本立ちではなくなった。	●			B			
N01-032		ヒマラヤスギ	20.0	262	10.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○						○		有	小	盛土が30cm以上あり。 フェンスとブロックが北側と東側にある。 幹に防球マットの設置あり。※幹周は防球マットの上からの計測 移植のための適正根鉢の確保が困難。	●			A			
N01-033		ヒマラヤスギ	23.5	390	13.0	−	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.00	B			○					○	有	小	下枝が高さ12mまでほぼ無い状態である。 下枝枯れあり。 ネットフェンスに近接、北側にアスファルト舗装あり。 幹に防球マットの設置あり。※幹周・根元周は防球マットの上からの計測 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年　9 月　25日　～　2023 年　10 月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-034		ヒマラヤスギ	25.0	345	15.0	−	1.5	1.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.65	A			○					○	有	中	隣木と競合する東側の下枝が無い状態である。 アスファルト舗装に近接する。 幹に防球マットの設置あり。※幹周は防球マットの上からの計測 針葉樹の巨木であり、移植に伴う剪定からの回復が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N01-035		ヒマラヤスギ	25.0	333	15.0	−	2.0	1.5	3.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B			○					○	有	中	大枝に剪定痕あり。スタブカット(切り残し枝)が東側に多数あり。 根元にアスファルト舗装あり。 幹に防球マットの設置あり。※幹周は防球マットの上からの計測 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N01-036		サンゴジュ	6.5	119	3.0	−	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.05	B		○					○		無	中	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-037		サンゴジュ	6.5	72	1.2	−	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-038		サンゴジュ	6.5	2本立	1.2	62,73	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-039		サンゴジュ	6.5	82	1.2	−	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-040		サンゴジュ	6.5	2本立	1.2	48,73	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-041		サンゴジュ	6.5	80	1.2	−	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-042		サンゴジュ	6.5	2本立	1.2	37,60	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-043		サンゴジュ	6.5	4本立	1.2	32,59,63,73	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(北側に枝なし)、樹形･樹勢不良。 虫害は現在は回復傾向にある。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-044		ケヤキ	23.0	305	18.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.80	B			○					○	有	無	大枝に腐朽(中)あり。 幹H4mに開口空洞(大)あり。双幹部に入り皮あり。 テニスコート内に位置し、アスファルト舗装(西側)あり。 幹に防球マットの設置あり。※幹周は防球マットの上からの計測 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N01-045		クロマツ	8.5	159	5.0	−	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B			○					○	有	無	樹形に乱れ偏りあり(断幹、梢端切除)。 テニスコート内に位置し、アスファルト舗装(西側)あり。 幹に防球マットの設置あり。※幹周は防球マットの上からの計測 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N01-047		クロマツ	10.0	139	6.0	−	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○		○					無	無	移植され、ワイヤー支柱が設置されている。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-049		モチノキ	6.0	134	4.5	－	2.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.0	2.05	B		○		○					無	中	移植されている。 大枝に樹皮欠損が多数あり。 幹H0.7mに樹皮欠損、35×15(146)あり。 幹H0.4mに開口空洞 25×3×5/33(134)あり。	●			B			
N01-050		クロマツ	13.0	133	6.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					無	小	移植され、ワイヤー支柱が設置されている。 下枝は失われている。	●			B			
N01-052		シラカシ	15.0	189	9.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B		○				○			有	小	幹H2.5m・H5.0mに開口空洞、巻き込みあり。 北側の下枝はフェンスに近接し高い。 根鉢確保可能、移植はできる。	●			B			
N01-053		トチノキ	14.5	268	15.0	－	2.0	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	無	根元の南側半分にアスファルト舗装あり。 樹勢衰退傾向にある。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	A		●	
N01-054		トチノキ	14.5	305	12.0	－	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B			○					○	有	小	大枝に剪定痕からの腐朽あり。 フェンスに近接・接触し、樹形に乱れあり。 幹にナツヅタの登ハンあり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N01-055		サンゴジュ	5.5	2本立	1.5	27,38	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	有	中	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			B			
N01-056		サンゴジュ	4.0	2本立	1.0	9,19	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-057		サンゴジュ	4.0	2本立	1.0	12,22	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-058		サンゴジュ	4.0	2本立	1.0	12,19	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-059		サンゴジュ	4.0	16	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-060		サンゴジュ	4.5	28	1.5	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-061		サンゴジュ	4.5	25	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-062		サンゴジュ	4.5	26	1.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	規格 幹周(cm)	規格 葉張(m)	規格 株立ち幹周	活力度 樹形	活力度 樹勢	活力度 大枝幹の欠損・傷	活力度 枝伸長量	活力度 梢端の枯損	活力度 枝葉の密度	活力度 葉形	活力度 葉の大きさ	活力度 葉色	活力度 ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	保存の必要性 中	保存の必要性 低	移植 可	移植 難 A	移植 難 B	移植 難 C	移植 不可	参考項目 根元構造物	参考項目 片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	伐採理由 STEP2 根鉢の確保が困難	伐採理由 STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-063		サンゴジュ	4.5	3本立	1.0	10,13,18	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-064		サンゴジュ	4.5	2本立	1.0	35,38	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.65	C			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-065		サンゴジュ	3.0	13	0.5	–	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.5	2.5	2.5	2.0	1.0	3.15	C			○					○	有	大	活力度が悪く、衰退傾向にある。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			C			
N01-066		サンゴジュ	5.0	52	2.0	–	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	1.0	2.40	B			○					○	有	大	サンゴジュハムシによる食害あり。樹形、樹勢不良。 ブロック塀と縁石が近接している。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			C			
N01-067		ヒイラギモクセイ	2.3	5本立	1.5	15,19,15,20,26	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.35	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-068		ヒイラギモクセイ	2.3	3本立	1.0	14,11,11	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-069		ヒイラギモクセイ	2.3	2本立	1.0	17,13	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-070		ヒイラギモクセイ	2.3	2本立	1.0	16,8	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-071		ヒイラギモクセイ	2.3	2本立	1.0	19,9	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-072		ヒイラギモクセイ	2.3	2本立	1.0	23,15	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-073		ヒイラギモクセイ	2.3	29	1.0	–	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-074		シラカシ	13.0	189	12.0	–	2.0	1.5	2.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.75	A		○			○				有	無	大枝に剪定痕、腐朽が複数あり。 フェンスが近接している。 下枝に枯枝(大)あり。	●			A			
N01-075		ヒイラギモクセイ	2.5	22	1.5	–	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-076		ヒイラギモクセイ	2.5	19	1.5	–	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.0	2.40	B			○					○	有	中	生垣状で1本では樹形不良、移植不可。 食害あり。根鉢確保困難。	●			–			
N01-077		シラカシ	8.0	70	5.0	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○					○		有	大	被圧(大)により、枝枯れ(小)あり。 フェンスに近接する。	●			B			
N01-078		スギ	13.0	80	3.0	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		無	中	被圧(中)により、枝枯れ(小)あり。 フェンスに近接し、このままでは根鉢確保困難。	●			B			
N01-079		シダレザクラ	7.5	76	6.0	–	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.85	B		○		○					無	中	樹幹傾斜あり。 幹H2.0mに入り皮あり。 被圧(中)あり。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年　9 月　25日　～　2023 年　10 月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-080		ヒマラヤスギ	16.0	167	8.0	－	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A	○				○				有	小	盛土が30cm以上あり。 ブロック塀に近接する(1.4m)。 幹につる植物の登ハンあり。	●			A			
N01-089		クスノキ	10.0	165	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	1.85	B		○		○					無	無	移植されている。樹勢・樹形良好。 もともとの移植樹、再移植可能。	●			B			
N01-090		ウバメガシ	7.0	190	7.0	－	2.5	2.0	3.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B			○					○	有	小	根元・幹に開口空洞(大)が複数あり。 胴吹きが多数あり。 根元に排水マス近接。あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	A			●
N01-091		ケヤキ	23.5	394	15.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○						○	有	無	根元・幹(東側)に開口空洞(大)、ベッコウタケの子実体あり。 大枝(東側)に剪定痕からの腐朽あり。 幹にキヅタの登ハンあり。 フェンスに、近接する。 樹勢やや衰退傾向にあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N01-092		タブノキ	10.0	84	6.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○					○		有	中	幹にキヅタの登ハン、サルトリイバラのからみあり。 フェンスに近接する。	●			B			
N01-093		マテバシイ	8.0	72	6.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B			○					○	無	大	幹H1.2mに開口空洞(大)あり。 被圧(大)による枝枯れあり。	●			B			
N01-094		モチノキ	5.5	45	3.5	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	大	葉にタイワントガリキジラミの虫害あり。 幹にキヅタの登ハンあり。	●			B			
N01-095		シダレザクラ	3.5	29	2.0	－	4.0	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.95	C			○					○	無	大	キヅタとスダジイによる、被圧(大)あり。 樹勢の著しい衰退あり。	●			C			
N01-096		マテバシイ	7.5	3本立	10.0	42,58,66	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.65	C			○					○	有	大	樹形に乱れあり。 台切りされて、ひこばえから成長した状態である。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N01-097		スダジイ	10.5	191	8.0	－	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		無	小	幹H0.7mに開口空洞(大)あり。 幹に打音異常 H1.2mあり。 大枝に剪定痕からの腐朽(大)あり。	●			B			
N01-098		マテバシイ	8.5	96	7.0	－	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	有	中	被圧による樹冠の偏り、樹形に乱れあり。 フェンスに近接・接触している。(西側0.4m) 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N01-099		ケヤキ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	―	―	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	B			
N01-100		ケヤキ	22.5	282	15.0	－	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B			○				○		無	無	下枝が少なく、移植に伴う剪定からの回復が困難。枝葉量が疎。やや衰退傾向が見られる。 幹にキヅタの登ハンがあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に● ●:変更樹木)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
N01-101		マテバシイ	7.0	53	5.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.05	B		○		○					無	中	盛土が30cm以上あり。	●			A			
N01-102		マテバシイ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	B			
N01-103		マテバシイ	5.5	52	3.5	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○		○					無	大	被圧(大)あり。	●			B			
N01-104		スダジイ	14.0	333	15.0	－	2.5	2.0	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A			○					○	有	無	樹形に乱れあり、双幹状の大枝の一方がH5mで直角に屈曲、他方は道路側に傾斜しており、移植樹として適さない。 フェンスに接触している。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N01-105		マテバシイ	5.5	61	4.5	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B		○		○					無	大	被圧(大)による枝枯れ(小)あり。 ひこばえが多数あり。	●			B			
N01-106		ケヤキ	20.0	302	15.0	－	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B			○					○	有	無	フェンスに近接しており、下枝が高い。 盛り土20cmあり。 移植に伴う剪定により切詰めることとなり、移植後の健全な状態への回復が困難。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N01-107		スダジイ	10.0	200	8.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		無	中	幹に開口空洞が数か所あり。 剪定痕に腐朽あり。 根元に樹皮欠損あり。 ケヤキからの被圧(中)あり。	●			A			
N01-108		タブノキ	7.0	72	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.20	B			○					○	無	中	被圧(中)による枝枯れあり。 葉に病徴あり。	●			B			
N01-109		スダジイ	7.5	152	5.0	－	2.5	2.5	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	有	大	幹H0.4mに開口空洞 30×23×10あり。 根元･幹に打診音異常(大) H0.0～2.5mあり。 幹に腐朽あり。 枝抜け痕、多数あり。 フェンスに、接触している。 盛土が、20cm以上あり。 幹にアイカワタケあり、大枝にシイサルノコシカケあり。	●			B			
N01-111		スダジイ	11.5	265	11.0	－	2.5	2.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	小	根元･幹がフェンスに接触している。 大枝に樹皮欠損や開口空洞･腐朽などが複数あり。 樹形に乱れあり、不適。 下枝に枯枝大あり。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。			●	B		●	
N01-112		シラカシ	15.0	156	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○					○		無	中	幹H2.0mに開口空洞 30×20あり。 被圧により東側の枝が少ない。 盛土が30cm以上あり。	●			B			
N01-113		ウバメガシ	8.5	250	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.80	B	○				○				無	無	幹分岐部H1.1mに入り皮あり。 胴吹きが多数あり。 根元･幹にカシナガホイホイが設置されている。	●			A			
N01-114		モチノキ	7.0	46	2.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.85	B		○		○					無	大	葉にタイワントガリキジラミの虫害あり。 枝に虫えいあり。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-115		トウカエデ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。 (切株のコフキタケが活性状態)	※	－	－	B			
N01-116		シダレザクラ	12.0	119	7.0	－	2.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.90	B		○					○		有	大	樹幹傾斜あり。 ヘデラの登ハンあり。 樹木番号N01-185スダジイからの被圧により枝枯れあり。 枝密度やや疎。 移植後の健全な状態への回復の見込みがない。	●			A			
N01-117		モチノキ	7.0	72	3.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	1.0	1.60	A	○			○					無	中	隣接するシラカシから被圧(中)あり	●			A			
N01-118		アカメガシワ	5.0	82 (芝付)	6.0	－	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B			○					○	無	中	GL0.4mにて断幹痕あり、ひこばえ多数あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●(赤)			A			
N01-119		モチノキ	7.0	56	3.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	中	幹H1.6mに樹皮欠損 7×7あり。 ヘデラの登ハンあり。 盛土が20cmあり。 梢端衰退による枯枝あり。	●			B			
N01-120		ムクノキ	3.5	45 (芝付)	3.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	有	大	幹がH3.0mにて 3分岐している。 実生木である。 フェンスが近接している。	●			A			
N01-121		モチノキ	6.5	51	3.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○		○					無	中	幹に曲がりあり。 盛土が20cmあり。 下枝に枯枝あり。	●			B			
N01-122		マテバシイ	6.0	63	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	無	中	多芽症状が多発している。 盛土が20cmあり。 梢端衰退による枯枝あり。 樹勢、樹形著しく悪く、回復不可。	●(赤)			B			
N01-123		モチノキ	7.0	67	3.5	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	大	隣接するプラタナスからの被圧(大)あり。	●(赤)			B			
N01-124		プラタナス	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	※	－	B			
N01-125		クスノキ	14.0	179	8.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.30	B			○					○	無	無	樹形に乱れあり(樹幹傾斜、樹冠に偏り)。 露出根に樹皮欠損あり。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●(赤)			B			
N01-126		イロハモミジ	7.5	120	6.5	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.30	B			○					○	無	中	幹(南側)H0.6mに開口空洞 15×14×20あり。幹(南側)H0.9mに開口空洞 16×14×20あり。幹(東側)H1.5mに開口空洞 10×4×8あり。巻き込みあるが、幹内部が空洞化している(打診音異常あり)。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-127		スダジイ	10.0	194	9.0	－	2.5	2.5	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.25	B			○					○	有	中	樹形に乱れあり(枝の分布に偏り)、幹・大枝に樹皮欠損や開口空洞などが散在する。 ひこばえ、幹吹きあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考					伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧	《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-128		スダジイ	9.0	219	10.0	–	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.05	B			○					○	有	無	樹形に乱れあり(枝の分布に偏り、ふところ枝が少ない)、根元に開口空洞や幹・大枝に樹皮欠損などが散在する。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-129		スダジイ	9.0	123	6.0	–	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.35	B			○					○	無	中	隣木からの被圧により枝葉量が少ない。 根元に開口空洞、幹・大枝付け根・大枝に樹皮欠損などが散在する。 盛土あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。			●	B			●
N01-130		プラタナス	16.0	240	8.0	–	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.95	B		○				○			有	小	剪定後に吹き直し、比較的良い状態にある。 周辺木との競合により、下枝が高い。	●			B			
N01-131		マテバシイ	9.5	70	4.0	–	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B			○					○	無	大	樹形に乱れあり(樹幹傾斜、樹冠に偏り、下枝が高い)。 多芽病症状が散見される。 胴吹きが多数あり。 樹液の滲出あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N01-132		シラカシ	15.0	137	8.0	–	3.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B		○					○		無	大	樹形に乱れあり(樹幹傾斜、樹冠に偏り、下枝が高い)。 樹液の滲出あり。 下枝に枯枝大あり。	●			B			
N01-133		ヒトツバタゴ	7.0	86	4.5	–	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.50	B		○					○		有	大	樹幹傾斜あり。 被圧による枯枝あり。 フェンスが近接している。	●			B			
N01-134		マテバシイ	8.5	95	7.0	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○					○		無	大	隣接樹木から被圧(大)あり。 大きな被圧により樹形は乱れ、移植後の健全な状態への回復の見込みがない。	●			B			
N01-135		マテバシイ	6.0	93	6.0	–	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○					○		無	中	多芽病症状が数か所あり。 下枝に枯枝あり。 樹液の滲出あり。	●			A			
N01-136		シダレザクラ	5.0	56	3.5	–	3.0	2.5	2.0	2.0	2.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○		○					無	中	根元周辺にカーペットが敷設されている。 盛土が25cmあり。 被圧による枯枝発生あり。	●			A			
N01-137		ウバメガシ	8.0	2本立	4.0	105,115	3.0	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.35	B		○						○	有	中	幹H0.9mに開口空洞 80×13×15/30(芯達)あり。 幹H1.1mに開口空洞 220×20×15/23(芯達)あり。 根元に開口空洞 15×5×10あり。 幹がH0.6mで2分岐している。 樹幹傾斜あり。盛土が20cmあり。 カシナガ対策シートあり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N01-138		イチョウ	19.0	5本立	22.0	115,303,220,240,360	1.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.10	B	○							○	無	小	根元に子実体種類不明あり。 幹(南側)に打音異常(小) H1.0m～2.0mあり。 幹(東側)H2.1mに開口空洞 10×5×10/25あり。 株立ちの幹分岐部が全て入り皮である。 大枝(南側)に腐朽あり。 露出根に樹皮欠損あり。 株立ちで立派な樹である。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			A			
N01-139		シラカシ	15.0	186	7.0	–	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.05	B			○					○	無	無	樹形に乱れあり、樹幹傾斜、樹冠に偏り、下枝が高く、移植樹として適さない。 大枝に開口空洞・腐朽あり。 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形 (1～4評価)	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形 (1～4評価)	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果 (ABCD)	保存の必要性 高 (該当に○)	中	低	移植 可 (該当に○)	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物 (有無)	片枝・被圧 (大中小無)	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存 (該当に● ●:変更樹木)	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価 (ABCD)	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
N01-140		シラカシ	14.0	197	8.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B			○					○	無	大	大枝に腐朽(大)3箇所、樹皮欠損5箇所あり。 腐朽枝が枯枝大となっている。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N01-141		ムクノキ	14.0	165	7.0	－	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	2.0	1.95	B		○					○		無	中	幹(南側)H6.0mに開口空洞 50×10あり。他に開口空洞が2箇所あり。幹に大枝枯損あり。 露出根の切断部に樹皮欠損あり。 過去の強剪定からの吹き直し樹形。下枝が高い。	●			B			
N01-142		トウネズミモチ	7.0	5本立	4.0	19,24,28,31,33	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B			○					○	無	小	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
N01-143		ソメイヨシノ	7.0	206	6.0	－	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	3.00	C			○					○	有	大	根元(北側と南側)にコフキサルノコシカケの子実体あり。 幹(北側)に樹皮枯死あり。幹(南側)H0.9mに樹皮枯死 180×12×5あり。 ひこばえが多数あり。 フェンスが近接している。 上部の骨格大枝が枯死しており、注意が必要。剪定を要する。	●			B			
N01-144		マテバシイ	4.5	2本立	4.0	36,41	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.00	B		○					○		無	中	幹に樹皮欠損 20×15あり。大枝に腐朽あり。 多芽症状が数か所あり。 樹木番号N01-145ケヤキに近接している。 盛土が30cm以上あり、二段根が生じている可能性あり。	●			B			
N01-145		ケヤキ	20.0	195	15.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.95	B		○					○		有	無	ヘデラの登ハンあり。 盛土が30cm以上あり。 フェンスが近接している。	●			A			
N01-147		シダレザクラ	3.5	30	3.0	－	3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.60	C		○		○					無	大	被圧(大)により樹勢衰退傾向にあり。	●			B			
N01-148		シラカシ	9.5	78	6.0	－	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.75	A		○		○					無	中	盛土が20cmあり。	●			A			
N01-149		ヒサカキ	4.5	30	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○		○					有	大	大枝H1.6mに樹皮欠損 20×5あり。 ヘデラの登ハンあり。 フェンスが近接している。 被圧により樹形の偏りあり。	●			B			
N01-150		シラカシ	4.0	117	3.0	－	3.5	3.5	4.0	3.0	3.5	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.90	C			○					○	無	大	断幹されており、南側が根元まで腐朽(大)あり。 根元にオオミコブタケの着生あり。 胴吹きが多数あり。 盛土あり。	●			C			
N01-152		ヤエザクラ	9.0	88	6.0	－	3.0	2.5	2.5	3.0	2.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	2.25	B			○					○	無	大	被圧による樹形の乱れあり(樹幹傾斜、下枝が高い)。 移植後の健全な状態への回復は見込めない。	●			B			
N01-153		クスノキ	16.0	212	10.0	－	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○			○				無	中	樹幹傾斜あり。 ヘデラの登ハンあり。 盛土が15cmあり。	●			B			
N01-154		ヤエザクラ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	－	－	C			

既存樹木調査結果一覧

エリア名			軟式野球場東側													調査日				2023 年　9 月　25日　～　2023 年　10 月　11日																
樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》				2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧		保存	移植	伐採		STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-155		クスノキ	16.0	2本立	14.0	221,223	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.70	A	○					○			無	小	高さH1.0mで幹が分岐した双幹樹形である。 盛り土が25cmあり。	●			A			
N01-156		マテバシイ	7.5	4本立	6.0	60,96,126,130	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.90	C			○					○	有	中	腐朽進行により幹が根元から折損し、4本立ちとなった。 道路側に傾斜している幹も腐朽進行により折損の恐れがあり、注意が必要。剪定を推奨する。	●			B			
N01-158		ツバキ	3.5	2本立	2.5	20,30	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○		○					無	大	被圧により下枝に枯損あり。 樹木番号 N01-160ヤエザクラに近接している。	●			B			
N01-159		トウネズミモチ	5.0	25	3.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	無	大	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
N01-160		ヤエザクラ	7.0	108	4.5	－	3.5	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.70	C			○					○	無	大	樹形に乱れあり(被圧)、大枝に欠損あり。 幹に樹皮枯死あり。大枝に枯枝大あり。	●			B			
N01-161		トウネズミモチ	7.0	48	4.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	無	大	環境省の生態系被害防止外来種リストにおける重点対策外来種のため移植不適。			●	B	●		
N01-162		シダレザクラ	8.0	129	6.5	－	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○			○				有	中	根元・幹に打音異常(小)あり。 ヘデラの登ハンあり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-163		シダレザクラ	6.0	118	5.0	－	3.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.80	C			○					○	有	中	幹H1.1mに開口空洞(大)、打音異常あり。 ぶつ切り剪定されている。相互被圧による樹形の乱れあり。 上部骨格大枝に枯死みられる。 ヘデラの登ハンあり。 フェンスが近接している。	●			B			
N01-164		クロガネモチ	12.0	223	8.0	－	2.0	1.5	1.5	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○					○			有	中	樹冠に偏りあり。 フェンスに近接している。	●			A			
N01-165		ツバキ	5.5	47	3.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○		○					有	大	樹幹傾斜あり。 フェンスが近接している。	●			B			
N01-166		サザンカ	5.0	45	2.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.0	2.0	1.5	1.0	1.80	B		○		○					有	大	根元に樹皮欠損 5×5あり。 樹幹傾斜あり。 フェンスが近接している。	●			B			
N01-167		ツバキ	3.5	28	2.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B		○		○					有	大	幹に樹皮欠損が数か所あり。 周辺の中木からの被圧あり。 フェンスが近接している。	●			B			
N01-168		ツバキ	3.5	19	2.0	－	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B		○		○					有	大	フェンスに接触している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規 格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備 考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-169		ミズキ	10.0	75	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○			○				無	大	樹木番号N01-170サクラに近接し、競合状態にある。 被圧により下枝が少ない。	●			A			
N01-170		サクラ	10.0	159	9.0	－	2.5	3.0	3.0	2.5	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.60	C			○					○	無	大	被圧(大)あり、梢端枯れあり、樹勢衰退傾向にある。 樹冠に偏りあり。 梢端部および下枝に枯枝大あり。	●			B			
N01-171		ヤエザクラ	5.0	2本立	4.0	50,120	3.5	3.5	4.0	3.5	4.0	3.5	2.5	2.5	2.5	2.5	3.20	C			○					○	無	小	大枝にぶつ切り剪定枝の枯損あり。 高さH0.5mで幹が分岐した双幹樹形である。 骨格大枝の上部が枯死している。衰退傾向にある。 胴吹きが多数あり。 盛土が25cmあり。	●			C			
N01-172		タイサンボク	9.5	145	8.0	－	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.90	B		○			○				有	小	ヘデラの登ハンあり。 盛土が30cm以上あり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-173		モッコク	8.5	117	5.5	－	2.0	1.5	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B			○					○	有	小	樹形に乱れあり(双幹の片方切断)、大枝に腐朽あり。 盛土あり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N01-174		トウカエデ	14.0	262	10.0	－	1.5	1.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A	○					○			有	無	根元に開口空洞あるが、問題なし。 根上りあり。 露出根による縁石と舗装の乗り上げ･押上げあり。 縁石に囲まれた植栽桝(3.1×約2.4mの楕円形)にある。	●			A			
N01-175		カシワ	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	－	－	※	-			
N01-176		トウカエデ	14.0	282	10.0	－	2.0	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.55	A	○					○			有	無	根元に開口空洞あるが問題なし。 根上りあり。 露出根による縁石と舗装の押上げあり。 縁石に囲まれた植栽桝((直径1.2mの円形)にある。	●			A			
N01-177		シダレザクラ	5.5	111	5.0	－	3.0	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.70	C			○					○	無	小	根元にコフキタケあり。 幹に大枝剪定による樹皮欠損、こぶあり。 樹幹傾斜あり。 幹に腐朽複数あり。梢端部に枯損あり。折損の恐れがあるため、剪定の必要あり。	●			B			
N01-183		シラカシ	15.0	241	12.0	－	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○						○		有	中	幹H1.2mに開口空洞 25×10×10あり。 大枝に剪定痕からの腐朽あり。 フェンスに近接している。	●			A			
N01-184		シラカシ	15.0	210	10.0	－	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.60	A	○						○		有	中	大枝にぶつ切り剪定、腐朽あり。 フェンスに近接している。	●			A			
N01-185		スダジイ	12.5	379	12.0	－	1.5	1.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A	○							○	有	小	立派な木である。 幹に開口空洞が数か所あり。 大枝に腐朽が数か所あり。 根元、縁石の押し上げあり。 フェンスにくい込みあり。	●			B			
N01-186		マテバシイ	10.0	138	8.0	－	2.5	2.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.30	B		○					○		有	中	幹に背着性の子実体あり、断幹痕あり、入り皮あり、将来的に幹折損の恐れあり。軽減剪定かブレーシング設置を要する。 フェンスと近接し、移植のための適正根鉢の確保が困難。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年　9 月　25日　～　2023 年　10 月　11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-187		シダレザクラ	5.0	70	3.0	－	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.5	3.10	C			○					○	有	中	幹に腐朽が多数あり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-188		シダレザクラ	8.5	111	7.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	1.5	1.5	1.5	1.0	2.00	B		○					○		有	中	根元・幹に打音異常(小) H0.0m～1.0mあり。 大枝がぶつ切り剪定されている。 片枝樹形である。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-189		シダレザクラ	7.5	96	6.0	－	3.0	3.0	2.5	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.40	B		○					○		有	中	フェンスが近接している。 梢端衰退による枝の枯損あり。	●			B			
N01-193		シダレザクラ	7.5	116	5.0	－	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.45	B			○					○	有	小	幹にコブが多数あり。 フェンスと照明の柱に近接しており、根鉢確保困難。	●			B			
N01-196		シダレザクラ	6.5	106	4.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.40	B		○					○		有	小	大枝がぶつ切り剪定されており、コブが多数あり。 フェンスに近接している。 大枝に背着性のし子実体あり。	●			B			
N01-199		シダレザクラ	6.5	74	4.0	－	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.15	B		○					○		有	小	梢端衰退による枯損あり。 マンホールとフェンスが近接している。	●			B			
N01-202		シダレザクラ	7.0	87	5.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.0	1.5	1.0	2.10	B			○					○	有	小	根元・幹に打音異常(小) H0.0～2.0mあり。 高さH0.7mにワイヤーのくい込みあり。 フェンスに近接している。 盛り土20cmあり。 移植のための適正根鉢の確保が困難。	●			B			
N01-203		コブシ	8.5	131	7.0	－	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.00	B		○					○		有	小	大枝がぶつ切り剪定されている。 ヘデラの登ハンあり。 フェンスに近接している。 盛り土25cmあり。	●			B			
N01-204		シダレザクラ	7.5	109	6.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.30	B		○					○		有	小	片枝樹形である。 フェンスに近接している。 梢端衰退による上部枯損あり。	●			B			
N01-207		シダレザクラ	5.5	98	5.0	－	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.35	B			○					○	有	小	枝葉が少ない。 梢端剪定されている。 フェンスに近接している。 梢端衰退による上部枯損あり。 移植のための適正根鉢の確保が困難。	●			B			
N01-209		イヌツゲ	3.5	2本立	1.5	14,36	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	小	幹に腐朽が多数あり。 刈り込み剪定されている。	●			B			
N01-210		イヌツゲ	2.2	4本立	1.5	15,8,6,5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	小	大枝に腐朽が多数あり。 刈り込み剪定されている。	●			B			
N01-211		イヌツゲ	2.2	24	1.0	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B			○					○	有	中	樹木番号N01-077シラカシからの被圧あり。 刈り込み剪定されている。裏枝無く回復不可能、移植不可。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格				活力度												保存の必要性			移植					参考項目		備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所(大枝・幹・根元)》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由		
			樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	高	中	低	可	難 A	難 B	難 C	不可	根元構造物	片枝・被圧						STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無		該当に● ●:変更樹木			ABCD			
N01-218		シダレザクラ	8.5	152	7.0	−	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0	2.05	B		○					○		有	小	根元・幹に打音異常(小) H0.0m～0.5mあり。 フェンスが近接している。 梢端衰退により上部に枯損あり。	●			B			
N01-225		シダレザクラ	6.5	109	4.0	−	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.75	C			○					○	有	無	幹に大きな腐朽あり、幹折損の恐れあり。 幹にこぶが多数あり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-226		イヌツゲ	3.0	3本立	2.0	17,21,46	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.25	B			○					○	有	小	大枝に腐朽あり。 フェンスが近接している。 刈り込み剪定されている。 裏枝無く回復不可能、移植不可。	●			B			
N01-229		シダレザクラ	7.0	130	6.0	−	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.35	B			○					○	有	無	梢端衰退により上部枯損あり。	●			B			
N01-232		シダレザクラ	6.5	91	7.0	−	3.0	3.5	3.0	3.0	3.5	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.60	C		○					○		有	無	骨格となる大枝の枯損による枯枝(大)あり。 幹にこぶが多数あり。 片枝樹形である。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-233		イヌツゲ	3.0	135(芝付)	2.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0	1.0	2.20	B		○		○					有	無	小枝に枯れあり。 刈り込み剪定されている。 裏枝あり、円形刈込み、移植可能。	●			B			
N01-236		トウカエデ	14.0	224	8.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A	○					○			有	無	フェンス側の大枝が切断され、片枝樹形である。 フェンスが近接している。	●			B			
N01-240		シダレザクラ	5.5	82	4.0	−	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	2.35	B			○					○	有	大	上部に骨格となる大枝の枯損による枯枝(大)あり。 樹形特に不良で回復しない。 フェンスと近接し、移植のための適正根鉢の確保困難。	●			B			
N01-243		トウカエデ	12.0	191	8.0	−	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.75	A		○					○		有	無	フェンス側の大枝が切断されている。 大枝がぶつ切り剪定されている。 照明柱に接触している。	●			B			
N01-245		シダレザクラ	7.5	108	6.0	−	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.30	B		○					○		有	中	幹にコブ複数あり。 片枝樹形である。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-247		カラスザンショウ	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	—	—	安全配慮、倒木回避のため撤去。	※	−	−	B			
N01-248		トウカエデ	6.5	101	4.0	−	3.5	3.5	3.5	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.5	2.45	B			○					○	有	中	双幹の片方が伐採された状態にあり、切断痕からの腐朽(大)あり。 フェンスに近接している。道路際で根鉢が取れない。	●			B			
N01-251		シダレザクラ	5.5	99	3.0	−	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	2.5	3.10	C			○					○	有	大	根元にコフキタケあり。 根元・幹に樹皮枯死あり。 残された大枝も折損の恐れあり。 フェンスに近接している。	●			B			

既存樹木調査結果一覧

エリア名	軟式野球場東側	調査日	2023 年 9 月 25日 ～ 2023 年 10 月 11日

樹木番号		樹種名	規格 樹高(m)	幹周(cm)	葉張(m)	株立ち幹周	活力度 樹形	樹勢	大枝幹の欠損・傷	枝伸長量	梢端の枯損	枝葉の密度	葉形	葉の大きさ	葉色	ネクロシス	平均評点	評価結果	保存の必要性 高	中	低	移植 可	難 A	難 B	難 C	不可	参考項目 根元構造物	片枝・被圧
							1～4評価						1～4評価					ABCD	該当に○			該当に○					有無	大中小無
N01-252		イヌツゲ	3.0	125（芝付）	2.5	－	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.5	2.5	1.5	2.35	B			○					○	有	小
N01-253		シダレザクラ	7.0	118	6.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.0	2.35	B			○					○	有	小
N01-255		イヌツゲ	2.3	110（芝付）	1.8	－	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.95	B		○						○	有	小
N01-256		イヌツゲ	2.6	68（芝付）	1.5	－	2.5	2.5	2.0	2.5	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.0	2.25	B		○						○	有	小
N01-259		トウカエデ	15.0	256	9.0	－	2.0	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.70	A		○						○	有	無
N01-264		トウカエデ	10.0	234	8.0	－	2.0	2.0	3.5	2.5	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.95	B			○					○	有	無
N01-265		イヌツゲ	2.8	68（芝付）	2.3	－	2.0	2.5	2.5	2.5	3.0	2.5	2.0	2.0	2.0	1.0	2.20	B		○						○	有	小
N01-267		シダレザクラ	8.0	112	8.0	－	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.80	B		○						○	有	無
N01-268		イヌツゲ	2.5	2本立	2.0	29,27	3.5	3.5	3.5	3.0	3.5	3.5	2.5	2.5	2.5	1.5	2.95	C			○					○	無	無
N01-269		シダレザクラ	3.5	67	4.0	－	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	1.5	2.55	C			○					○	有	無
N01-278		ヤマザクラ	8.0	278	10.0	－	2.5	2.5	3.0	2.5	3.0	3.0	1.5	2.0	1.5	1.0	2.25	B		○					○		有	小
N01-281		カワヅザクラ	6.0	57	6.0	－	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.50	A	○			○					無	中

樹木番号	備考《開口空洞・キノコ・腐朽箇所（大枝・幹・根元）》	保存	移植	伐採	2019年春季調査活力度評価	伐採理由 STEP1 重点対策外来種	STEP2 根鉢の確保が困難	STEP3 移植後の健全な生育・樹形の維持が困難
		該当に● ●：変更樹木			ABCD			
N01-252	刈り込み剪定されている。 一部枝無く、回復不可。	●			B			
N01-253	幹がH4.5mにて断幹されている。 高さH2.5mの上部が枯損している。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-255	枝にイヌツゲ枝枯病あり。 ひこばえが多数あり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-256	枝にイヌツゲ枝枯病あり。 主幹となる大枝に枯れあり。 ひこばえが多数あり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-259	枝にぶつ切り剪定、こぶあり。 フェンスに近接している。 道路脇で根鉢確保できず。	●			A			
N01-264	幹H1.0mに開口空洞 30×6×14あり。 梢端切除痕に腐朽(大)あり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-265	枝にイヌツゲ枝枯病あり。 フェンスに近接している。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			B			
N01-267	フェンスに近接しており、このままでは根鉢確保困難。 移植時の適正な根鉢の確保が困難のため移植不適。	●			A			
N01-268	枯枝が目立つ 枯下がりあり。 移植後の健全な生育･樹形の維持が困難なため移植不適。	●			－			
N01-269	骨格大枝の枯損あり、背着性の子実体あり。 幹にこぶが多数あり。 フェンスに近接している。	●			B			
N01-278	株立の大枝に腐朽、剪定痕あり。 根元にベッコウタケの子実体あり。 ぶつ切り剪定痕に腐朽あり。 巻き根あり。	●			B			
N01-281	移植されている。 ヒマラヤスギによる被圧あり（南側の枝が枯れている）。	●			－			